

昭和十二年七月二十三日第三編刷部認可
昭和二十年二月十四日發行(毎月一回發行)
第九卷第一號(通卷二二四號)

同盟 時事月報

第九卷 第二十四日發行 第一號

主要記事

第八十六議會議事要録

臨時軍事費追加豫算決定

敵ルソン島に上陸

アメリカ大統領教書

赤軍冬季攻勢展開



一月

社団法人同盟通信社發行

同盟時事月報

二月十四日
二二四號

目次

月間大観
世界重要日誌(昭和廿年一月).....二

世界戦況

大東亞戦争

- 比島決戦深刻化.....八
- 週間戦況.....〇
- 本土空襲.....〇
- 台湾、沖縄.....三
- 朝鮮.....四
- 支那方面.....五
- 南部粵漢線打通.....五
- 東南アジア.....六
- 佛印.....六
- 昭南.....六
- 【ビルマ戦線】.....六
- 敵アキアブ附近に侵入.....六
- 印度方面.....六
- レイトン近く辭任.....六
- 比島方面.....六
- 【ルソン攻防戦】.....六
- ▲レイトン島.....六
- 濠洲方面.....六
- 濠洲軍比島戦に参加.....六
- 海上戦線.....六
- 東太平洋.....元
- 北太平洋.....元
- 南太平洋.....元
- 中部太平洋.....元
- 南西太平洋.....元
- 印度洋.....元
- 歐米戦争.....三
- 獨軍公表戦況.....三

國內要事

- 東部戦線.....七
- 【赤軍冬季攻勢】.....七
- ▲東普地區.....七
- ▲波蘭地區.....七
- 西部戦線.....七
- ▲南部地區.....七
- ▲北部地區.....七
- 航空戦.....七
- ▲南部戦線.....七
- ▲カイトル元帥伊戦線へ.....七
- ▲海上戦線.....七
- ▲反樞軸海軍總司令官惨死.....七
- 政治.....七
- ▲政府.....七
- ▲決戦五大施策決定.....七
- ▲兒玉國務相を文相臨時代理.....七
- ▲官廳事項.....七
- ▲【外交】.....七
- ▲【軍事】.....七
- ▲東北、東海軍管區を新設.....七
- ▲感狀行賞.....七
- ▲貴衆兩院.....七
- ▲衆議院.....七
- ▲翼賛政治會.....七
- ▲新黨結成に邁進.....七
- ▲大政翼賛會.....七
- ▲翼賛壯年團.....七
- ▲大日本産業報國會.....七
- ▲外地・地方.....七
- ▲地方.....七

第八十六帝國議會

- 【三相演説】.....五
- ▲貴族院.....五
- ▲本會議.....五
- ▲豫算總會.....五
- ▲委員會議.....五
- ▲本會議.....五
- ▲豫算總會.....五
- ▲委員會議.....五
- ▲【議事要録】.....五
- 經濟.....五
- ▲軍需充足會社令公布.....五
- ▲財政・金融.....五
- ▲廿年度の國家資金計畫.....五
- ▲財政.....五
- ▲明年度追加豫算.....五
- ▲臨軍費八百五十億.....五
- ▲増稅案並に稅制改正案要綱.....五
- ▲金融.....五
- ▲工・礦業.....五
- ▲科學會議會答申.....五
- ▲農林.....五
- ▲諸類増產對策要綱決定.....五
- ▲勞務.....五
- ▲國民勤勞動員三要綱決定.....五
- ▲配給.....五
- ▲戰時物價審議會設置.....五
- ▲運輸・交通.....五
- ▲國鐵旅客運賃引上.....五
- ▲郵便料金引上.....五
- 文化.....五
- ▲官廷錄事.....五
- ▲一級學術.....五
- ▲大學.....五
- ▲計.....五
- 大東亞.....五

國民政府

- ▲政治・軍事.....六
- ▲財政・經濟.....六
- ▲香港.....六
- ▲北滿.....六
- ▲蒙疆.....六
- 滿洲國.....六
- ▲政治.....六
- ▲經濟.....六
- 重慶政權.....六
- ▲政治・軍事.....六
- ▲財政・經濟.....六
- ▲社會・文化.....六
- 南方諸國.....六
- ▲軍政諸地域.....六
- ▲佛印.....六
- ▲印度.....六
- ▲比島.....六
- ▲自由印度假政府.....六
- ▲印度.....六
- ▲【ニュージブラント】.....六
- ▲歐洲.....六

世界情勢

- 歐洲.....六
- ▲政治・外交.....六
- ▲軍事.....六
- ▲財政・經濟.....六
- ▲イタリヤ.....六
- ▲エマヌエル三世重應.....六
- ▲フランス.....六
- ▲D・ゴール外交方針.....六
- ▲スペイン.....六
- ▲イタリヤ經済に釋放.....六
- 北歐諸國.....六
- 米.....六
- ▲政治・外交.....六
- ▲軍事.....六
- ▲一般.....六
- ▲【フィンランド】.....六
- ▲【アイスランド】.....六
- ▲【ルソソ聯邦】.....六
- ▲【バルカン諸國】.....六
- ▲【ギリシヤ】.....六
- ▲【ルーマニア】.....六
- ▲【ブルガリア】.....六
- ▲【アルバニア】.....六
- ▲【トルコ】.....六
- ▲【イラク】.....六
- ▲【アフリカ】.....六
- ▲【エチオピア】.....六
- ▲【三國會談】.....六
- ▲【米英會談】.....六
- ▲【一般】.....六
- ▲【亡命政權】.....六
- ▲【ポーランド】.....六
- ▲【ユーゴスラヴィア】.....六
- ▲【チェコスロヴァキア】.....六
- ▲【ハンガリー】.....六
- ▲【イタリヤ】.....六
- ▲【イギリス】.....六
- ▲【政治・外交】.....六
- ▲【軍事】.....六
- ▲【一般】.....六
- ▲【カナダ】.....六
- ▲【脱走兵ノ探索開始】.....六
- ▲【アメリカ】.....六
- ▲【政治・外交】.....六
- ▲【軍事】.....六
- ▲【經濟】.....六
- ▲【中南米諸國】.....六
- ▲【パナマ】.....六
- ▲【グアテマラ】.....六
- ▲【サルバドル】.....六
- ▲【パラグワイ】.....六
- ▲【ボリヴェイア】.....六
- ▲【ブラジル】.....六
- ▲【アルゼンチン】.....六
- ▲【チリ】.....六

年十二和昭

月一

日一十三至

月 間 大 觀

一録記外内るよに電要同

月間大觀
重要日誌
世界戰況
國內要事
大東亞
世界情勢

月 間 大 觀

敵ルソン島に上陸

舊臘レイテ島からミンドロ島へ侵出、比島決戦強要の機を窺いつつあつた敵アメリカは、一月四日機動部隊を以て再び臺灣、沖繩を空襲するとのみや、果然リンガエン灣に侵入、同九日ルソン島上陸を強行し、次いでルソン平野の南下突破を企てると共に、月末には更にバタアン半島スピック灣、南部ルソン島ナグブに新兵力を揚陸してマニラ攻略に躍氣となつてゐる。比島戦線における天王山はレイテ島からフィリピン全域に擴大したのだ。戦局はたゞ重大化の一途を辿る。何故か、それは端的に言へば航空兵力の不足によることである。何故か、それは戦史に絶する神風特攻隊の相次ぐ猛攻にも拘らず、精強皇軍を配した堅壘フィリピン群島の形成する内海ミランダオ海、スールー海に敵船團の遊戈を許し、また敵上陸後のルソン島作戦に死中活を求むる底の苛烈なる戦闘を展開せざるを得なかつた所以がある。

同様のことはビルマ戦線についても言へるであらう。この方面においても東南アジアを窺ふ敵イギリスは比島侵攻に呼應して一月四日スマトラ島に機動部隊を以て牽制攻撃を加へ、更に八日にはビルマ戦線アキヤブ方面に上陸作戦を展開、北緬方面よりする米、英、重慶の南下作戦と相俟つて逐次壓迫を強化しつつある。

かくて戦局打開の鍵は依然航空機の増産補給にかゝつてゐる譯だ。

再開議會と決勝施策

この戦局を目前にして再開された第八十六帝國議會は、戰爭目的達成に全力を傾倒したが、しかし、何かなほ未だしの感が残るのを禁じえないのはどうであらうか。決勝施策についても「戦局の推移に鑑みて」といふ言葉がしばしば用ひられたが、戦局の動きは急である。それはともすれば戦局を迫り、戦局に迫らば戦局は急である。既に幾度か経験済みである。勿論戦局に一步先んじるといふことは容易な業ではない。しかし、如何なる急湍、激流にも自らなる流れがある如く、大勢の赴くところ必ずしも豫測に難くない筈である。

それは免も角、小磯内閣は年頭強力政治具現の五大施策を決定し、それによつて先づ地方行政協議會と軍の緊密なる聯繫の下に防衛と行政を吻合調整し、また國民勤勞動員の新方式を策定した。當面の戦費としては臨時軍事費追加八百五十億圓を決定、廿六日の議會で協賛を得た。本年度豫算はこれより先編成された一般、特別兩會計二百六十五億圓と合して豫算純計は千億圓を突破するに至つた。この政府資金放出に伴つて二十年度貯蓄目標は六百億圓と決定した。なほ財源充足と、通貨膨脹抑制の一助とするため平年度十八億圓の

増稅案が提出され、鐵道運賃、郵便料金及び煙草の値上げがそれぞれ決定した。

食糧對策も戦局の急迫につれ、いよいよ重大となり、本土自給の達成は今や至上命令となつた。新に決定した種類三十六億圓大増産運動は本年度食糧戦線の運命を決するものとして是が非でも完遂せねばならぬもの。而もこの計畫數量には戦局打開の鍵を握る航空機燃料の確保が織込まれてゐることを忘れてはならぬ。一方直接戦力源となる軍需生産の圓滑を期するためには軍需金融特別措置法、軍需充足會社等が實施された。

久しに續つてゐた翼賛政治會改組問題は二十七日政府翼政間の折衝で交渉妥結、政府は新黨結成に協力することとなつたが、決戦下に相應しい強力政黨を待望する國民の期待を裏切らぬことを祈つてやまない。

赤軍遂に動く

西部戦線における獨軍のルンドシュネテット攻勢は作戦開始以來ほど一ヶ月、大體所期の目的を達して一月半一應鋒を収めた様子である。戦線がこの一正面に止るならば獨軍は勢に乘じて豫備軍の不足に悩む反樞軸軍を窮地に陥れずんばやまずといふところであらうが三正面作戦を展開、壓倒的に優勢な敵軍に寡兵出撃せざるを得ない立場にあるドイツとして西部戦線の危機を一應抑へて満足せざるを得なかつたのもまたやむを得ないところといふべし。折しもあれ西日を期して八十箇師の兵力を投入全線に亘つて本格的冬季攻勢を開始し、忽ちワルソワ、クラカウを奪取してシレジア、東プロシヤの獨領に迫るに至つた。ドイツ側としても赤軍の冬季攻勢は既に豫期してゐたことであらうが、レントシュネテット攻勢の効果は明かに東部戦線における獨軍の防戦に寄與するところ大なりといはねばならぬ。

ドイツの健闘が反樞軸軍の作戦を攪亂しつつあることは敵側の告白によつても推測に難くないがこれが爲に惹起された豫想外に多量に上る武器彈藥の消耗は、反樞軸側の兵器廠を以て任する米國を狼狽せしめ、軍需生産の平時生産への轉換を抑制させるに至つてゐるが、ルーズヴェルト大統領は年初の議會致書において重ねてこれを強調

「前線兵士の欲するものは、戦後の記念碑ではなくて、現在の積極的支援である」と軍需生産の急速増強と國民徵用法の即時實施の二點を力説してゐる。物量の限界と人的資源の枯渇こそは米國の恐るべき夢魔であり、それを現實のものとして敵米英を打倒し去るものは偏へに我等一億の決死敢闘にかゝるのである。

31(水)	30(火)	29(月)	28(日)	27(土)	26(金)	25(木)	24(水)	23(火)	22(月)	21(日)
<p>△陸軍關係第廿六回論功行賞</p>	<p>△翼政總務會新黨樹立政府案承認△諸類増産對策要綱決定</p>		<p>△臨時軍事費追加豫算成立</p>	<p>△翼壯本部長に館林三喜男氏就任</p>	<p>△二宮文相病氣の爲兒玉國務相文相臨時代理被仰付△臨時軍事費追加豫算閣議決定</p>	<p>△地下建設本部創設△大日本教化報國會設立</p>	<p>△東北、東海軍管區新設公布(二月十一日實施)△廿年度並に十九年度追加豫算閣議決定</p>	<p>△軍需充足會社令閣議決定(二十七日公布)△柳川平助中將逝去</p>	<p>△宮中歌御會始の御儀△衆議院豫算總會開會</p>	<p>△第八十六帝國議會再開△戰時統制法令整備決定</p>
<p>△敵ナスグブに上陸△赤軍オデル河岸に到達△反糧軸軍アルサス南部で進出</p>	<p>△敵スピツク灣附近に上陸△赤軍オブラ河を渡る、一部シヨトルゼンベルグ占領ベルリン迄百二十料</p>	<p>▲敵載機機百三十バレンバンに來襲△赤軍獨國境突破ベルリン迄五十料</p>	<p>▲遂川飛行場占領△赤軍シユタイナウ突入</p>	<p>▲B29約七十機帝都に來襲、撃墜破二十二機▲南部、粵漢線、打通、皇岡山で南北兩軍握手▲赤軍ネツツ河、フロンベル運河渡河進出△赤軍ケニーニヒベルグ突入</p>	<p>▲獨軍アルサス北部で進出△赤軍北部シレヅニアに進出△赤軍マリエンブルグ、エルビシヅニアに突入</p>	<p>▲赤軍バルト海岸へ到達△赤軍ナレスラウに迫る</p>	<p>▲艦載機約百二十バレンバンに來襲△赤軍オデル河渡河、オベルン占領△米軍ウイフアリズ、東方に進出△獨軍モデル河渡河</p>	<p>▲B29七十機名古屋地區に來襲、撃墜破六十機▲赤軍マコエ地區に進出△獨軍インシュテルブルグ喪失</p>	<p>▲敵上陸以來十九日迄ノ戰果發表、人員殺傷六千名以上△敵機五百五十機沖繩に來襲△赤軍ヤレンシユタイン突入△獨軍ウイフアリズ方面撤退△英軍マエヤイク獨軍南方に進出</p>	<p>▲神風特攻隊臺灣で出撃△敵機四百五十機沖繩ニ來襲△敵ラムレ島に上陸△赤軍シレヅヤニ突入△赤軍ロミテン荒區南方に進出△獨軍アルサス方面で進出</p>
<p>△英濠航空路開設延期發表</p>	<p>△濠洲新總督就任式(キヤンペラ)</p>	<p>△滿洲酪農中央會創立總會</p>	<p>△蒙古政府明年度豫算決定</p>	<p>△滿洲國省長會議開催△大東亞青年聯盟ビルマ支部總會開催</p>	<p>△タイ國勞務戰三周年紀念日、首相祝電交換△セレベス勞務關係官會同△バリックバパンに青果物供出報奨制實施</p>	<p>△上海日本經濟會議所物價委員會開催△延安代表周思來重慶に來る△在緬インド人民衆大會(ラングーン)ボリス首班總蹶起號令</p>	<p>△香港敵性銀行保護開放△バー・モウ、ビルマ國家代表、英青書を反駁</p>	<p>△蒙古政府經理資金兩統制會公布</p>	<p>△波假政府首相モスクワ訪問△ソ佛勞働組合委員、英政府に提出△波亡命政權ソ波紛争警書を英マンチエスタター瓦斯會社罷業開始</p>	<p>△ビハリ・ボリス氏逝去</p>
		<p>△ソ聯勞働代表著英</p>		<p>△獨總統、諾首相と會見△アイスランド米に飛行場貸與議會で承認△ブルガリア舊政府要人に死刑求刑</p>	<p>△米大統領特使ホプキンス、退英、パリに赴く△英首相、外相と會見英國王に拜謁の後△米上院商業委員會ウオレス任命を否決</p>	<p>△獨、露解放委員會に信用供與決定發表△ゴイル外交方針發表△ス議長英議員團と會見△E.A.M.團との和平交渉開始△米加航空會談開催</p>	<p>△米大統領特使ホプキンス、退英、パリに赴く△英首相、外相と會見英國王に拜謁の後△米上院商業委員會ウオレス任命を否決</p>	<p>△エジプト國王南阿訪問△米兩院秘密會で戰況報告</p>	<p>△グアテマラ、スペインと斷交</p>	<p>△米大統領特使ホプキンス、退英、パリに赴く△英首相、外相と會見英國王に拜謁の後△米上院商業委員會ウオレス任命を否決</p>

世界戦況

大東亞戦争

比島決戦深刻化

ルソン島に敵強行上陸

〔比島方面の項参照〕

神風特攻隊金剛隊出撃

〔海上戦線、中部太平洋の項参照〕

大本營發表(昭和二十年一月四日十五時)

一、神風特別攻撃隊は一月三日朝

「ミランダナオ」海に於て敵輸送船團を攻撃し大型輸送船二隻を撃沈、驅逐艦一隻を撃破せり

二、我航空部隊は一月三日未明「サイパン」島の敵飛行場を攻撃し數箇所を爆破炎上せしめたり

三、我航空部隊は一月一日並に同日の兩日に亘りサンホセ、タクロバン及ドラッグの敵飛行場を連爆し十三箇所を炎上せしめ二箇所に大爆発を生ぜしめたり

特別攻撃隊、航空部隊の戦闘經過は左の如し

一、神風特別攻撃隊金剛隊は三日午前七時半頃ミランダナオ海の敵輸送

特攻隊空母等三隻轟沈

〔海上戦線印度洋の項参照〕

大本營發表(昭和二十年一月五日十六時三十分)

一、一月四日早朝敵輸送船團「ミンドロ」島サンホセ灣に又同日午後敵機動部隊はバナイ島西方海面に進

入せり、我特別攻撃隊の一誠飛行隊の三機は戦闘機掩護の下に一月

四日夕右敵機動部隊に突入し航空母艦一隻及戰艦若くは巡洋艦二隻を轟沈せり、我掩護戦闘機一機自

爆二機未だ歸還せず

二、我航空部隊は引續きサンホセ及レイテ島の敵飛行場を攻撃中にし

て一月二日夜より同日拂曉迄に収めたる戦果次の如し

サンホセ炎上十七箇所、爆發二箇所、レイテ島炎上十一箇所、爆發二箇所

我方八機未だ歸還せず

三、一月四日午前敵機動部隊スマトラ島西北海面に現出し其の艦載機

約八十機、スマトラ島北部に來襲せり、同日夕迄に判明せる右邊艦

戰果擊墜二十六機にして我方の損害は極めて輕微なり

戰闘經過【五日】四日大本營發表の如く輸送船約三十隻を基幹とする敵

船團は「ミランダナオ」海に侵入し、三日朝七時半頃「ミランダナオ」海

においてわが神風特攻隊の猛襲をうけ、大型輸送船二隻撃沈、驅逐艦一

隻撃破の損害を受けつつも強行にわが遊撃隊を突破して四日拂曉サンホ

セ灣に入つた、また同船團を掩護し

つつ續航してゐた空母四隻を基幹し

する敵機動部隊は四日午後「ミンドロ」島南方のバナイ島西方海面に侵入し

て來たが、わが陸軍特攻隊一誠飛行隊の三機は一機克く一艦を屠り空母

一隻、戰艦若くは巡洋艦二隻を轟沈し、掩護戦闘機もまたこの戦闘に

ついて一機自爆二機未だ歸還の犠牲を出した、わが航空部隊及び特攻飛行

隊は引續きこの敵船團並に機動部隊に對して猛攻を續行中である

わが比島方面航空部隊は強引にわが布陣の内懷に突進を續ける敵船團機

動部隊に對する攻撃に獅子奮迅すると共に「ミンドロ」及びレイテの敵地上

基地に對し連日連夜強襲を加へ、敵陸上機の推進展開を徹底的に妨害拘

束してゐる、即ち元旦及び二日のサンホセ、ドラッグ飛行場攻撃に引續

きわが航空部隊は二日夜から四日拂曉にかけて「ミンドロ」、レイテ兩島に

對し連續的攻撃作戦を行ひ、五日大本營發表の如く「ミンドロ」島サンホセ

では炎上十七箇所、爆發二箇所、レイテ島ではタクロバン飛行場炎上十

箇所、爆發二箇所、ドラッグ飛行場炎上一箇所所の痛打を與へたが、わが方

もまた八機未だ歸還の犠牲を拂つた、わが空陸一體の敵飛行場攻撃にも

拘らず現在レイテ及び「ミンドロ」に推し込められた敵陸上機はレイテ島三百機内

外、「ミンドロ」島には小型機を主とする五十乃至六十機が蠢動してゐる、

敵輸送船團ルソン島西方海面に現出

大本營發表(昭和二十年一月六日十六時)

一、我特別攻撃隊進襲飛行隊の三機は一月四日夕「ミンドロ」島サンホセ

附近に於て揚陸準備中の敵輸送船團に突入し輸送船一隻を撃沈、輸

送船及大型油槽船各一隻を大破炎上せしめたり

二、別に敵輸送船團は機動部隊掩護の下に一月五日タルソン島西方海

面に現出せり、我特別攻撃隊一誠飛行隊の四機は直ちに之に突入し

航空母艦二隻、戰艦一隻を轟沈せり

戰闘經過【六日】敵米は一月三、四日には第卅八機動部隊を主力とする

優勢なる空母群を以て臺灣、沖縄に來襲わが比島に對する補給線遮斷、

就中航空機の補給を妨害するの舉に出たが、これに併行してルソン島

上陸の野望を露呈し、比島近海における敵機動部隊、輸送船團の行動は

いよいよ活潑を極め、四日には輸送船團一群と特攻母十隻を基幹とする

機動部隊とが相前後して「ミランダナオ」海、スール海を突破して「ミンドロ

」島サンホセ灣及びバナイ島近海に侵入、更に五日わが航空偵察の結果に

よれば、ネグロス島南方海面を西進する有方なる輸送船団が認められたが、これら敵艦群とは別に有力なる機動部隊に掩護された輸送船団は五日夕ルン島西岸リンガエン灣海域に現出し、約百隻の上陸用舟艇を遊戈せしめ、ルン島への上陸の機を窺つてゐる、これら比島近海に相次いで現出した数群の機動部隊並に輸送船団に對してはわが陸海軍の特別攻撃飛行隊が連日若き盡忠の義勇を愛機に託し必死必中の體當り攻撃を加へてゐる、即ち四日にはバナイ島近海に侵入した敵機動部隊に對し陸軍特攻隊一誠飛行隊の三機が突入し空母一隻、戰艦若しくは巡洋艦二隻に命中してこれを轟沈したが、續いて同日夕サンホセ灣に侵入した敵輸送船団に對し進襲飛行隊の三機が突入して輸送船一隻轟沈、輸送船及び大油槽船各一隻を大破沈せしめてゐる、五日拂曉わが偵察機の確認したところによれば、大破炎上の二隻は依然業火につままれて炎上してゐた、また五日リンガエン灣海域に現出した敵機動部隊に對しては、一誠飛行隊の四機が急襲突入して敵空母二隻、戰艦一隻を轟沈する痛打を與へてゐる

敵艦船リンガエン灣侵入

大本營發表 (昭和二十年一月十七日七時十分)

一、機動部隊掩護の下にルン島西方海面に現出せる敵艦船は一月六日朝リンガエン灣に進入し同灣沿岸に對し艦砲射撃を實施中なり

二、別に同日午後ミンドロ島南方及びミンダナオ海を有力なる敵輸送船團西進中なり

三、我航空部隊は一月三日以降右の敵艦船を連續攻撃中にして同日夕迄に判明せる戦果次の如し(既發表のものを含む)

轟沈 航空母艦三隻、戰艦一隻、戰艦若しくは巡洋艦一隻、巡洋艦一隻

擊破 航空母艦三隻、航空母艦若しくは巡洋艦二隻、艦種不詳大型艦一隻

戰艦經過【七日】五日夕刻ルン島西岸リンガエン灣海域に現出した大海上陸用舟艇七、八十隻を基幹とし特設空母十隻内外に掩護された敵艦群は六日朝來リンガエン灣内に侵入し來り午前十一時過ぎより灣岸に對し艦砲射撃を開始した、敵の艦砲射撃の重點は同灣東北岸のサンフエルナンドに向つて指向され、敵は露骨に上陸の企圖を示してゐる、我が同方面航空部隊は五日薄暮の特別攻撃隊一誠飛行隊の猛襲に引續き、この敵艦群に對し連續猛攻を加へつゝあり六日朝來同灣内には多數の敵艦船が炎々として紅蓮の業火に焼かれてゐる、大本營發表の第三項に見る戦果は六日夕刻までに確實に判明したもので同灣内の遊撃戦果は今後續々累加される見込である、現にリンガエン灣に侵入中の敵兵力は敵艦船の編成よりみて約一ヶ師團内外と判断される、また後續船團の内ミンドロ島南方航行中のものは大中小輸送船約百五十隻よりなる相當有力なものでありミンダナオ海西進中の船團はこれよりやや弱少な一群である、これに對し我が航空部隊は果敢な攻撃を加へつつあるが、六日正午過ぎにはミンドロ島西方海面で敵機動部隊を捕捉、空母三隻を攻撃大傾斜するのを確認したが、爾後沈没

せること概ね確實である、また神風特別攻撃隊金剛隊は六日午後七時過ぎネグロス島南方海面で戦艦または大型巡洋艦、驅逐艦に護衛された約二十五隻の敵輸送船団を捕捉攻撃、中型輸送船一隻に一機命中これを撃沈戦艦または大型巡洋艦一隻に大火災を起さしめて撃破した

九日朝敵上陸開始

大本營發表 (昭和二十年一月十日十五時三十分)

一、一月六日朝來リンガエン灣内に進入同灣沿岸に對し艦砲射撃を實施中なりし敵は一月九日九時四十分頃サンフアピアン及リンガエン附近に上陸を開始せり

二、所在の我地上部隊は之を激撃中にして我航空部隊亦敵艦船に對し必死必沈の猛攻を加へつつあり

戰艦經過【十日】六日朝來リンガエン灣内に侵入した大型上陸用舟艇を基幹とした敵の侵襲船団並に護衛艦艇は六、七、八の三日間に亘つて同灣沿岸のわが布陣に對して間斷なく熾烈な艦砲射撃を加へると共に灣外遊弋中の敵機動部隊またその艦載機を以て我が灣岸陣地にマニラ地區に對し爆撃を反覆する一方ルン島東方海面にあつた敵機動部隊は九日北上して再び臺灣に來襲わが比島に對する補給就中飛行機の輸送を遮断するの策に出るなど上陸作戦の準備手段に狂奔してゐたが九日午前九時四十分頃より約一ヶ師團程度の敵は遂にリンガエン灣南岸に上陸を開始するに至つた、敵の上陸地點一帶の灣岸に鐵砲の遊撃態勢を布き満を持して待機してゐたわが精銳部隊は上陸

軍を遊へて憤怒を爆發、砲銃口は一齊に火を吹き寄せける敵上陸用舟艇を相ついで撃破しサンフアピアン、リンガエン灣沿岸の渚を醜麗の鮮血に染めたがその後敵の一部は沿岸に辿りつきわが地上部隊との間に凄絶な水際戦が展開されてゐる、わが航空部隊また數日來の勇戦力團に引續き敵が上陸を開始するや愈々全機特攻隊となつて出撃、灣内外の敵艦船群に對し必死必沈の猛攻を加へてをり、偵察機すらも爆撃を施し盡忠の火彈となつて突進灣内外の敵艦船に與へつつある損害は激甚の量に上ること確實である、然し偵察機が征討するに足らぬため具體的な戦果を確認することは出来ないが敵が六日リンガエン灣内に侵入以來日を閲すること既に三日敢へて上陸作戦を發動し得なかつたのはわが航空部隊の鐵火の猛攻とわが地上部隊の凜然威嚇たる布陣の前に畏怖した結果にはかならない、現に八日リンガエン灣内に來着した輸送船百五十隻内外より成る敵の第二梯團はわが航空部隊の火彈の嵐に晒され倉皇としてルン島西方海上に退避し、またこれに續き第三梯團も輸送船百乃至百五十隻に加へ相當數の護衛艦艇を擁しながら神鷲の攻撃に畏怖して依然ミンドロ島海域を遊弋ルン島西方海面への進出を躊躇してゐる實情である、また六日以來ルン島西方海域に遊弋中の特設空母十隻内外を基幹とする敵機動部隊はわが航空部隊の猛攻に對抗すべく更に特設空母五、六隻を糾合し現在總數十五、六隻の空母群を擁して上陸作戦掩護に必死となつてゐる、わが航空部隊の猛攻によつて擧げられた具體的战果は確認されないがリンガエン灣内並にルン

上陸敵軍は歩兵二ヶ師戰車一ヶ師内外

大本營發表 (昭和二十年一月十二日十五時三十分)

一、リンガエン灣沿岸に上陸せる敵は歩兵二ヶ師團戰車一ヶ師團内外にしてサンフアピアン正面に於て若干進出せる外海岸附近に於て態勢を整へつつ更に兵力の増強を企圖しあり我地上部隊は之を遊撃戰取中なり

我航空部隊亦引續きリンガエン灣附近の敵艦船を猛攻中にして一月九、十の兩日收めたる戦果中確認し得たるもの次の如し

轟沈 輸送船一隻、巡洋艦二隻
擊破 輸送船二隻、航空母艦一隻、巡洋艦一隻、巡洋艦若しくは驅逐艦二隻

大破炎上 輸送船七隻、航空母艦一隻、航空母艦若しくは戰艦二隻、戰艦一隻、巡洋艦二隻

戰艦經過【十二日】九日朝リンガエン灣南岸のサンフアピアン、ダグバシ、リンガエンを結ぶ地區に上陸強行し來つた敵米兵はわが空地の猛攻を冒しつつ九、十兩日引續き兵員資材の揚陸を行ひ現在同正面に上陸し來つた敵兵力は歩兵二ヶ師團内外、戰車約十輛を有する戰車一ヶ師團内外の模様で目下のところ海岸一帯に橋頭堡を設定すべく躍起の努力を拂ひつつあり、サンフアピアン正面にお

いて戦車を主とする一部隊が若干進出してゐるほか未だ全體的にはさしたる進出をみせてゐない、殊にリンガエン正面においては敵上陸地點一帯が悪質の濕地帯であり、敵の作戦行動を相當拘束してゐる模様である、敵はこの先頭上陸部隊に引續き更に兵力の増強を企圖し乃至二ヶ師團を擁する第三梯團がリンガエン灣内にわつて續航しつつある模様である、わが地上統帥部隊はこれら敵上陸軍を逐へて勇戦敢闘を續けつつあり、またわが航空部隊は富嶽、神風陸海特攻隊をはじめ荒鷲全機が特攻隊となつて連日出動、殊にリガエン灣内の敵艦船に猛攻を加へつつあり、わが航空部隊の大多數は征き遣らず戦果の多くは確認されな

ダモルテスにも上陸

大本營發表(昭和二十年一月十五日十六時三十分)
リンガエン灣方面其の後の戦況次の如し
一、敵は海岸附近より逐次パンガシナン平地兩側山地帯我陣地前に近接中なり
二、別に一部の敵は一月十一日サンフアビアン北方ダモルテス附近に上陸せり、我地上部隊は之を邀撃中に於て敵に與へたる損害次の如し
上陸用舟艇撃沈破十四隻以上、人員殺傷約一千名
三、我航空部隊は引續き敵艦船を攻撃中にして特に一月十二日の攻撃戦果中確認し得たるもの次の如し
輸送船 撃沈七隻、大破炎上四隻
驅逐艦 撃破一隻
我方の損害 特別攻撃飛行隊十七機他に未歸還二機
四、我潜水艦亦一月十二日ルソン島西方海面に於て敵艦一隻を撃沈せり
戦闘經過(十五日)九日リンガエン灣岸に上陸した敵は我が空地の猛撃に多大の出血を蒙りながらもサンフアビアン、ダグパン、リンガエンを結ぶ灣の南岸地區に橋頭堡の設定に躍起の努力を拂ひ、その後逐次態勢を整と漸く運動戦に移り、アグノ河流域のパンガシナン平地兩側山地に布陣する我が陣地に向つて近接中に於て敵上陸以來一週日に亘つて彼我の尖端部隊を以て戦はれて來た、ルソンの戦闘は、ここに激烈な本格的

挺進部隊サンフアビアンに突入

地には戦雲の躍動一段と激しいものがある、南岸地區の敵主力が機動戦に入るに先立ち敵は去る十日サンフアビアン北方十五軒のラボン地區に別働部隊を揚陸せしめんと圖り我が所在部隊の猛反撃に遭ひ失敗したが翌十一日正午頃敵の上陸用舟艇三隻より成る第一群がラボン地區の北方ダモルテス附近に近接し來るや、その一隻を撃沈二隻を擱坐せしめ更に肉薄斬込により擱坐舟艇に乗つてゐた敵兵三百を殲滅し去つた、敵は更に後續舟艇群を繰出して來襲したが我が部隊はその十一隻以上を顛覆または炎上せしめ更に挺身斬込によつて重砲一門を破壊しかくして十一、十二日兩日ダモルテス附近において敵兵員に與へたる損害は殺傷一千名以上に達しダモルテスに上陸し來つた敵兵力約一ヶ聯隊は既にその三分の一の兵力を失つた譯である、また航空部隊も引續き全機特攻隊となつて出撃、敵艦船に大打撃を與へてゐるが、特に十二日には特攻隊を陣頭にリンガエン灣内の敵艦船及びルソン島西方海面航行中の敵輸送船團に對し數次に亘つて必死の猛攻撃を加へ、確認し得た戦果のみにも輸送船撃沈十一隻、驅逐艦撃破一隻を記録してゐる、この攻撃において我が特別攻撃飛行隊の十七機のほか直掩戦闘機二機未歸還の尊い犠牲を出した、更に我が〇〇潜水艦は十二日特設空母を含む敵艦船群をルソン島西方海面に出現するや午後六時頃これを捕捉し、敵の嚴重な警戒網を突破して肉薄し、七時頃敵艦沈に魚雷を命中せしめ見事これを撃沈するの殊勳を樹てた

大本營發表(昭和二十年一月十九日十五時)
リンガエン灣方面其の後の戦況次の如し
一、リンガエン及ダグパン方面の敵は概ねアグノ河の線に、サンフアビアン方面の敵は海岸より概ね四軒の線に進出其の一部は我第一線陣地に侵入し來り戦闘逐次激化しつつあり
二、我有力なる挺進部隊は一月十六日夜サンフアビアン附近の敵中に突入大なる戦果を收めたり、右挺進部隊の斬込に依り同方面に活動中なりし敵砲兵は十八日朝に至るも射撃を開始せず
戦闘經過(十九日)リンガエン灣南岸の米兵はリンガエン、ダグパン正面に於ては海岸附近でわが精銳部隊の猛反撃に遭ひ多大の犠牲を出しつつも逐次わが抵抗を排し、現在概ねリンガエン南方十キロ、ダグパン南方二十五キロを結ぶアグノ河の線に進出し、一部は渡河してアグノ河の南岸に進出してゐる、またサンフアビアン正面に於ては逐次橋頭堡を擴大し、現在海岸線から概ね四キロの線に進出高さ百米乃至二百米の波状高地帯を利用して構築したわが第一線陣地に對峙し一部の敵はわが第一線陣地内に若干の侵入を遂げ、この方框に於ける彼我の戦闘は逐次激化しつつある、滿を持して放たざる主力部隊と共にわが独自の挺進部隊は敵上陸以來、連日連夜愛刀を携へ破甲爆雷を抱いて敵陣地深く潛入縱横無盡の奮戦によつて敵陣營を震撼さ

せてゐるが、就中十六日夜にはわが有力なる挺進部隊數組がサンフアビアン、アラカン(サンフアビアン東方六キロ)ラボネイ(サンフアビアン東南七キロ)なども敵陣地に壯烈な斬込をかけ大なる戦果を收めた、即ち佐藤中尉の指揮する斬込部隊は十六日の夜暗に乗じてアラカンの敵陣地に突入して戦車八輛、自走砲四十六門、サイドカー八輛を爆破、更に附近に集積してあつた長さ一キロに及ぶ糧秣彈藥の山を爆破これを灰燼に歸せしめたが、佐藤中尉は大膽にも更に單身サンフアビアン東方六キロのビンデイの敵陣に突進し敵の幹部幕舎三つに手榴弾を投じて炎上せしめ、十七日朝悠々味方陣地に歸還した、また浦上少尉を長とする斬込部隊は十六日夜ラボネイの敵陣地に敵り込み多數の敵兵を殺戮した上重機四、輕機三、自動小銃一、小銃及び機關銃彈約二千發を鹵獲して歸還した、その他サンフアビアン斬込の挺進隊も大成功を收め、十六日夜サンフアビアン陣地からは相ついで大爆發が起り、數ヶ所に亘つて炎々業火に燒かれてゐるが確認された、サンフアビアン、ラボネイ、アラカン一帯の敵砲兵陣地はわが挺進部隊によつて重大な打撃を蒙つたものの如く連日湯水の如く撃ち捲つてゐた敵砲兵も十六日夜以來十八日朝に至るも全然活動を停止してゐるといふ状況である、ま九サンフアビアン以北の地區に於てはわが精銳部隊の猛反撃によつて十七日現在迄に敵兵の殺傷一千六百名(挺進斬込及び砲火によるものを含まず)の人的損害を與へる外、重砲破壊一門舟艇撃沈十四隻その他重輕

いて戦車を主とする一部隊が若干進出してゐるほか未だ全體的にはさしたる進出をみせてゐない、殊にリンガエン正面においては敵上陸地點一帯が悪質の濕地帯であり、敵の作戦行動を相當拘束してゐる模様である、敵はこの先頭上陸部隊に引續き更に兵力の増強を企圖し乃至二ヶ師團を擁する第三梯團がリンガエン灣内にわつて續航しつつある模様である、わが地上統帥部隊はこれら敵上陸軍を逐へて勇戦敢闘を續けつつあり、またわが航空部隊は富嶽、神風陸海特攻隊をはじめ荒鷲全機が特攻隊となつて連日出動、殊にリガエン灣内の敵艦船に猛攻を加へつつあり、わが航空部隊の大多數は征き遣らず戦果の多くは確認されな

わが航空部隊の攻撃において確認されたもののみでも十二日大本營發表の如く轟撃沈輸送船三隻空母一隻、巡洋艦三隻、巡洋艦若しくは驅逐艦二隻の計九隻、大破炎上したるもの輸送船七隻、空母一隻、空母若しくは戦艦二隻、戦艦一隻、巡洋艦二隻の計十三隻にして合計二十二隻といふ損害を與へてをり、これ以外の未確認戦果を合すれば敵のリンガエン灣侵攻作戦は今ぞ多大の出血損耗を喫しつつあるのである、尙ほ其後現在迄に判明した戦闘經過次の如し
神風特攻隊全隊は九日正午頃リンガエン灣内に進入した敵艦船群を攻撃、戦艦一隻、巡洋艦若しくは驅逐艦二隻に突入、大火災を起さしめ、巡洋艦又は驅逐艦二隻を撃沈、戦艦一隻を撃破した、續いてわが航空部隊は十日夕刻リンガエン灣内に蝟集する敵般船群を襲ひ巡洋艦三隻を撃沈

機關銃小銃及び自動車などの兵器の
鹵獲破壊多数にのぼつてゐる
ボゾルビオ迂回の敵を破壊
大本營發表(昭和二十年一月二十二
日十五日時)

一、リンガエン灣沿岸に上陸せる敵
の主力は其の後ダモルテス附近より
カバラン山附近に亘る我第一線陣地
に對し攻撃を續行すると共に其の一
部は我第一二線陣地の中間ボゾ
ルの我部隊は勇戦克敵の攻撃を破
挫しつゝあり

二、敵上陸以來同方面陸上に於て我
方の收めたる戦果中一月十九日迄に
判明せる主なるもの次の如し
△人員殺傷 六千名以上、△鹵獲又
は破壊 火炮五十九門、戰車六十七
輛、其他車類 二十六輛、募合四十
二、其の他兵器彈藥糧秣等多數

戰闘經過【廿二日】戰車師團を含む
四ヶ師の敵地上部隊はダモルテス
ビンディイマナオアグカバラン山
の線に進出、我が痛烈な攻撃を受け
つゝも執拗な進出を企圖してゐる
が、これに對し我が第一線部隊は善
謀勇戰隨所に挺進斬込を敢行する等
その巧妙極る出血作戦は敵に甚大な
損害を與へてゐる、即ちマナオア
グ以北に於ては敵の攻撃は頓坐し、
敵は未だに海岸線四キロ附近に陣地
を構築しつゝある状況である、カバ
ラン山方面に於ても我が痛撃に敵の
進出は阻止されてをり、ために敵の
一部はマナオアグ附近の我が陣地の
間隙を縫つて十六日我が第一線陣地
と第二線陣地の中間ボゾルビオ附近
に迂迴侵入、更に北上して十八日に
はシンン附近に進出した、然し第一
線陣地及び第二線陣地に配備する我

が所在部隊の火炮陣は四周より敢然
猛火を集中して敵の攻撃を撃破し、
つひにシンンの敵はこの集中射撃に
甚大な損害を蒙つて退却し去つ
た、一方ボラン(ボゾルビオ東北
約四キロ)東側の陣地に攻撃して來
た敵に對しても大打撃を與へてこれ
を撃退し、この方面の敵の行動は屢
次に亘る我が猛攻に多大の出血を受
けてつひに消極化してをる、またビ
ンディイ西側の敵砲兵もわが挺進斬込
の出血作戦に對しその後殆んど活動
せず沈黙化の戦況を辿つてゐる、敵
上陸以來十九日に至る約十日間に
おいてこの方面の陸上で收めたる戦
果中判明した主なるものは發表の如
く實に赫々たるものであるが中にも
人員殺傷六千名以上に上る大損害は
わが至妙なる出血作戦の偉大なる成
功を雄辯に物語るものであり、また
鹵獲乃至破壊火炮五十九門のうち四
十數門は自走砲であるのを見ても
敵の近代裝備に對する打撃の程は想
像される、もとよりこの發表戦果中
にはリンガエン灣内で收めた敵艦船
百五十隻以上の損害の如きものは一
切含まず、これを合するときは更に
甚大なる打撃を與へてゐることは必
定である、これに反し我が方の損害
は現在までに多くとも一千名以下で
あるが敵六千の殺傷に比しその果敢
なる奇襲戦法の壓倒的成功が窺はれ
る

本營發表(昭和廿二年二月二日十七
時廿分)ルン島に於ける其の後の
戦況次の如し
一、リンガエン灣方面に上陸せる七
八箇師團の敵は其の主力を以て依然

パンガシナン平地東方山地帯の我陣
地を攻撃すると共に約二箇師を以て
逐次マニラ灣方面に南下し其の一部
は一月下旬クラーク地区の前面及サ
ンフェルナンド附近に進出せり、別
に一部の敵は一月廿日スピック灣附
近に上陸せり

二、パンガシナン平地東方地区の我
部隊は敵に大なる損害を與へたる後
一月下旬サンフアビアン附近よりカ
バラン山に亘る陣地を撤し爾後ダモ
ルテス附近よりロザリオ東方を経て
サンマルネル附近に亘る戦線に於て敵
の攻撃を撃破しつゝあり
又一月十六日以来カバラン山東北方
地区に侵入し來れる敵機甲部隊を邀
撃激戦中なりし我戰車部隊の一部は
一月廿七日夜サンマルネル附近の敵部
隊に對し果敢なる夜襲を執行之に大
なる損害を與へたり

三、リンガエン灣方面に上陸せる敵
に對し與へたる損害中現在迄に判明
せる主なるもの次の如し
人員殺傷 一萬一千二百名 破壊又
は鹵獲せる兵器 戰車百十四輛、各
種火炮七十一門
戰闘經過【二月二日】敵は上陸後數
日にして戰車一個師團を含む三乃至
四個師團を揚陸、その後逐次増強し
て今やその地上兵力は戰車部隊二個
師團を含む約七、八個師團に上つて
ゐる敵の主力は約三個師團をもつて
依然パンガシナン平地東方山地帯の
わが陣地の攻撃を續行、カバラン山
東南に約一個師、東方ならびに東北
地區に約一個師マニラ灣に對し約二
個師を配し、その一部は逐次南下し
一月下旬途にクラーク地區の前面に
二十八日にはマニラを距る約七十キ
ロ、パタン半島に通ずるサンフェ

ルナンドに侵入した、別に廿日一部
の敵は新にスピック灣附近(サン
ナルシソ南方地區および一部はスピ
ック灣内グラランダ島)にも上陸を開
始した、敵の放送に依れば新に上陸
せる敵は第八軍(第卅八師團)とレイ
テより移動せる第二十四師團)の一
部とみられる
一方サンフアビアン東方地區よりカ
バラン山方面の既設陣地により我部
隊は連日挺進斬込を敢行、敵艦を寒
からしめてゐるが、一月下旬にいた
り陣地を撤收新にダモルテス附近よ
りロザリオ東方を経てサンマルネル
(マナオアグ東方二十キロ)に至る
戦線によつて執拗な敵の攻撃を破挫
しつゝある、我戰車部隊の一部はカ
バラン山の東北地區に侵入せる敵に
對して二十七日大夜襲を敢行敵陣を
蹂躪したが、その戦闘に關し敵は
「二十七日夜日本軍と前後五時間に
亘る激闘を展開、日本軍は我陣地を
蹂躪し、所在の我部隊を以て敗戦感
を抱かしめた」と放送してゐる、か
くして我在比將兵の主として挺進斬
込みによる敵に與へたる損害は現在ま
でに判明せるだけでも兵員の殺傷約
一萬一千二百名即ち約一個師團に上
り、戰車百十四輛、各種火炮七十一
門を破壊若くは鹵獲し、なほ不明の
分を合するならば相當の數に上つて
ゐる、ともあれルン島攻防戦の重
大なる要素をなすものは彼我航空戦
力の比率である、敵の航空戦實體を
みるにルン島においても既にリン
ガエン、ダグバン、サンフアビアン
マナオアグに主として小型機二、三
百機を侵入した模様で、レイテ、ミ
ンドロ等の基地航空兵力を綜合する
とすでに一千機に達する空軍を直接

ルンン作戦に使用し得る態勢にあ
る

敵スピック灣に上陸

週間戦況

十二月卅日
十一月五日
△北千島 舊臘三十
日敵機の來襲を見た
ほかその後變化はな
い

△支那方面 地上戦闘に大なる變
化なし 航空戦闘にその後引續き途
川、老河口、安康等に進攻し大なる
戦果を收めてゐる

△本土方面 去る廿七日マリアナ基
地敵機の帝都附近來襲に際してはそ
の八割に當る四十一機撃墜破の痛
い損害を與へたが、その後少數機を
以て殆ど連日偵察並に神經戰を狙つ
て來襲してゐる、又三日午後約九十
機が主力を以て名古屋、一部を以て
大阪、濱松附近に來襲したが、この
來襲において敵は鬼畜の本性を現は
し市街地の盲爆を開始した、これに
對してわが航空部隊は一月二、三の
兩日未明サイパン島を強襲して甚大
な損害を與へた、又敵は本土の前衛
基地たる小笠原諸島の弱体化に躍起と
なつてをり一月五日早朝艦艇の大部
隊をもつてまたも父島、母島に對し
艦砲射撃を加へ、敵機の來襲状況は
夜間少數機をもつて多數回にわたり
執拗に反覆來襲してゐる

△南西諸島 臺灣方面においては敵
は比島に對する我が補給遮断を企圖
し有力な機動部隊を臺灣近海に出現
せしめ三日朝には艦載機を主として
約五百機更に四日には四百機を以て
臺灣各地及び沖繩地方に來襲した、
尙ほ五日以降は敵機の來襲なきも機

機

動部隊は依然臺灣東方海面を遊弋してゐる

△ビルマ方面 ○怒西方面 第十一

南遠征軍は目下暹中西北側及びマン

モン附近を第一線とし暹町を窺つて

敵が進出せるも大したことはない

北緬方面 一、二、三の三日間に延約

八十機を算してゐる

わが地上部隊はその後引續き果敢な

遊撃戦を展開してゐる

二十五以上、暮合四、對空陣地二、

爆彈集積所一を夫々爆碎するの戦果

を挙げた

ル島に於てはわが守備部隊は今なほ

冥兵を以て勇敢な遊撃戦を展開して

ゐる

△比島方面 レイテ島に於てはパロ

ムボンに上陸した敵は更に舟艇機動

によりパロムボン、サンシドロ中間

地区に上陸して來たが、わが所在部

隊はこれを遊撃、完全に撃退した、

マトラに艦載機約八十機を以て來襲

したが、我が果敢な遊撃に遭ひ大損

害を受けて脱去し、その後大なる動

きはない、とあれ比島をめぐり

戦局は愈々重大化の一途を辿つてゐ

る

△比島方面 リンガエン

灣に上陸強行中の敵兵力

は九日より十一日に至る

三日間敵第一梯團に引續

隊司令部がゲーム島に移轉したこと

を報じてゐるが、ゲーム島の重大性

は敵側が戦前から太平洋作戦上の據

點として重視したところであつてみ

れば同島が今後更に強化されるこ

とは必至である、父島、母島、硫黄

島に對する敵の來襲は依然として執

拗で、十日午後から深夜にかけて約

七時間硫黄島に對して二十回近くの

大型小數機が來襲してゐる、なほわ

が本土に對する空襲も比島戰の激化

とともマリヤナ、支那方面兩基地

からするB29の來襲はとも逐次頻

繁化するを免れず警戒せねばな

らぬ

△モロタイ島 わが地上部隊は引續

き果敢な遊撃戦を展開、敵陣を攪亂

するとともにわが航空部隊また地上

部隊の敢闘に呼應し猛攻を續行して

ゐる、昨年十一月四日から本年一月

十日に至る間地上、航空部隊によつ

て收めた戦果中確認したものののみで

炎上四百四十機以上、誘發四十四機

以上、飛行機炎上五百五十三機、撃

破百廿八機、合計二百八十一機、そ

の他物資集積所多數を爆碎してゐる

またペリリニ島においてはわが部

隊は依然勇戦敢闘を續けてゐるもの

の如く、連夜飛行場附近及び中央高

地附近で照明彈が打ち上げられ砲爆

撃が續いてゐる、モロタイ島、ペリ

ニ島等敵中繼基地に對しわが所在

部隊はかくの如く奮戦敢闘し敵基地

の機能を抱束してゐるにも拘はらず

その後レイテ、ミンドロ島に對する

敵陸上機の推進は逐次増加しレイテ

島約四百機、サンホセ約百機内外が

夫々進出してゐる

△ビルマ方面 ○怒西地区 暹町に

對して東方及び北方から敵雲南遠征

六日 十二日

十三日 十九日

△マリヤナ方面 マリ

アナ基地のB29は現在

百六十機内外を擁して

對する戰略爆撃を企圖し、十四日

名古屋附近に約六十機、十九日阪神

地方に約八十機をもつて來襲した又

硫黄島、父島、母島に對するB29小
數機による來襲は戦闘機を伴ひ極めて
執拗であり硫黄島の如きは連日二
十機内外の編隊をもつて執拗に來襲
機、またバガンには十七日約九
機、十八日約六十機の中型、小型機
が來襲した

△パラオ方面 敵のパラオ北部地區
の基地化とその使用は引續き活潑で
これを艦船の泊地、補給基地、大型
機の中繼基地等に利用してゐる、こ
れに伴ひヤップ島制壓を企圖する敵
機の來襲も極めて執拗で、十四日卅
五機、十五日十六機、十六日廿五機
十七日廿七機となつてをり、機種は
TBF、F4U等の小型機が主であ
る、これに對しベリリニュー島、アン
ガウル島においてはわが一部の勇士
は依然要地に據り頑強壯烈な奮戦を
續けてゐる模様である

△南西太平洋方面 十二日には佛印
方面に、十六日には香港、海南島、
臺灣方面に相當數の敵艦載機が來襲
したが、これは南支那海に敵機動部
隊が行動してゐることを物語るもの
である、またハルマヘラ島北部、セ
レベス島北部地區には、二十乃至三
十機の小型機が反復來襲した
△緬甸方面 〇怒西地區 〇暹町正面
に對しては重慶遠征軍七ヶ師が攻撃
し來り、その一部は暹町西方で龍川
江を渡河したが、わが部隊はこれに
猛攻を加へて撃退した、またナムカ
ンにも敵二ヶ師が來攻したが依然わ
が部隊は暹町、ナムカンを確保して
敵の攻撃をその都度撃退するの健闘
を續け、一月下旬には敵の遺棄死體
千五百四十一名、破壊戦車一、火砲
五の戦果をあげた、〇イラワヂ河東
岸地區 〇わが部隊にモンミット(マ

ンダレー東々北二百五十キロ)周邊
で敵重慶軍五十師と英軍第三十六
師の攻撃を破挫してゐる、〇イラワ
ヂ河西岸地區 〇シエウエボ(マン
ダレー西北約五十キロ)及びモニワ
(マンダレー西北約百キロ)の線にお
いて英印軍六ヶ師、機械化一ヶ師計
七ヶ師を遊撃してわが部隊はこの敵
の攻撃企圖を破挫しつつある、〇南
部印緬國境方面 〇わが軍撤退後のア
キヤブに對して敵は佛印軍第二十
五、二十六師を進出せしめたがその
後も兵力増強を企圖しつつあり、更
に十二日にはアキヤブ東方五十キ
ロのミエボンにも一部の敵が上陸し
た、同方面のわが部隊は目下この敵
と交戦中である、カラダン河上流の
西阿八十一師もまた逐次同河に沿
つて南下中である、〇航空作戦 〇わ
が緬甸方面の航空部隊はシエウエボ
附近の敵軍車輛部隊を捕捉、これ
を痛撃して大なる戦果を収めると
もにアキヤブに對して海上より補給
増強を企圖する敵の艦船及び上陸地
點を九日以降連續攻撃して大本營發
表の如く赫々の戦果を擧げてゐる

廿日 〇北方方面 峴庭島に二
十一日、二十四日それぞれ
廿六日 〇在部隊はこれを遊撃して
二十四日一機撃墜、一機撃破の戦果
を擧げた

△本土方面 成都方面の在支米空軍
は最近鳴りをひそめてゐるがマリア
ナ基地には百六十機内外のB29が進
出した模様で、二十三日には名古屋
に七十數機の來襲をみた、我方はこ
れを遊撃、その十三機を撃墜、約五
十機を撃破するといふ大戦果を擧げ
た、しかし比島作戦に呼應して敵の

本土空襲の激化が豫想され廿七日に
も七十機により帝都來襲が行はれた
△中部太平洋方面 小笠原諸島、特
に硫黄島に對する敵機の來襲は執拗
を極め、日中は廿機乃至四十機、夜
間には小數機が九回乃至十回に亘り神
經戰的に頻襲してゐる、廿四日午後
にはB24、B29等約四十機と呼應し
て水上艦艇の小部隊が硫黄島に近接
し陸上を砲撃し來つた、一方マリア
ナ諸島のバガン島に廿二日B29が戰
闘機を伴ひ卅數機來襲したことは特
異な現象である

△ビルマ方面 〇怒江西岸地區 〇印
支路啓開をめざす敵雲南遠征軍はワ
ンチン方面に八ヶ師、ナムカン正面
に二ヶ師を向けて攻撃し來り、去る
十八日には一部の敵がワンチン地區
のわが陣地の一部へ侵入するに至つ
たが、わが軍は引きこたふさ果敢な反
撃を展開激戦中である、なほ十七日
ワンチン、ラシオのほゞ中間地區ナ
ンベカ周邊に米蔣聯合の空挺部隊約
五百名が降下したが、所在のわが部
隊は直ちに之を包圍、目下掃蕩をつ
づけてゐる、〇イラワヂ西方地區 〇
蔣系新編第一軍の五〇師と英印六師
の主力はモンミット(マンダレー東
北約一五〇キロ)方面へ南下中で、
ラシオ 〇マンダレー道路の遮断を企
圖してゐるらしく逐次南方へ侵逐し
つゝある、〇マンダレー北方地區で
は英印卅六師の一部と蔣系一九師の
主力はタベイチン(マンダレー北方
一〇〇キロ)、シンダウ(マンダレー
北方七〇キロ)の二ヶ所でイラワヂ
河を渡河、東岸へ進出を企て所在の
我部隊は之を遊撃中である、〇イラ
ワヂ西方地區には英印二師、東阿一
師西阿二〇師、機甲四師の四ヶ

師が戦車、装甲車を伴つてマンダレ
ー西北地區へ近接してゐるが我部隊
は要點を確保して奮戦を續けてゐる
⑥チンドウイン河地區 〇英印五師、
西阿二〇師の一部がモニワ(マンダ
レー西方一〇〇キロ)パゴック(マン
ダレー西南約一三〇キロ)附近でチ
ンドウイン河畔へ侵入を企圖してゐ
る、⑦アラカン地區 〇敵は十一日ア
キヤブ東方のミエボンへ、廿一日ア
キヤブ東南約一〇〇キロのラムレ島
(夫々上陸、わが部隊は之と激戦中
だがマンダレー、怒西地區の戦況と
關聯して敵英印印度洋艦隊の動きは注
目を要するものがあり、その機動部
隊は廿四日スマトラ島パレンバンに
來襲、我空陸部隊の猛撃によつて百
四十機中百十六機を喪失するの大損
害を蒙つてゐる、⑧カラダン地區で
はアキヤブ東北約六〇キロのミョウ
ホン北方で南下の西阿八十一師と交戦
中

本土空襲

名古屋、大阪、濱松に來襲
大本營發表(昭和二十年一月三十日
九時三十分)
一、本一月三日午後マリアナ諸島よ
りB29約九十機、主力を以て名古屋
屋各一部を以て大阪及濱松附近に
來襲せり、名古屋及濱松に於て焼
夷彈に依る若干の損害ありたるも
重要施設及工場には殆ど被害なし
二、十八時迄に判明せる遊撃戦果次
の如し

我が方二機未だ歸還せず右撃墜中三
機は體當りに依る
戰闘經過 〇三日 マリアナ基地のB
29は三日午後二時頃より約一時間に
亘り凡そ九十機内外を以て本土に侵
入した、敵は主力をもつて名古屋地
區に、また大阪、濱松方面に夫々一
部を以て來襲したが、我が制空部隊
はこの敵を遊撃して熾烈なる交戦の
のち、十八時までに判明した戦果は
撃墜せるもの不確實四機を含めて十
七機、損害を與へたるもの二十五機
計四十二機を撃墜破し來襲機の半數
に近い大損害を與へた、なほこの遊
撃戦中の三機は體當りによるもので
その三名は生還し、一名が壯烈なる
戦死を遂げた、今度來襲の特徴は機
夷彈による市街地無差別盲爆に乘出
して來たことであるが、三都市とも
重要施設並に工場には殆ど被害はな
い

七、八十機九州西部に來襲
大本營發表(昭和二十年一月六日十
六時四十分)本一月六日午前支那方
面よりB29七、八十機は九州西部地
區に來襲、雲上より盲爆せり、我方
の損害極めて輕微なり、遊撃戦果に
關しては目下調査中なり
戰闘經過 〇六日 大陸基地B29の九
州來襲は舊臘十九日以來で今回の來
襲は比島戰局の新展開に呼應する意
味が多分にあると思はれる、この日
敵機は數個の梯團に別れて午前十時
頃から逐次九州西部の要地へ侵入し
たが同方面は一面の密雲に蔽はれ各
所に吹雪がある状態に來襲機の一部
には要地侵入を果さず途中から反轉
したもあり従つてその爆撃も文字
通り盲爆に終り輕微な被害を生じ
たが重要施設には何等損傷がなかつ

關東、東海、近畿に來襲

大本營發表(昭和廿一年一月九日十九時)本一月九日午後マリアナ諸島よりB29約六十機關東、東海道及近畿地方に分散來襲せり、遼東戰果に關しては目下調査中にして我方の地上に於ける損害は極めて輕微なり

二十九機を撃墜破

大本營發表(昭和二十年一月十日十四時)昨一月九日午後B29の本土來襲時に於ける遼東戰果次の如し
△撃墜十一機 内體當りに依るもの四機
△損害を與へたるもの十八機
八機(我方の損害五機)

戰關經過【十日】

九日午後關東、東海、近畿の各地方に分散來襲したマリアナ基地のB29約六十機に對する遼東戰果はその後調査の結果撃墜十一、損害を與へたるもの十八、計二十九といふ來襲機數の過半に上つたことが十日大本營から發表された、即ち敵來襲と同時にわが制空部隊は直ちに出現、果敢なる遼東戰關を展開し隨所に敵を捕捉、熾烈なる攻撃を加へて敵をして殆んど爲すところなからしめこのため敵は徒らに編隊を亂して右往左往するのみで追ひまくられたあげくは目標に落すべき爆彈も遂に落し得ず海中或は山中の投擲倉庫として遁走した、わが方の遼東戰關がいかに激烈な極めたるものであつたかは重要工場施設には何らの損害がなかつたことによつても明らかである、然しかくの如き戰果は擧つたか撃墜機中の四機はわが震天制空隊の壯烈極まる體當りによるものであり、わが體當り機の二機は敵を撃墜したのち奇蹟にも生還し他の一機は落下傘で降下したが洋上に落ちたため生死判明せず二機は體當りと共に壯烈なる戦死を遂げた、更に戰果

の詳細をみると關東地區に侵入した約二十機のうちその半數は完全に撃墜し殘餘の悉くもまた痛烈なる損害を與へられてをり結局侵入着機の一部は恐らくマリアナ基地に歸り着た部分かつたものと思はれる、一方この遼東戰關に於てわが方もまた體當り機を加へて尊い五機の犠牲を拂つた

豐受大神宮宮域に爆彈投下

大本營發表(昭和二十年一月十四日十九時二十分)
一、本一月十四日午後マリアナ諸島よりB29約六十機主として名古屋附近に來襲せり

二、敵は數發の爆彈を豐受大神宮宮域に投下齋館二棟神樂殿五棟崩壊せり
右の外我方の地上に於ける損害は輕微なり
三、遼東、戰果に關しては目下調査中なり

四十三機を撃墜破

大本營發表(昭和二十年一月十五日十四時三十分)
昨一月十四日敵機の名古屋附近來襲時に於ける遼東戰果次の如し
△撃墜九機、△損害を與へたるもの三十四機、△我方一機未だ歸還せず

戰關經過【十五日】十四日名古屋附近に來襲豐受大神宮宮域に對しこの爆を行つた敵B29編隊には果敢來襲を遂げたわが制空部隊は果敢來襲六十機の九機を撃墜、三十四機を撃破し來襲機の七割以上に當る大量の敵機を屠るの目覺しい戰果を擧げ聖域を侵した暴戾の敵機の大伴はその場を去らせず大空に醜い屍を曝す運命を辿らるに至つた、この大戦果に對しわが方の失へたるもの僅かに一機眞に神明もこれを嘉し給ふべき快哉の

戰果であり傷つた敵の過半が基地に辿りつかなかつたとすれば尠くとも三百餘名の米鬼は太平洋の藻屑となつたのである
阪神地方に約八十機來襲
大本營發表(昭和二十年一月十九日十七時四十分)
本一月十九日午後マリアナ諸島よりB29約八十機主として阪神地方に來襲せり遼東戰果に關しては目下調査中にして我方地上に於て若干の被害あり
戰關經過【十九日】マリアナ基地のB29約八十機十九日午後一時四十分、紀伊半島方面から七梯團に分れて阪神地區に侵入し爆彈、燒夷彈を混用投下し同二時三十分ごろ南方海上に脱去した、阪神地區に對して敵が有力編隊を以て來襲したことは今が初めてである、敵の攻撃意圖はルン島を中心とする太平洋戰局の激化に伴ひわが補給源泉の破壊就中わが航空機生産の低下を狙つたものであることは明らかであるわが制空部隊と地上防衛陣の敢闘によつて被害は最少限に喰止められた、またこの間敵は夫々少數機を以て名古屋、静岡縣下、關東地方に機動的來襲を試み淡路附近に投擲したのが被害は僅少であつた
【二十日】十九日午後阪神地方の工業地帯を狙つて來襲したマリアナ基地のB29約八十機の遼東戰果に關してはその後調査の結果はその約三割に當る二十三機に損害を與へ、内數機は撃墜畧々確實であることが判明した、尙ほわが方の未歸還機は三機であつた
七十數機名古屋地區に來襲
大本營發表(昭和二十年一月二十三日十八時三十分)

本一月二十三日十四時頃よりマリアナ諸島のB29七十機は數編隊を以て紀伊半島方面より名古屋地區に來襲し十六時頃迄に夫々濱名湖附近より脱去せり
戰果に關しては目下調査中なるも我制空部隊の熾烈なる遼東により地上に於ける損害は輕微なり

六十三機を撃墜破

大本營發表(昭和二十年一月廿四日十六時)昨一月廿三日B29七十數機名古屋地區來襲時に於ける遼東戰果次の如し
△撃墜十三機、△損害を與へたるもの約五十機、△我方の損害 自爆未歸還計六機

戰關經過【廿四日】廿三日午後名古屋地區に來襲したB29約七十數機の遼東戰に於てわが制空部隊は撃墜十三機撃破約五十計約六十三機といふ來襲機の實に九割に上る潰滅の大損害を與へて撃退した、これはサイバに來襲開始以來の記録の大戦果である、二十四日のサンフランシスコ放送は「廿一日航空部隊司令部よりの報道によれば今回の名古屋空襲から歸還した搭乗員はこの攻撃はサイバに基地より攻撃開始以來最も激烈なる日本空軍の遼東に遭つた、B29の一部は凡そ約百五十機の日、B29の機は攻撃を受けたる程であつた、しかしながら未歸還機の一機を出したのみであつたが爆撃の成果は雲にさへざられて確認することが出来なかつた」と述べ如何にもわが制空部隊の遼東戰關が激烈な極めたるかを告白してゐる、もとより我方が發表した撃墜十三機は確認されたもののみで實際の撃墜數は更に増加してゐる見込であり、更に損害を與へたものも調査では五十二機となつてゐるが、阪

神名古屋濱名湖上空で撃破したのも内若干重複してゐると考へられるものもあるものでこれを約五十機と控へ目に發表した
約七十機帝都に來襲
大本營發表(昭和二十年一月二十七日十八時)
本一月二十七日十四時頃より十五時頃迄の間マリアナ諸島のB29約七十機は數編隊を以て帝都に來襲せり右敵機の投下せる爆彈及燒夷彈により都内數箇所被害を生じたるも火災は夕刻迄に悉く鎮火せり、重要生産工場には被害なし
戰果に關しては目下調査中なり
制空部隊二十二機を撃墜
大本營發表(昭和二十年一月二十八日十六時)我制空部隊は昨一月二十七日敵機の帝都來襲に際し之を其の航路上各地に遼東し二十二機撃墜(體當りによるものを含む)他の大半に損害を與へたり
我方の損害自爆未歸還計十二機
戰關經過【廿八日】二十七日午後七十機をもつて伊豆方面より帝都に來襲したマリアナ基地のB29遼東戰關に於てわが制空部隊は先づ敵機を濱名湖、富士山附近の上空で第一撃、帝都上空で第二撃を加へ更に編隊を亂して遁走せんとするのを千葉、茨城上空に追撃し徹底的攻撃を加ふるなどその航路上を扼して果敢な戰闘を交へるとともに高射砲部隊また熾烈な對空砲火をもつてこれを遼東、その二十二機を確實に撃墜した、なほこのほか來襲機の大伴に對して痛烈なる損害を與へてゐるが撃墜破を合計する時は來襲機的全機數に近い大損害を與へてゐる、撃墜機のみには壯烈な體當り撃墜が含まれてを

り我方またこの激撃戦團に於て十二機の自爆未歸還を出してゐるが敵はこの機を我々が攻撃に混亂、雲上より自陣を投下して遁走しその大部分は手痛い損害をうけてゐることよりしてマリアナ基地に歸還出来ぬものが相當數ある見込である

マリアナ基地及大陸基地のB29は連日に亘り少數機を以て本土各地に侵入或は偵察を行ひ、或ひは爆彈、焼夷彈を投下して遁走して居るが、其の損害は何れも頗る輕微である

一月中の來襲状況左の通り

一日	〇〇	一	帝都	焼夷彈	投下	六日	二〇〇	一	帝都	偵察	七日	四〇〇	一	關東、長野	偵察	廿日	一〇〇	一	帝部	偵察	廿一日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察
二日	〇〇	一	北九州	偵察	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿一日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿二日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
三日	九〇〇	二	九州全域	爆彈投	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿二日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿三日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
四日	〇〇	一	名古屋及	爆彈投	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿四日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿四日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
五日	五〇〇	一	紀伊半島	偵察	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿五日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿五日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
六日	五〇〇	一	東海地區	偵察	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿六日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿六日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
七日	〇〇	一	東海、名古屋、濱松	偵察	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿七日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿七日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
八日	一〇〇	一	名古屋	偵察	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿八日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿八日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	
九日	〇〇	一	紀伊半島、名古屋	偵察	同日	二〇〇	一	帝都	偵察	同日	二〇〇	一	關東、長野	偵察	廿九日	二〇〇	一	帝部	偵察	廿九日	二〇〇	一	靜岡、伊豆	偵察	

敵側情報

我制空陣の猛撃を認む
【リスボン二十三日發】在大宮島米國第二十二空軍司令部は二十三日の名古屋地區爆撃に關し「相當兵力のB29機隊が二十三日名古屋の工業目標を爆撃した」と發表したが、同公報は我が制空部隊の反撃が極めて熾烈だつたことを認め次の通り述べてゐる

日本空軍の激撃は嘗て見ざる程熾烈を極めて、B29一機は對空砲火に命中し炎上、恐らく約二十哩沖合の地点で海中に突入したとみられる、出撃したのはB29の四編隊であつたが第一回の編隊は最も熾烈な戦闘機の激撃に遭遇した

日本軍戦闘機はB29が日本本土に近接した際出撃し來り、一時間二十五分後B29が歸路の途につき五十乃至百哩海上に去る迄攻撃を續行した

右公表の様子からみてB29喪失機數は從來かつてみない程多數に上つた【リスボン廿七日發】ワシントン來電に米國第二十航空隊司令部はマリアナ基地のB29が「相當有力な」編隊をもつて二十七日午後東京を空襲

日本戦闘機の熾烈な激撃を受けた旨二十七日發表した後雲上から爆撃した事實を認めたが、B29の損害その他については一切發表を差控へてゐる

B29編隊長機搭乗記 (山林)

【マドリド二月一日發】米國海軍海外派遣將兵向雜誌「ヤング」の一月七日號「東京訪問記」と題し、第一回東京爆撃の状況を報じてゐるが參加機の内部の様子が詳細に知られる所に興味がある、右報道の大要次の通り

サイパン基地の數十機の僚機を従へてドワリトルの東京爆撃以後最初に東京を訪れるB29編隊長機に乗込む、爆撃目標は東京の飛行機工場、これが日本の工業に對する戦闘の皮切りだ、高度約千五百米で數時間飛んだ時、編隊長のトッド少佐はそ

ろ「氣密室内の氣壓を高めて雲の上昇らうと決意した、そして乗員たちと挨拶を交すために後部まで身を屈めてやつて來ると全員と握手した、少佐自らピストルを握つて發火信號を打ち出すと編隊は上昇を開始した、戦闘服と鐵帽と酸素マスクを着けるやうに命令が發せられ、キツシンガー中尉から禁煙の合圖が出る

と、機體の安全を良くするために輕くなつた燃料槽に他の燃料槽から油を移し始めた、試驗射撃の響が微かに傳はり、砲座の床に藥莢がカラカラと音を立てる、操縦士と機關士と爆撃照準士とは彈扉を開放の所要最

短時間を決定するために議論してゐる、彈扉を開いてゐる間は速度が落ちガソリンを餘計に使はなければならぬのだから、これは決して無駄なお喋りではない、雲の下にゐる間はちよよいちよいスクールに遣ひ、一

はちよよいちよいスクールに遣ひ、一

雨毎に目の前に虹が現はれる、日本に近づいてから間もなく我々は上昇限度にまで達した、左右同形の富士山は本土のどの部分よりも早く雲の上に姿を見せるので、爆撃行は重要な役割を勤める、それから二十分すると本土が視野に滑り込んで来た、ラジオ係のオリヴァー大尉は東京放送の音楽番組を入れた、本州上空に達すると急に音楽が中断され、ブザーの響が繰返された後に昂奮したアナウンスが聞えて来た、富士山の所で方向轉換した時日本軍戦闘機が一機現はれ、一直線に我々の飛行機の機首をめぐって突進して来たかと思ふと、備砲の射程に入る直前に横に外れて行つた、富士山を過ぎて右に折れ、東京に向へば山はなくなつて田圃と小さな村落ばかりだ、既に第一編隊は我々に三分先立して目標上空に達し、爆弾を投下して来た、やがて我々は家屋が櫛比する東京の上空に達した、帝都工場地帯に近づくにつれ、編隊の僚機はビツタリと編隊長機の周りに集つて来る、われわれの飛行機が爆弾を投ずれば編隊の僚機は皆同時に投弾するのだ、プシンスキー中尉は自分の席に足を踏張つて雲の切目を見付けようとして一生懸命だ、早く切目が見付からなければ盲滅法に爆弾を落さなければならなくなるだらう、忽ち東京工業地帯の南に當つて一塊りの建物が姿を現はした、「投弾！」プシンスキーが叫ぶと爆弾は唸りをたて、目標物の方に落下して行く、地上に達するまで僅か四十五秒、煙は高く舞ひ上つて何も見えなくなつた、一回ぐるつと廻つて戦果を確認するため東京上空に來ると今度は戦闘機群が後にびつたりと取り付いた、数機か

らなる一編隊は今にも自分達の飛行機に追付きさうになつたが間もなくまた雲の中に見えなくなつた、二機づつに分れてわれわれより上空に出ようとしたがどちらも目的を達せず、他に単機で前方から邀撃しようとしたものも若干あつた、だがそれも僅か一機が後部銃手の射程に飛込んだ以外に殆ど射撃を交へるに至らなかつた、高射砲陣は羽毛のやうに浮雲を通じてわれわれの周囲に一定の時間をおいて炸裂した、大部分は編隊の西にそれてゐた、東京港を廻つて来た時には視野が暗れて下方の建物のはつきりが見えて来た、左方全く遠くないところに丸の内が見え右には靖國神社が現はれて来た、しかしさうしたものはわれわれの目標物ではなかつたし、もう爆弾も落した後なので頻りに歸路が急がれる、サイパンの基地に向つた時には燃料槽にはまだ千四百ガロンのガソリンが残つてゐた

繩沖・臺灣

延約五百機臺灣に來襲
大本營發表(昭和二十年一月四日十六時)

一、一月三日七時四十分頃より四時三十分の間艦載機を主とする延約五百機の敵機は數々に互り主力を以て臺灣、一部を以て沖繩地方に來襲せり
二、現在迄に判明せる戦果次の如し
△擊墜 十七機、△損害を與へたるもの 八機、△我方の損害輕微なり
戰闘經過(四日)相當有力な敵機動部隊は三日朝來臺灣、沖繩近海に接近し、午前七時四十分頃より午後二時三十分の間に互り延約五百機の敵

機は臺灣沖繩に來襲したが、わが制空部隊は直ちにこれを邀撃して致聞し、現在迄に判明せるもの擊墜十七機、擊破八機計二十五機の損害を與へてゐる、今回の敵襲は艦載機を主とし、これに大陸基地よりB29約四十機が策應、主力を以て臺灣全島各地に、また沖繩地方には約五十機の艦載機が夫々來襲したが、沖繩に於てはわが損害は皆無であり、臺灣に於ける損害も極めて輕微に止まつた
延四百、臺灣、沖繩を再襲
臺灣軍發表(昭和二十年一月四日十五時五分)
本四日八時頃艦載機を主とする延約四百の敵機は又も數次に互り臺灣全島各地及び沖繩に來襲し十四時二十分頃までに逐次東方海面に脱去せり、此の間投彈なども極めて少く攻撃緩慢にして我方損害殆どなし、わが方の収めたる戦果
擊墜五機(内不確實二機)擊破一機なり
又敵機延四百五十來襲
臺灣軍發表(昭和廿年一月九日十六時五十分)
一月九日六時四十分頃より十六時三十分頃迄の間に敵艦載機延約四百五十機、別に支那大陸より大型機少數機と共に即應し臺灣各地に來襲せりも攻撃緩慢にして我方損害輕微なり現在までに判明せる戦果、擊墜十五機(内不確實四機)擊破八機なり
沖繩に大型機
十一日正午ごろ沖繩縣中頭郡殘波岬沖を航行中の小型船に敵大型機(機種不明)一機が七十米の低空で機銃掃射をなし、また午後零時半ごろ島尻郡喜屋武海岸で同様漁船を襲ひ更に鹿文仁村でも共同製糖所を銃撃したが損害はなかつた

大型機中南部に侵入
臺灣軍發表(十四時五十分)
本一月十四日十一時四十分頃支那方面より敵大型機約五十機本島中南部地方に侵入、若干の投彈の後十三時頃迄に逐次西方海上に脱去せり、我方の損害輕微なり
延二百機各地に來襲
臺灣軍發表(昭和二十年一月十五日十五時四十五分)本一月十五日八時三十分頃より十三時頃迄に敵艦載機延約二百機臺灣各地に來襲し主として飛行交通施設を爆撃せるほか臺中市、彰化市、高雄市その他、村落敷箇所に銃爆撃せり我方飛行場及交通施設に若干の損害を生じたる他、市民に死傷三十名を生じ高雄市内に敷箇所の小火災を發せり、現在迄に判明せる戦果擊墜五機、擊破一機
五十七機を擊墜
臺灣軍發表(昭和二十年一月十六日十五時三十分)
昨一月十五日日本島空襲時における戦果に關しその後判明せるところ次の如し(既發表のものを含む)擊墜二十八機(内不確實四機)擊破二十九機
B29八十機來襲
臺灣軍發表(昭和二十年一月十七日十六時三十分)
本一月十七日十時五十分頃支那大陸より敵機B29約八十機本島中北部地方に侵入、新竹州下に投彈の後十二時頃までに西方海上に脱去せり、我方市民に約四十名の死傷を出せるほか損害輕微なり
神風隊臺灣東方で猛攻
大本營發表(昭和二十年一月二十二日十五時)
神風特別攻撃隊は一月二十一日正午

過臺灣東方海面の敵機動部隊を攻撃し航空母艦三隻艦種不詳一隻を大破炎上せしめたり
臺灣、沖繩に來襲
臺灣軍發表(一月廿一日十七時)
本一月廿一日八時頃より十七時頃までに敵艦載機延約四百五十機本島及び沖繩に來襲し、現在なほ交戦中なり、敵機は主として飛行場に投彈せるほか都市及び村落敷箇所に銃爆撃せり、我方飛行場その他に輕微の損害あり、現在までに判明せる戦果擊墜三十八機、擊破二十一機なり
五百五十機沖繩に來襲
臺灣軍發表(昭和廿年一月廿二日十七時廿分)
一、本廿二日七時頃より敵艦載機約五百五十機沖繩諸島に來襲尙交戦中なり、わが部隊の収めたる戦果中十五時までに判明せるもの擊墜四十機擊破廿四機にして、わが方の損害輕微なり
二、昨一月廿一日臺灣空襲時における戦果に關しその後判明せるところ左の如し(既發表のものを含む)
擊墜四十五機、擊破廿四機
戰闘經過(二十二日)二十一日正午過ぎ神風特別攻撃隊の一隊は臺灣東方〇〇渾の海面に於て敵機動部隊一群を捕捉し機を逸せず突撃を敢行一機は、型空母一隻に命中大火災を生ぜしめ他の一機も大型空母一隻の艦首に命中それぞれ大破させた、一方他の一隊も同時刻頃更に臺灣に近接せる海面で敵機動部隊の一群を捕捉、敵直衝機と熾烈な空戦を交へた後敵艦に突入、一機は空母一隻に命中、他の一機は艦種不詳一隻に命中、それぞれ炎上するのを直掩機が確認した、わが必殺の體當り攻撃により大破炎上した敵空母はいづれも

敵が虎の子とたのむ制式母艦と見られる

【臺灣基地廿五日發】さきに發表された二十一日臺灣東方海面の敵機動部隊に對するわが神風特攻隊の猛攻に續きわが航空艦隊もさらに艦種大なる損害を與へたことが判明した、さらにはわが航空部隊はその後二十三日の夜間に至つて臺灣東方の敵機動部隊に攻撃を加へ、戦艦一隻艦種不詳一隻に各大型爆彈の直撃砲を與へこれを炎上撃破した

朝鮮

B29一機北朝鮮區侵入
朝鮮軍發表(昭和二十年一月十八日十一時五十分)
敵機一機は十乃至十一時の間高々度をもつて北朝鮮地區に侵入せしが、わが防空陣のため何等ななところなく西方海上に遁走せり

B29三機侵入
朝鮮軍發表(一月廿四日十四時)
南滿方面より南下せる敵B29は約三機を以て九時より九時三十分の間北朝鮮國境より朝鮮内に侵入し、概ね各一機づつを以て羅南、咸興、平壤附近を經由し十一時より十一時三十分の間西鮮海面より西方に遁走せり

京城地區にB29一機來襲
朝鮮軍發表(一月三十日十四時)
敵機B29一機は本三十日十時三十分頃南滿方面より侵入高々度を以て西鮮京城地區を経て十二時頃木浦附近より西方に脱去せり

支那方面

匪軍討伐綜合戰果

【石門六日發】冀西、冀中の山野に蠢動する匪軍に對し峻烈なる討伐戰を續行中

の現地軍部隊が昨年三月以降十二月末日迄に収めた戰果次の如し
△交戰回數四五三 △交戰敵兵力五八、九七六 △覆滅敵施設五七三 △收容せる敵死體二、七六六 捕虜一、〇九〇 △鹵獲品ト、七、一八〇、擲彈筒五、同彈四、自動小銃八、拳銃四五六、同彈八九三、銃劍七六、手榴彈三、〇九四、地雷三七三、ダムダム彈四四〇、彈帶彈囊四四〇、洋砲四二五

蒙疆地區掃蕩戰綜合戰果
【張家口十四日發】蒙疆地區に於る現地軍並に蒙疆軍警察隊の昭和十九年中に収めたる綜合戰果左の通り
(括弧内は延安系匪)
△交戰回數 七五〇 (五二二) △交戰敵兵力 八二、六〇六 (六四、三四二) △敵に與へたる損害 我方に收容せる敵死體三、〇八四 (一、八五一) 捕虜 九七七 (五七七) 覆滅せる諸施設 三四五 △鹵獲品 輕機小銃、その他彈藥多數
濱海ルートを完全遮斷

【徐州廿七日發】淮海、山東兩省境一帶に蠢動を續ける敵濱海軍區司令陳士梁麾下の延安系軍に對し去る〇日突如行動を起した松川討伐隊は贛榆北部一帯に布陣する敵の警戒線を一氣に突破して去る十二日正午敵軍區の基幹部隊の據點厲家庄(贛榆西方十六キロ)を抜き同日夕刻早くも淮海山東省境に到達、敵の經濟動脈と恃む濱海ルートに完全遮斷、北方某方面からの南下友軍部隊と緊密な連繫の下に省境一帯を席捲十四日午後には濱海軍區隨一の經濟據點拓汪港(贛榆東北約三十キロ)を無血占領した

東江方面に新作戦

【南支前線基地廿二日發】わが南支軍精銳は一部有力部隊をもつて廣東省東江地區より突如行動を起し去る十四日午後七時北は增城方面より南は平湖方面に亘る東江一帯から數縱隊となつて一齊に行動を起した南支軍有力部隊は各隊相呼應して東進を續行、前面の敵重慶軍獨立第二十旅、第一、第二挺進縱隊等を各所に捕捉撃滅しつつ一部部隊は十六日午前九時敵要衝惠州(廣東東方百キロ)を完全占領、息つく暇もなく敵を急追しつ

つ横歴(惠州東北約卅キロ)方面に進出中である、一方惠州を攻略した十八日平山墟(惠州東南卅五キロ)を占領、これと呼應する他の有力部隊は十六日淡水(惠州南方四十キロ)を占領、又パイアス灣に穩密挺身した水上機動部隊も十五日朝漢頭港(淡水東南十キロ)に敵前上陸を敢行、爾來パイアス灣の完全制壓に奮戰中である

横歴、稔山を占領
【南支前線基地廿一日發】十六日惠州を攻略し敗敵を急追して東北方に駿足を延ばした南支軍の精銳部隊は十九日横歴(惠州東北卅キロ)を完全占領、敵重慶軍獨立第廿旅主力は河源(惠州東北七十キロ)方面に雪崩を打つて潰走中である、一方惠州を失つた敵はわが軍の後方を狙はんとして二十日朝來約四百を以て惠州附近に潛入したが、わが軍は直ちに邀撃これを撃退、敵は遺棄死體二十を殘し東方に潰走した、またパイアス灣東北岸方面においては十八日平山墟を攻略したわが部隊は更に東方に快速進撃、十九日午後三時パイアス灣東北岸の要衝稔山(惠州東南五十キロ)を攻略、同方面に蠢動してゐた敵第七戰區軍は挺身縱隊特務十大隊一支隊は東北方に潰走中である

南部粵漢線打通

【遂川飛行場占領】遂川飛行場も占領

【遂川飛行場占領】遂川飛行場も占領
大本營發表(昭和廿年一月卅一日十五時三十分)
一、支那方面の我部隊は月中旬より南部粵漢線打通の爲中支那及南支那方面より夫々進攻作戰を實施中なりしも一月廿七日樂昌、韶州の中間に於て南北の連絡を完了せり
二、別に我有力部隊は右作戰と併行し遂川地區敵飛行場群に對し進撃中にして其の先遣部隊は一月二十八日夜遂川飛行場に突入之を占領せり
戰鬪經過(卅一日)昨年十二月大陸縱斷路完成後滿を持してゐたわが支那派遣軍が再び新行動を起すと見るや電撃一閃一舉に南部粵漢線を打通して中南支間の最短連絡路を掌握すると共に東部支那に残存する敵空軍最後の據點遂川飛行場群の中樞基地が態勢に鐵壁の固きを加へるに至つた、特に粵漢線南部の打通に當つて主力部隊の進撃に先立ち挺進部隊を以てトンネル橋梁など鐵路上の重要施設を占領し、敵に破壊の暇を與へずこれを占領し、敵鐵路は殆んど無傷のままわが手中に歸するといふ見事な成功を収め打通作戰の目的を遺憾なく達成したことは特筆に値する、これに殘されてゐた北は未陽南方から南は英德附近に至る粵漢線の間隙は連絡され全長一千九百五十キロの全粵漢線は悉くわが支配下に伏した、この軍事的意義としては、粵漢線南部

地區は衡陽から桂林地區を経て西江沿ひに廣東に至る三角形廻廊の底邊に當る最短路で中南支の連絡路はこれに短縮された、粵漢線の完全占領によつてさきの大陸縱斷路はその東側背に對する敵の大突進部を完全に除去すると共に約三百キロの大縱深を有することになり著しく強靱性を加へるに至つた、この結果全大陸を通ずるわが戰絡態勢は大いに改善され敵米の狙ふ大陸飛躍作戰に對するわが機動的邀撃態勢は更に強化され、これと併行して遂川地區の敵飛行場群にも鐵槌が下つた、遂川飛行場はすでにわが手に歸し敵は贛州飛行場も放棄して退却してゐる模様で東部支那に於ける敵空軍の足掛りが完全に掃蕩される日が目捷の間にある、この遂川地區には遂川、贛州、吉安、新城などの各基地があり日本本土空襲を目的に建設されたものでさきのわが衡陽及び桂林地區制壓後一時放棄されてゐたが、敵は太平洋洋戰の推移に呼應してこの再建を企圖し舊屬未戰爆部隊を派して南京、上海、漢口及び南支沿岸地區に對する擾亂爆撃の出撃據點としてゐた、今回のわが新作戦によつてこの基地群は最後の止めを刺されると共に逆にわが空軍基地として活用されることになり南支那海沿岸地區に對するわが航空態勢は愈々強化された

皇岡山で南北兩軍握手

【南支前線基地卅一日發】さきに廣東省西方一帯を制壓しつつ梧州、丹竹、柳州、南寧など西南支那に布陣する米將合作の抗戰總路網を完全覆滅するとともに大陸縱貫路打通の偉業を達成した我が南支軍はその後

満を持して待機中であつたが、東南支那の完全制壓を期し抗戦區として唯一つ残された余漢謀南段の第七戦區を覆滅し、粵漢鐵路兩段を我が手中に収めて大陸要塞の完璧なる縦深體形を完成する一方南支那海東部沿岸の我が防衛態勢の完璧を期するため一月中旬突如行動を起し着々所期の目的を達成しつつあつた、即ち廣東北側地區に待機中であつた我が有力部隊は去る十九日數縱隊と北進を粵漢線南段の東西兩地區に北進を開始、重疊たる嶺南山系の峻険に據つて抵抗する第七戰區軍に對し猛攻を續けつつ一路北進廿四日主力部隊は第七戰區司令部所在地たりし韶關防衛の外郭據點たる英德を攻略さら一部挺進部隊は遠く北江東側の山岳地帯を迂回進撃、突如沙口墟(英德北方四十キロ)において北江を強行渡河の後粵漢線に沿つて北上挺進、廿四日遂にその先遣部隊は韶關に突入、後續部隊の到着と共に猛烈に抵抗する同市内外の敵大軍と激戦展開の後廿七日遂にこれを完全に占領、更に敗敵を急追して同日午後三時韶關北方廿キロ皇岡山において南下中であつたわが中支軍先遣隊と感激の握手を完了、茲に粵漢線は完全に打通した、また粵漢線東側を進撃中であつた他の有力部隊は佛岡(英德南方三十キロ)附近において敵軍百五十四師を撃破しつつ英德南段の奥漢線を着々制壓しつつ英德に入城した

部將校二五を含む) 二、俘虜二五四(内將校一二) 三、鹵獲品二十四(内將校一) 山砲六、速射砲一〇、機關砲七、重輕機一五、小銃約二千挺、各種彈藥約四萬發、小銃彈藥三十萬發 富國炭田を占領【南支前線二月一日發】韶關を完全に攻略したわが北江右岸北上挺進部隊は二十七日午後七時三十分韶關北方約六十キロの富國炭田を急襲占領したが敵はわが部隊の進撃が餘りにも急であつた爲同炭田を破壊する暇もなく坑内の輕便鐵道發電所、水道を始め工作工場、修理工場その他施設はその儘完全に我が方の確保するところとなつた

【敵遺棄死體一、〇〇五(内敵側 度東省政府參議陸軍中將丘龍德、幹

【湖南前線廿一日發】郴縣方面より行動を起した我が精銳部隊は數隊に分れて穩密裡に粵漢線南段に向つて進撃を開始し、部落民家を避け嶺山荒野を踏み超えて一日十數里の強行軍を敢行、一月二十四日一舉に郴縣南方より樂昌に至る粵漢線南段に進入し、重要鐵道施設の奇襲占領に成功したが、更に一月十九日宋陽附近より進撃を開始、怒濤の如く南下二十五日柳縣を完全攻略した他の有力なる我が部隊の急進追撃に呼應して一路樂昌より同線に沿つて韶關に至る六十キロの急進突撃に成功、一方廣西方面より行動を起し一月二十四日韶關を占領したわが北上部隊と遂に同二十七日午後韶關北方で歴史的な感激の握手を交した、南部粵漢線を守備せる第九、第七軍區の暫編第二軍、第十九軍、六十五軍、六十三軍、二十六軍、三十七軍、三軍の七ヶ軍十六ヶ師はわが軍の奇襲進撃に何らなすところなく部分的抵抗を試みる

遂川飛行場占領

【大陸基地八日發】主として西南支那方面にその戰闘正面を指向したわが〇〇航空部隊が昨年六月以降十二月末までに収めた綜合戰果は左の如くである △飛行機 炎上大型九六、小型一〇五、計二〇一、撃破大型七二、小型九〇(以上在地機) P38一、B24二 P51三四、B25二(以上空中戰によるもの) 計二〇一、撃墜、P51六二(うち不確實七) P40三(うち不確實二) B24三(うち不確實一) 計六八 △その他爆彈庫、施設、船艇、列車 △その他爆彈庫、施設、船艇、列車 △人員資材滿載) 自動車、鐵道橋梁及び線路人馬等多數 △この間におけるわが方の損害 △自爆一九、未歸還一一、地上における損害一七合計四七 右統計に見る彼等の飛行機損害比率は完全に十對一、これにその他の戰果を加へればわが航空部隊の敵に與へた打撃が如何に甚大であつたかが明瞭である

航空 隊戰果

【大陸前線基地發】我が精銳爆撃隊は元旦夜陝西省安康の敵飛行場に進攻、必中彈を浴せ四箇所の爆發、二箇所を炎上せしめ更に他の一隊は再び老河口を襲撃し在地小型一機を炎上せしめて全機悠々歸還した、又我が夜間爆撃隊は二十日夜悪天候を冒して敵大型機集結中の遂川に奇襲攻撃を敢行、飛行場掩體地區並びに滑走路を爆撃して炎上B42三、P38一、小型三計十二機の戰果を収め、右戰果中には本土乃至は臺灣爆撃より歸還の途中不時着したと思はれるB29一機が含まれてゐる 其後打撃く悪天候に出撃を阻まれてゐたわが支隊爆撃隊は廿九日夜、雲の切れ間より洩れ初めた月光を利して敵米空軍の前進基地たる芷江飛行場に進攻、敵戰闘機の激撃と熾烈な對空砲火を排除しつつ全彈を目標に叩きこみ機種不明機三機炎上、大型機一機、小型機一機、撃破計五機の戰果を擧げ我方全機無事歸還した 南支作戰に協力

敵飛行場を爆撃

【大陸前線基地發】南支軍の沿岸制壓作戦に協力中のわが急降下爆撃機隊は廿日夕、廣東省北部始興(韶關東北四五キロ)を急襲、軍事施設、重要建築物を爆砕した、同地は敵第七戰區司令部の移轉先で情報によれば蔣介石は目下軍政部長陣誠を帶同して同地に在り第七戰區司令長官余漢謀と會同中であつたことが略々確實であると同時にはれる

【大陸前線基地發】南支軍の沿岸制壓作戦に協力中のわが急降下爆撃機隊は廿日夕、廣東省北部始興(韶關東北四五キロ)を急襲、軍事施設、重要建築物を爆砕した、同地は敵第七戰區司令部の移轉先で情報によれば蔣介石は目下軍政部長陣誠を帶同して同地に在り第七戰區司令長官余漢謀と會同中であつたことが略々確實であると同時にはれる

索敵、廣東市東方三十五キロ瀘彭附近において匪團約五百を發見、銃爆撃を加へて潰走せしめた 支那各地敵襲狀況 在支米空軍は敵米國の比島作戰、本土空襲に呼應して支那各地に盲爆撃を加へ、又南支方面に出勤した米機動部隊は艦載機を以て南支各地を爆撃して居るが、主なる敵機侵攻狀況左の通り

- 日時 (來襲機數) 北京 △廿五日後二時半 (P51十數機) 南京 △廿六日後一時半 (P51十機内外) △廿七日後二時(P51九機) △廿八日後二時五十分(P51二機) 武漢 △廿五日後(P51、P40二十數機、撃墜破廿機、自爆一機) △廿六日後二回(P40、P47、P51延四十機、撃破九機) △廿七日後(P40、P51約十機、撃墜二機) △三十日後(B24等約三十機) 上海 △十七日後二時五十分(P51、P40十一機内外) △廿日午後二時(P51、P38十數機、撃墜七機、撃破五機) 香港 △十五日前九時半(四十數機、撃墜三機、撃破二機) 同日午後二時(P51、P38十數機) △十六日前八時三十分(延百數十機) 同日午後三時(延百數十機、撃墜十四機、撃破十機) △十七日午後七時(B24十機) 廣東 △十五日前九時半(廿數機、撃墜八機、撃破三機) 午後二時(P40六機) △十六日前八時三十分(延八十機) △十七日午後七時(B

24廿八機) 汕頭 △十五日午前九時半(九機) 海南島 △十六日(數十機、擊墜八機)

在支米空軍北方に基地推進

【リスボン十九日發】 重慶來電によれば在支米第十四航空部隊は十九日同航空部隊所屬の「北方に基地を有する」P51戦闘機隊が十八日北支の大同飛行場を爆撃した旨發表し、同部隊が一部の基地を北方に推進擴張したことを明かにしてゐる

東南アジア

北部佛印にB25一機

【ハノイ十四日發】 在支米空軍は去る九日B25爆撃機八機を以て北部佛印に來襲したがわが地上砲火陣はその一機を撃墜したことが十四日確認された

交趾支那に敵機來襲

【サイゴン十二日發】 十二日午前八時(現地時間)より午後一時卅分に亘りグラマン戦闘機を主力とする敵艦載機約五十機、更に午後三時十分より午後五時卅分に亘り同じく四十數機サイゴンを中心とする交趾支那地域に來襲、銃爆撃を試みたがわが地上防空陣の砲火を浴び何れも海上に遁走した、現在までに判明せる戦果は撃墜二十數機、撃破數機わが方の損害は輕微である

【サイゴン廿八日發】 廿七日午前十

一時四十分頃大陸基地より侵入せる敵B29數機がサイゴン、シヨロン及びサンジャックを中心とする交趾支那東南部に來襲、雲上より盲爆を試みたが軍事施設には一發の命中弾もなく水田地帯及び華僑街に投擲、無辜の原住民を多數殺傷して遁走した、被弾地域は華僑の密集せる繁華街であつたため若年の死者を出した

昭南にB29侵入
【昭南十一日發】 △昭南防衛司令部發表(一月十一日十五時) 十一月十日十五時五十分頃より敵B29二十機は北方より昭南島に侵入を企圖せしめ、わが勇敢なる戦闘機の攻撃により支離滅裂となり一機づつ逐次侵入、セレントア地区昭南市街を盲爆せり、わが陸海軍の戦闘機及び高射砲は猛烈これを攻撃左の戦果を得たり

一、撃墜三機(内體當りによるもの一機)
一、撃破十七機(内四機は墜落の算大なり)
一、撃墜破合計二十機

軍事施設の損害殆んどなきも、敵の昭南市街に對する無差別爆撃により倒壊家屋二十數戸市民の死傷數十名を生ぜり

【昭南廿六日發】 昭南防衛司令部發表(一月廿六日十三時) 本廿六日三時頃より敵B29數機昭南島に侵入せるも約一時間のうち西北方に遁走せり、われに被害なし、なほ十一時卅分頃更に敵B29一機昭南島附近を偵察せり

ビルマ戦線

敵牽制作戦展開

【ビルマ前線基地廿六日發】 太平洋戦線に呼應せんとする敵東南アジア軍の侵寇はここ數日來愈々本格化しアジア大陸の防壁たるビルマを一舉に侵略せんとして米英將軍は全力を擧げて北、中緬及び南部緬印國境よりビルマ中樞部の奪回を目指して殺到しつつあるが、わが方は反撃の神機を把握、十七日來猛撃の火蓋を切り航空機、戦車、装甲車、火炮等の壓倒的裝備を頼む敵に對して特攻精神をもつて突撃し隨所に激戦が開始された、印支輸送路の急速なる啓發を企圖しつつある敵は雲南遠征軍第一練兵力五ヶ師(別に第二練兵力三ヶ師)をもつて舊ビルマ・ルート兩側地區より曉町のわが主要陣地奪回を目指して侵入その主力の五十三軍はシエリー河右岸よりその一部はナムカン東北方ムセよりシエリー河を渡河進撃を開始しこれに策應、北緬米將聯合軍下の新編第十三軍はナムカン正面のわが陣地に對して本格的攻勢を展開 十七日舊ビルマ・ルート曉町ラシオ間のナンバカに輸送機約百機をもつて米將聯合軍約五百の落下傘部隊を降下せしめわが曉町方面部隊の退路遮断に出んとしつゝあるので豫めて降下部隊に備へて待機中のわが討伐部隊は斷乎出動これを包圍激戦展開中である、一方シエリー河北岸地區よりモントミットを目指す新編第一軍麾下の五十師及び英

印軍三十六師團は右降下部隊に策應しラシオ、マンガレー線の遮断を目指してシエリー河南岸地區に侵入せんとしわが守備部隊はこれを激撃し主陣地を堅持敵企圖を封殺しつゝある又イラワジ河北西岸よりマンガレー攻略を喧傳しつゝ優勢なる機甲部隊を伴ひ侵入中の英印軍廿六師團の一部及び將系第十九師主力はタベイチン、シングー方面より渡河準備を開始したが、敵等三十六師團の一ヶ旅團はわがイラワジ河東岸守備部隊の奮戦によつて完全に陣前に撃破された、敵は更に英印軍第二師團、東阿第十一師團、機甲第四十四師團、西阿第二十師團をもつて戦車、装甲車百數十輛を繰出し遮二無二マンガレー目指して突入せんとし、わが航空部隊及び地上肉薄新込隊は隨所に奮戦、その保有戦車装甲車の大半を撃破、引續き敵の渡河勢を封殺しつゝある、この間チンドウイン河西北の英印軍第五師團は同河數ヶ所よりモノワ目指して南下中の西阿第二十師團と呼應し、チンドウイン河の水路機動を利用しつゝモノワ、バコッタ方面に滲透せんとしこれたミソキヤン、マンガレーの攻略を企圖しつゝあるが、わが方は敵に戦局の主導性を確保し各部隊一齊に果敢なる激撃戦を展開しつゝある、一方アキャブ北端よりマヌ半島へ横すべり渡河上陸を開始した敵は英印軍第二十五師團をもつてアキャブを確保し航空基地の設定を急ぐと共にミエボ

に上陸した自稱チャーチル戦車二十數輛を有する八百の敵を邀へて我が所在部隊はこれを奇襲戦車六輛を破壊擱座させ敵の東方への侵入を撃退しつつあるが、敵は該地地上部隊を掩護するため巡洋艦二隻を基幹とする若干機動部隊を以て海上より艦砲射撃を行ひ、更に二十一日空母二、戦艦一、巡洋艦三を基幹とする一部輸送船團を以てアキャブ東南方ラムレ島、キャウプニー及びイワチットに舟艇八十を以て上陸し來つたので、わが航空部隊はこれを反覆猛攻、その輸送船二を撃破、機動部隊を遁走せしめ更に地上有力部隊は同方面の南下態勢にある敵を撃退中である、かかる北、中、南部緬印國境およびインド洋方面機動部隊よりする敵の一齊反攻は十六、七日北緬ミイトキーナにおいて行はれた東南アジア反樞軸軍司令官マウツバツテと同麾下の印緬戦域米將軍司令官サルタン及び在支米軍司令官ウエドマイヤーの三者會談の結果ルソン島上陸作戦と呼應、日本軍戦力就中航空戦力の分散化を企圖して米國側がサルタン及びウエドマイヤーをしてマウツバツテを中心とする英軍陣營に強行せしめた牽制作戦と解されるが米國側が大量兵力の動員による大牽制作戦を目論んだにも拘らず大規模なる海上機動反攻はもとより行はれず、英國自身が雨期明け毎に呼號するビルマの奪回戦に終始し、雲南遠征軍また緬支國境で足踏み状態に陥りつつあるのは敵反攻の裏面を暴露してあまりある

北地区

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

【ビルマ前線十五日發】 瀨田町攻撃企圖を粉碎

肉薄挺身隊の活躍は物凄く一月一日より十一日までに收めたる戦果は確

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

【リスボン十八日發】 重慶來電に在

は引續き使用する 戰局激闘裡に決戦段階へ

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

【北緬前線基地廿日發】 軍事的經濟

將兵はこの不遜の敵米軍撃滅を目指

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

【ビルマ前線基地廿日發】 わが航空

あつたが廿二日未明を期し突如敵撃

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

【北緬前線基地二月三日發】 チンド

令部の所在地たるオンパウク(シニエボ東方十六キロ)を奇襲トラクタ

【北緬前線二月四日發】

イラワジ河彎曲部以北シニエボ平地を中心とする

中部地區

【北緬前線基地九日發】

我がビルマ方面航空部隊の精銳は七日午前中部ビルマ

モスキート八機を屠る

【ビルマ前線基地十六日發】 十三日中部ビルマ、メークテラのわが飛行

更に七機撃墜破【ビルマ前線基地十七日發】わが集隊部隊は十五日中

中部ビルマで挺身隊活躍

【ビルマ前線廿一日發】 隨所に神出鬼没するわが特別挺身隊の奮戦は敵

南部地區

【ビルマ前線基地十日發】

ビルマ奪回を企圖する敵は昨年未だマニ半島より船艇機動により逐次

アキヤブ侵入の敵艦船を猛攻

【ビルマ前線基地十日發】 艦隊を猛攻する敵は昨年未だマニ半島より

敵アキヤブ附近二侵入

大本營發表(昭和二十年一月十六日十五時) 一、昨年末我部隊のアキヤブ附近

れるのが見られた、かくして我が攻撃隊は歸途ボーファイター、小型戦

△巡洋艦 撃沈二隻

△揚陸地點 炎上七ヶ所、爆發一箇

△我方の損害 自爆未歸還計六機

△戰鬪經過【十六日】南部緬印國境

チドン、モンドウの正面において

アラカン山脈の天險を利し半歳の永

きに亘つて敵に甚大な出血を強要英

印軍を憚まし續けたわが殊勳の櫻井

部隊はその後緬印國境全段の態勢上

十一月下旬より逐次同地區より自主

的撤收を行つた、また櫻井部隊の轉

進に伴いアキヤブ方面のわが部隊も

カラダン河左岸地區に何等敵の妨害

を受けることなく轉進を完了した、

南部緬印の國境の戰線修正完了後

も敵はわが意圖を判断しかね運送巡

してゐたが十二月三十一日に至り英

印軍第二十五、二十六兩師團はわが

無きあとのアキヤブに侵入、その後

一月九日頃より敵はアキヤブ侵入部

隊に對し海上より補給増強を開始し

た、これに對しわが航空部隊は九日

以來連日アキヤブ周邊海域の敵艦船

群及び敵揚陸地點附近に痛撃を加へ

十三日までの間に確認したもののみ

にても輸送船轟撃沈破九隻、巡洋艦

撃沈二隻及び揚陸地點炎上七ヶ所爆

發一ヶ所の戦果を収め更に攻撃を續

行してゐる、右攻撃においてわが方

は自爆未歸還計六機の奪ひ損傷を出

キヤウビユー揚陸中の敵艦船群を猛攻

【ビルマ前線基地二十五日發】わがビルマ方面航空部隊戦闘隊及び爆撃隊は二十一日夜ラムン島東北端キヤウビユーに揚陸中の空母二、戦艦一、巡洋艦三、驅逐艦四、大型輸送船五を含む敵艦船部隊を攻撃哨戒中のスビットフアイヤー部隊と交戦その一機を撃墜、大型輸送船二隻を撃破した、わが方全機歸還

【ビルマ前線基地廿一日發】

【ビルマ前線基地廿一日發】ミエボン半島の敵の一部は砲艦の掩護の下に大小舟艇を以て兵力増強中であつたが、去る廿三日カンガウ(ミエボン東北十五キロ)附近に上陸を開始し戦車廿輛、野砲、迫撃砲で攻撃し來つたが、我が部隊は廿三日夜夜襲隊を以て敵陣を衝き、更に廿四日には一七〇陵地西方に挺身斬込みを敢行、敵の野砲彈藥などを爆破し前夜の急襲に狼狽する敵陣を震撼せしめた、この兩日の猛襲により敵は擧架多數を散亂させて遁走したが廿三日から廿七日迄に我が挺身奇襲並に砲撃による戦果次の如し

遺棄死體一二〇、野砲五、同彈藥五〇〇を爆破、自動貨車一、火藥物資集積所二ヶ所を炎上

印度方面

レートン近郊辭任

【リスボン一日發】一日のロイター通信カンデー電報はセイロン島最高司令官大將ジョフレイ・レートンが近く辭任する旨報道してゐる。後任はウエサオール【リスボン二日

發】セイロン島最高司令官海軍大將ジョフレイ・レートンの辭任が傳へられてゐたが、二日のロイター通信コロンボ電報によれば現セイロン島防衛軍司令官陸軍中將エドワード・ウエザオールがレートンに代つて最高司令官に任命され八日就任する豫定といはれる

印度海軍勢力 【リスボン二日發】コロンボよりの敵側一報道によれば一九四五年を迎へた印度海軍の勢力は大東亞戰爭勃發當時の二七倍以上となり、一方印度洋において何時でも必要に應じ得るものと推定されるといはれる

英印軍損害發表 【リスボン十六日發】ロンドン來電英國政府當局は十五日次の通り發表した

開戦以來五ヶ年間に英印軍部隊は總計十四萬の人員を喪失した、この數字には印度人飛行士及び水兵の戦死數は含まれてゐない

ガロッド任命續れる 【ストックホルム廿六日發】東南アジア反樞軸軍司令官マウントバツテは廿四日軍布告をもつて空軍中將ガイ・ガロッドが同軍の空軍司令に就任した旨明かにしたが、以上はマウントバツテが英國政府當局と何等の相談もなく勝手に任命したことが端なくも暴露され、本國においてとかくマウントバツテの評判が香しくない折柄、多大の反響を捲き起してゐる、即ちロンドン來電によれば英國空軍省は廿六日夜次の通り聲明して本國政府の意向を明かにしたといはれる、過般赴任の途上行方不明となつた東南アジア反樞軸軍レイ・マローリの後任は未だ正式に決定

をみてゐない、従つて英國空軍會議が正式に任命するまではガロッドは依然として東方空軍副司令官の地位に留まるべきである

印緬英空軍司令官任命 【リスボン三十一日發】ロンドン來電英國空軍省は三十一日次の通り發表した

英空軍中將W.A.コリトンは東南アジア反樞軸軍東方空軍副司令官に任命され、同時にベンガル及びビルマ方面英空軍司令官の兼任を命ぜられた

比島方面

ルソン攻防戦

リンガエン灣のわが巨砲一齊に咆哮

【ルソン島リンガエン灣最前線七日發】三年前の皇軍上陸地點リンガエン灣に六日現はれた敵護送船團は七日も引續きサンフェルナンド、パウアン、ダモルテスをはじめ海岸のわが防禦陣地に對し執拗な艦砲射撃と空母よりする艦載機の空襲を繰返してゐるわが陸上陣地はこれに對し一齊に巨砲の火蓋を切り砲聲は鼓々として響つてゐる、海岸の小丘に立てば沖合僅か〇千メートルに近づいた敵機動部隊は戦艦或は大型巡洋艦らしき巨艦を先頭に立て陸岸に向つて二分間に一發位の間をおいて艦砲を發射しながら緩い速度で南下して行く、一群が去ればまた次の一群が現はれ、絶え間なく艦砲射撃を續けてゐる、その數七十餘隻、紺碧の海に眞白に光るその間も敵艦載機は一

瞬の途切れもなく空襲を續けてゐるグラマンやカーチスの戦機入り亂れてわが陣地の空を舞ひ不敵な急降下を繰り返して爆撃や機銃掃射を浴せて来る、何時に變らぬ敵の上陸作戦の常套戦術である、その首爆を浴けて炎上する煙もみえる、六日午後わが特攻隊が記者の目の前で敵機動部隊の真只中に突入した、敵の射上げる彈幕は猛烈で七十餘隻の大小艦艇は一齊に砲門を開き砲煙は忽ち空一面を眞黒に蔽ひ盡した、その中に敢然として燕のやうに飛び込んで行くわが神鷲のすさまじき、敵艦艇の紺碧の海上を右往左往してゐる有様が丘の上から手に取るやうに見える、ばつと上つた大きな煙は確か蘇沈の戦果を物語るのであらう、波絶、まさにルソン島決戦の火蓋は切つて落されたのである、さすがに夜に入つては敵も撃つて來ずまづ無氣味な静けさが海岸をすつぱり包んだ要所々々のあちらこちらから曳光線の色々な發火信號があがるが、わが鐵壁の譚りに怖れをなしたのかただ衝合を行進して艦砲射撃を加へるのみでなかなか上つて來ない、わが勇士は何時近づいて來るかも知れない敵上陸用舟艇のエンジンの音に聞き耳をたててじつと息を殺してゐる

敵後續部隊北上

【比島前線基地九日發】ルソン島各地を空襲するとともに北サンフェルナンドホリナオ等リンガエン灣一帯に艦砲射撃を加へ、不遜にもルソン島上陸の企圖を示しつつある敵は七日夜もリンガエン灣に侵入照明彈を射ち上げつつダモルテス沖合よりラボ方面に對し艦砲射撃を加へ來つたが、必死必中の我が陸海軍特攻隊を恐れる敵は陸岸への接近を避けその

艦砲射撃も緩慢となりわが方の損害は皆無であつた、更に敵は八日未明大小六十餘隻の艦艇をもつて灣内に侵入、サンフェルナンド南方五十料サンフアピアンに砲撃を加へ來つたが陸軍特攻隊をはじめとするわが荒鷲の猛襲によつてたちまち陣形を崩し沖合に遁走した、わが荒鷲はこれを追撃戦果擴大中であるが、一方敵は艦艇のみによつて編成されたこの第一梯團の後續部隊として戦艦二を基幹とし巡洋艦、驅逐艦など艦艇約三十隻大小輸送船百五十八隻、上陸用舟艇六十餘隻をもつて八日未明コレヒドール西北方八十二マイルの沖合を北上、ルソン島西岸への上陸を企圖しつつあるのでわが海軍航空部隊はこれを猛襲、早くも六千トン級輸送船一隻を轟沈引きつづき戦果擴大中である

敵サンフアピアンに上陸

【比島前線基地九日發】敵米は九日遂にリンガエン灣に不逞の上陸を開始した、この日快晴のリンガエン灣を山上より望めばサンフアピアン及びダグパン正面に遊弋する敵護衛艦隊の猛烈なる艦砲射撃の下にダモルテス、サントトーマス沖合にあつた敵船團は午前九時サフアピアン正面に散開陸地めがけて突進し來つたこの時護衛艦隊の上空一面に轟然對空砲火の彈幕がはり擡げられたと見られる瞬間、敵大型軍艦から突如噴火の如き黒煙が噴き上つた、見れば爆煙の薄らいだ海面には既に軍艦の姿は消え去つてゐた、正しくわが特攻隊の敢行した體當り轟沈だ、九時四十分敵の上陸部隊は遂にサンフアピアン、リンガエンの二方向を目標すらしい上陸用舟艇の一群が朝日を側面に受けて遠目にもはつきり白く光つ

て近づくと、我が既設陣地から砲打... 葉が打ち出され、二隻は三隻は木釣打... 陸軍第一連隊は猛烈な砲撃を蒙り、...

【比島前線基地十一日發】リンガエ... 灣岸にとりつ、敵の上陸部隊は... 十日早朝からリンガエ湾を中心と...

びせ多大の損害を蒙り、同一時五十... 完全なこれを撃退した、敵は... 艦船兵員に莫大な出血を蒙り、...

【比島前線基地十六日發】リンガエ... してリンガエ湾岸各所に上陸地... 行奥地に侵入せんとする敵に對し...

る、サンクトマト方面の敵兵力... は二十日夕刻現在約五百、ダモル... 地に攻撃し、約三百が集結、...

【比島前線基地二十日發】敵は戦車... 灣の内外で二百一十隻撃沈... 部隊の主力をリンガエ湾内に...

た模様である、またリンガエ、ダ... 敵は遂にアグノ河の線に進出、... 一部は同河を渡り南岸地区に進出...

【比島前線基地二十一日發】敵は戦車... 灣の内外で二百一十隻撃沈... 部隊の主力をリンガエ湾内に...

全線斬込み士氣昂る... 【二十一日】リンガエ方面の後... 十六日夜我が部隊は連戦敵陣内に...

【比島前線基地二十一日發】敵は戦車... 灣の内外で二百一十隻撃沈... 部隊の主力をリンガエ湾内に...

夜の猛攻が赫々の大戦果を挙げたこと
とが確認された、次いで二日夜から
三日拂曉にかけ数回に分れ敵飛行場
に殺到猛烈な銃爆撃を反覆敢行、北
飛行場に炎上三ヶ所、南飛行場炎上
四ヶ所、誘發二ヶ所、滑走路に命中
弾七を與へる戦果を挙げたが、わが
方も同夜半の攻撃に未歸還機四機の
尊い犠牲を出した、又三日夜半にも
サンホセ北飛行場を急襲、滑走路並
びに附屬施設に猛烈な砲爆撃を加へ
炎上二箇所、在敵機炎上二機の戦
果を擧げて全機態々歸還、更に他の
一隊はこれに引續いてサンホセ南北
兩飛行場を攻撃して全弾を命中せし
め全機無事歸還した、五日夜半にも
サンホセ南飛行場を攻撃、同飛行場
滑走路に全彈を命中せしめ全機歸還
した

西岸サンフアビアン敵飛行場を爆撃
した
菊水飛行隊戦果判明
【十五日】去る十二月十五日の敵ミ
ンドロ島上陸に先立ち十四日の早朝
サンホセ沖に出撃敵輸送船團の護衛
艦艇に攻撃を加へて散華した特別攻
撃隊潜水飛行隊を中心とする我が航
空部隊の戦果はその直衛機も歸還し
ないため、當時判明しなかつたが
この程敵艦船二十隻以上を撃沈する
の赫々たる戦果をうち立てたことが
判明した

は猛烈な敵対空砲火を銜いて大型輸
送船に體當り決行、これを撃沈し、
他の一機は續く大型油槽船に命中し
てこれを大爆炎上せしめ、更に他
の一機は敵輸送船一隻に必殺の命中
弾を投下これを炎上せしめて歸還し
た、陸軍特別攻撃隊一誠飛行隊の三
機が四日午後基地を進發した直掩戰
團機により奪らせられた空母一隻
沈戦艦若しくは巡洋艦二隻撃沈の一
しい戦果を開きつつ、五日出撃の輝
誠隊四機は空母二隻戦艦一隻を各轟
沈した、いづれも直掩機が確認した
赫々の戦果だつた、敵輸送船團六日
午前リンガエン灣侵入の報が基地に
入つた、これに續く二百有餘隻から
なる大輸送船團がバナイ島西方海面
北上中の情報が入つた時、特攻隊機
が相次いで進發した、直掩機も出撃
した、然しどの飛行機も基地には還
らなかつた、特別攻撃隊金剛隊は六
日夕刻ネグロス島の南方を行動中の
敵輸送船團を發見するや直ちに出勤
これに突入して甚大の損害を與へた
模様である、わが航空部隊は七日早
朝ミンダナオ海航行中の敵小型艦船
群を發見これに低空より銃爆撃を加
へ數隻を撃破した、また同日未明に
はルソン島サンフェルナンド沖で敵
舟艇群を攻撃、大型輸送船一隻を撃
沈、小型輸送船一隻を大破、更に翌
八日未明大型輸送船一隻を轟沈した
又午前七時半頃にはリンガエン灣内
で敵巡洋艦一隻が轟沈、輸送船四隻
が炎上するのが望見された、わが神
風特別攻撃隊は九日午前七時半頃
リンガエン灣内の敵輸送船團に半必
死必中の攻撃を與へ大型輸送船一隻
を轟沈、同一隻を撃沈した、わが航
空部隊は十五日晝間スール海を航行
中の敵輸送船團を攻撃し巡洋艦一隻

を撃破し十六日にはネグロス島南
方で敵輸送船團を捕捉、これに猛撃
を加へ相當の損害を與へた、又同日
夕刻セブ島東方海面で敵魚雷艇群に
攻撃を加へこれに損害を與へた
廿二日晝間にはカモテス海で敵魚雷
艇群を捕捉攻撃これに甚大な損害を
與へた、廿三日夜リンガエン灣の敵
艦船群を攻撃し、巡洋艦一隻に大型
爆彈の直撃を與へ大火災を生ぜし
めると共に驅逐艦一隻を撃破した、
廿四日夕刻ミンダナオ海航行中の敵
輸送船團を捕捉、これに猛攻を加へ
相當の損害を與へた、二十五日夜ル
ソン島のリンガエン灣内の敵艦船群
に猛攻を加へ、大型輸送船一隻、驅
逐艦一隻を撃破した

島の敵基地もわが特別攻撃隊を始め
荒鷲陣の出撃により前後二回にわた
その補強用船團もそれぞれその三
分の二以上の勢力を失つてその意圖
も失敗に歸しあまつさへそのサンホ
セ南北兩基地もわが猛攻の前に爆碎
せられて修復の暇もなく昨年中にお
ける比島方面の敵基地航空勢力はモ
ロタイ、ダクラン、ドラマック、タ
ウライ、ギニオン(サマル島)
サンホセ南北の各基地を綜合して爆
撃機コンソリデーテッドB24、ノ
スマメリカンB25、戦闘機ロッキ
ード、P38、リパブリックサンダーボ
ルトP47など約七百機内外にとどま
り、しかもこの航空力も相次ぐわが
攻撃によりて、その出勤可能機數は
約二百乃至三百機といふ不充分的な
態にあつた、この間わが航空部隊は
極めて少數の航空機に卓越せる技術
と神鷲の闘魂をのせて連日連夜敵頭
上に進攻、特にわが特別攻撃隊の神
鷲も随時に壯絶な攻撃戦を執行全軍
一丸となつて敢闘を續けた結果去る
十月以降陸戦戦果

タクロバン敵施設爆碎

【比島基地發】わが航空部隊は一日
未明レイテ島ハロ附近の敵陸上陸地
を爆破し更に同夜レイテ島タクロバ
ンの敵揚陸施設を爆撃、二ヶ所に大
火災うち一ヶ所に大爆炎を起さし
め、二日に同飛行場を爆撃、三ヶ
所に大火災を生ぜしめた、次いで三日
拂曉にも同飛行場を強襲、猛烈極ま
る敵防禦砲火を胃して單機毎に急降
下爆撃を反覆し、滑走路附近七箇所
を炎上二箇所は大爆炎を生ぜしめた
後對地砲撃を敢行飛行場施設、宿
營地帯等に大損害を與へて全機歸還
した

【比島基地發】わが航空部隊は新春
早々比島方面海域の敵艦船に對し連
續攻撃を行つてゐるが、先づ一日に
はスール海において中型輸送船一隻
を撃沈し、二隻を撃破、この攻撃の
最中に昨夜來燃え續けてゐた敵大型
輸送船一隻が大爆炎を起し瞬く間に
沈没するのが望見された、二日サン
ホセ飛行場攻撃の歸途スール海にお
いて敵小型輸送船一隻を撃沈同夜ミ
ンドロ海航行中の敵輸送船團にも銃
爆撃を加へ三日には一萬噸級大型輸
送船五隻小舟艇六十餘隻をスール海
に繰り出して來たが、時を忍みさずわ
が神風特攻隊二機が出撃、怒り大型
輸送船一隻を撃破炎上せしめ、他の
一隻は大火災を起して大傾斜した
が沈没は確認しなかつた、しかし撃
沈確實と見られ、このほか一千噸級
上陸用舟艇一隻を撃沈した

【比島前線基地七日發】敵米軍は昨
年十月比島反攻の前提條件として比
島方面に對する制空權の優位を狙つ
てレイテ島に上陸を行き航空基地を
設置しこれにより基地航空力の確
保を企てた、これに對しては我が空
陸精銳の反撃は敵米の豫想を越えて
遙かに熾烈を加へしかも我が航空挺
隊同高千穂降下部隊などの精銳が相
次いで敵基地に強行着陸し更にわが
荒鷲の連日連夜の猛攻に遭ひ敵側
の基地航空力獲得は遅々として進歩せ
ず焦慮に驅られた敵側は遂に十二月
十五日ミンドロ島に對して揚陸を行
ひここにサンホセ南北兩飛行場を設
定して基地航空力を獲得せんと企て
たのであつた、しかもこのミンドロ

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

サンフアビアン敵飛行場爆碎

【比島基地發】わが航空部隊は廿八
日夜も引續いてリンガエン灣方面の
敵を爆撃し、サンフアビアン方面の
敵飛行場を爆碎また大型輸送船二隻
に大型爆彈を命中せしめ大火災を生
ぜしめた、又卅一日夜にもルソン島

【十五日】去る十二月十五日の敵ミ
ンドロ島上陸に先立ち十四日の早朝
サンホセ沖に出撃敵輸送船團の護衛
艦艇に攻撃を加へて散華した特別攻
撃隊潜水飛行隊を中心とする我が航
空部隊の戦果はその直衛機も歸還し
ないため、當時判明しなかつたが
この程敵艦船二十隻以上を撃沈する
の赫々たる戦果をうち立てたことが
判明した

【比島前線基地七日發】敵米軍は昨
年十月比島反攻の前提條件として比
島方面に對する制空權の優位を狙つ
てレイテ島に上陸を行き航空基地を
設置しこれにより基地航空力の確
保を企てた、これに對しては我が空
陸精銳の反撃は敵米の豫想を越えて
遙かに熾烈を加へしかも我が航空挺
隊同高千穂降下部隊などの精銳が相
次いで敵基地に強行着陸し更にわが
荒鷲の連日連夜の猛攻に遭ひ敵側
の基地航空力獲得は遅々として進歩せ
ず焦慮に驅られた敵側は遂に十二月
十五日ミンドロ島に對して揚陸を行
ひここにサンホセ南北兩飛行場を設
定して基地航空力を獲得せんと企て
たのであつた、しかもこのミンドロ

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

新春早々荒鷲連續出撃

【比島基地發】わが航空部隊は新春
早々比島方面海域の敵艦船に對し連
續攻撃を行つてゐるが、先づ一日に
はスール海において中型輸送船一隻
を撃沈し、二隻を撃破、この攻撃の
最中に昨夜來燃え續けてゐた敵大型
輸送船一隻が大爆炎を起し瞬く間に
沈没するのが望見された、二日サン
ホセ飛行場攻撃の歸途スール海にお
いて敵小型輸送船一隻を撃沈同夜ミ
ンドロ海航行中の敵輸送船團にも銃
爆撃を加へ三日には一萬噸級大型輸
送船五隻小舟艇六十餘隻をスール海
に繰り出して來たが、時を忍みさずわ
が神風特攻隊二機が出撃、怒り大型
輸送船一隻を撃破炎上せしめ、他の
一隻は大火災を起して大傾斜した
が沈没は確認しなかつた、しかし撃
沈確實と見られ、このほか一千噸級
上陸用舟艇一隻を撃沈した

【比島基地發】わが航空部隊は新春
早々比島方面海域の敵艦船に對し連
續攻撃を行つてゐるが、先づ一日に
はスール海において中型輸送船一隻
を撃沈し、二隻を撃破、この攻撃の
最中に昨夜來燃え續けてゐた敵大型
輸送船一隻が大爆炎を起し瞬く間に
沈没するのが望見された、二日サン
ホセ飛行場攻撃の歸途スール海にお
いて敵小型輸送船一隻を撃沈同夜ミ
ンドロ海航行中の敵輸送船團にも銃
爆撃を加へ三日には一萬噸級大型輸
送船五隻小舟艇六十餘隻をスール海
に繰り出して來たが、時を忍みさずわ
が神風特攻隊二機が出撃、怒り大型
輸送船一隻を撃破炎上せしめ、他の
一隻は大火災を起して大傾斜した
が沈没は確認しなかつた、しかし撃
沈確實と見られ、このほか一千噸級
上陸用舟艇一隻を撃沈した

【比島前線基地七日發】敵米軍は昨
年十月比島反攻の前提條件として比
島方面に對する制空權の優位を狙つ
てレイテ島に上陸を行き航空基地を
設置しこれにより基地航空力の確
保を企てた、これに對しては我が空
陸精銳の反撃は敵米の豫想を越えて
遙かに熾烈を加へしかも我が航空挺
隊同高千穂降下部隊などの精銳が相
次いで敵基地に強行着陸し更にわが
荒鷲の連日連夜の猛攻に遭ひ敵側
の基地航空力獲得は遅々として進歩せ
ず焦慮に驅られた敵側は遂に十二月
十五日ミンドロ島に對して揚陸を行
ひここにサンホセ南北兩飛行場を設
定して基地航空力を獲得せんと企て
たのであつた、しかもこのミンドロ

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

敵來襲機の主力リソガエン地
上作戦に協力

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

【比島基地發】ルソン島方面に對す
る來襲敵機の主たるものは大型機と
してはB24、中型機P38、小型機P
47で、その他に中型機B25、A20A
小型機P51、P40も姿を現はしF4
U、F6Fの艦載機も屢々來襲して
ゐる、廿三日は延二百六十三機のう

ち大型が五機、中型が百七十機、小型が八十八機であり、廿四日は延四百五十四機、内大型百廿二機、中型二百二十四機、小型五十九機であった、これらの發進基地はモロタイ、レイテ、ミンドロの各飛行場で發進時刻は大體モロタイが午前三時半乃至四時、レイテが午前七時乃至十時、ミンドロが午前八時乃至九時と見られ、午前中一回の來襲で二十機内外の網隊を組み各基地梯圍毎に來襲するのが常套戰法である、但し機動部隊が近接した際行はれる艦載機の來襲とわが交通路の遮断、陸地構築の妨害などに數機を以てするゲリラ的來襲は午後も屢々行はれてゐる、敵來襲機の主力は始りリンガエン方面に向ひ地上作戦に協力してをり、足の短い戦闘機は最近使用可能となつたリンガエンの飛行場に着陸してわが斬込隊の奇襲に戦きながら燃料、機銃弾の補給を行ひ、地上作戦に協力してゐる、リンガエン方面以外ではマニラ及びクラークに中、小型機の一部が連日來襲してゐたが、マニラに對する來襲は延三十機程度で市街地の目貫通りに機銃掃射を浴せ無事の比島人を戦慄させてゐる、またレガスピ、ナガ、オロンガポ、エテアグ等にも來襲を見るがこれは一週に一回程度である、臺灣東方海面に敵機動部隊が發動してゐた際はアパリ、ルセナ方面にグラマンの來襲が相當活潑に行はれたが、廿一日わが神風特攻隊のため大損害をうけて以來は全然來襲を見てゐない、以上の來襲状況は薩のルソン作戦開始前に豫想されたよりはるかに微弱であつて敵の航空兵力がレイテ戦以來非常な打撃を受けてゐることを物語るものである、一月中に於ける比

島各地敵機來襲状況左の通り
【ルソン地區】
△マニラ △六日朝B24等大型機四十六、艦載機グラマン二十八△十九日B24廿四、F47P38、F4U等三十二△廿一日朝ダグラス重爆機一、晝B24廿二外小型機約百△廿二日晝陸上機約百四十八△廿三日朝P47八、P38九、A20A十九、F51二、晝B24、小型機延百四十一△廿四日朝P38B24P51等三十九、晝大型小型機約百五十△廿五日朝P38P47延四十七(コンヒドル)B24、P38P47A20A51延八十二△廿六日B24B26P70P38P47P51延百六十二△廿七日B24B25延百四十八△廿八日B24、A20A、P38P47P51P40P4U、F4P、B26延五百△廿九日約百四十△クラーク・ワイールド △二日晝B24P38三十三△廿四日P38B24P51三十八
△バギョ △廿二日晝小型機約三十
△南部カビテ △廿八日晝B24延三十六△卅一日晝大中小型機延百
△北部ツゲガラオ △廿六日晝P38P47六十以上△廿七日中機數十△廿八日B25P38約四十
△北部アパリ △廿九日午前中型、小型延十六
△テオアグ △廿七日晝小型機數十

【ミンダナオ地區】
△四日晝B24P38約五十
△南部 △廿日B24P38四十數晝P51B24P38延十六△廿一日B29外八小型機三十數△廿六日午前B25P38延二十四△廿七日晝小型機二十八
△ダバオ △二日晝B24十數△三日午前B24P38十數、晝B25P38二十數△六日午前B24十數△七日未明中型機十數△八日午前B24十數△十五日晝B24十數△廿二日晝B24十數△テゴス △二日B24十數

【比島基地二月二日發】わが潜水艦は三十日未明ルソン島西方海面で油槽船を含む敵輸送船團を捕捉、これに攻撃を加へ油槽船一隻、輸送船二隻を撃沈した
ウエルデ島を敵艦砲射撃
【ルソン前線三十一日發】飽く迄南部ルソンを窺ふ敵は基地航空勢力をもつてバタアン半島、コレヒドール及びバタアン方面への攻撃を反復すると共に、廿九日にはミンドロ島とルソン島の中間のヴェルデ島に艦砲射撃を加へて我が部隊と交戦しまた舟艇を以てバラヤン灣内の強行偵察を行ふ一方バタアン半島北方スピック灣の沖合に戦艦、巡洋艦、驅逐艦など十數隻、その他機種不詳數隻の艦艇を行動せしめ、スリガオ

海峽よりミンダナオ海へは輸送船團の北上を急ぎつつあり、敵リンガエン灣上陸後二週間餘にしてルソン戦線は逐次南方へ擴大戦局は重大化しつつある
驅逐艦の喪失を發表
【リスボン五日發】ワシントン來電
米國海軍省は比島水域において日本軍の攻撃により驅逐艦レイド號(一、五〇〇噸)を喪失した旨五日發表した

海上

【比島基地發】我が潛航艇は三日未明スール海方面で行動中の敵艦艇群を捕捉、驅逐艦一隻を撃沈、五日午後二時過ぎミンダナオ海で敵輸送船二隻、中型輸送船二隻を雷撃により撃沈、廿四日夜間ミンダナオ海において敵輸送船團を攻撃し、輸送船二隻、艦種未詳一隻、計三隻に魚雷を命中せしめた

島テレ

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた
荒鷲パロンボンを攻撃
【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

敵側情報

日本の攻撃力は強大
【リスボン四日發】ワシントン來電
陸軍長官スチムソンは四日の新聞記者團會見で比島作戦に關し次の通り言明した
フィリッピン作戦における日本の攻撃力は依然強力である、ミンドロ島に對する米國軍の補給は今後も日本空軍による空爆の危険に曝されなければならぬ、この補給戦で米國側は既に損害を蒙つた

敵側情報

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

【比島基地三十日發】我が航空部隊は廿日夜間レイテ島の西岸パロンボン附近敵陣地を攻撃低空より銃撃を加へた

兩首魁會談

【リスボン八日發】 眞珠灣來電ニ米國太平洋艦隊司令長官チエスター・ニミッツは十二月末フイリッピンに赴きマツカーサーと會談した旨八日發表した

決戦開始と諺號

【リスボン十日發】 米軍のリンガン灣上陸に關し、マツカーサー司令官は十日朝公報をもつて「我軍はリンガン島に上陸した、右作戦は海軍並に航空隊の砲撃によつて掩護された日本軍航空部隊は我軍の作戦の一貫性を破らうとして我が海軍部隊に對し繰り返し猛攻撃を行ひ、わが軍に或る程度の損害を與へた」と發表、わが特攻隊の猛襲の偉力を煙幕越しながら認めたが例により「たゞし上陸軍の損害は輕微であつた」と國民の出血に對する不安を抑へた一方、この上陸作戦を「比島及び西南太平洋制壓のための決定的戰鬪」と稱してゐる

△マツカトサー直接指揮【リスボン十日發】マツカトサー司令官の公表によればマツカトサーは前線に於て自ら作戦を指揮してゐるといはれる△數ヶ所に上陸と發表【リスボン十日發】マツカトサー司令官は米軍が九日朝リンガン灣の數ヶ地點に上陸した旨發表した

△敵軍の編成【リスボン十日發】マツカトサー司令官の公報によれば、リンガン島に上陸を開始した敵地上部隊は中將ウォルター・クルーガー麾下の米第六軍であり、これにキングデー麾下の第七艦隊所屬海軍部隊及び濠洲戰隊、ケネー麾下の極東航空隊が掩護を與へ、更にハルゼー麾下の第三艦隊も協力中といはれる

△米軍上陸據點の確保に努む【リスボン十日發】UP前線特派員の報道によれば九日朝リンガン灣に上陸を開始した米第六軍はサンフアピアからリンガン島に至る地域の上空據點確保に努め、戰車を先鋒とする米軍部隊はマニラ街道沿ひにリンガン島中央平原への進出を狙つてゐるといはれるが、同方面に布陣する皇軍主力の攻撃を恐れ、海岸から奥へはあまり侵入せず目下上陸據點の強化に主力を注いでゐる模様で、同方面の平地は目下乾燥期で大機甲戰に適してをり、日米兩軍の地上決戦開始の時機は刻々近づいてゐる

△敵上陸軍は第十四兵團【リスボン十一日發】太平洋戰線からのロイター電報によればリンガン島の上陸軍は米第六軍所屬第十四兵團といはれる△敵揚陸物資八萬トン【リスボン十一日發】米太平洋第七艦隊旗艦からの電報によれば、米水陸兩用作戦司令官海軍少將ダニエル・E・パーベは十一日比島上陸作戦開始後揚陸せる補給物資並に裝備がすでに八萬トンを越える旨言明したといはれる

野戰兵力の大奮戦を豫想

【リスボン十一日發】 ニュートヨーク・タイムズ紙軍事記者ロバート・トランシブルはリンガン作戦の將來を展望野戰兵力の大奮戦を豫想九日の紙上で次の様に報じてゐる
マツカトサー軍のリンガン島上陸はこれに先立つ一切の太平洋侵襲戰が指した大作戦の開始であり、將來の太平洋戰略の礎石となるであらう、即ちこゝで初めて米軍は十分機動戰の展開し得る廣大な地域で日本軍野

戰兵力と相見えることゝなつた譯だ
ルソン島作戦が今後幾ヶ月續くかは豫斷の限りでないが、勝敗を左右するものは恐らく米國太平洋艦隊であらう、太平洋艦隊の任務は日本空軍並に地上兵力がフイリッピンに増され、兩軍兵力の均衡が日本軍に有利に轉ずるのを阻止するにある
また空軍の見地からしてもルソン島侵入は太平洋における未曾有の大作戦である、しかして日米兩空軍は日本本土に近接しかつ日本軍が自ら欲するならばその全兵力を繰出し得る地域において本格的戰鬪を交へることゝなつた、日本軍爆撃機は搭載する爆彈を加減すれば直接日本本土からルソン島へ飛べるし、双發戰鬪機ならば九州から臺灣へ一飛びして更にルソンへ向ふことが出来、また支那から臺灣を経由してルソンへ飛ぶことも可能だ

ルソン上陸英は反對

【ストックホルム十一日發】 米軍のルソン島上陸は太平洋戰局に新たな一頁を劃するものだが、この作戦は端なくも米英兩國の軍事關係に新たな重大問題を提起するに至つた、即ち西部戰線における反樞軸軍の墜跌に伴ひ歐州戰に最も深い關心を寄せ英國内では太平洋戰に重點をおくべき方式を再検討し、歐州戰に重點をおくテヘラン方式に復歸せよと要求する聲が各方面にあがつてゐるが、米軍のルソン上陸を契機として以上の聲は急角度に有力化し、遂に英國の輿論を支配する程度にまで尖鋭化するに至つてゐる、例へば英

國軍部筋と最も密接な關係を有し或る場合には英國軍部の代辯者と見做されてゐるロイター軍事記者ジョン・キムチはルソン上陸を強行した米國の獨善戰略を非難して十一日次の通り論じてゐる
ルソン侵襲作戦は反樞軸世界戰略の轉機を畫するものだ、何故なれば反樞軸は太平洋戰に壓倒的割合の豫備兵力を投入した結果、もはや他の戰域からの要求に應じて豫備兵力を割く餘地が全くなくなつたことを全世界に廣告し、その結果反樞軸は依然太平洋戰に重點をおいてゐるといふ明確な言質を與へてしまつたのである、ルソン上陸作戦の顯著な特徴は四五ヶ月前に計畫されたものであることだ、當時米陸軍參謀總長マシヤルは歐州戰が既に本年一月頃には片付いてゐるといふ想定に基づいてルソン上陸作戦を計畫したのである、しかるに昨年秋迄に歐州戰を片付けてることに失敗した結果、太平洋戰の重點主義は當然再検討を要する筈である、英無任所相リヤード・ローの華府訪問もこのことを主な目的とした譯だ、しかるに米軍は世界戰局の變轉を無視し、ルソン上陸作戦を強行したその結果はどうか、ルソン作戦がうまく進めば米軍は更に豫備兵力を投ずるであらうし、日本軍にしてやられてもまた新たな兵力を投入する破目に追ひやられることにならう、しかるに歐州戰域に一個師團の兵力を派遣するには僅かに五萬噸の船腹と二週間の時日を要するだけで

敵誌が描く神驚の姿

【ストックホルム十一日發】 一機一艦の體當りに敵艦船を屠る比島の皇軍特攻隊の壯烈な戰鬪振り故國を遠く離れた我々の胸を強く揺ぶらずには置かないが、米國軍當局は自軍の士氣に對する悪影響を恐れ日本大本營の相次ぐ發表に目をふさいで殆ど特別攻撃隊の活躍に目も觸れてゐない、だがあの華々しい若櫻の攻撃振りが敵側の報道にも現はれない筈はない、記者は毎日目を皿のやうにしてそれを搜した、そして見付けたのが十二月十八日號の「タイム」誌であつた、「タイム」誌は太平洋戰況欄において第七十七師團がオルモック灣に上陸を開始した十二月七日の日本軍航空部隊の攻撃振りを次のやうに報じてゐるのである
やがて日本の航空部隊は少數機の編隊をもつて次々に襲ひかかつて來た上空には陸軍の「ライトニング」戰闘機が舞ひ上つて戦ひに戦ひ抜いたが、日本機の攻撃は九時間に亘つて續けられた、しかもうけた損害は小さくはなかつた、一機の日本機は如きは火焰に包まれながら五哩も飛び

續け、遂に米國の驅逐艦に突つ込んだ、そして更に雷撃を受けて沈没した驅逐艦もあつた、また驅逐艦から改装した快速輸送船も一隻撃沈された

この壯烈極まる攻撃はかうした撃沈戦果だけを齎したのではない、「タイム」誌はこの大空襲の間に日本軍の護送船が敵の上陸地點から程遠からぬサンインシンドロ灣に突入したと報じてゐる

作戦益々困難とならん

【リスボン十三日發】眞珠灣來電 米中部太平洋艦隊水陸兩用部隊司令官リチモンド・ケリーは十二日次の通り述べた

今後太平洋戰域における米軍の上陸作戦は初期の南太平洋作戦やギルバート諸島、マーシャル群島或はマリアナ諸島に對する上陸作戦に比し一層大きな犠牲を伴ふであらう、而して我々は輸送船團、橋頭堡掩護のため新しい技術を案出することが必要となるであらう

△日本軍の抵抗増大 【リスボン十四日發】ルソン島に上陸したマツカサ軍は極めて慎重に構へ目下今後作戦の基礎となる橋頭堡の擴大に専念してゐる様子で比島前線基地からの報道によれば米第六軍はリンガエン灣岸の橋頭堡を東南西の三方向に擴大しようとしてゐるといはれる

従つて日本軍有力部隊との接觸は未だない模様だが過去一兩日來、日本軍の抵抗が漸次増大して來たことは争へず十四日マツカサ司令官部當局でも「橋頭堡の周邊至る處において日本軍の抵抗が激化特に左翼においては米軍は強力な抵抗に遭遇してゐる」旨言明したと傳へられる

△我が猛攻を認む 【リスボン十四日發】米軍の不遜な比島侵攻企圖擊碎に敢闘するわが航空部隊の猛攻よりは彼我共に認めるところで比島からの前線報道によればマツカサ司令官部は十四日の戰況公報で左の通り述べたといはれる

日本軍航空部隊は十三日リンガエン並びにルソン島西方において米軍船舶に攻撃を加へ、船舶は損害を被つた

フレージャー九死に一生

【リスボン十四日發】英軍當局はチャーチルの代表としてマツカサ司令官部に派遣されてゐた海軍中將ハーバート・ラムズデンが一月六日太平洋において一米國軍艦の艦橋を日本航空部隊の攻撃を受けて戦死した旨發表したが、レイテ島からのUP通信十四日報道はラムズデンの戦死した箇所がリンガエンであり當時太平洋英艦隊司令官フレージャーも現場附近に居合はせたが辛くも九死に一生を得た旨次の通り報道してゐる

フレージャーはリンガエンにおいて米國の軍艦上でマツカサ司令官部附近のチャーチル代表中將ラムズデンと米國の一新聞記者が日本航空部隊の投下した爆弾で戦死した際彼もこのあほりでもぶつ倒れたと記者團會見で言明した、當時フレージャーは戦死したラムズデンと「タイム」及び「ライフ」誌特派員チカカーリングの兩名と雑誌を渡した後に軍艦の右舷から港の棧橋に交つたその直後には爆弾が落下炸裂したもので昏倒したが負傷はしなかつた

ルソンの主力陸上戦闘未だし 【リスボン十四日發】ニューヨーク來電 ニューヨーク・タイムス紙軍事記者ハンソン・ポールドウインは十四日ルソン島の戦局につき左の通り論じてゐる

米軍のルソン島上陸は太平洋の戰略的相貌を變へることとならう、マニラは東洋における最良港の一つである、ルソン島は臺灣との間のパシフィック海峽を通過する海上交通を制し米軍は同島からB29によつて九州及び臺灣の何れの個所にも攻撃することが可能であり、同島には日本への侵攻のための飛行場、修理場、交換資材貯蔵その他に必要な廣濶な地域がある、然しこれらの戰略的利點は米軍にとつて未だ現實のものではない、ルソン戦闘はまだほんの始まつたばかりで太平洋戦争における最大の陸上戦闘は前途に横たはつてゐる、米軍は未だ日本軍の主力に遭遇してゐない

米軍の左翼を痛撃 【リスボン十五日發】ルソン島の米第六軍はアグノ河の線に到達した後更に南下を企圖してゐる様子で前線報道によれば米軍は機甲部隊を以てタルラック洲の突入を狙つてゐるといはれる、一方米軍の左翼サンファビア方面においては日本軍の抵抗により米軍の奥地進出は完全に阻止されてゐるといはれUP特派員に十五日「日本軍は米軍の左翼に對し砲撃を加へ米軍陣地内に少なからぬ困難を生じさせた」と報じ更に別電は「過去二晩乃至三晩に亘り米軍橋頭堡の左翼に對し日本軍は後方の丘陵地に配置した重砲を以つて砲撃を加へた旨傳へてをリンガエン西方においても十五日小部隊の接觸があつたといはれる

米軍の左翼を痛撃 【リスボン十五日發】ルソン島の米第六軍はアグノ河の線に到達した後更に南下を企圖してゐる様子で前線報道によれば米軍は機甲部隊を以てタルラック洲の突入を狙つてゐるといはれる、一方米軍の左翼サンファビア方面においては日本軍の抵抗により米軍の奥地進出は完全に阻止されてゐるといはれUP特派員に十五日「日本軍は米軍の左翼に對し砲撃を加へ米軍陣地内に少なからぬ困難を生じさせた」と報じ更に別電は「過去二晩乃至三晩に亘り米軍橋頭堡の左翼に對し日本軍は後方の丘陵地に配置した重砲を以つて砲撃を加へた旨傳へてをリンガエン西方においても十五日小部隊の接觸があつたといはれる

米海軍二指揮官戦死發表 【リスボン十六日發】ワシントン來電 米海軍省は十六日公表で、海軍少將セオドール・チャンドラー及び戦

艦々長大佐ロバート・フレミングの兩名がルソン島侵攻の掩護作戦において戦死した旨發表した

日本軍意外に慎重 【リスボン十六日發】「ニューヨーク・タイムス」紙は十六日ルソン島の戦況に關し次の通り報じてゐる

日本軍がルソン島に全兵力を集結しつつあることは疑問の餘地がない、現在までのところ日本軍は豫想外に慎重な態度を示してゐる、即ち米軍はさして熾烈な抵抗にも遭遇せずに進撃を續けてゐるが、山下大將がいづればマニラ北方の線で猛烈な抵抗を試みることは當然豫想されるところだ、従つて米軍の目下の進撃は全然當にならず、前途には恐るべき困難が山積してゐる

第七航空隊も比島へ出動 【リスボン十七日發】ワシントン來電によれば米國第七航空隊のB24機隊が十四日比島の日本軍陣地を爆撃したといはれ、第七航空隊が比島作戦に参加してゐることが判明した、同航空隊の司令官はマリアナ諸島にある

寸土を争ふ激戦展開 【リスボン十八日發】十六日のマツカサ公報は「リンガエン橋頭堡の東北端では、日本軍の反撃により上陸以來最も激烈な戦闘が展開された」と報じ、同日のUP電報は「ホルテからスポルビオに至る地域では各處に激戦が展開されてゐる」と傳へてゐる、更に十八日のUP前線報道では日本軍の反撃増大を指摘、次の通り報じてゐる

らうことは殆んど疑ひがない、ダモルテスの東方半哩以内の地點で米軍は丘陵内に壘壕を構へてゐる日本軍と活潑な戦闘を交へ、一インチの土地を争ふ激戦を餘儀なくされてゐる

一方タルラック目指して南下する米軍の一部は若干の進出に成功した模様でA1電報は米軍がバニキ近傍に進出したと傳へてゐる

爆弾を腰に戦車へ體當り 【リスボン十三日發】ルソン島前線からのA1電報は日本軍地上部隊の壯烈な特攻精神を十八日次の通り報じてゐる

リンガエン灣からマニラに通ずる道路上では過去二十四時間日米兩軍間に鎗を削る戦車戦が展開されてゐるが、二名の日本歩兵が腰にダイナマイトを結び付けて戦車に體當りしてきたのは流石の米軍兵士も驚いてゐる

【リスボン二十五日發】ルソン島作戦に従軍してゐるA1特派員リチャード・バグホルツは二十四日アラダ山山の肩にある日本軍砲兵陣地に戦車を以て攻撃した陸軍大尉ストリーの談として日本兵の勇敢な戦闘ぶりを次の通り報じてゐる

米軍のシャーマン戦車四臺は歩兵の先頭に立つて日本兵の中に突入した日本軍は初め戦車の突入を許したが突然これを圍んで猛撃を加へた、米軍は彈薬に不足して後退し無電で援軍を求めた、シャーマン戦車六臺が急派され、日暮れ時の激戦最中に到着した日本兵は猛り狂つた、中には戦車の上によち上つた者もあつた、余は一名の日本兵が戦車の脊に乗つてガスタンクに火をつけようとしてゐるのを目撃した、あわてた戦車兵は砲塔を三百六十度回轉させてこの

本軍の抵抗は引續き強化された、日本軍がマニラバギオ街道の支配を維持するため斷乎たる抗戦を行ふだ

日本兵を轉落させた、然しこの日本兵は再びよち上つてガスタンクに點火しようとした

敵比島作戦最大の難問題

【チヌーリツヒ十九日發】 トリビニン・ド・ジエネーグ紙ワシントン電は次の通り報じてゐる
ルソン島上陸はラインとフイリビンの二戦線に同時に補給する難問題を提起し重大な船腹問題となつた、米本土と比島の間を往復するには百日位かかる、つまり一隻の舟では毎年二回乃至三回の航海しか出来ない、ワシントンの軍當局もマツカーサーの直面する困難は認められてゐる、しかして米國の新攻勢を困難ならしめてゐる原因は恐らく次の二點だ
一、航行に困難な細い水路により隔てられてゐる數十の島々から成る比島群島の地形
一、日本軍の空襲の眞下にさらされてゐるレイテ、ミンドロ、ルソン間の米軍補給線

【リスボン二十日發】 リンガエン灣方面で最も熾烈な戦闘が展開されてゐるのは米軍橋頭堡の東北端に當るロザリオからボザリオに至る地區だが、マツカーサー司令部に二十日早朝の公報はロザリオ近傍で日本軍が夜間猛反撃を加へ來り、血闘が展開された旨報じた、またUP前線特派員は丘陵地帯による日本軍の猛抵抗を蒙りこの方面の米軍の進出は極めて困難であり、そのため米國艦隊はロザリオ周邊の日本軍陣地に艦砲射撃を加へ、地上部隊を掩護してゐる旨報じてゐる、他方ルソン中央平原への進出を企圖する米軍主力の先鋒はアグノ河を越えて若干進出しタルラック州のカミリング、パニキ兩市

近傍に進出した模様だ
【リスボン廿二日發】 サンフアピア東方のボゾルビオからロザリオに至る丘陵地帯では依然激戦が續行されてゐるが、廿一日のニュー・ビー前線報道によれば日本軍の一部にダモルテスから東方に進出した後ロザリオ郊外の米軍部隊に對し夜間猛烈な反撃を加へ、米軍は一時之を撃退したが日本軍は米軍陣地に對する砲撃を續け、米軍砲兵も之に應酬してゐるといはれる
ルソン島上陸米軍首腦

【リスボン廿三日發】 マツカーサー司令部は廿三日の公報を以てリンガエン方面の作戦に参加してゐる米軍兵團長及び師團長の姓名を發表した
一、第一兵團長少將イニス・D・スタイン、第六師團長少將エドウィン・D・パトリック、第廿五師團長少將チャールズ・L・ムーリンス、第百五十八師團長代將ハンフオード・マクナイダー
一、第十四兵團長少將オスカー・W・グリスウオルト、第廿七師團長少將ロバート・S・ベニトラー、第四十師團長少將ラフ・ブラツシエ
一、第一兵團に屬する第四十三師團長の姓名は未だ明かでない
米軍の編成

【リスボン二十三日發】 マツカーサー司令部二十三日朝の公報によればリンガエン灣方面の米軍の編成は次の通り
一、米軍の左翼は第一兵團で第六、第二十五、第四十三各兵團及び第百五十八師團がこれに含まれてゐる
一、米軍の右翼は第十四兵團で、この中に第十七、第四十各師團が含まれてゐる
一、第一、第十四の兩兵團は共に中

將クルーガー麾下の米第六軍に屬するものとみられる
△米軍第八軍が参加【リスボン二月一日發】 マツカーサー司令部公報によれば米軍はルソン島西部サンハン海岸のサンナルシヨからサンアントニオに至る地域に上陸したが、右側上陸作戦に参加した部隊は米第八軍所屬第十一兵團の第三十八師團及び第二十四師團の一部であり、第八軍の司令官は中將ロバート・L・アイチネルバガー、第二十四師團長は少將フレデリック・A・アーヴィンであるといはれる
頻りに日本軍の作戦意圖を模索

【リスボン廿六日發】 ルソン島に上陸したマツカーサー軍は當然日本軍の猛反撃を受け決戦を餘儀なくされるものと豫想してゐるに拘らず、日本軍の主力が依然として無気味な沈黙を守つてゐることは相當彼等の膽を冷させてゐる様子で、UPワシントン記者は日本軍の作戦意圖をあこれこれと忖度して二十七日次の様に觀測してゐる
米國內ではルソン島における日本軍がまだ大規模な反撃に出る來ない事實から安價な樂觀に耽つてゐる者が可成りあるやうだが、日本軍司令部が切札を示さずに全然新手の巧妙な防衛戦術展開の機を狙つて待機してゐることを知つたら、彼等はどんなに驚くことであらう、日本軍は明かに現在の前哨戦を一大決戦に轉化せしめる企圖を藏し、次の二要因の徐ろに熟して來るのを待つてゐるのだ
一、マツカーサー軍はリンガエン灣以外に新上陸を企圖してゐるかどうかの問題、これがはつきりしなければ日本軍は主力を動かすまい
一、米軍陣地を一氣に捲き落すため

決戦場としての有利な地形を求め
日本兵と酷熱とに悩む米兵
【リスボン廿八日發】 ニューヨーク來電「共和黨下院議員マーガレット・スミスは昨年末太平洋前進基地を視察して廻つたが、廿八日同方面の状況を次の通り語つた
われわれは十二月米軍部隊がレイテ島で戦つてゐる最中に太平洋へ行きルソン上陸作戦が開始される前に歸つて來た、太平洋戦争における第一の問題は兵員及び補給關係だが、米國の進む道はまだ大抵遠い、われわれが訪問した島は大抵全長二、三哩で滑走路、船舶の燃料補給地、陸上探照燈の燈床に丁度い、位の小島であつた、これらの島に駐屯する米軍將兵のなすべきことは丘陵や洞穴に潛んでギリギリ戦に出る日本兵を殲滅することである、私は何百といふ兵士や海兵隊員と話をして來たが、兵士達は日本兵、密林、酷熱と戦ふ許りでなく絶えず熱帯病の危険に曝されてゐる、従つて排水設備を作ることが第一の仕事で、マヌス島では約四ヶ月の後に茂林や密林はローラーでならされて排水の完備した小都市に變り、戦闘部隊を載せた補給船が荷揚げや荷卸しするやうになつた

海上戦線

米海軍新損害を發表

【リスボン十日發】 ワシントン來電「米國海軍省は西部太平洋で作戦中の米海軍驅逐艦「ハル」「モナガン」(何れも一、三九五噸「スベンス」(一、〇〇噸)の三隻が颱風のため沈没した旨十日發表、また上陸用舟艇(LST)四隻、快速艇一隻、小型驅逐艦一隻、小型補助艦一隻が日本軍のため撃沈された旨併せて發表した、「ハル」「モナガン」兩驅逐艦の定員は約百五十名、「スベンス」の定員は約二百二十名であり將兵の損失は四百名以上に達するとみられる
米第廿一爆撃隊司令更迭

【リスボン廿二日發】 ワシントン來電「米國陸軍省は廿二日次の通り發表した
一、グアム島に基地を有する第二十航空隊所屬第廿一爆撃隊司令ヘイワード・ハンセルは本國に歸還、新任務に就くことになり、後任として支那方面を基地とする第二十爆撃隊司令少將カーチス・ルメーが任命された、ルメーの後任には第廿一爆撃隊參謀代將ロジャール・ラマーが任命された

濠洲方面

濠洲軍比島戦に参加

【リスボン七日發】 キャンベラ來電「濠洲首相代理フランシス・ブオードは六日次の通り言明した
濠洲軍は現在陸海空三軍を擧げて比島作戦に参加してゐるが、重要な役割を演じてゐる
わが鐵艦隊西海岸に出撃
【中部太平洋基地廿九日發】 わが潜水艦は長驅米本土西岸に補給路攪亂作戦を敢行、東太平洋を縦横に馳騁し油槽船一隻、輸送船三隻以上を撃沈した

東太平洋

北太平洋

幌筵島に艦砲射撃

【北東方面發】六日午後三時過ぎ敵艦艇約七隻は幌筵島の一部陣地に艦砲射撃を加へてきたが、我が所在部隊は猛攻、直ちにこれを撃退した又七日同一地區にB24二機侵入し盲爆せるもわが制空部隊の活躍により致命的損傷を受けたもの如く辛うじて洋上に脱去した、わが方損害皆無である

南太平洋

ブ島で激戦

【リスボン三十一日發】マツカサ司司令部三十一日の公報によれば、ブーゲンビル島の濠洲軍部隊はブカ飛行場南方約十四哩の地點で日本軍の組織的攻撃を蒙り、激戦を展開したといはれる

中部太平洋

第二十一爆撃隊司令部を移轉

【リスボン三日發】サイパン島を基地とするB29爆撃隊はわが航空部隊の相繼ぐ爆撃により相當甚大な損害を受けてゐる模様だが、大宮島からのAP電報によれば、第二十一爆撃隊司令官ハンセルは三日その司令部をサイパン島から大宮島に後退移轉した旨發表したといはれる

サイパンを新春初空襲

△大本營發表(昭和二十年一月三日十五時)我航空部隊は一月二日未明

サイパン島の敵飛行場を攻撃し二箇所以上を爆砕炎上せしめたり
戦間經過【三日】皇土爆撃の策源地サイパン島に對し我が航空部隊は二日未明年初の爆撃を敢行、敵に痛烈な損害を與へた、即ち二日午前三時頃我が航空部隊はサイパン島アスリート飛行場に殺到、敵の猛烈な照射砲撃を冒して熾烈な爆撃を敢行、掩護その他數箇所に的確弾を浴せてこれを爆砕、炎上せしめ全機歸還した

サイパンに戦ふ皇軍勇士

【リスボン二月一日發】サイパン島の米軍基地にあるAP特派員は同島に残存して米國軍の執拗な掃蕩戦にも拘らず依然として頑張り続ける皇軍將兵の模様を三十一日次の通り報じてゐる

サイパン島には米軍が絶えず掃蕩、待伏、掃蕩を行つてゐるにも拘らずまだ相當多數の日本兵が自ら「山武士」と稱して丘陵地帯の洞穴に潛んでゐる、今その人數を推定することは不可能だが、昨年七月サイパンが米軍の手中に陥つた當時には約千程度の日本兵が残つてゐるに過ぎないだらうと豫想されてゐたのに反し既に過去七ヶ月間に一萬八千以上の日本兵が戦死してゐる、残存してゐる日本兵の数は一週平均八乃至十人の割で警邏隊に發見されだんだんと減少してゐるが、中には相當手強い暴れ者がゐる、一部の者は隠れ穴から出て手當り次第に銃を打つたり、通り掛りの米軍装甲車に残つた手榴弾を投げ付けたりするが、大概は穴の中にとどちもつてゐる、これらの日本兵達は主に甘藷、米、魚等で命をつないでゐるが、食糧貯藏所の近くの穴に住む者は皆非常に元氣がい

ゝ、洞穴は無数にあるから日本兵は勝手な穴を選んで住み、大きいものになるとダンス場に出来るかと思はれるのがある、勿論入口は一人一人がやつと入れる位の大きさで、通常發見を避けるため一部または全部封じられてゐる、實際これらの入口は人目を惹かぬやうにうまく出来てゐる、日本兵の住む所は何處でも衛生設備が第一のやうだ、丘陵の洞穴生活において日本兵は食糧は食糧貯藏用の洞穴に、死亡した者の遺骸はまた別の洞穴にきちんと區別して置いてゐる

大宮島で奮戦する日本兵

【ストックホルム廿八日發】米誌「タイム」十二月廿五日號は大宮島にある日本軍がゲリラ戦によつて米軍を悩ましてゐる事實を指摘、次の通り報じてゐる

米軍の公報はづつと前に本國の民衆に對し「大宮島は米軍の手中に確保された」と告げたが、同島確保の任に當つてゐる罷ぼうぼうの憔悴したつた米軍兵士達にとつてはまだまだ戦闘は決して終つたことにはならない、日本軍の組織的攻撃が終熄した後、日本軍残存兵士は丘陵内にかくれこんで今週もなほ海兵隊の哨兵達に日本兵の掃蕩作戦を行つたが、日本兵の搜索は今後も恐らく數ヶ月は續くだらう、米軍は擴声器などによつて日本兵に投降を勧めてゐるが日本兵は降伏せず飽くまで抗戦してゐる

堀、肉攻斬込隊ペリリュー島に逆上陸

【中部太平洋基地二十八日發】不屈の闘魂をもつて勇戦奮闘しつゝあるペリリュー島の皇軍に呼應して昨年

十月末バラオ本島より遠藤谷司海軍中佐指揮の肉攻斬込隊がペリリュー島に突入、敵に多大の損害を與へたが、更にまた去る十七日堀重夫海軍中尉指揮の數十名よりなる斬込隊がバラオ本島より出陣、ペリリュー島の敵飛行場附近に斬込突入を敢行、相當な損害を與へて敵軍を震撼させてゐる、今度の斬込隊は遠藤中佐の壯舉以來この日あるを期して堀中尉の下選り抜きの部下數十名が猛訓練を續けたものである

小笠原諸島に艦砲射撃

【中部太平洋基地發】小笠原諸島父島及び母島に五日早朝敵水上艦艇の小部隊が近接、陸上に艦砲射撃を加へ、又同日硫黄島にも來襲、敵航空部隊の爆撃と呼應して艦砲射撃を加へたが、何れも之れを撃退した、廿四日午後、硫黄島に敵水上小部隊近接B24の空爆に呼應し約一時間餘にわたり陸上に砲撃したが之れを撃退した

硫黄島を連日強襲

【中部太平洋基地發】敵の比島作戦進捗につれ中部太平洋諸島への空襲は小笠原諸島へ集注され、就中硫黄島に對しては連日十數機の小編隊を以て波狀攻撃を行ひつゝある、一月中に於ける中部太平洋諸島敵機來襲狀況左の通り

- 【小笠原諸島】
- ◇硫黄島
- △二日午後B24廿數機△三日晝B29
- B29、P38延四十數機、夜大型十機
- △四日午後大型十數機△五日晝B24
- 延三十機△六日夕大型十數機△七日
- 夜大型十數機△十四日晝B24、B29
- 等廿數機△十五日晝B24十數機△十九
- 七日午後數機よりなる數編隊△十九

- 日午前B24數編隊△廿日大型十數機(十數回)△廿一日夜B24約十機△
- 廿二日B24晝約二十機二編隊、午後
- B24十數機△廿三日未明十數機(約
- 十回)夜半B24十數機(十回)△廿
- 四日午後B29、B24等延四十機、夜
- 間大型十數機(十回)△廿六日晝B
- 24延十八機(二回)△廿七日未明大
- 型十數機(十回)晝B24約二十機△
- 廿八日晝B24約廿機△廿九日未明大
- 型十數機(數十回)午後B29約三十
- 數機、B24十數機△三十日未明大型
- 十數機(七回)午後B24十六機

- ◇父島
- △廿三日夜B29十數機
- ◇母島
- △廿日晝大型數機
- ◇大島
- △廿日朝B24數機
- 【東カロリン諸島】
- ◇トラツク島
- △十四日晝B24、P38延五十數機
- 【西カロリン諸島】
- ◇ヤップ島
- △二日中型約廿機△廿日B29七機
- △廿二日晝中型延二十五機(六回)
- △廿五日—廿八日PBF、F4U等
- 延百二機△廿九日午後中型、小型廿
- 數機
- ◇バラオ島
- △十六日晝中型、小型延七十八機
- ◇バガン島
- △廿一日晝小型及B29三十數機

南西太平洋

【南方前線基地十六日發】ハルマペラ本島に布陣し連日執拗に來襲する

ワシレ、ガラ野戦砲隊に賞詞

敵を迎へて奮戦するワシレ地区の野戦〇〇砲隊及びガレラ地区の野戦〇〇砲隊に對し一月一日付を以て前線最高指揮官より夫々賞詞が授與された、ワシレ地区野戦〇〇砲隊は昭和十九年七月以來ハルマヘラ島の空襲激化するや、傲慢なる敵に對し常に先制中彈を浴せて敵を萎縮せしめ、同年十二月廿五日までにB24六機、P38三機、P49六機、F4F一機、計十六機撃墜の戦果を挙げまたガレラ地区の野戦〇〇砲隊は昭和十九年七月以來十二月廿五日までの間にB24六機、P25四機、P38二機、P40三機、P43一機、F4F一機、計十七機を撃墜するの戦果を収め、夫々わがモロタイ地区の戦闘に大なる寄與をなした

モロタイ島で二百二十五以上
殺傷
 【南方前線基地六日發】モロタイ島のが部隊はその後も引續き連日果敢な斬込み遊撃戦を續行してゐるが舊臘二十日ダルバ飛行場北方三十キロのワヤブラ地帯に集結中の約三百の敵を急襲、斬込戦により二百二十五名以上を殺傷、暮舍四、對空陣地二、彈藥集積所一を爆破するといふ、殲滅的打撃を與へた、右は數次に亘るわが斬込隊の攻撃により使用不可能に陥つたダルバ飛行場を再建せんとして南部方面より密かに増援隊をワヤブラ方面に注入、陣地強化に狂奔しつゝあつたものである、今回の殲滅戦におけるわが方の損害は僅かに戦死七である

斬込隊敢闘
 【南方前線基地八日發】ワヤブラの敵陣地を奇襲して殲滅的打撃を與へたわがモロタイ島所在部隊は引續き各所に斬込戦を續行、敵の飛行場使用を拘束してゐるが舊臘廿一日精銳斬込隊をもつて敵の主力飛行場及び周邊の燃料、彈藥集積所を急襲百四十名以上の敵兵を殺傷、暮舍七、ドラム罐百五十を爆破炎上せしめた

【南西太平洋基地發】敵は比島攻略にその大出血を睹し遮二無二甚大なる物量を投ずると共に之れと呼應してその空軍を東印度諸島へも出動せしめ次第に其の爆撃を強化しつゝ、あつて、一月中に於ける南西太平洋諸島敵機來襲概況左の通り

- △ハルマヘラ島北部
- △二日晝B24P40等五十二機(一機撃墜)
- △五日晝中小型四十數機(二機撃墜)
- △六日午前中小型三十四機
- △十四日晝中型、小型約百五十機
- △十五日午後中型、小型三十數機
- △十六日午後四十數機
- △アンボイナ島アンボン
- △廿五日中型、小型數機
- △バリックパパン
- △廿五日午前P38數機(撃墜一機)
- 【セレベス島】
- △メナド
- △一日晝B26十七機P38四機△二日午前B24四機P38三機△廿五日朝中型約五十機(撃墜九機撃破十七機)
- △アマラントンダ
- △一日晝B26十七機P38四機
- △ケンダリ
- △十二日晝B25P38延四十數機(撃墜九機撃破七機)
- △ボネボマ
- △五日晝大型十數機
- △ミナハサ
- △十九日晝小型約二十機(撃墜破六機)

【ボルネオ島】
 ◇タラカン
 △十二月三十日B25十一機P47四機B24二機(二機撃墜一機撃破)

◇ミリ
 △十三日B24一機(撃墜) △十六日三十六機(撃墜六機撃破四機)

◇アビ
 △十五日B24四十二機

【ジャワ島】
 ◇ゲデリ州メンタラン
 △二十七日B24二機

◇コブ地方
 △廿八日午前六時B25四機晝B24B25延十二機

印度洋

西より窺ふ英海軍力の現状
 【十四日】敵米のレイテ島、ミンドロ島上陸に次ぐルソン島上陸により太平洋戦局は俄然重大段階に突入り勝敗の歸趨をも決すべき本格的日米決戦の機は刻々熟するに至つたが、これと共にフレイザー麾下の英太平洋艦隊並にパウア麾下の英東印度艦隊の動向も漸く注視を浴びるに至つた、嘗て世界最強の海軍國を誇つた英國は、開戦直後の昭和十六年十二月十日マレー沖に於いてわが精強海軍の強襲を浴びて不沈戦艦フリンスオブ・ウェルズ及びレパルス並に大型驅逐艦一隻を喪失して以來、十七年一月廿七日にはエンダウ沖で驅逐艦一隻、二月廿七日から三月一日のストラバヤ・パタビヤ沖海戦では甲巡エウゼター、三月二日ジャワ島テラチャップ沖では驅逐艦ストロングホル、四月五日にはコロンボ、甲巡ロンドン型、同コンウォール型各一隻を夫々撃沈され、四月九日わが海軍のプリンコマリ強襲にあつて空母ハミズ及び驅逐艦一隻撃沈、乙巡レアンダー型一隻大破の痛撃を喫し五月六日から八日にかけての珊瑚海戦においては戦艦ウオースパイト型一隻を撃破され、更に八月七日の第一次ソロモン海戦には甲巡オーストラリア型二隻、甲巡一隻、乙巡アキリーズ型一隻撃沈され、乙巡アキリーズ型一隻も英海軍もわが精銳海軍の前には遺憾なく弱體ぶりを暴露したのであつた、大東亞戦域において英海軍の演じた役割は現在までのところ皆無といつてよい、強ひて拾ひ出せばマレー沖海戦、ストラバヤ、パタビヤ沖海戦、珊瑚海海戦、第一次ソロモン海戦等にその艦隊の一部を米艦隊に協力させ周知の惨敗を喫したと、及び最近における北部スマトラ來襲、比島作戦の一部参加ぐらゐるところで、作戦主動権は完全に米國が掌握して來たのであつた、英國は獨の對英攻勢に釘付けされ、大東亞戦域に手を廻し得なかつたと苦しい言譯けをしてゐるが、その本心は艦隊保全と云ふ狡猾極まるチャーチル政策におつたと云へよう、その後太平洋における米の基地推進が進展して主戦場が比島に迫る一方、歐洲戦線において反樞軸軍の侵攻が進展するに伴ひ、英の大東亞における作戦方針は、從來の消極性を一擲し漸く積極化するに至つたのである、その理由としては、①對日戦が米の勝利に終つた場合一太平洋諸島の分配に關し發言權を持たないのみか前年の英領島嶼までも米に奪取されるおそれがある、②歐洲戦局の現状に鑑み歐洲戦域から艦隊を大東亞海域に回航し得るに至つた、③太平洋作戦において米艦隊は空母以下尠大な艦船を喪失したため英艦隊の参加が重要されてゐること等が挙げられてゐる、なかでも特に英國の焦慮の中心となつてゐるのは、艦隊は失ひたくなし戦後の分配には與りたし、と云ふ點で米の作戦が進展するに連れ遂にチャーチルも作戦の大轉換を決意するに至つたものと思はれる、斯くて昨年七月英本國艦隊司令長官フレイザーを印度洋艦隊司令長官に据ゑ、歐洲海域から若干の艦艇の充實強化を圖ると共にチャーチルは大東亞戦域における英艦隊の積極的作戦開始を豫告するに至つた、しかしながら實際の動きとしては何等見るべきものはなく、僅かに機動部隊を數回北部スマトラ方面に出撃させた位のものであつた、次いで十二月十日には英印度洋艦隊を太平洋艦隊と東印度艦隊に二分し、東印度洋艦隊司令長官にパウアを任命、また太平洋艦隊司令長官にダニエルを補した、これに關し中立國筋では、①太平洋の將來に豫見される米英の對立乃至政治的所爲に備へ、この際英艦隊勢力を太平洋に漸進的に進出させることにより、形勢を有利に導かんとする政治的意圖、②特に英としては英太平洋艦隊の創設を誇示することによつて太平洋戦争に對する英本國の寄與を大きく濠洲側に認識せしめとかく米の影響下に逸脱せんとしつゝある濠洲を大英帝國の枠内に引戻さんとする政治的狙ひ、であるとして解してゐる、一方これに對する英國側の宣傳は例によつたげきなもので「英が太平洋に廻航してゐる戦艦艦隊は日

本の大艦隊と決戦し得る程有力である」と豪語し、またロイター電報は「英國の海軍力は今や米海軍と別個にマライ並にマライ地域における島嶼群を挾撃する態勢にあり、最早昭南からダーヴインに至る間の東印度並に支那海の全水域を防禦するだけその任務ではなく、ニミッツ、マツカーラー、マウントラバツルン、マッソーラー、グアンラバツルンに至る全水域の何處においても日本軍の防禦線を切斷するために作戦することにならう」と揚言、更にフレージャーは「濠洲を基地とする英太平洋水域における海軍力の均衡を破るに十分な戦艦、空母を包含し、數等級の濠洲艦隊に濠洲空軍の操縦士も順次太平洋艦隊に参加することにならう、余の指揮下に入る濠洲艦隊には日級四隻、G級二隻並に二掃海艇隊が含まれるが、既に比島水域で作戦中の濠洲巡洋艦は依然としてマツカーラーの指揮下に含まれる、又太平洋艦隊の旗艦は戦艦ハウ(三五、〇〇噸)である」と記者團を前にメルボルンで得々と辯じたのであつた日米海軍力に蹴落された英國海軍が華かな夢を追ふ痴語に過ぎないが、しかし比島の決戦に乗じ、どうかして甘い汁を吸はんとする彼等の企圖に對しては警戒を要すること言を俟たない、とまれフレージャーがニミッツ司令官、マツカーラー司令官を訪れて太平洋作戦に關し何等かの協議を遂げた事は外電の報ずるところであり、第一次ベツク會談以來の懸案たる米英の太平洋反攻第一主義實現の段階に入つたものとして、反輻軸國民の抱ける期待は大きなものである、では英再編艦隊の勢力はどうであらうか、先づ太平洋艦

隊の勢力を見ると大體戦艦二隻、制式空母一隻、甲巡、乙巡、驅逐艦若干に濠洲艦隊日級四隻、G級二隻を加はる程度で、彼等の揚言に似あはずその勢力は極めて微々たるものである、また東印度艦隊は戦艦五乃至六隻、制式空母二乃至五隻補助空母六乃至十隻、巡洋艦十隻、驅逐艦三十隻、潜水艦三十隻程度と見られてゐる、英が太平洋艦隊に主力を置かんとしてゐることは明らかで、歐洲水域から回航せるものの中、優秀な艦艇は悉く太平洋艦隊に編入しつゝあるが、現在までのところ、新鋭戦艦は一隻もなく、回航豫定の老朽戦艦もまだ到着せず、彼らの言ふ如き大々的な單獨作戦は當分不可能で、せいぜい牽制作戦乃至は米艦隊との合同作戦程度のものでとされてゐる、東印度艦隊も、歐洲から回航せる大部分が濠洲へ素通りする現状では、大した強化は期待出來ず、印度洋における大々的反攻作戦も實現困難であらう、では當面の英艦隊の動向はどうであらうか、諸種の外電を綜合すると英太平洋艦隊は既にニミッツ麾下の一機動部隊として比島作戦に参加してゐる模様であるが、臺灣沖航空戦以來のわが陸海空軍の積極的空襲により、米艦隊がその勢力の大半を喪失した現在、米の強要によつて英太平洋艦隊は、次期作戦への積極的参加を豫想され、特に比島への兵站基地として佛印に觸手を動かしてゐることから推してこの方面において何等かの行動に出ることも當然考へられる、また本格的單獨作戦に呼應し、わが勢力の分散を圖つて印度洋からする挾撃作戦の機をうかがひつつあることも豫想されるところであり英艦隊の現有勢力が現在のと

ころ微々たるものであるとは云へ、その動向に關しては深甚な警戒を要する
英艦隊近く太平洋作戦に参加せん

【リスボン二十四日發】ワシントン來電「ワシントン駐劄英國海軍省代表團首席、マゾヴィルは二十四日記者團に對し、左の通り言明した

太平洋水域における英國艦隊は近く前線作戦に参加することにならうが同艦隊は當然米聯合艦隊司令官キングの指揮下に入ることとなつてゐる、英國艦隊の一部が既に日本軍との戦闘に参加したか否かは言明の限りでない
村上機敵五機を屠る

【特報、五日大本營發表參照】

【スマトラ〇〇基地八日發】敵英機動部隊はその艦載機約八十機をもつて四日北部スマトラ附近に分散來襲、わが空陸部隊の邀撃に遭ひ來襲機の四割を撃墜され何らなす所なく遁走したがこの赫たる大戦果の蔭には大編隊中に突入四機を撃墜した後、猛然敵機に體當りを敢行した村上中尉機などの奮戦がある

敵來襲の報に接するやわが戦闘機隊は逸早く〇〇上空を旋回待機中、敵は高度三千、四千の二段構へで侵入し來つた、村上中尉の指揮する一隊はまづ敵第一編隊を邀撃上空よりすし、シコルスキーの執拗な抵抗を排除しつゝ、村上機は眞先に敵艦隊編隊に突入、初上機は二機を撃墜、更に攻撃の手をゆるめず〇〇河々口上空で艦爆二機を撃墜したが、このとき村上機も又多數の被彈を受け活動不充分と知るや、猛然敵機に體當りを敢行壯烈なる自爆を遂げた、また平手准尉機は僚機吉永軍曹機と共に敵艦

爆の〇〇地區進攻を阻止、平手機は艦爆一機撃墜後更に敵を追尾し續けてゐたが〇〇河口で吉永機が敵二機と出巴への空中戦中なるを發見するやその眞只中に體當り攻撃を行ひ、吉永機もつづいて體當り敢行四機もんどり打つて海中に没した
敵機原住民を殺傷【スマトラ〇〇五日發】四日朝敵機が北部スマトラ某地區に來襲の途次某市北方〇〇驛上空に差懸つたポートシコルスキー三機は折柄同驛を發車せんとする原住民滿載の列車目にかけて鬼畜の如き機銃掃射を加へ死傷者二十數名を出した
艦載機パレンバンに來襲

【特報、五日大本營發表參照】

大本營發表(昭和二十年一月二十五日十六時)一月二十四日午前敵艦隊機約百二十機スマトラ島パレンバン地區に來襲せり、所在の我航空及地上部隊は之を邀撃し其の七十八機以上を撃墜せり、我方十四機未だ歸還せず、地上施設の損害は輕微なり
戰闘經過【廿五日】比島戦局の激戦に關聯し印度洋方面よりする英艦隊の動向は重視されてゐたが、二十四日午前大型空母三を中心とする英機動部隊はスマトラ島西南海面に出現十一時半頃から正午まで艦載機約百二十機を以てパレンバンに對し艦載機初の大規模攻撃を加へ來つた、所在のわが航空部隊並に地上部隊はこ敵を邀撃燃烈なる交戦ののち來襲機の半ば以上に達する七十八機以上を撃墜するといふ大戦果を擧げこの敵を撃退した、もとよりこの戦果の中にわが方の犠牲十四機の未歸還機が收めた戦果は含まれをらず敵に與へた損害は更に増大するものと見られてゐる、敵の艦載機大規模空襲

に對しわが航空部隊並に地上部隊の善戰戦闘により地上の諸施設の損害は極めて輕微であつたが、從來スマトラ島サバン方面をのみ窺つてゐた英機動部隊が長驅パレンバン地區に侵入した事實は戦局の現狀に鑑み極めて警戒すべきものである、しかし印度洋方面における英軍の動きは新春九日わが撤收後のアキヤブに對し英印二ヶ師團を増強これが海上補給を續けると共に十二日にはアキヤブ東南約五十キロのミネボン附近に新兵力を上陸し、更に廿一日には特設空母二戰艦一、巡洋艦三、驅逐艦四、輸送船五から成る護送船團をもつてアキヤブ東南約百キロのラムレ島北端に近接、同日十一時頃約一千名の敵を上陸せしめた、この邀撃戦に於てわが航空部隊は大型輸送船二隻を撃破炎上すると共に同島守備のわが部隊は目下これと激烈な交戦を續行中である、かくの如く地上並近海上よりする英軍の東漸は重視しなければならぬ

戦果更に擴大【スマトラ基地廿六日發】廿四日パレンバン地區に來襲せる敵艦載機に對しわが航空部隊は空地相呼應して猛烈なる邀撃戦を展開、廿五日本營より發表された如き大戦果を擧げたがその後の調査により更にその戦果は擴大し、來襲敵機百四十機中の百十六機(内不確實十六機)撃墜の赫たる戦果を收めたことが判明、百練のパレンバン制空部隊は實に來襲機の八割以上を屠つて高らかに凱歌を奏したのであつた、即ちパレンバン地區では對空砲火により撃墜七十八機(内不確實三機)空中戦で撃墜廿八機(内不確實十三機)またパレンバン周邊地に對して對空砲火により撃墜七機、更

にクルイ(パレンバン南方三百キロ)で二機、マナ(パレンバン西南方三百キロ)で一機を夫々地上砲火により撃墜、合計撃墜百十六機(内不確実十六機)の堂々たる大戦果であった、わが方の未歸還機十四機

來襲機九十以上を屠る

大本營發表(昭和二十年一月三十一日十五時三十分)一月二十九日敵機動部隊よりの艦載機延約百三十機スマトラ島パレンバン地區に來襲せり所在の我航空及地上部隊は之を邀撃其の四十機を撃墜約五十機に損害を與へたり、地上施設の被害は輕微なり、我特別攻撃隊皇機飛行隊は同日十四時頃右敵機動部隊に突入せるも其の戦果未だ確認し得ず、我方の損害自爆未歸還計十二機

戰闘經過【〇前線基地卅一日發】再度パレンバン侵攻を企圖した航空母艦二隻を基幹とする英機動部隊は廿九日朝パレンバン西南方に近接して十時三十分頃敵機動部隊約二十機は超低空を以てパレンバンに侵入次いで十一時二分グラマンT B B等の戦爆連合約八十機、十一時十二分には戦爆連合三十機が三梯團となつて夫れ夫れ侵攻し來つたが待機中のみ航空部隊及び地上防空部隊はこれを邀撃空中戦において撃墜二十八機、地上防空部隊撃破五十機又一般機、地上防空部隊撃破五十機更に阻塞氣球により撃墜二機合計撃墜百十機の戦果を収めた、我が方の損害自爆未歸還五機、地上の施設に極めて輕微な損害を受けたのみであつた、かくて敵は前後二回に亘るパレンバン空襲によつて合計二百六機を撃墜(内不確實卅三機)され潰滅的打撃を受けるに至つた

特攻隊「皇楯隊」出撃【〇前線基地三十一日發】二十九日朝パレンバン地區來襲を企圖せる敵英機動部隊を追尾した陸軍特別攻撃隊皇楯隊は加藤少佐指揮の下に十四時四十分濠洲方面に遁走中の敵に全機體當り攻撃を敢行壯烈な自爆を遂げた歸還機なきため戦果を確認することは出来なかつたが戦隊の編隊數及び卓絶な素質と烈々たる闘魂から推定して敵機動部隊に大損害を與へたと見られる

歐米戰爭

獨軍公表戰況

總統大本營發表【ベルリン發】

一、赤軍の反覆攻撃にも拘らず、ドナウ河とスロヴァキア國境との中間地區並にブタペストの情勢には變化はない、過去十一日間に亘るクルルランの戰闘ではドイツ國防軍、親衛隊並にラトヴィア親衛義勇隊はシエルナー上級大將指揮の下に歩兵四十六個師團並に戰車、自走砲合計二十二ヶ部隊を撃退した、將兵の勇戦敢闘によりドイツ軍はフィンランド戰線を確保してをり十二月廿一日から卅一日に至る間に戰車五百十三臺を撃破したほか砲七十九門、機關銃二百六十七挺を鹵獲更に高射砲隊は赤軍

るやわが司偵機は直ちに出發これを洋上に捕提すると共にわが特別攻撃隊皇楯飛行隊は機を逸せずこれを追撃し、廿九日午後二時頃全機體壯烈な突入を敢行突入寸前指揮官機及び僚機よりは「一體當り、體當り」の連續通信を受信したが、戦果確認の司偵機また歸還せず大なる戦果が想像されるが遺憾ながらその戦果は確認されるに至つてゐない、この邀撃戰並に敵機動部隊攻撃に際してわが方また皇楯隊を含めて自爆未歸還十二機の尊い損害を出した

の飛行機百十二機を又空軍は空中戦で百四十五臺を撃墜した
△西部戰線
一、ミニューズ、モーゼル兩河間のドイツ軍突角陣地の南翼では目下激戦が展開されてゐる、バスターニユ南方並に西方のドイツ軍陣地に對し米軍は有力部隊を以て突入しようとするが失敗に終り大損害を蒙つた百戰練鷹のドイツ軍は終日に亘る同方面の戰闘で敵戰車並に裝甲車百二十一臺を撃破更に多數の米軍將兵を殲滅した
一、アルガス、ロレーヌにおいては脆弱化する米軍に對しドイツ軍は多數の出撃を試みビツツェの兩側では廣汎な線に亘り米軍の前進陣地に攻撃を加へ米軍を主要戰闘線まで撃退した
△航空戰

一、反樞軸空軍はドイツ西部、北西部を空襲大ハンブルグ並にオーベルハウゼンでは特に住宅地區に大損害を蒙つた、ドイツ軍戰闘機隊並に高射砲隊は敵機合計七十五機を撃墜した
△西部戰線
一、バスターニユ西南方並に南方地區における戰闘の激烈さは更に増大した、有力部隊を以て攻勢展開中の米第三軍はウィーフアリアズの方で突破を企圖したが目的を達しなかつた、かくて十二月十六日以来ミニューズモーゼル兩河間の戰闘でドイツ軍が撃破乃至鹵獲した敵戰車の總數は一千臺以上に達した
一、ザール戰線並にロレーヌ北部及び東北兩國境地區においてドイツ軍は更に深く地區を獲得ノオルパツハ西北方のドイツ軍橋頭堡は擴大されドイツ軍はザールゲミンド東北方のブリス地區を越えた、更にノオルパツハ北方並にグオージュ山脈の北部において反樞軸軍は敷地區に對して撃退されドイツ軍はマジノ線南方で多數の地點を占領した
△航空戰

一、爆撃機、直協機、戰闘機から成るドイツ空軍の有力な編隊は一日朝ベルギー、オランダ地區の敵飛行場を急襲、現在までの報告によれば少くも敵三百機を地上撃破し、更に他の百機に大損害を與へ飛行場、並に施設を痛撃したが空中戦に依りドイツ空軍は敵の七十九機を撃墜(不確實)した
△東部戰線
一、ブタペストのドイツ軍守備兵は同市の東部及び西部地區において直協機隊に掩護された赤軍の猛攻を撃退、更に反撃によつて赤軍の形成した若干の突破口を排除した
一、スロヴァキアにおいてはイポリ河北方から更に北上せんとする赤軍との間に戰闘が續けられサヨ河源流地區においてドイツ軍は奇襲によつて捕虜三百五十のほか武器多數を鹵獲した

退、更に反撃によつて赤軍の形成した若干の突破口を排除した
一、スロヴァキアにおいてはイポリ河北方から更に北上せんとする赤軍との間に戰闘が續けられサヨ河源流地區においてドイツ軍は奇襲によつて捕虜三百五十のほか武器多數を鹵獲した
△東部戰線
一、ハンガリアにおいてはブタペスト攻防戰の激烈さは更に増大、ドイツ軍並にハンガリア守備隊は直協機隊の掩護の下に或は反襲に出で或は肉迫戰を交へ、赤軍の連續的攻撃を撃退した、スロヴァキア南部國境においては格蘭、サヨ兩河間で激化した赤軍の攻勢に對し、ドイツ軍は防禦戰を遂行、作戰は成功裡に進歩してゐる
△西部戰線
一、バスターニユの廣汎な地域における戰闘は依然激烈を極め兩軍一退を繰返してゐる、米軍は戰車歩兵各々約四個師を以てバスターニユ西方のドイツ軍正面を粉碎し、同市の東方並に東南方のドイツ軍陣地を三方から包圍しようとするが新に百輛以上の戰車を喪失し、僅少の地域を得たに過ぎない、現在までの報告によれば米軍は今回の冬季戰において砲四百門、戰車並に裝甲車一千二百卅臺を喪失俘虜二萬四千人を出した、米軍の死傷は既に五萬を遙に突破してゐる、ザール戰線並にロレーヌ東部における戰闘は依然順調に進捗ありフォルパツハ西北のザール橋頭堡は更に擴大強化された、ザールゲミンド東北の國境地帯においては反樞軸軍を掃蕩しグオージ

同様の順調に進展してゐる

四

△東部戦線
一、赤軍はブタベストに對し特に東方から晝夜を分たず攻撃を加へたがドイツ軍守備隊は激戦を交へてこれを撃退、有力なドイツ軍直協機隊もブタベスト地区の戦闘に参加し爆撃と銃撃とによつて赤軍戦車三十四輛及び車輛五百以上を破壊更に赤軍飛行機三十七機を撃墜した

一、スロヴァキア南部國境地区において赤軍はドイツ軍陣地を突破せんとして無益な夜襲を加へ、同日午後に至りまたも攻撃を再開したが失敗に終つた

△西部戦線

一、ベルギーにおいて敵は三日バス トーニユで激戦を交へてゐる部隊を救つるためスタヴロとマルシユとの中間で北方から大規模な攻撃を開始したが、同方面のドイツ軍は敵に甚大な損傷を與へ、米軍は同日全戦區で戦車三十四臺を喪失した、ピツチエ兩側におけるドイツ軍の攻勢は依然繼續されてをり敵は隣接地区から兵力を同方面に集結して反撃を企圖したが、ザールゲミユンド東方並にヴォージュ山脈北部で前進するドイツ軍を阻止し得なかつた、ヴァイセンブルグ西方のアルガス國境地区における敵はドイツ軍によつて一掃された

△海上戦線

一、ドイツ海軍部隊は十二月を通じて敵船舶十六万三千六百噸並に驅逐艦護衛艦十六隻を撃沈した

五

△東部戦線
一、ブダペストを繞る攻防戦において獨逸軍は五日も同様市の東郊における赤軍の猛攻を撃退赤軍の形成した若干の

突破口では激戦展開中である
一、گران河地区における赤軍の攻撃は何等見るべき成功を収めずして失敗、ドイツ軍陣地に滲透した赤軍の一部はドイツ軍部隊によつて後方を遮断され殲滅された

△航空戦
一、反樞軸空軍少數機編隊がドイツ國內に對し低空攻撃を加へたのみであつた、英空軍快速爆撃機隊は夕刻並に深更の兩度に亘つてベルリンを攻撃した

一、ドイツ報復兵器のロンドン攻撃は激化された
△西部戦線
一、北部アルゲンヌの戦闘は四日更に熾烈さを増大した、突破を企圖した米軍は最初成功をおさめた後ドイツ軍の集中防禦砲火を浴びて再度阻止されたバストーニユ地区においてドイツ軍戦車部隊は依然米軍に對し強壓を加へてゐる、ザールゲミユンドとラインの中間の戦線は流動状態にありドイツ軍は特にヴォージュ地区から増援隊を得た敵の反撃を排して依然前進中である、更にドイツ軍はアルガスでヴァイセンブルグをロレーヌでは多數の地點に進撃した四日西部戦線においてドイツ軍は敵戦車装甲車七十六臺を鹵獲九臺を撃破したほか各種軍需器材をも鹵獲した

△東部戦線
一、ブダペストのドイツ軍守備隊は依然市の東部に對する赤軍の攻撃に堪えてゐる
一、ドイツ軍擲弾兵及び戦車部隊は東プロイセン國境地区フイリブソッ

△西部戦線
一、ミューズ、モーゼル兩河間の側面における戦闘は依然繼續され、米第一軍は有力部隊をもつてドイツ軍の北翼攻撃を加へたがドイツ軍の防禦砲火によつて阻止された

一、バストーニユ地区のドイツ戦車部隊は北方及び東方から攻撃を加へて敵を撃退捕虜四百を獲た
一、アルガス及びロレーヌにおいてドイツ軍は進撃を續けワイセンブルグとライン河畔のゼルトツ中間の全域に亘つて敵を追求、奪還した多數地區から米軍を掃蕩した
一、ストラスブルグ北方のドイツ軍は奇襲を加へて數地點でラインを強行渡河した

六

△東部戦線
一、ブダペストのドイツ軍守備隊は依然市の東部に對する赤軍の攻撃に堪えてゐる
一、ドイツ軍擲弾兵及び戦車部隊は東プロイセン國境地区フイリブソッ

△西部戦線
一、オランダ東部のヴァンスム附近においてドイツ軍はミューズ河を越えて橋頭堡を設定反撃し來つた英第三軍を撃破甚大な損傷を與へた、アルテンヌ北部では過去數日間に大損害を蒙つた米國の攻撃は六日その熾烈さを減じた、バストーニユ地区のドイツ軍は敵突出陣地において更に數地點の特火點を撃破した、アルガス並にロレーヌの戦闘でもドイツ軍は再び成功をおさめ新たに増強された米軍による反撃はロールバツハ東北方並にヴォージュ山脈溪谷の出口において撃破された、フイリツプスブルグではマジノ線の要塞は陥落し全米軍守備隊は降伏した、ハーゲナウ森林北

方 ライン平原では敵の反撃にも拘らずドイツ軍はストラスブルグ北方の橋頭堡を強化し、更に多數の地點を解放した、六日西部戦線ドイツ軍は敵戦車七十三臺を撃破し多數火砲並に對戦車砲を鹵獲した

△東部戦線
一、ハンガリー戦線のドイツ軍はバラトシ湖、ドナウ河中間で數日間展開された強烈な攻勢作戦の結果グエルデス山脈北方で縱深四十軒に亘り赤軍陣地を大きく突破した、グラン(エステルゴム)市を奪回した、以上の作戦でドイツ軍は赤軍戦車百五十九輛砲四百二十五門を撃破乃至鹵獲した

七

△西部戦線
一、バストーニユ東方では反樞軸軍はドイツ軍により更に撃退された
一、西部戦線の南翼アルガス及びライオン上流戦線では戦闘は更に擴大、ドイツ軍はワイセンブルグ南方でマジノ線に突入した

一、ストラスブルグ南方ではドイツ軍はライン河西方に奇襲突入し、反樞軸軍保安部隊を北方へ潰走せしめた、反樞軸軍は兵力を糾合して反撃に出たが失敗に終り、戦車十四輛、車輛百輛以上を喪失した

八

△東部戦線
一、ハンガリー戦線のドイツ軍はバラトシ湖、ドナウ河中間で數日間展開された強烈な攻勢作戦の結果グエルデス山脈北方で縱深四十軒に亘り赤軍陣地を大きく突破した、グラン(エステルゴム)市を奪回した、以上の作戦でドイツ軍は赤軍戦車百五十九輛砲四百二十五門を撃破乃至鹵獲した

△西部戦線
一、バストーニユ東方では反樞軸軍はドイツ軍により更に撃退された
一、西部戦線の南翼アルガス及びライオン上流戦線では戦闘は更に擴大、ドイツ軍はワイセンブルグ南方でマジノ線に突入した

一、ストラスブルグ南方ではドイツ軍はライン河西方に奇襲突入し、反樞軸軍保安部隊を北方へ潰走せしめた、反樞軸軍は兵力を糾合して反撃に出たが失敗に終り、戦車十四輛、車輛百輛以上を喪失した

△東部戦線
一、ハンガリー戦線セクスフェヘルグアル北方においてドイツ軍はマジノ線前面陣地全域を手中に收め、更に突破地域を擴大してゐる

九

△西部戦線
一、バストーニユ東方では反樞軸軍はドイツ軍により更に撃退された
一、西部戦線の南翼アルガス及びライオン上流戦線では戦闘は更に擴大、ドイツ軍はワイセンブルグ南方でマジノ線に突入した

一、ストラスブルグ南方ではドイツ軍はライン河西方に奇襲突入し、反樞軸軍保安部隊を北方へ潰走せしめた、反樞軸軍は兵力を糾合して反撃に出たが失敗に終り、戦車十四輛、車輛百輛以上を喪失した

△東部戦線
一、ハンガリー戦線セクスフェヘルグアル北方においてドイツ軍はマジノ線前面陣地全域を手中に收め、更に突破地域を擴大してゐる

△東部戦線
一、ハンガリー戦線セクスフェヘルグアル北方においてドイツ軍はマジノ線前面陣地全域を手中に收め、更に突破地域を擴大してゐる

△西部戦線
一、バストーニユ東方では反樞軸軍はドイツ軍により更に撃退された
一、西部戦線の南翼アルガス及びライオン上流戦線では戦闘は更に擴大、ドイツ軍はワイセンブルグ南方でマジノ線に突入した

一、ストラスブルグ南方ではドイツ軍はライン河西方に奇襲突入し、反樞軸軍保安部隊を北方へ潰走せしめた、反樞軸軍は兵力を糾合して反撃に出たが失敗に終り、戦車十四輛、車輛百輛以上を喪失した

△東部戦線
一、ハンガリー戦線セクスフェヘルグアル北方においてドイツ軍はマジノ線前面陣地全域を手中に收め、更に突破地域を擴大してゐる

△西部戦線
一、バストーニユ東方では反樞軸軍はドイツ軍により更に撃退された
一、西部戦線の南翼アルガス及びライオン上流戦線では戦闘は更に擴大、ドイツ軍はワイセンブルグ南方でマジノ線に突入した

一、ストラスブルグ南方ではドイツ軍はライン河西方に奇襲突入し、反樞軸軍保安部隊を北方へ潰走せしめた、反樞軸軍は兵力を糾合して反撃に出たが失敗に終り、戦車十四輛、車輛百輛以上を喪失した

日七十

△東部戦線
 一、ハンガリー戦線ではドイツ軍はドナウ河北方でさらに赤軍を撃退ドイツ軍のブタベスト守備隊は市の中央部で同じく激戦を繰り返してゐる
 一、ヤスロー西方地区では赤軍はドイツ軍防禦陣地内に突入激戦展開中である
 一、ウイスマラ河大彎曲部では赤軍は歩兵九十個師並びに戦車十五番隊を投じて戦線突破を企圖、赤軍戦車部隊の先鋒は遂にクラカウ東北方、トマシヨフ南方及びワルシヤワ東北方に突入するに至つた、一方強力なドイツ軍機甲部隊は赤軍先鋒部隊の背後に迂回赤軍後援部隊に對し猛撃を加へキェルツエ地区においては赤軍の北方への突破企圖を二日間におたり阻止してウイスマラ河のドイツ軍に撤収可能ならしめた
 一、ワルソー北方地区では赤軍は歩兵四十個師並びに戦車數個部隊をもつて深く南方へ突入したが、ドイツ軍の反撃により赤軍の進撃はナシエルク西方、モドリソフ附近及びチエチャノフ東南方で停頓するに至つた
 一、東プロイセンのロミンテン荒地ビルカレン中間地区では赤軍は有力な空軍掩護の下に歩兵廿五個師及び多數の戦車部隊をもつて強行突破を試みたが不成功に終り主戦場はなほドイツ軍の確保下にある
 一、ワルソー地方並びに東プロイセン國境地区における熾烈な戦車戦の結果ドイツ軍機動部隊は赤軍戦車三百臺餘を撃破、また東部戦線のドイツ軍高射砲隊は過去二晝夜の間に赤軍機六十二機を撃墜戦車六十五臺を擱挫せしめた

日八十

△東部戦線
 一、ウイスマラ河北方においてはドイツ軍の強靱な防禦にも拘らず赤軍は更に増援を得て西方及び北方へ突破口を擴大、ドイツ軍は一戸を争ふ市街戦の後チエチャノフ(ワルシヤワ西北七十軒)を喪失した
 一、スロヴァキアとウイスマラ河上流中間地区においてはドイツ軍は西方へ離脱し、ノヴィ・サツ(ヤスロ西方)へ向はんとする赤軍と戦闘を交へた
 一、ウイスマラ河大彎曲部ではドイツ軍はクラカウとチエストコヴアとの中間において赤軍の先鋒を支へたが赤軍機甲部隊の先鋒はロツツとウイスマラ河中間地区と侵入した
 一、キェルツエとピリツア河下流中間地区においてもドイツ軍は有力な赤軍と激戦を交へサクソニアの機甲師團はこの地区において十七日のみで赤軍戦車八十五輛を撃破した
 一、ワルソー北方及び東プロイセン地区においてドイツ軍は十七日赤軍戦車二百一輛を破壊し五日間における戦車破壊の戦果は九百三輛に増加した
 一、チエストコヴア並にトマシヨフの兩市は市街戦の後赤軍の手中に歸した
 △西部戦線
 一、西部戦線においてはマーストリクト東北の二十七軒マイセイク附近の西方突出部の戦況が活発化し、局地的戦闘から有力な英軍部隊の攻撃へと發展しつつある
 一、パストーニユ東部並びに東北部では激戦展開中である
 一、ヴオージニ山脈南部においてド

イツ軍武装親衛隊のアルプス騎兵部隊は米軍戦闘部隊を完全に包圍、打撃を加へた、ハツテン地区ではドイツ軍の猛攻により米軍に多大の損害を與へた
 一、ストラスブル北方のドイツ軍橋頭堡は擴大されハケナウ東方でドイツ軍は多數の據點を攻略した
 一、十七日アルザス戦線においては以上の戦闘で敵戦車五十七輛を撃破した
 △海上戦線
 一、ドイツ潜水艦はイングリッド周辺水域並に反機軸軍のフランスへの補給路において極めて困難な條件の下にも拘らず大型油槽船一隻を含む敵船舶九隻五萬四千噸を撃沈したほか護衛艦二隻を撃沈他の三隻に雷撃を加へた

日九十

△東部戦線
 一、ブタベスト市の獨逸軍守備隊は十八日夜ドナウ河東岸のベスト地区から西岸に撤収追跡する赤軍に損害を與へて撃退した
 一、バラトソ湖北方においてはドイツ軍は數個所で赤軍陣地に突入、更に東方へ進出した
 一、ドナウ河北方でもドイツ軍は數地點で赤軍陣地を突破數軒前進した多數の捕虜獲品を手中に收めた
 一、カルバート山系北面からニメ川の全線に亘る冬季戦は異常に激烈、ドイツ軍はクラカウ、チエストコヴア、ロツツ、ワルソー、ウイスマラ河の間で赤軍に挑戦、激戦を展開中である
 一、特にクラカウ及びロツツ(リツマンシュタット)においては血闘しい市街戦が一瞬の弛みもなく續行され

てゐる
 一、ウイスマラ河北方においてはドイツ軍は西方及び北方へひた押しし、壓迫を加へる赤軍を逐へてブレーホルフ、シエラウ、クラスハシツェ、サルフエンウイエセ附近で熾烈な防禦戦を展開した
 一、ドイツ軍はウイスマラ北方及び東プロイセンの主戦場において赤軍戦車百四十六輛を撃破した
 一、グンビネン市北方の赤軍戦車先鋒はインシュター河の上流まで進出ドイツ軍は目下反撃を展開中である
 △南部戦線
 一、ギリシア南部から撤収したドイツ軍の後衛部隊は月中旬ウイセグラッド(サラエボ東方七十軒)附近のドリナ河畔のドイツ軍橋頭堡に到着、クロアチア東南部に駐屯する友軍の主力と合流を遂げた、ギリシア出發以來四ヶ月半交通線との接觸の殆ど不可能な不毛の山嶽地帯に間斷なく戦闘を續け、前後四ヶ月半に亘る艱難を極めた進軍の後、一時絶望と思はれたこの離脱作戦は殆ど損害を受けることなく遂に完了した、フオン、ワイクス元帥並にレール上級大將の卓越せる指揮の下にドイツ軍將兵及び親衛隊は海空軍と協力して最初は熱帯の暑熱と闘ひ、次いで吹雪の山嶽に悩まされ異常な困難を克服、側面及び背後からする敵の攻撃を悉く撃退し、また友軍から遮断された部隊は幾度か敵の包圍環を突破して主力と合流した、かくして有力な遊撃軍赤軍並に三軍團からなるブルガリア軍のドイツ軍殲滅の企圖は悉く失敗に終り離脱作戦開始以來敵の戦死者数は少くも二萬に上り、各種砲四百五十門を始め、重砲火器

多數がドイツ軍の手に歸した
 △西部戦線
 一、ドイツ軍はカナダ軍に奇襲を加へてニメゲン西北方のゼツテンを占領、敵の反撃を一蹴した
 一、マエセイクにおいて英軍は數ヶ師團の増強を得て攻撃を加へたが、ドイツ軍の強靱な抵抗により、さしたる進出を示してゐない
 一、米軍はウイリアムズに對する攻撃が一頓挫を來した後、突角部の南北兩翼特にマルメデーとザウエル地区に攻撃を加へてゐる、北翼において米軍が獲得した地区は極めて僅少でドイツ軍はその一部を奪還した、南翼においては熾烈極まる戦闘の後米軍はデイーキルヒ附近でザウエル河に一橋頭堡を獲得した
 △東部戦線
 一、上部シレシアのドイツ國境地区において赤軍の先鋒を逐へたドイツ軍戦術隊備並に國民挺身隊は赤軍の進撃を阻止各所において反撃に出てゐる
 △東部戦線
 一、スロヴァキア北部國境とクラカウ地区との中間において赤軍は數個の深い突破口を形成するに至つた、ドイツ軍の豫備隊はローベン地区のみで敵戦車七十臺を破碎し更にロツツ西北方における熾烈な戦車戦においても敵は甚大な損害を蒙つた、ワルテ、グイスマラ兩河間において赤軍は更に進出するに至つたがウイスマラ河北方で敢闘するドイツ軍は敵の突出地の擴大を阻止した、一方ドイツ空軍の有力な編隊は過去四十八時間内に敵戦車百十一臺車輻七百臺を撃破した、東プロイセンの東部國境地区

日一廿

△東部戦線
 一、上部シレシアのドイツ國境地区において赤軍の先鋒を逐へたドイツ軍戦術隊備並に國民挺身隊は赤軍の進撃を阻止各所において反撃に出てゐる
 △東部戦線
 一、スロヴァキア北部國境とクラカウ地区との中間において赤軍は數個の深い突破口を形成するに至つた、ドイツ軍の豫備隊はローベン地区のみで敵戦車七十臺を破碎し更にロツツ西北方における熾烈な戦車戦においても敵は甚大な損害を蒙つた、ワルテ、グイスマラ兩河間において赤軍は更に進出するに至つたがウイスマラ河北方で敢闘するドイツ軍は敵の突出地の擴大を阻止した、一方ドイツ空軍の有力な編隊は過去四十八時間内に敵戦車百十一臺車輻七百臺を撃破した、東プロイセンの東部國境地区

△西部戦線
一、獨逸國境地區のドイツ軍はハイ
ンスベルグ兩側地區における英軍の
攻撃に對し、熾烈な防禦戰を交へて
ゐる

一、アルザス北部イングワイラー地
區においてはドイツ軍は強襲によつ
て敷地點を奪取した、バケナウ西方
で反撃に出た反樞軸軍は僅少な地域
を獲たのみで其他はすべて失敗に終
つた

△東部戦線
一、グイストラ河南部及び
北部シレンシア工業地帯では
赤軍は強力な歩兵並びに戰
車部隊をもつて攻撃を加へ、數ヶ地點
でドイツ軍陣地に大きく侵入した

一、オーデル河畔の戰鬪ではドイツ
軍は數ヶ所の赤軍橋頭堡に反撃を加
へて掃蕩又は壓縮した
一、ブレスラウ西に、オーデル河畔
では目下激戰展開中でリツサ及びネ
ツツエ河中間地區を前進する赤軍は
オブラ河のドイツ軍防禦線前面で阻
止された

一、ポーゼン地區ではシナイデミ
ール及びスロンベルグ西北部で戰鬪
が展開されてゐる
一、グイストラ河下流東岸において
はドイツ軍はクルム、グラウデンツ
及びマリエンウエルダー附近で追撃
する赤軍を撃退、一方マリエンブル
グ及びエルビングでは激烈な市街戰
が展開されてゐる

一、バルト海のフリッシェス・ハフ
とマズリア湖沼地帯中間部の戰況は
流動狀を呈し、赤軍の突破企圖は粉
砕された、ドイツ軍は赤軍に大損害
を與へ敷地點を奪還した、ノルデン
ブルグ・ゲルダウエン道西方及びク

一、ニヒスベルグ東方地區の戰鬪でド
イツ軍は赤軍戰車六十九輛、砲四十
八門を破砕した
一、クールランドにおいては赤軍は
リパウ東南部に重點を指向攻撃した
が、ドイツ軍地點前面で破砕された
一、ハンガリー前線においてはドイ
ツ軍並びに武裝警備隊より成る部隊
はグイレンツ湖グアリ中間の赤軍
防禦線を夜襲により突破引續き北方
に進出、赤軍の反撃を撃退したハン
ガリー軍も赤軍の強力な抵抗據點を
撃破、グエルトス山脈東邊に到達し
た

一、ブタベスト守備部隊は過去一ヶ
月餘の間數的に遙かに有力な赤軍に
對し果敢な抗戰を續け次の戰果を収
めた
一、東プロイセンにおいては赤軍有
力部隊はブレイゲル河兩岸地區の突
破企圖を繼續、ケーニヒスベルグ防
衛のドイツ軍陣地界の東部及び北部
へ侵出した

一、ドイツ空軍直掩機及び戰鬪機隊
は戰車二十九輛各種車輛六百七十五
を破壊したほか低空銃撃によつて赤
軍歩兵部隊に甚大な損害を與へた
一、北部シレンシアの工業地帯にお
いて赤軍有力部隊はカトウイツ及び
ポイテンへ突入、グライウイツ地區
から東南方へ向つて地域を獲得した
△西部戦線
一、英軍はレルモン、リンニツ
ヒ間においてレルル河のドイツ軍陣
地に小規模な攻撃を加へたが、ドイ
ツ軍の砲撃によつて撃退された

一、サン・グイート地區及びウイ
ツ東南方においてもドイツ軍は米軍
の攻撃を撃退又は阻止した
一、ストラスブル南方のラルツワ
イブ、ムルース地區では激戰が續
いてゐる

一、リツサ・ホーゼン、シユナイデ
ミュールのドイツ軍守備隊は赤軍の
強烈な攻撃を撃退した
一、ネツツエ河北方及びフロンベル
グ北方の赤軍は更に北方及び西北方
に進出したが、ドイツ軍はトルンに
對する赤軍の攻撃を再び粉砕した
一、グイストラ河下流において一
進一退の激戰が展開されたがドイ
ツ軍はマリオンブルグ市を固く手中に
確保してゐる

一、エルビングに突入した赤軍機甲
軍の側面に對して東プロイセン西南
から反撃を加へたドイツ軍はプロイ
ツツシユ・ホルランド附近まで赤軍戰
線を突破した
一、赤軍はケーニヒスベルグ地區ま
で突入、目下同市兩翼で激戰が展開
されてゐる

一、ドイツ軍一切の重要軍事施設特
に港灣施設を悉く破壊した後メーメ
ル橋頭堡を撤収した
一、ドイツ驅逐艦隊はノルウエー西
△海上戦線

一、リツサ・ホーゼン、シユナイデ
ミュールのドイツ軍守備隊は赤軍の
強烈な攻撃を撃退した
一、ネツツエ河北方及びフロンベル
グ北方の赤軍は更に北方及び西北方
に進出したが、ドイツ軍はトルンに
對する赤軍の攻撃を再び粉砕した
一、グイストラ河下流において一
進一退の激戰が展開されたがドイ
ツ軍はマリオンブルグ市を固く手中に
確保してゐる

一、エルビングに突入した赤軍機甲
軍の側面に對して東プロイセン西南
から反撃を加へたドイツ軍はプロイ
ツツシユ・ホルランド附近まで赤軍戰
線を突破した
一、赤軍はケーニヒスベルグ地區ま
で突入、目下同市兩翼で激戰が展開
されてゐる

一、ドイツ軍一切の重要軍事施設特
に港灣施設を悉く破壊した後メーメ
ル橋頭堡を撤収した
一、ドイツ驅逐艦隊はノルウエー西
△海上戦線

一、リツサ・ホーゼン、シユナイデ
ミュールのドイツ軍守備隊は赤軍の
強烈な攻撃を撃退した
一、ネツツエ河北方及びフロンベル
グ北方の赤軍は更に北方及び西北方
に進出したが、ドイツ軍はトルンに
對する赤軍の攻撃を再び粉砕した
一、グイストラ河下流において一
進一退の激戰が展開されたがドイ
ツ軍はマリオンブルグ市を固く手中に
確保してゐる

一、エルビングに突入した赤軍機甲
軍の側面に對して東プロイセン西南
から反撃を加へたドイツ軍はプロイ
ツツシユ・ホルランド附近まで赤軍戰
線を突破した
一、赤軍はケーニヒスベルグ地區ま
で突入、目下同市兩翼で激戰が展開
されてゐる

一、ドイツ軍一切の重要軍事施設特
に港灣施設を悉く破壊した後メーメ
ル橋頭堡を撤収した
一、ドイツ驅逐艦隊はノルウエー西
△海上戦線

一、リツサ・ホーゼン、シユナイデ
ミュールのドイツ軍守備隊は赤軍の
強烈な攻撃を撃退した
一、ネツツエ河北方及びフロンベル
グ北方の赤軍は更に北方及び西北方
に進出したが、ドイツ軍はトルンに
對する赤軍の攻撃を再び粉砕した
一、グイストラ河下流において一
進一退の激戰が展開されたがドイ
ツ軍はマリオンブルグ市を固く手中に
確保してゐる

一、エルビングに突入した赤軍機甲
軍の側面に對して東プロイセン西南
から反撃を加へたドイツ軍はプロイ
ツツシユ・ホルランド附近まで赤軍戰
線を突破した
一、赤軍はケーニヒスベルグ地區ま
で突入、目下同市兩翼で激戰が展開
されてゐる

岸沖で英國巡洋艦隊に遭遇、激烈な
砲撃戰を交へ一隻に火災を生ぜしめ
た上更に數個の直撃弾を浴せてこれ
を大破した

△東部戦線
一、上部シレンシアとオーデ
ル河の中間においてドイツ
軍は激戰の後有力な赤軍に
よる突破企圖を阻止した、オーラウ
において敵はその橋頭堡から更に西
方に前進を企圖した、シユタイナウ
においてドイツ軍は有力な敵部隊を
粉砕し一地點を頑強に死守してゐた
守備隊との連絡を再開した、オブラ
地區並にネツツエ北方のドリーセン
附近において敵は有力な戰車部隊を
以て西方へ攻撃を加へ目下激戰中で
ある、シユナイデミュールとクルム
の中間では敵は更に北方に進撃中で
ある、グイストラ河下流における敵
小部隊の攻撃は失敗しこれに反しド
イツ軍のグイストラ河を越へての反
撃はマリエンブルグとエルビング西
方地區との中間のノガート地方に到
達した、東プロイセンにおいて西方
に向つて突撃中のドイツ軍は敵の抵
抗を撃破して三十軒に亘る地區を獲
得、敵中深く突入した偵察部隊は大
膽な上撃を行ひ敵に甚大な損害を與
へた上エルビング橋頭堡に到達した
ケーニヒスベルグ北方における敵の
突撃は激戰の後撃破されたが右の戰
鬪にはドイツ海軍部隊も参加した
二十九日東プロイセンにおける戰鬪
で敵戰車五十三輛砲二十四門は撃破
された

△西部戦線
一、レルル河戦線においてドイツ軍
は數回に亘る敵襲を撃退、一旦喪失
したリツサ・ホーゼン及びノルウエー西

一、レルル河戦線においてドイツ軍
は數回に亘る敵襲を撃退、一旦喪失
したリツサ・ホーゼン及びノルウエー西

一、レルル河戦線においてドイツ軍
は數回に亘る敵襲を撃退、一旦喪失
したリツサ・ホーゼン及びノルウエー西

一、サンヴィクト両側地帯において米軍と激戦を交へ、同市東北方では米軍はドイツ軍陣地に突入したが南方地帯ではドイツ主陣地内掃で撃退された

日一卅

一、上部シレジア戦線においてはプレス・ラチボル、ブリゲ中間の敷地帯で大規模な戦闘が展開されただけでリ

一、アルザス南部においては反樞軸軍はコルマル北方イル河の橋頭堡からの攻撃を續行一地區においてコルマル運河南側に據點を獲得した

東部戦線

獨救援攻勢進む

【ストックホルム五日發】ドイツ軍當局は五日に至り初めてブダペスト西北方面におけるドイツ軍の救援攻勢開始の事實を確認、フエルセガラ、(ブ市西方四十四軒)東北方において有力なドイツ軍部隊が數日來赤軍に痛撃を與へてゐる旨發表した、反樞軸前線報道もドイツ軍が既に四日ブ市を距る四十六軒のピンズケほか二市を奪還したことを認めてゐるがドイツ軍はなほ着々進撃を續けてゐる模様で虚を衝かれた赤軍が急遽繰出した豫備軍もまた輸送途上ドイツ空軍の好餌となつてゐる、ドイツ軍の兵力に關する反樞軸側の報道は區々であるがモスクワからのロイク電報は戦車六ヶ師團歩兵數ヶ師團といひ同じくエクスチエニジ通信は戦車二ヶ師團歩兵五ヶ師團と報じてゐる、一方市内救援の報に勇躍したブダペスト方面のドイツ軍や西部地區で赤軍包圍環の弱點を求めて猛烈反撃を開始したといはれる、更に同市東部のベスト

破された、ケーニヒスベルグ南方でドイツ軍戦車擲弾兵隊はフリツシエス・ハフまで進出した赤軍を撃退かくて一時遮断されたケーニヒスベルグとの連絡を再開するに至つた熾烈な防禦戦においてケーニヒスベルグ守備隊は敵戦車二十七輛を撃破し海軍部隊は卅日もサムランド海岸の戦闘に参加した

現、前線報道によれば赤軍は五日ベストの地下鐵の停車場に突入、隧道内でドイツ軍と凄惨な死闘を展開してゐるといはれる

獨救援南方三十軒

【ベルリン廿三日發】ドイツ前線報道ブダペスト西南方パラト湖地區から進撃を續けドナウ西岸を北上してゐたドイツ軍は廿三日ブダペスト南方三十軒のエルシに到達、更にドナウ軍突破地區の南翼においてドナウエルツェガル西方約二十軒のフエルツェガルアルヴを奪還した、一方セクスフェルヴアルを抜いたドイツ軍は更に赤軍を東北方へ撃退、ヴァレンツ地区の赤軍歩兵戦車群を潰走させた

【ストックホルム十二日發】前線報道によればブダペスト市街戦の膠着と同市西北方面におけるドイツ軍の重壓の加重に焦慮した赤軍は十二日拂曉を期してブダペストの總攻撃を開始、東方、北方、南方の三方向からドナウ東岸ベスト地區の中樞部に猛攻を加へてゐるといはれる

赤軍冬季攻勢開始

獨救援南方三十軒

【ベルリン廿三日發】ドイツ前線報道ブダペスト西南方パラト湖地區から進撃を續けドナウ西岸を北上してゐたドイツ軍は廿三日ブダペスト南方三十軒のエルシに到達、更にドナウ軍突破地區の南翼においてドナウエルツェガル西方約二十軒のフエルツェガルアルヴを奪還した、一方セクスフェルヴアルを抜いたドイツ軍は更に赤軍を東北方へ撃退、ヴァレンツ地区の赤軍歩兵戦車群を潰走させた

摩下の第一ウクライナ戦線軍は十二日遂にパラノフ橋頭堡を跳躍板として大攻勢を展開するに至つた、ドイツ軍當局の言明によれば赤軍は歩兵四個師團、戦車一軍團及び一集團といふ大兵力をあげ、十哩の正面に亘り西方へ向つて得意の密集攻撃を行ひ目下ヴィスツラ河と同河支流のニダ河の中間地域でドイツ軍との間に白熱の攻防戦を展開してゐるといはれ兵力の優勢を恃む赤軍は若干地區で進出した様子だ、同方面における赤軍當面の目標はワルソー、クラカウ鐵道上の要衝キエルトツにあり同地を攻略することに依つてポーランド南部のドイツ軍を遮断し、更にその上で次期作戦目標を達成しようといふのがコーネフ軍の狙ひと解される

赤軍冬季攻勢開始

獨救援南方三十軒

【ベルリン廿三日發】ドイツ前線報道ブダペスト西南方パラト湖地區から進撃を續けドナウ西岸を北上してゐたドイツ軍は廿三日ブダペスト南方三十軒のエルシに到達、更にドナウ軍突破地區の南翼においてドナウエルツェガル西方約二十軒のフエルツェガルアルヴを奪還した、一方セクスフェルヴアルを抜いたドイツ軍は更に赤軍を東北方へ撃退、ヴァレンツ地区の赤軍歩兵戦車群を潰走させた

【ベルリン十六日發】赤軍は既に三ヶ月來ポーランド戦線に大軍を集結し大攻勢の準備を進めてゐたが十二日を期してブダペスト方面から東プロイセンに及ぶ全戦線に亘つて強力な冬季攻勢を挑んできた、赤軍の集結してゐる兵力資材等からみると獨ソ戦四年間稀にみる大規模な攻勢であり、一気にドイツ領に匕首を突き刺し決戦を挑まんとする意氣込みが見受けられる、今のところ赤軍の攻撃の第一重點はワルソー、クラカウ中間のワイクセル河中流地帯でこの正面に二乃至三個軍團が配置されバラノフ西方地區の約四十軒の正面から西方への突破を試みてゐる、その他ブダペスト附近、ハンガリー、スロヴァキア國境地帯及び十三日早晩から攻撃の始つた東プロイセン國境地帯等の正面から一齊に猛烈な砲火を集中してきてゐる第一のバラノフ方面の攻勢はクラカウを衝き更にル地方と並んで東ドイツの鐵業心臓とも云ふべき上部シレジアを狙つたものだけに攻防共に最も重要な戦線である、ハンガリー、スロヴァキア國境地帯の攻勢は以上の中部戦線に對しドイツ軍が南方から側面の攻撃を加へてゐるのを豫防するための牽制攻撃であり、ケーニヒスベルグ方面に進撃路を取つてゐる東プロイセンの攻勢も同様に北方からする牽制攻勢と云ふべきものであらう、しかししてドイツ軍の偵察によると赤軍は既に相當以前から現在の様な冬季大攻勢の準備を完成してゐたので、ドイツ軍最高司令部は既に昨年十一月頃からドイツ東部軍の全線に對し警報を發し今か今かと赤軍の冬季攻勢の發動を待ち構へてゐたが、それから三ヶ月を経た今日になつて漸く攻勢に轉じてきたもので、その原因

が奈邊にあるかの問題は各方面の關心の的となつてゐる一月九日附デイリー・メル紙のニューヨーク電報がポーランド筋の情勢として傳へるところによると赤軍がポーランドからドイツの心臓部を衝かない理由は米英兩國がブルリン政權を承認しないためであるといはれるが、十一日のデイリー・メル紙ニューヨーク電報も赤軍の冬季攻勢の遷延は米國では一般に不可解視されてゐると米國民のこれに非難の氣運を報じてゐる即ちこれは米英兩國がポーランドの處分をソ聯に一任するとの態度を示さぬ以上は高價な犠牲を拂つて徒らに西方からの反樞軸軍の前進を助ける様な作戦を取らぬとの政治的考慮からわざわざ攻勢開始を延ばしたもので、しかるは米英兩國の企圖によりゐる西部攻勢はドイツ大反撃により失敗に終りスタイン、ルーヴグエルト、チャーチル三者の會談も愈よ近く開かれる運びになつたので會談の席上ソ聯の政治的立場を有利とするため今日に至つて突如攻勢を取るに至つたものとみられてゐる、消息通はギリシヤで赤色系のエラスが突如英領のギリシヤ政府と休戦協定を締結し従來の英ソ協定に從ひ差し當りギリシヤを英國の勢力圏と認め

るかの如き態度を取つてゐるのも冬季攻勢と並んで三國會談に備へる政治的對策とみられる、他方ドイツ軍の立場をみると赤軍が今日まで冬季攻勢を延ばしてきたことは非常な有利であつた、ドイツ軍最高司令部では西部で後退を強ひられてゐた昨年九月頃から既に十二月頃をもつて西部戦線で大攻勢を行ふ計畫を樹て萬般の準備を整へてゐたのでこれに先立ち反樞軸軍が東西相呼應して大攻

勢に出てきたならばドイツの防衛は必ずしも容易ではなかつたらうと推察される、しかしドイツ軍はこの隙を狙つて突如西部戦線で大攻勢に轉じ反樞軸軍を西部要塞線の遙か後方に押し返した上その攻勢準備を目茶苦茶に叩き潰し暫くは攻勢を取り得ない状態に押し込んだので赤軍の冬季攻勢に對して綽々たる餘裕をもつて應戦し得る状態になつてゐる、これはヒトラー總統の作戦指導の大成功として軍事専門家の間で驚嘆的となつてゐる、いづれにしても政治的軍事的に種々の意味をもつて赤軍の冬季攻勢の展開は歐洲戦局に重大なる影響を齎すものとして注目されてゐる

赤軍全線で強壓

【ストックホルム十九日發】前線報道によれば東プロイセン攻勢に呼應するロコフ線軍は十九日ウイッスタラ河北方大きくウクラ河を突破ムラワプロンスクの兩要衝を手中に收めてダンチツヒルワルシヤワ鐵道を遮断したといはれるが、ワルシヤワ西方戦線でもジュニコフ元帥麾下の第一白露戰線軍は北はクツクからポツツを経てトマシヨフ・マーズ、ロヨトルコフに至る百料の戰線でドイツ國境指してひた押しに強壓を加へてをりドイツ軍も十九日遂に紡織都市ロツツを放棄して西方に新防禦線を構築するの已むなきに至つた様だ、他方南ポーランドのドイツ軍はシレンジヤ國境十五折のウエルンでコーネフ軍の國境突破企圖を應命に阻止してゐるが、去る十五日新攻勢を開始したペトロフ麾下の第四ウクライナ戰線軍がヤスロー、ゴルリツエを抜いてドイツ軍當局も認める如く一氣に

ノウイ・サーツに突入した結果クラカウは側面迂回の脅威を受けるに至りドイツ軍は十九日クラカウから引揚げてドムブラ炭田の防衛強化に移つたといはれ、ポーランド戦局は今極めて重大な局面に突入するに至つた

六戰線軍を動員

【ストックホルム廿四日發】赤軍の第四次冬季攻勢は第二ウクライナ戰線軍の参加により北はメーメル河から南はハンガリア北部に至る約一千軒の戰線に擴大されるに至つた、昨年末以來ブダペスト南北で作戦中のトルブーヒン麾下の第三ウクライナ戰線軍並に第二ウクライナ戰線軍を除き、去る二十日以來スタイン元帥が布告を以て公式に新攻勢開始を發表した、赤軍は東プロイセンの第三白露戰線軍(チェルニヤホスキ)ポランド西部の第一白露戰線軍(ジュニコフ)シレンジヤ國境地區の第一ウクライナ戰線軍(コーネフ)カルパチア山脈南北の第四ウクライナ戰線軍(ペトロフ)並に今回行動を起した第二ウクライナ戰線軍(マリノフスキ)の六戰線軍に上り赤軍の冬季攻勢は愈よ本格化して來た様だ、更に二十五日のスタイン元帥の布告の中において昨年まで第二白露戰線軍司令官としてナレフ戰線で活躍してゐたサハロフ軍大將がマリノフスキ元帥の下で第二ウクライナ戰線軍の參謀長についてゐることが明かにされたる

最後の決戦迫る

【ベルリン廿日發】ドイツ軍當局は赤軍今回の冬季攻勢を超攻勢と名づけてゐるが、その規模と形式からみて正に獨ソ兩國間の決戦である、反樞軸軍を相手にしての西部戦線もあらゆる近代兵器を動員した大戦争には違ひないが、なにしろ反樞軸軍の兵力は八十個師團に過ぎず、且つ數百年の民族抗戦に夫々因縁のある自らの障害がある上、マジノ線とか西部戦線とか要塞といった人工の障害が張り繞らされてゐるから、ドイツ本土の心臓部への突入はそれ程簡單ではない、それに反し東部戦線では總兵力三百五十個師、戰車約七千といふ大兵力を擁してゐる外、地勢は岷々として唯一の防衛線となるべき河川湖沼は全部厚く凍結してゐるから戰車も自由に通過出来、赤軍の雪崩をせき止めることは容易なことではない、赤軍の兵力をみるとクルルラント五十五個師團ハンガリー五十五個師團外に若干の後方部隊を除くと東プロイセンからスロヴァキアにかけてのドイツ本土を狙ふ赤軍兵力は三百二十個師團とみられ一個師團の兵力は平均一萬程度だ、加ふるに戰車三十五兵團、外に歩兵師團附屬の小戰車部隊約十隊を備へてゐる、戰車一兵團は戰車一旅團、機械化歩兵一旅團からなり戰車約百五十輛を保有してゐるから、赤軍戰車の總計は七千程度と推定される、攻撃の重點は北方の東プロイセンと南の上部シレンジヤ地方におかれてゐる、ドイツ軍當局の非公式發表によれば東プロイセン東部赤軍集團は狙撃師團四十三ヶ師、戰車二ヶ師團、ダンチツヒ方面に向つてゐる軍集團は五十八ヶ師團、戰車六兵團であり全兵力の約半数程度が同方面に向けられてゐる第二の重點たるシレンジヤからブレスラウ方面にかけては約七十個師團の狙撃兵力の外に強力な戰車隊が配置されブレスラウ方面の攻略戦には實

にキロ平均一臺の割合で雲霞の様に來襲したといはれる、ポーゼンから一路ベルリンを目指す中部戦線では赤軍は既にベルリン東方百五十キロに迫つてゐるが、その戰線が突出してゐる割には兵力の配置が少なく主として戰車部隊による突破作戦のやうだ、以上の兵力配置で明かなやうに赤軍は先づ北と南の兩翼から大攻撃を開始し、ドイツ軍の豫備兵力を兩戦線にひきつけ、その戦力を打斃した後、ドイツ軍の弱點に向け大膽的な突破を試み、戦線の崩れの大を俟つてベルリン方面へ本格的な前進を企圖してゐるもの如く今日までの赤軍の攻勢から判断すると歐洲戦争の初期におけるドイツ軍のフランス作戦を模倣し戰車部隊は直ぐ後方に補給の自動車部隊と機械化歩兵師團を隨伴してゐるので、一日二十乃至三十軒程度の快足で前進を續けてゐる敵は眞に驚異的補給力に依るのである、赤軍の軍集團は五個あるがドイツ軍の東部軍の様にこれを全部統轄する司令官はなくスタイン元帥がモスクワから直接各司令官に命令を與へ、各司令官が相當獨斷的に戰闘が出来る様な指揮系統となつてゐるので割合に思ひ切つた迅速な作戦が出来たとみられる、ドイツ政府としても事態の深刻なことは國民に十分示して凡ゆる對抗策をとつてゐるが、今までのところその方策が全部發動されたとはいへない、赤軍の攻勢には所在の兵力とその地域附近の住民からなる國民突撃隊で支へて本格的對抗措置の發動を待つてゐる形だから赤軍の前進が完全に停止されてゐないのには不思議ではない、ドイツ軍としては新編成の精銳師團をなほ多數豫備軍として保有してゐる

にキロ平均一臺の割合で雲霞の様に來襲したといはれる、ポーゼンから一路ベルリンを目指す中部戦線では赤軍は既にベルリン東方百五十キロに迫つてゐるが、その戰線が突出してゐる割には兵力の配置が少なく主として戰車部隊による突破作戦のやうだ、以上の兵力配置で明かなやうに赤軍は先づ北と南の兩翼から大攻撃を開始し、ドイツ軍の豫備兵力を兩戦線にひきつけ、その戦力を打斃した後、ドイツ軍の弱點に向け大膽的な突破を試み、戦線の崩れの大を俟つてベルリン方面へ本格的な前進を企圖してゐるもの如く今日までの赤軍の攻勢から判断すると歐洲戦争の初期におけるドイツ軍のフランス作戦を模倣し戰車部隊は直ぐ後方に補給の自動車部隊と機械化歩兵師團を隨伴してゐるので、一日二十乃至三十軒程度の快足で前進を續けてゐる敵は眞に驚異的補給力に依るのである、赤軍の軍集團は五個あるがドイツ軍の東部軍の様にこれを全部統轄する司令官はなくスタイン元帥がモスクワから直接各司令官に命令を與へ、各司令官が相當獨斷的に戰闘が出来る様な指揮系統となつてゐるので割合に思ひ切つた迅速な作戦が出来たとみられる、ドイツ政府としても事態の深刻なことは國民に十分示して凡ゆる對抗策をとつてゐるが、今までのところその方策が全部發動されたとはいへない、赤軍の攻勢には所在の兵力とその地域附近の住民からなる國民突撃隊で支へて本格的對抗措置の發動を待つてゐる形だから赤軍の前進が完全に停止されてゐないのには不思議ではない、ドイツ軍としては新編成の精銳師團をなほ多數豫備軍として保有してゐる

るのでこれを動員して西部戦線と同様な大反撃に轉ずるであらうが、この場合でもこれを全戦線に配置し赤軍の前進を喰ひ止めるやうな作戦に出るか、或は一部戦線深く喰ひ込まれることを覚悟して、二ヶ所に思ひ切つて兵力を集中し大々的反撃戦に出るか、何れかを選ばざるを得ないであらう、この後者を選ぶ場合には或ひはベルリンを一時的にも市街戦の犠牲に供する位の覚悟がなければならぬであらう、一方、米軍もこの好機を漫然と見逃がすことなく、手持ちの兵力だけで近いうちに攻撃を開始する傾向が濃厚である、故二週間の形勢は極めて重大だが、ドイツ將兵及び國民は最高統帥部を信頼し不思議な程冷静に各自職務を果しつあり、またナチ黨は旺盛な士氣を以て國民の指導に當つてゐる

戰局重大化

【ストツクホルム廿五日發】

二白露戦線軍が二十五日エルビング東方でバルト海岸に到達した結果東プロイセンの戦局は極度に重大化するに至つた、海岸到達部隊の兵力その他に關しては不明であるが恐らくタンネンベルク、オステルローテサルシエルトを抜いて一氣に北上した戦軍の先鋒と見られ、現在までのところ一陣エルビング、ケーニヒスベルグ鐵道を遮斷した程度ではないかと解される、然しながら右部隊によつて東プロイセンとダンチツヒ回廊との陸上連絡路は遮斷された譯であり、今後赤軍の後進歩兵部隊がこの突破口を確保するとせば東プロイセン防衛軍は赤軍艦隊の脅威下にあるバルト海による外連絡の方法は全然ない、更にロコソフス

キ一軍は主力をもつて南方からエルビング並にマリエンブルグに迫り既に奥地を指呼の間に望む地點に到達、別動隊はウイスマッラ河口地區に進出してダンチツヒへ三十五軒のところに迫つてゐるといはれ、一方ベルト海岸沿ひに西南進するチエリニヤホスキ一軍はインシュテルブルグフェラウから一路西進する部隊と共に東プロイセンの首都ケーニヒスベルグの郊外に到達したといはれる

ソ聯側も獨國境突破を發表

【モスクワ二十九日發】

元帥は二十九日夜の布告をもつてジューコフ元帥麾下の第一白露戦線軍が二十九日遂にブランデンブルグ地方のドイツ國境を突破し、ベルリン、ロンベルク鐵道上のドリーセン及びホーセツシユテツチン鐵道上のウオルテンベルグを占領した旨發表したドリーセンは國境西方十軒、ベルリンまでの距離は百五十軒、ウオルテンベルグは國境西北方二十軒、ベルリンまでは百九十二軒の地點にある

赤軍兵力歩兵二十八師

【ストツクホルム十三日發】

赤軍冬季攻勢は遂にケーネフ麾下赤軍第一ウクラライナ戦線によつて十二日南ポーランドで火蓋を切られたが、ドイツ當局は今回の攻勢を極度に重視し、攻勢の開始された一月十二日をもつて歴史の日となるであらうとまで言切つてゐる、ドイツ軍當局筋の推定によれば、攻勢に参加したケーネフ軍の兵力は歩兵三ヶ軍團、二十四ヶ師乃至二十八ヶ師團並に戦車三ヶ軍團から成る有力なものといはれる

獨ソ決戦高潮の一途 【ストツクホルム十四日發】 赤軍當

局は十三日夜ポーランド南部における赤軍の攻勢開始發表と同時に「ドイツ軍は過去五ヶ月に亘るこの戦線の小康を利用し赤軍の新攻勢地區において特火點、掩蔽壕、機銃座、砲列から成る堅牢な縱深防禦陣地を建設した」と言明、ウイスマッラ河戦線に布いたドイツ軍の鐵桶の堅陣ぶりを認めてゐるが、モスクワからのAP電報によればドイツ軍の最強陣地の如きは一哩毎に實に二十五乃至四十の特火點を備へてゐるといはれ、火砲放射器をもつて猪突する赤軍に多大の出血を強要してゐる模様だ、一方赤軍が攻勢開始に當つてドイツ軍陣地に浴せた猛砲火もまた獨ソ戦未曾有の熾烈さであつたといはれ、通稱「カチューシャ」と呼ばれる赤軍のロケット砲もまた威力を發揮してゐる様子で人は勿論戦車まで白く偽装し、白一色の雪の大平原を朱に染めて獨ソ四度目の冬の陣は刻々高潮の一途を辿つてゐる

赤軍ロソツク占領 【ストツクホルム十四日發】 前線報道によれば赤軍はスロヴァキア南部の要衝ロソツクを占領したといはれる

ワルソー陥落

【モスクワ十七日發】

第一白露戦線軍はワルソー西方の迂回作戦によつてジラドウ市を占領、ソチャセフに通ずる道路を遮斷した、ワルソー北方でウイスマッラ河を渡河西方を遮斷した後十七日西南兩方面から協同作戦によつてポーランドの首都ワルソーを占領した

クラカウ凄惨な市街戦 【ストツクホルム十七日發】 前線報道によればワルソーを占領したジューコフ元帥麾下の第一白露戦線軍の左翼はグロエ

ツ西方地區でケーネフ元帥麾下の第一ウクラライナ戦線軍の右翼と握手エジエルナ河地區のドイツ軍は赤軍の重圍下に陥つた模様で、ドイツ軍は十七日ロソツクに集結した戦車主力を急派して救援反撃の火蓋を切り、目下ラウカ、ピリア兩河地區で兩軍一千の戦車群が入り亂れて鎗を割る大機甲戦を展開中といはれる、他方ピリツア河を廣汎な戦線で突破したケーネフ軍はシレジアの關門都市チエリニコウアに一氣に到達、後方迂回を企圖したためドイツ軍は一旦チエリニコウアを放棄して陣容を直しした様子で、更にクラカウ東方十六軒の地點からクラカウに猛砲火を集中してゐた赤軍も遂に強撃の火蓋を切り、既に凄惨な市街戦が行はれてゐると傳へられる

ケーネフ軍シレジアへ突入

【ストツクホルム廿二日發】

ドイツ側報道はチエリニコウア地區から西進したケーネフ麾下の第一ウクラライナ戦線軍が獨波國境を越えて戦火が上部シレジアに移行したことを認め、前線報道によれば赤軍の突破正面はケーネフ西方からグツテンタークに亘る約九十キロの線でタロイツベルグ、ローゼンベルグ、ピツチエン等の諸市を手中に收め、プレスラウ、カトウイツ鐵道を遮斷しやうとしてゐるが、ドイツ軍が惜しまなく注ぎ込む豫備兵力の眞向からの反撃によつて多大の出血を繰返してゐる様子だ、この戦線はシレジア工業地帯を脅かす點で勿論注目を要するが、戦略的に更に重大なのはワルソーから西へ進み直接ベルリンへ正面切つて利刃を振つジューコフ麾下第一白露戦線軍の鋒先で、現在ジューコフ軍の攻勢正面は幅約百三十

に亘り、その棟の先端はブロンペルグ西南方約八十軒、ポーゼン西方百軒の地點に到達してゐる、ドイツ前線報道もこの方面の戦局が極めて流動的なことを認めてゐるが、ベルリンとの距離からしてもドイツ軍司令部が西部戦線よりもこの戦線を重視し、刻々抵抗してゐることは勿論でジューコフ軍の進撃速度がこの儘續くと考へられないが、この戦線でもまたドイツ軍が次第に「本土の守り」につかうとしてゐることは否定できない

第二ウクラライナ軍も参加

【ストツクホルム二十四日發】

モスクワ來電によればスターリン元帥は二十四日夜の布告において第二ウクラライナ戦線軍がハンガリア東北部のミスコルツ北方で攻勢を開始した旨發表したといはれる

シレジア攻防戦激化

【ストツクホルム二十五日發】

シレジアの戦闘はプレスラウ東方のエリクス、ナムスラウ、グロスストンリツツの線からオーデル河の線に移行し目下シニタイナウからグライヴィッツに至る百六十軒の線で白熱的なオーデル攻防戦が展開されてゐるといはれる、赤軍の攻撃焦點はプレスラウ、シニタイナウ並にオベルン地區にあり特にプレスラウ間道に於ては赤軍が國境を越えて以來最大の激戦が展開されてゐる、赤軍は北東南の三方向から半圓形の攻撃態勢をとつて全市要塞と化したプレスラウに犄々として、既に最進出部隊は同市東方六軒の地點まで到達してゐるといはれる、一方ドイツ軍もプレスラウの軍事的經濟的重要性に鑑み全婦女子を避難させ、あくまで同市を死守する方針といはれ戦闘は刻々緊

迫の度を加へてゐる
赤軍オブラ河を渡る

【ストックホルム廿一日發】前線報道によればドリーセン、ベンチエン間約六十軒の正面でドイツ國境を突破したジューコフ麾下の戦車並に機械化歩兵部隊は廿日遂にオブラ河西岸に到達ベルリンまで百三十六軒乃至百五十四軒の地點に達したといはれるベルリン情報も以上の事實を認め赤軍がチューリッヒや、メルゼリッツを結ぶ線に進出したと傳へられてゐない一方ポーゼン、シユテツチン鐵道沿ひにホメラニア目指して前進中のジューコフ軍の他の部隊はネツツエ河北岸に到達した後更にクロイツからウルデンベルグへ迫つてゐると傳へられる、東プロシヤンにおいてはチメルシヤホフスキー軍がチーニヒスベルグの西部、西南部に進出した結果チーニヒスベルグは赤軍の完全包圍下に陥つた様子だ赤軍ランスベルグへ迫る

【ストックホルム三十一日發】モスクワ來電「ソヴェト情報局は三十日夜の公報でジューコフ軍の一部がワルテ河岸のランスベルグ東方六軒のシユトルゼンベルグを占領した旨發表したシユトルゼンベルグはベルリンまで約百二十軒の距離にあり右に依て赤軍はランスベルグ東方からチューリッヒに至る九十軒の線でオーデルに對する態勢を整へた譯だ

西部戦線

ルントシユテット攻勢の餘波

【リスボン五日發】モントゴメリの指揮範圍擴大はルントシユテット

攻勢の餘波のうち最大のもので特に從來英軍カナダ軍のみから成る第二十一集團軍を指揮してゐたモントゴメリが麾下に米軍を入れることにまつたのは注目に値する、アルダンヌ以北の反樞軸軍には米第一、第九兩軍並に英加兩軍があり今回の措置にシンプソン麾下の米第九軍ホツシス麾下の米第一軍はモントゴメリに歸屬するわけである、又これまで米第一軍はザール戦線の米第三軍と共にグラドレ麾下の第十二集團軍に屬してゐたものでルントシユテット攻勢に伴ふアイゼンハウアー司令部の改組は遂に英將モントゴメリの著しい權限擴大となつて現はれたなほ第十二集團軍司令官オマール・ブラドレーはモントゴメリに對してアルダンヌ以北を讓渡した代りになつたといはれる

第一空挺軍團副司令任命

【リスボン十八日發】パリ來電「歐洲反攻反樞軸軍第一空挺軍團副司令官アラウニングの東南アジア戰域轉出に伴ひ、後任に英第一空挺師團長少將リチャード・ゲールが十八日任命された

獨守備隊健全

【リスボン十一日發】ドイツ軍守備隊は昨年七月下旬の米軍大突破作戦開始以來フランスの沿岸要塞に立籠つて戦つてゐるが、パリ來電によれば現在サン・ナゼールには三萬五千ボルドーの出入口を扼するジロンド河口附近には四萬、ロリアンには二萬のドイツ軍守備隊が頑張つて反樞軸軍の二要港利用を阻んでゐるといはれる

西部戦線へ優先的に供給

【リスボン廿六日發】パリ來電「米

陸軍補給本部長ブレホン・ソマーグエルは二十五日アイゼンハウアー司令部における記者團會見で次の通り言明した
米國は西部戦線における軍需品の深刻な不足を克服するため、彈藥、タニア、貨物自動車等の生産に全力を傾注しなければならぬ、特に中火器及び重火器の彈藥は一〇〇%、大型貨物自動車二五%、ズック一〇四%増産する必要がある、併しながら以上の不足にも拘らず、反樞軸軍は大規模攻撃に移るに充分な軍需品のストックを確保してゐる、新聞の報道によればドイツの虎戦車は世界最優秀といふことだが、反樞軸軍が戦車その他の裝備でドイツに遅れをとつてゐるとは思へない、ルーズヴェルトは最近世界最強の装甲と火力を有する新型米戦車を發表したが、これはまだ實戦に参加してゐない、軍需品の供給に關しては西部戦線は太平洋戦線よりも優先的地位を依然確保してゐる

米軍攻勢開始發表

【リスボン四日發】パリ來電によればアイゼンハウアー司令部は四日、「米第一軍がベルギーのドイツ軍突出陣地の北側に對し、攻勢を開始した」旨發表したといはれる、ベルギー情報発表米軍今回の攻勢の主力は米第九軍であるといはれるが反樞軸側では米第一軍であるといはれる點が注目される、アイゼンハウアー司令部は新攻撃に關して詳細を發表しないが、作戦區域はマルメディからマルシユに及び米軍の戦車部隊は既に三軒餘進出したといはれる、一方バスターニユ周邊ではドイツ軍の抵抗は極度に激化したと傳へられ、前線報道はバスターニユ東北方七軒の

ミシヤンに布陣する米第百一空輸師團に對しドイツ軍が目下攻撃を加へてゐる旨報じてゐる、同時に西部戦南翼のドイツ軍の攻勢も着々進捗してゐる様子で、四日のパリ情報はザールケミンユンドからラインに至る八十軒の線で米第七軍の橋頭堡が縮少された事實を認めてゐる

南部地區

【リスボン二日發】ルントシユテット攻勢で第一軍と米第三軍の中間に大きな楔をうち込み、西部戦線における米軍の主力をベルギー、ルクセンブルグ地區に引きつけたドイツ軍は十二月三十一日午後十一時四十五分を期しザール・バラチナートでも一齊に攻勢を展開、米第三軍の殘存部隊及び第七軍を徐々に壓迫中といはれる、パリ來電によればアイゼンハウアー司令部は二日の戦況公報で「ドイツ軍からラインに至る線でドイツ軍は攻勢に出てゐる」と述べバンシユタイン南方の森林地區でドイツ軍が進出した事實を認めてゐるといはれる、一方バスターニユ地區の戦闘は愈よ白熱化しバツトン麾下の米第三軍はバスマーニユから同地西方廿四軒のサン・ユベール西南方にかけて猛烈な攻勢を展開、ドイツ軍との間に一進一退の激戦を續け、サン・ユベール東方のモワルシ東北方ではやや進出した模様だ、更にルクセンブルグから北上中の米軍別動隊はバスターニユ東南五軒のワルティン及びウィルツ東南方のモトム近郊に夫々到着してゐると傳へられる

南翼で獨軍攻勢

【リスボン五日發】ザールからラインに至る約百軒の線で展開されてゐるドイツ軍の攻勢に關してはドイツ軍當局では未だ「大攻勢」といふ表現を用ひてゐないが情勢は同方面に有利する米第七軍に劣り著しく悪化し現在米軍は廣汎な正面で南進するドイツ軍を阻止するに躍起となつてゐるといはれる、情報によれば米第七軍はアルザス中部からタツシニー麾下のフランス第一軍の一部を増援隊として得、ピツチュノ側を中心に要衝サヴユルヌを目指して急速調の進軍を續けるといはれる又ロイタめよとしてゐるといはれるロイタ一特派員マーシヤル・ヤローは米第七軍の危機を傳へて五日夜次の通り報じてゐる、ザール溪谷に沿ふドイツ軍の攻勢は全力をあげてゐるやうに見受けられアルザス並にロレーヌの平原地帯へ突入りしその氣配さへ見せてゐる、ドイツ軍の攻勢によつて南部戦線の反樞軸軍陣地は全く安定を喪ひ、ピツチュ東方におけるドイツ軍の攻勢は反樞軸軍の陣地内に太い突破口を作りマジノ線を突破するに至つた、現在ドイツ軍は反樞軸軍が善戦しない限り西に向つてはロレーヌ平原へ南に向つてはアルザスへ雪崩れ込み意氣軒昂たるものがあり今後若しストラズブルでも陥れば更に之に拍車をかけることにならうアルザス國境地區の東端では反樞軸

を占領した旨發表した
米軍ワイゼンブルグ撤収【リスボン四日發】パリ來電によれば米第七軍はアルザス北部國境地區の要衝約八十軒後退したといはれる
反樞軸軍危機に瀕す
【リスボン五日發】ザールからラインに至る約百軒の線で展開されてゐるドイツ軍の攻勢に關してはドイツ軍當局では未だ「大攻勢」といふ表現を用ひてゐないが情勢は同方面に有利する米第七軍に劣り著しく悪化し現在米軍は廣汎な正面で南進するドイツ軍を阻止するに躍起となつてゐるといはれる、情報によれば米第七軍はアルザス中部からタツシニー麾下のフランス第一軍の一部を増援隊として得、ピツチュノ側を中心に要衝サヴユルヌを目指して急速調の進軍を續けるといはれる又ロイタめよとしてゐるといはれるロイタ一特派員マーシヤル・ヤローは米第七軍の危機を傳へて五日夜次の通り報じてゐる、ザール溪谷に沿ふドイツ軍の攻勢は全力をあげてゐるやうに見受けられアルザス並にロレーヌの平原地帯へ突入りしその氣配さへ見せてゐる、ドイツ軍の攻勢によつて南部戦線の反樞軸軍陣地は全く安定を喪ひ、ピツチュ東方におけるドイツ軍の攻勢は反樞軸軍の陣地内に太い突破口を作りマジノ線を突破するに至つた、現在ドイツ軍は反樞軸軍が善戦しない限り西に向つてはロレーヌ平原へ南に向つてはアルザスへ雪崩れ込み意氣軒昂たるものがあり今後若しストラズブルでも陥れば更に之に拍車をかけることにならうアルザス國境地區の東端では反樞軸

軍は既にハーゲナウ森林の北方數軒のところにまで引下げられてをリビツチユン南方ではドイツ軍はザールゲミニュン、ハーゲナウ道路を脅威するに至つてゐる。

獨長距離ロケット砲で猛攻

【リスボン十三日發】 前線報道によればドイツ軍は西部戦線で長距離ロケット砲を使用し、米第三軍、駐屯地區に對し斷續的にロケット砲彈の雨を浴びせてゐるといはれてゐる、右ロケット砲は去る十二月中旬米第一軍並に第九軍に對して發射されたのと同型と見られてゐる。

ル將軍の第二次反攻作戰

【リスボン廿三日發】 反樞軸軍司令部からのエクスチェンジ通信はアルプス北部のドイツ軍の作戰の成功を認め二十日次の様に報道してゐる、ストラスプールの北方ライン西岸橋頭堡のドイツ軍はラインを渡河して虎戰軍多數を擁する有力部隊が増援したためハナナウ森林地區の友軍との連絡に成功、ビツチヨからゼルトを経てガムシャイムに至る幅七十料に及ぶ一貫した戦線の樹立に成功したこの線はハンテン地區で開つてゐるドイツ軍と僅か數料を距てるに過ぎず、ゼルトからガムシャイムに至るマジノ線の大部分はドイツ軍の手に歸した、ドイツ軍のストラスプールの突破企圖は未だ成功するに至らな

い、米第七軍は困難な防禦を續け、しかも戰闘は烈々激化してをり、これはルントシュテツト將軍がストラスプールの勿論アルプス全域の奪還を目指す新たな反攻作戰を開始したといふべきだ

突出部受除に全兵力を傾く

【リスボン五日發】 ドイツ軍當局は三日既にベルギー

北地地區

【リスボン九日發】 前線報道によればアルデンヌのドイツ軍突出戦線北翼に對する米第一軍右翼の反攻先鋒

ルクセンブルグ地區のドイツ軍に對抗するため反樞軸軍は西部戦線の北翼から英第二軍、米第九軍を廻してゐる事實を指摘したが、パリ來電によれば五日に至り反樞軸軍當局は英第二軍及び米第九軍がベルギー戰區に突出してゐることを發表したといはれる、歩兵及び機甲部隊から成る英第二軍はルントシュテツト攻勢が開始された直後リエージュ前面の防禦についてゐた様子で、現在にはマロシユからロシユフオールへかけて作戦中と傳へられ米第九軍の作戰地

區は明示されてゐない以上二軍團の参加により反樞軸軍はドイツ軍のアルデンヌ突出部に對して實に四個軍團の兵力を以て對抗してゐる譯で、西部戦線における反樞軸軍の主力がアルデンヌ地區に集結された結果、兩軍の戦線が著しく脆弱化したと云ふことは蔽ふべくもなく、ザール北面におけるドイツ軍の躍進は反樞軸軍のこの處を衝いたものと見て注目される

米第一軍の一部はブラドレー麾下

【リスボン五日發】 ワシントン來電にアルデンヌ突出部の南側では第十二集團軍司令官ブラドレーの指揮下に入る事になつたといはれ米陸軍省も五日次の通り發表したといはれる

ベルギー並ルクセンブルグにおけるドイツ軍の反撃によつて非常事態が生じた結果バーナード・モントゴメリーは米第九軍並に米第一軍の大半の指揮權を掌握する事になつた

アルデンヌ戰闘俄然緊迫

【リスボン九日發】 前線報道によればアルデンヌのドイツ軍突出戦線北翼に對する米第一軍右翼の反攻先鋒

は九日マルクル、ラロシユ中間のシエルでウルト河に到達、ラロシユ西北方一料の地點に迫つた模様で、ラロシユ東北方からひた押しに押す米第一軍左翼も六料半の押しでラロシユに達したといはれる、他方ドイツ軍南翼を押す米第三軍の先鋒は九日ラロシユサン・ヴィートとラロシユバスターニユ兩道路の交叉點をさる一料半の地點に強行北上、その結果米第一軍と第三軍は南北僅かに十六料を距つのみとなつた

ウーフアリーズ激戦

【リスボン十五日發】 アルデンヌ突出部の戦線整理を續けるドイツ軍は十五日突出部西端ウルト河畔のウーフアリーズに突入した米軍を邀へて白熱的市街戦を展開中だが、ドイツ軍の戦線整備は既に終了した模様でロイター前線報道によればドイツ軍の反撃は十五日來急角度に激化してゐると傳へられる、以上の事態に鑑み米第一軍は十五日更にアルメイ東方とスダヴロー南方の兩地點で新たに南方へ攻撃を開始したが、ドイツ軍もバスターニユ北方で猛反撃の火蓋を切りロシヤンから北上する米第三軍の攻撃を撃破した後フォワを占領した模様だ

英軍和蘭で新上陸

【リスボン十八日發】 パリ來電によれば英軍部隊は十八日オランダ、ワルヘン島北方のスフウェン島に上陸したといはれる

モンゴメリー、ルール攻勢準備

【リスボン廿五日發】 オランダ南部マース河中間の三角地帯で執拗な攻撃を續けてゐた英第二軍は夥しい出血の後ユーリツヒ西南方二十五料の

ハインズベルグに突入したが、ドイツ側の前線報道によればユーリツヒ西方の前線背後に反樞軸軍の有力部隊が待機中であるといはれ、モンゴメリーはこの地區からルールに對する攻勢を再開するものと見られる

反樞軸軍ミシヤン地區を撤收

【六日】 反樞軸軍はバスターニユ附近のミシヤン地區からバスターニユ東北三・二料の高地に撤退し、また獨軍はバスターニユの東南方でも歩兵及び戰車隊を以て強襲を加へ反樞軸軍はこれを砲撃で撃退した

アルプス北部で進出【八日】 ウイセアルプグにおいてドイツ軍歩兵部隊は戰車部隊の掩護の下に前後四回に亘つて攻撃を加へ、反樞軸軍は若干の地域を喪失した

北上部隊二市を占領

【リスボン廿三日發】 アルプス平原においてドイツ軍は戰車部隊の掩護の下にライオン、ローヌ運河に沿ふて北上、反樞軸軍をウイテルンハイム及びフリーセンハイムから驅逐した目下兩市北方において戰闘續行中である

敵ビュール市から撤收

【リスボン廿三日發】 反樞軸軍はドイツ軍の強襲によりベルギーのビュール市から撤收した

司令官は米軍はモンシヤウ北方においてジークフリード前哨陣地に對し攻撃を開始した

【リスボン廿三日發】 米第八航空隊は二日三千機に上る航空軍を出撃させたと稱してゐるが、ロンドン來電によれば三日更に戰闘機六百機以上に依つて直衛された重爆撃機千機以上をもつてドイツ領内の十二ヶ所を攻撃したと

いはれる、米軍航空隊の攻撃箇所は何れも鐵道及び道路の中心地でケルンクフルト東北方のフルダ等各地の操車場が主目標となつた様子だ

リスボン四日發

【リスボン四日發】 ロンドン來電に歐洲戰域米軍戰略爆撃隊司令部中將カール・スパーツは四日次のやうに發表した

歐洲並に地中海方面米航空部隊は一九四四年を通じ爆彈九千五萬八千噸を投下し、この間歐洲全域で飛行機九千二百七十四機を失つた、ドイツ空軍戰闘隊が攻勢を強化したのはドイツ空軍司令部の陣容の交代により作戰方針が變つたために、ドイツ軍の喪失機補填状況は大に改善され、現在ドイツ軍戰闘機の生産は廣汎な工場分散の結果、喪失を償ひ得ると見られる

リスボン六日發

【リスボン六日發】 ロンドン來電に英空軍爆撃隊は五日夜一千餘機の爆撃機をもつてベルリン、ハンヴアー、及びフリーセンハイムから驅逐した並びにランカスターの各編隊が別個にハンヴアーを爆撃する間モスキート爆撃機隊は二回に亘つてベルリンに爆撃を加へた、同夜ドイツ空軍は一切の夜間戰闘機を動員して邀撃に出でハンヴアー上空では數ヶ月來い大空で戰が演じられた

英流星機に悩む

【ストツクホルム三日發】 ロンドン來電に英空軍省はドイツ軍が二日午前七時から三日同時刻に至る二十四時間に亘り南イングランド地方に對する流星彈攻撃を再開した旨三日發表した、なほ十二月中英國で流星彈攻撃を見なかつたのは僅か三日に過ぎなかつたといはれる

ストツクホルム八日發

【ストツクホルム八日發】 英國空軍

省は八日も例により「ドイツ軍V兵器が南イングランド及びロンドン地区に落下、死傷並びに損害を生じた旨」を発表したが、ドイツ通信によればV二號「空襲ぶ電信柱」による本土攻撃はいよいよ熾烈の度を加へつつあり、今同の猛攻撃は既に四日間續いてゐるとのことであるが、従来よりは一層甚大なることが豫想される

南部戦線

カイトル元帥伊戦線へ
【リスボン一日發】パリ來電によれば前ドイツ總統幕僚長カイトル元帥はケツセルリング元帥の後任として一日イタリヤ戦線獨軍總司令官に就任したといはれる
一九五四機を撃墜

【ベルリン四日發】ドイツ軍當局は四日次の様に發表した
ドイツ空軍飛行部隊並に高射砲は一九四四年を通じ、イタリヤ戦線において反樞軸軍飛行機少くとも一千九百五十四機を撃墜した、更に飛行部隊は海上において敵商船十五隻六萬六千五百噸、驅逐艦五隻、上陸用船舶九隻を撃沈、商船九隻四萬九千噸、驅逐艦二隻を不確實撃沈したほか、商船百一隻五十六萬五千噸、巡洋艦四隻、上陸用船舶二十隻に命中彈を與へた

伊戦線の獨軍活撥

【リスボン廿三日發】反樞軸前線報道「イタリヤ戦線は、反樞軸軍のアンチオ上陸一周年に際會して戦況は各地區とも低調を示してゐる、しかしラヴエナナ地區セニオ河東岸におけるドイツ軍の動きは漸次活潑となり、反樞軸軍戦線内部への浸透を企圖、廿三日ドイツ軍部隊は熾烈な砲

撃の後ラヴエナナ西北十五キロのアルフオンシーヌにおいて英第八軍カナダ部隊の前線を深き四キロにわたつて突破した

海上戦線

反樞軸海軍總司令官慘死

【リスボン二日發】パリ來電「西部戦線反樞軸軍司令部は歐洲侵略反樞軸海軍司令官英海軍大將ベルトラム・ラムゼーが反樞軸軍首腦會議に出席のためベルギーに赴く途中フランス上空で事故のため惨死した旨二日發表した、ラムゼーは六十一歳一九四〇年にはダンケルクに追詰められた英佛軍三十五萬の救出に當り、其後北ア、シチリア作戦等を指揮昨年六月の反樞軸軍ノルマンデー上陸には旭大な海上輸送任務を擔當した島上陸戦であつた

米潛艦喪失
【ストックホルム九日發】ロンドン來電「米國海軍省は潜水艦「ストラチジェム」號が哨戒に出動したまま歸還せず、喪失したものと認められる旨一日發表した

獨潜水艦の活躍激化
【ストックホルム九日發】ロンドン來電「チャーチルとルーズヴェルトは九日對獨潜水艦につき次の共同聲明を發表した
昨年十二月における反樞軸商船隊の損失は増大した、ドイツ潜水艦隊の活動は歐洲戦争が未だ終結に近づいてゐないことを示唆してゐるが、更に最近米國メキシコ州海岸にドイツ潜水艦から上陸した牒報關係者が潜入してゐる事實に徴してもドイツ潜水艦の脅威は現實の問題であり、今後もなほこの脅威は續くだらう

【八七頁より續く】
志願者狀況が十八日文部省から發表された、願書は昨年十二月廿四日締切り、去る十一月第一次銓衡を終つたが、最近の郵送狀況に鑑み、願書受附も發信日主観をとると共に第一次銓衡結果學校揭示、本人通知のほか出身校への通達を加へ通知洩れないうやうにした、志願者数は昨年の六萬三千五百四十七名(文科九・七倍、理科九・三倍)に對し本年は三萬二千五百十九名(文科三・八倍、理科四・〇倍)と激減を示した、これは全國各校受験者を第一、二、三期に分け各期一校のみ出願に限定したこと、出身校の進學指導が徹底したこと等が原因に挙げられ、また理科系については本年大幅の定員増加を實施した點も因をなしてゐる

- 文部省辭令
- 【二十五日】
- 東京第一師範學校校長 藤本 萬治
 - 任東京女子高等師範學校校長(一)
 - 大阪第一師範學校校長 兼本 捨治
 - 任京都第一師範學校校長(二)
 - 京都師範學校校長兼京 北川久五郎
 - 都青年師範學校校長
 - 任大阪第一師範學校校長(二)
 - 福島師範學校校長 長阿彌一郎
 - 任京都師範學校校長(二)兼任京都青年師範學校校長(三)
 - 富山師範學校校長兼富 福富 正吉
 - 山青年師範學校校長
 - 任福島師範學校校長(二)
 - 岡山師範學校教授 伊東 法俊
 - 任富山師範學校校長(二)兼富山青年師範學校校長(三)
 - 女子學習院教授 小川 議章
 - 兼任文部省教學官(二)
 - 海軍司政官 中川 英一
 - 任岡山師範學校教授(三)補男子部長



計

- ▲山川秀峰氏(日本畫家) 四十七歳 十二月廿九日
- ▲中村幸之助氏(東京工大初代學長) 七十四歳 十一月十一日
- ▲平井敏太郎氏(帝國學士院會員) 八十一歳 十二月二日
- ▲田村丕顯氏(子爵、岩手縣翼壯團長) 七十一歳 十三日
- ▲野村徳七氏(貴族院議員) 六十八歳 十五日
- ▲仁井田益太郎氏(貴族院議員、法博) 七十八歳 十五日
- ▲西郷吉彌氏(陸軍軍醫少將、元日本赤十字病院院長、醫博) 七十四歳 十八日
- ▲釋法傳大僧正(京都古義真言宗、大本山大覺寺門跡) 七十六歳 廿二日
- ▲柳川平助氏(元法相、陸軍中將) 六十七歳 廿三日
- ▲西原一策氏(陸軍中將、陸軍機甲本部長) 五十三歳 廿三日
- ▲大島徹水師(淨土宗大本山増上寺法主) 七十五歳 廿四日
- ▲野口雨情氏(詩人) 六十六歳 廿七日
- ▲郁芳隨圓師(淨土宗管長、知恩院門跡) 七十九歳 廿七日
- ▲内藤久寛氏(貴族院議員) 八十七歳 廿九日
- ▲橋本進吉氏(文博) 六十四歳 卅日

文化短信

四日 末次信正大將葬儀

- 六日 軍需美術推進隊に感謝狀授與
- 九日 興亞同志會發會式△米英擊破青少年總突擊運動終了
- 十一日 旅行用品小荷物枚制限解除
- 十五日 中國四國九州方面疎開荷物取扱再開△帝國發明協會副總裁に木技術院總裁決定
- 十六日 合板船第一圖南九開航披露
- △航空發射研究所創設
- 十七日 一億總躍起大會(日比谷)
- 十八日 國婦荒鷲の母表彰式
- 廿三日 大樞軸決議年次交禮會
- 廿七日 日婦、海員の母親表彰
- 廿九日 ビハリ・ボース氏葬儀
- 卅日 ナチス政權十二年記念祝賀式(大東亞會館)

國內要事

政治

政府

一億擧つて特攻隊に續け

【二日】小磯首相は決勝の新春を迎へて一日午後七時廿分より大東亞各國との交際放送第一日において左の如き放送を行った

△小磯首相放送要旨

レイトに敵の上陸軍を邀へてから茲に二ヶ月餘戦局の重大なるに鑑みレイトの戦闘を天王山に擬し、臺灣及び比島沖の大捷に引き續き斷乎レイトの敵軍殲滅の必要を叫んだが、敵は今やレイトの外ミンドロ島サンホセにも上陸し來り、更に他の要路をも窺ひつつあり、天王山ニ意義は俄然比島全域に擴大するに至つた、この秋に當り歐洲の盟邦獨逸は過般來果然西方戰場に大攻勢を採り、幾十軒の遠きに亘り敵を撃破して進出し、ために歐洲における政敵兩局は俄然大變轉を來し、醜くも米英の周章狼狽は言語に絶し、局面の彌縫糊塗に大童になつてをり、殊に米國の如きはその本國に保有し居る戦力は勿論時としては太平洋方面に配兵し必要の戦力をも歐洲戰場に轉用するの必要に迫らるるも知れぬ、我々は盟邦獨逸の隱忍と勇斷とに對し滿幅の敬

が出来るのである
強力政治の具現

【四日】小磯首相は四日の初閣議において左の如き重要發言を行ひ、本年をして斷じて戦勝の年たらしめんとする鐵石の所信を披瀝して各關係の協力を求めた

△首相發言内容
本年は斷じて戦勝の年としたい、しかし戦局の様相は極めて深刻である、臺灣沖、比島沖の海戦で曠古の大勝を博したが、わが海軍の損害も決して小さくない、その後陸海共に特攻隊の活躍となり、敵の進出を封殺しつゝあつたが、レイトの戦況は必ずしも可でなく、今やレイトの決戦は比島全域の決戦に移行した形である、特にヨーロッパの戦況から見て敵は歐洲戦線の不利を太平洋において補綴せんとし、焦慮することもなしとは限らない、この際わが方としては統後に特攻精神を復興し、戦力を増強して前線の健闘に應ふべきは勿論、政府としては強力政治の具現、行政運営の決戦化等について一大決意を以て進進したいと考へる、事態に善處すべく、一層の補佐協力を切望する

決戦五大施策決定

強力政治の具現に邁進

【十二日】小磯首相は去る四日の初閣議において特に發言を求めて強力政治の具現、行政運営の決戦化斷行の所信を披瀝し、奇烈なる戦局に即應する行政運営の目標を明確にしたが之に關し綜合計畫局において具體案の検討を重ねて來た結果第一の成案を得たので十二日午後の再開閣議に附議決定、情報局より左の如く發表した

情報局發表(十二日午後五時)

防衛と一般行政との吻合並に施策運営の迅速果敢と浸透實踐を計り、國内總力を擧げて生産及防衛の一體的強化を期するため、地方行政協議會長と軍司令官及び鎮守府司令長官との連携を一層緊密にするの方途を講じ、その體制の中に中央の計畫に基づき差し當り左の重點施策を實行することとなれり

- 一、防空態勢の強化
- 二、軍需増産の徹底強化
- 三、食糧の飛躍的増産と自給態勢の強化
- 四、勤勞態勢の強化と國民皆勤動員
- 五、所在物資等の徹底的戦力化

空襲對策強化要綱決定

【十九日】敵米の本土空襲に對處する防空態勢の整備強化は一月十二日決定せる小磯内閣の五大重要施策中第一にとりあげべきものとして十九日の閣議で大綱を決定、情報局より發表され、今同空襲對策緊急強化要綱は豫算外國庫負擔金廿億圓をもつて迅速に實施するが、この實施案は防空總本部、陸海軍、軍需、運通各省などに連絡の上各項目別に細目を決定直ちに實施に移す、都市疎開はこれまで三回に亘り強化促進要綱が發表され今日非常な進展ぶりを認めてゐるが米機の本土來襲いよいよ烈し人員建物、衣料等をもこの際最も迅速に敵前疎開を實施すると、人員疎開も一段の整備強化を圖るとともに疎開殘留者の生活確保のための合宿設備、下宿等の獎勵などについては生活必需品の分配とか助成金の交付などを行ひ、これまでの「聲ばかり」の勸奨から前進疎開殘留者の便宜供與に國家が積極的に方途を講ずる、衣料その他生活必需品の保全については町會、隣組などで共同の地窖を掘るなどの場合助成金を出し、さらに建物疎開は現在まで三次に亘り〇〇萬戸を疎開したが、なほ不十分なのでさらに〇〇萬戸除却の

計畫によりその完壁を期してゐる

【情報局發表】現下の情勢に鑑み政府は防空敢闘精神を愈々振起せしむると共に去る一月十二日決定せる緊急施策措置の一環として空襲對策の緊急強化を圖る爲十九日閣議において左の要綱を決定した

- 一、人員疎開の強化促進都市その他重要都市における人員疎開は老幼婦孺等に重點を置き更に一層促進すると共に戦時緊要人員の身分を抑制し、疎開受入態勢につき一段の整備強化を圖ると共に疎開殘留者の生活を確保するため職域、地域における合宿の設備、下宿業の獎勵等散格段の方途を講ず
- 二、衣料等の分散疎開、保全措置の強化衣料その他生活必需品の保全措置に關し緣故疎開、公共團體その他各職域、地域における受託保管、倉庫業者等の業務擴張等の勸奨指導を強化し重要都市における隣組共同格納庫の整備を指導助成
- 三、建物疎開の追加實施 帝都その他重要都市における建物疎開は更に追加實施し空地帯、消防道路、水利接近施設、簡易貯水槽、防空壕等の防空施設の造成に資すると共に特に間開疎開に依る空襲對策に遺憾なきを期す

戰時緊要人員の殘留確保 帝都その他重要都市に殘留を要する戦時緊要人員はその範圍を明定しこれが地方轉出防止に關し強力なる措置を講ずると共に職域死守の敢闘精神を昂揚せしむ

堅牢建築物の利用統制 帝都その他重要都市にある堅牢建築物(地下施設を含む)にして一定規模以上のものの利用を統制し戰爭遂行上緊要なる用途に限りこれを使用せしむることとし、然らざる利用者に對しては強力なる、熱然により又は所要に應じ防空法又は國家總動員法

を發動してこれが轉用を圖る

防空消防力の強化

一、消防機關の要員確保 消防機關の完全なる初動態勢の確立を期す

二、消防器材の整備 隣組初期防火を強化する為四大地域等において

一、消防道路及貯水槽の増設 帝都その他重要都市において消防道路

二、横穴式及掩蓋式防空壕の増設 帝都その他重要都市において横穴

一、罹災者避難收容計畫の強化 罹災者の收容に充つる為重要都府縣

二、罹災者に對する保護の強化 戰時災害保護法に依る保護費の限度

三、防空醫療對策の強化 救護所救護病院の防護施設を強化す

四、生活必需物資の備蓄、配給の整

備強化 ①生活必需備蓄物資の分散防護の徹底を促進すると共に

地方團體防空對策費借入金金の元利補給の必要に應じ單に直接國庫補助をな

【廿六日】 二宮文相は舊臘來病氣引籠中のため議會出席も不可能の状況

文部大臣臨時代理被仰付 二宮文相は膽震のため、かねて淀橋區西大

【二十日】 第卅一回國家總動員審議會は二十日午後一時より首相官邸

一、諮問第九十九號、總動員業務指定令中改正に關する勅令案要綱

一、諮問第九十九號、重要林産物の生産確保に關する勅令案要綱

一、諮問第九十九號、重要水産物の生産確保に關する勅令案要綱の四案

件を附議、審議の結果四勅令案要綱を原案通り決定、同三時散會情報局

【十三日】 十三日の内閣顧問會同は午後二時より首相官邸に開催、當面

【十五日】 十四日午後マリアナ諸島より名古屋附近に來襲せるB29の冒

【十九日】 政府は決戦下海上輸送に挺身する船員の職務の國家性を明か

一、船員待遇會は右の實行機關として從來船員擔當班及現所屬船主に委

【十九日】 政府は今回物價政策を強力に實行するため新たに戰時物價審

一、戰時物價審議會(假稱)を内閣に設置し、戰時物價政策の基本及び運

一、身分の確保に伴ひ給與について一、海運士にして引續き三年以上高

等官三等の待遇を受け功績あるもの内より二十五人を限り勅任官の待遇を與へる

一、給料を基準とする海運士(高等官)の官等配當は三百十圓以上三等

一、海運士並に海運士補は運輸通信省の官吏であるが、右が陸海軍の船

一、船員の待遇官任用に伴ひ海運總局並に船運監督會の機構も擴充整

【十九日】 政府は今回物價政策を強力に實行するため新たに戰時物價審

一、戰時物價審議會(假稱)を内閣に設置し、戰時物價政策の基本及び運

一、戰時物價審議會(假稱)を内閣に設置し、戰時物價政策の基本及び運

一、身分の確保に伴ひ給與について一、海運士にして引續き三年以上高

れに當る 二、物價に關する行政機構の調整を加ふ

【廿一日】 小磯首相は去る四月の初閣議に於て行政監督の決戦化につき

【情報局發表】 戰時統制法令の緊急整備に關する件

一、法制局に臨時に戰時統制法令調査委員若干人を置くこと、調査委員

一、法制局に臨時に戰時統制法令調査委員若干人を置くこと、調査委員

一、法制局に臨時に戰時統制法令調査委員若干人を置くこと、調査委員

一、法制局に臨時に戰時統制法令調査委員若干人を置くこと、調査委員

一、法制局に臨時に戰時統制法令調査委員若干人を置くこと、調査委員

官廳事項

▲軍事保護院護管理兩局
新設【十七日】政府は去る十一月軍人援護の劃期的強化に關する閣議決定を行つたが、今般右に伴ひ軍事保護院の機構を擴充することとなり、その人事と共に十七日發表せられた、改組は特

に軍人の遺家族に對する援護強化を中心とし、地方廳、軍人援護團體の指導徹底を期することに重點を置き、新に總裁官房と援護、管理の二局および援護局に扶助、輔導の兩課を設けた

援護局では遺兒の育英、遺家族の職業保護、召集解除者、除隊者の援護一般軍人援護事業に關する指導を、管理局では傷痍軍人の醫療、職業の保護と遺家族たる乳幼兒の保育に關する事項を所管する

▲食糧、松根油増産等に職員増員【廿七日】廿七日附官報を以て官制の一部を改正、即日施行、會計事務整備、食糧綜合管理の強化、諸類の生産増強、松根油等特殊林産物の緊急増産に關する事務のため本省職員を増員し、食糧緊急増産技術の刷新、強化に關する事務に従事せしめるため農事試験場に技術助手を増員するものである

▲科學技術者動員協議會設置【十九日】政府はさきに決定せる科學技術者動員計畫の策案及び實施に關する連絡機關として科學技術者動員協議會を設置することとなり、十九日の閣議に吉田首相相より報告、諒解を求めた、同協議會は軍需省總動員局長を會長、總動員局第一部長を副會長關係各廳の高等官を委員として構成とし、この外各省の局長級を參與者動員計畫の策案及び實施に關する重要事項の調査審議に當らしめ、本

協議會には五部會を設置し左記擔當事項につき調査審議せしめる
第一部會 理科系卒業學徒の配當及び動員
第二部會 中堅技術者の養成
第三部會 技術者の動員再配置
第四部會 高級技術者の活用
第五部會 技術者に對する調査及び登錄

▲防衛課を擴充【二十日】軍需省では生産防空の重要性に鑑み總動員局第二部の防衛課を擴充することとなり、廿日付分課規定を改正、即日實施した、即ち従来の防衛課に二課に分ち、第一課においては工場防衛の情報と計畫を行ひ、第二課は右に基く諸般の實施を行はんとするものである

▲國鐵必勝運管體制確立【九日】運通省では國鐵の總力を劃期的に強靱ならしめ重要輸送の完遂をはかるため現場の運管力を飛躍的に強化することとなり、九日の閣議に國有鐵道必勝運管體制に關する件を附議決定、實施可能な部分より即刻實施することとなつた、本件の主たる狙ひは

一、戰時官吏服務規律を鐵道の實情に照して具體化し鐵道従事員をして嚴格に服せしめて軍隊的な命令遵守をはかると共に管理隊以下の各業務機關を隊組織とし各隊長を中心とする強固なる責任體制を確立する、隊組織は十人位の隊を基底とし逐次高位の隊を編成するが、特に驛關係においては數驛をまとめて一隊としその中の重要驛長に區處權を與へて一旦緩急の際に善處せしめる

一、右の隊組織の裏付けとして志氣昂揚、責任觀念の振起を促すため従事員の身分に應じ担任官待遇官吏、判任官、委任官に任じ、從來の自由主義的雇傭契約を脱却せしめると共に右に任じ得ないものは現員徵用し

國家との連繫を強化する、又隊長はすべて判任官以上とする、又戰時處遇についても遺憾なきを期する

▲地下建設本部を創設【廿五日】今回運通省では世界に誇る隧道技術と多年に亘る經驗を生かし全國數ヶ所に地下建設部隊を組織し國內一般重要施設の地下建設強化に乗り出したこれに伴ひ堀木鐵道總局長官が地下建設本部長に就任、本部長次長稻葉鐵道監以下の中中央地方人事が二十五日發令された

▲昭和二十年年度特別會計豫法案要綱【四日】昭和二十年年度特別會計豫法案要綱△軍需金融等特別法案要綱

▲地方稅法及地方分與稅法中改正法律案要綱△國有鐵道必勝運管體制整備に關する件△輕金屬生産増強緊急措置に關する件△恩給法中改正法律案△日本通運株式會社法中改正法律案△石炭配給統制法中改正法律案△産業設備職員法中改正法律案△現役青年學校職員係給費國庫補助法案△戰時民事特別法中改正法律案△明治三十五年法律第四十九號國勢調査に關する法律案△運輸通信大臣に於て委託に依り隧道通信の地下構築物の建設を爲す等の件

▲昭和二十年年度重工業團疎開に關する措置要領△會社等臨時措置法中改正法律案△臨時資金調整法中改正法律案△外資金融庫法案△地方稅法及地方分與稅法中改正法律案△所得稅法外十六法律中改正法律案△兵役法中改正法律案△陸軍軍法會議法中改正法律案△海軍軍法會議法中改正法律案△農林中央金庫法中改正法律案△船員保險法中改正法律案△鐵道抵當法中改正法律案△地方鐵道及軌道に於ける納付金等に關する法律案

▲特別會計に關する法律案要綱△公債發行に關する法律案要綱△議會提出法律案五件

▲物價對策の強化に關する件

▲戰時統制法令の緊急整關係にする件

▲活材工學研究所官制制定の件△輻射線化學研究所官制制定の件△軍需充足會社令制定の件其他六件

▲臺灣銀行法中改正法律案要綱△昭和二十年年度歲入歳出總豫算追加案(第二號)△昭和二十年年度特別會計豫算追加案(特第二號)△臨時軍事費追加案△豫算外國庫の負擔となるべき契約をなすを要する件(追第二號)△臨時戰時技術指導員及戰時技術員設置制制定の件、其他二件

▲諸類増産對策要綱△臺灣護國勳勞團令制定の件外三件

▲內務省
內務書記官兼內務省監査官
大森 健治

▲防衛省
兼任防空總本部書記官(三)
警防局警備課長を命ず
警保局警備課長兼務を命ず
▲大藏省
專賣局理事(仙臺地方專賣局長)
國府 種文

▲司法省
補專賣局鹽務部長(二)
補東京民事地方裁判所上席部長(二)
東京民事地方裁判所上席部長
安倍 恕

▲東京控訴院部長(二)
飯塚 敏夫
補甲府地方裁判所長(二)

▲陸軍司政長官(マライ最高法院長)
小林 四郎
任判事補橫濱地方裁判所長
▲厚生省
厚生省調査官 宮脇 參三
軍事保護院副總裁 數藤 鐵臣
軍事保護院管理局長(一)
軍事保護院書記官總務課長
青木 秀夫

▲農商省
命總裁官房總務課長
▲十五日
中央食糧營團總裁を命ず 成田 努
依願中央食糧營團總裁を免す 阿部 壽準
▲軍需省
▲十五日
古河電氣工業) 中川 末吉
金屬工業統制會長を命ず

▲防衛省
總動員局第二部防衛第一課長を命ず 鈴木 琢二
能率課長 岡部 邦生
總動員局第二部防衛第二課長を命ず
關東軍需監理部總務部總務課長 長谷川 輝彦
總動員局第三部能率課長を命ず
滿洲國實業部金屬局鐵鋼課長 田中 茂
燃料局石油部配油課長を命ず
燃料局石油部部長 榎本 隆一郎
燃料局石油部配油課長事務取扱を免す
北海軍需監理部財務長 細井 富太郎
會計課長兼鐵鋼局配給課長 鈴木 重郎
鐵鋼局配給課長を免す
▲二十三日
軍需省軍需官 陸軍大佐 森川 時夫

▲甲府地方裁判所長 横田 正俊
補東京民事地方裁判所上席部長(二)
東京民事地方裁判所上席部長
安倍 恕

▲東京控訴院部長(二)
飯塚 敏夫
補甲府地方裁判所長(二)

西部										中部						軍管區			
久留米					熊本					善通寺 (西部)			廣島 (西部)			大阪		師團	聯隊區
長崎	佐賀	福岡	沖繩	鹿兒	宮崎	大分	熊本	高知	松山	徳島	高松	山口	松江	廣島	鳥取	岡山	和歌山	奈良	奈良
長崎縣	佐賀縣	福岡縣	沖繩縣	鹿兒島縣	宮崎縣	大分縣	熊本縣	高知縣	愛媛縣	徳島縣	香川縣	山口縣	島根縣	廣島縣	鳥取縣	岡山縣	兵庫縣	和歌山縣	奈良縣

(註)カッコ内は新設又は移動)
 郷軍有功章授與式

【十一日】帝國在郷軍人會では十一日午前十一時半より小田原の閑院宮御別邸において長くも同會總裁閑院

元帥宮殿下の臺臨を仰ぎ、民間飛行士として敵B29撃墜の戦果をあげた川崎航空機試験飛行士、郷軍岐阜聯合分會第五分會長片岡戴二郎准尉をはじめ郷軍功勞者三百五十名に對する有功章授與式を舉行、片岡准尉に對しては總裁宮殿下特別の思召をもつて關兼行作の日本刀一口を賜つた

主要人事

陸軍

補松山聯隊區司令官 陸軍大佐 高原 孝

▲片岡飛行士少尉に進級【廿七日】民間島人としてB29三機を撃墜破する武勳を樹てたる十九日試験飛行中殉職した川崎航空機試験飛行士片岡戴三郎氏に對し次の進級が發表された

△陸軍省發表(昭和二十年一月二十七日)
 今般左の通發令せられたり
 陸軍准尉 片岡戴三郎
 任陸軍少尉
 海軍 海軍大將 島田繁太郎

依願豫備役被仰付
 【二十日】

感狀行賞

感 狀

▲本土邀撃戦の精華【六日】
 右は昭和十九年六月十五日夜米國第一

廿爆撃飛行團、支那大陸より北九州方面に來襲するや直ちに之を邀撃し爾後二時間餘に亘り連續來襲せる敵の最新鋭大型爆撃機に對し、部隊長の適切な指揮の下各員堅固なる團結を保持し絶大な攻撃精神を發揮して連續交代邀撃し、地上制空部隊と協同して克く優秀なる技能を發揮し巧に敵の弱點を看破して反復肉迫果敢なる攻撃を斷行し敵十機以上を撃墜破せり(下略)

安部戰團飛行部隊附

陸軍准尉 木村 定光
 右は昭和十九年六月十五日夜米國第二十爆撃飛行團、支那大陸より北九州方面に來襲するや、戰團機操縦者として北九州上空に於ける空中戦闘に参加し六月十六日零時五十五分乃至五時十分の間連續三回に亘り挺身出動、照空部隊協力の下沈勇慧敏、瞬時に敵機の弱點を看破して巧に之に乘じ、常に敵機至近の距離に肉迫追跡し果敢なる攻撃を加へ克く敵が不落を誇號せる最新鋭大型爆撃機四機を撃墜破せり(下略)

陸軍軍曹 成清 巖
 右は北千島飛行部隊に屬し至誠純忠只管戦技の練磨に勉め敵機必墜の一念に徹して心中夙に期する所あり、昭和十九年十一月七日敵機の北千島來襲に當り成清軍曹の所屬隊は之が邀撃に任じ幌延海峡に進入せるB29四機を捕捉して果敢猛攻を加ふることに數撃、全彈を射耗するも未だ撃墜するに至らざるや、軍曹は必墜の信念の迸る所決然敵四番機に壯烈なる體當りを敢行し敵機を粉碎して自らも亦占守島東方海中に突入散華せり(下略)

陸軍中尉 笠井 正之
 陸軍軍曹 安藤 一美
 陸軍伍長 忍 義雄
 陸軍兵長 山路淳一郎
 陸軍兵長 野田雅一郎
 陸軍上等兵 大橋 正男
 陸軍上等兵 中島 重二
 陸軍一等兵 加地 信夫

陸軍中尉 笠井 正之
 陸軍軍曹 安藤 一美
 陸軍伍長 忍 義雄
 陸軍兵長 山路淳一郎
 陸軍兵長 野田雅一郎
 陸軍上等兵 大橋 正男
 陸軍上等兵 中島 重二
 陸軍一等兵 加地 信夫

右者昭和十九年十一月二十四日マリアナ方面よりする米空軍の帝都來襲に際しB29型七機編隊を東京上空高々度にて發見するや約百軒に亘り之を急追し、鈍子東南約三十軒附近に於て之に追及敢然敵編隊の中央附近に突進して必殺の體當り攻撃を決定し、須臾にして其の一機を撃墜すると共に他を潰亂に陥らしめ自ら亦壯烈なる戦死を遂ぐ、見田伍長は夙に皇都守護の大任に感激し率先體當り特別攻撃隊を熱望して之に選ばれ神機到來するや勇躍出動熾烈なる敵火網を意とすることなく執拗果敢飽く迄之を急追して遂に克く其の大任を完遂せり(下略)

軍陸軍曹 澤本 政

右者昭和十九年十二月三日マリアナ基地よりする米空軍の帝都來襲に際し、立川上空高々度にて於てB29型七機編隊を發見するや直ちに急進し印旛沼東方上空に於て之を捕捉し、敵編隊の右外側機に對し熾烈なる防禦砲火を冒して敢然體當りを敢行し、敵機を粉碎して自ら亦壯烈なる戦死を遂ぐ、澤本軍曹は特別攻撃隊震天制空隊編成せらるるや熱望して之に選ばれ、神機到來と共に率先必死必墜の體當りを敢行して克く其の大任を完遂せり(下略)

陸軍中尉 笠井 正之
 陸軍軍曹 安藤 一美
 陸軍伍長 忍 義雄
 陸軍兵長 山路淳一郎
 陸軍兵長 野田雅一郎
 陸軍上等兵 大橋 正男
 陸軍上等兵 中島 重二
 陸軍一等兵 加地 信夫

陸軍中尉 笠井 正之
 陸軍軍曹 安藤 一美
 陸軍伍長 忍 義雄
 陸軍兵長 山路淳一郎
 陸軍兵長 野田雅一郎
 陸軍上等兵 大橋 正男
 陸軍上等兵 中島 重二
 陸軍一等兵 加地 信夫

陸軍一等兵 保母 弘三
 右は陸軍中尉笠井正之の指揮の下レイ島作戦に於てハロ西方に現出しオラムック平地等に對し猛威を逞うする敵長射程砲撃滅の任を受け、昭和十九年十一月八日敵機内に潜入するや、際顯出沒十有餘日此の間隊員の大部死傷するも克く敵長射程砲撃の奇襲に成功し、砲二門同牽引車八輛を破壊せる外附屬燃彈庫二箇を炎上せしめたのみならず、更に敵陣内諸所を挑亂して或は迫撃砲一門砲兵牽引車一輛を破壊し或は三十餘名の敵を恐怖混亂に陥らしめ完全に其の任務を達成せり(下略)

川島 部隊

右は陸軍少佐川島威伸の指揮の下九月十五日の敵軍モロタイ島の第一次の上陸を決定するや、寡少の兵力を以て一箇月半に亘り積果敢百機を冒し神出鬼没、端倪すべからざる行動をなす等眞に遊撃戦法の眞髓を發揮し、敵陣地の外其の司令部及幕舎八十四箇所に深く進撃し敵兵を殺傷すること我兵力の數倍、就中其の高級將校以下幹部の比率多大にして敵の心膽を寒からしむると共に、我が後續部隊の上陸を容易ならしめ以て益々戦果を擴大しつあり、宜なる哉敵の上陸せる兵力は約一師團に及びたりと雖も、飛行場設定及航空基地としての活動を拘束せらるること多大にして、比島侵攻を急ぐの餘り敵をしてモロタイ島を基地化するの遑なく、中繼基地たるの儘一舉にレイテ島に跳躍の止むなきに至らぬ比島決戦に寄與する所少からざるものあり(下略)

▲臺灣沖散華の四隊長【九日】

陸軍少佐 宮嶋 満
陸軍大尉 富永 義夫
同 吉川 武雄
同 瀬戸 軫次

右者昭和十九年十月十四日攻撃隊の各隊長として遠く折柄の悪天候を克服し臺灣東方洋上に進攻し、十八時二十九分敵機動部隊の有力なる一隊を捕獲するや、攻撃隊長宮嶋少佐の突撃の命令一々隊長率先陣頭に立ち南、北、西の三方面より夾撃突進し、熾烈なる對空砲火を冒して必中必殺の魚雷を發射すると共に吉川、瀬戸兩大尉は相次ぐ壯烈なる體當りを敢行し、以て戰艦二、大(小)型空母一(二)、大(小)型巡洋艦(二)計八隻を撃沈破し敵機動部隊に殲滅的打撃を與へ全員壯烈なる戦死を遂げたり(下略)

▲臺灣沖雷撃隊【九日】
陸軍大尉 齊藤 政
陸軍中尉 渡邊 時男
陸軍曹長 山崎 信一
陸軍軍曹 玉木 三男
同 山岸 豊美

右者昭和十九年十月十四日臺灣沖に奮動せる敵機動部隊に對し薄暮攻撃に参加し突撃の命下るや、熾烈なる對空砲火を巧妙なる機動を以て回避しつつ敵輪型陣内に突進し克く戰艦を捕獲肉薄し的確必殺の雷撃に依り之を瞬時に沈没せしめ而も悠々基地に生還せり(下略)

▲森澤陸軍軍曹【九日】
陸軍軍曹 森澤 満
右の者昭和十九年十月十五日比島東方海面敵機動部隊攻撃に方り、陸海軍航空部隊協同進攻するや新鋭戰艦を驅つて勇躍出動途中、落下タンクに故障發生するや之を投棄し毫も意に介せず長驅進攻、敵機の跳梁を制し克く上層掩護の任務を完遂せり

次で主力歸還の途に就くも軍曹は翼を振りつつ從容として敵母艦に體當り攻撃を取行し之を撃破炎上せしめたり(下略)

▲比島制空の三荒鷲【十一日】
陸軍少佐 坂口 唯雄
右の者は十月十一日比島に到着以來連日不休或は敵機の撃滅に或は艦船攻撃に或は我船團掩護の任に服し、常に率先陣頭に立ち奮進敢闘、時として戦果確認の爲己れ一機のみ危険なる戰場に止る等眞摯勇敢奮すべきものあり、十一月二日敵機約二〇〇機タクロバン地區に集中せるに對し第一次攻撃下令せられしが、更に第二次攻撃の必要を具申し之を採用せらるるや夜半自ら長として出動可能機僅かに三機を率ひ、熾烈なる對空砲火を濶りて在地敵機群爆碎の爲低空攻撃を敢行して偉功を樹て遂にタクロバン飛行場上空に於て戦死す(下略)

陸軍大尉 澤山 義隆
右は旺盛なる士氣と練熟せる戦技とを以て絶對必勝の信念を持すること堅く十月中旬以來比島基地に在りて激撃、制空、船團掩護等各種の任務に連日不斷縱横の活躍を遂げ撃墜機數頗る多し、特に十一月九日〇〇兵團の船舶掩護に方りては進路は猛烈なる驟雨なりしも敢然之を冒して單機にして一時間有餘に亘る敵戰艦機の防害を排除しつつ船團上空を制空し、且泊地に進入せる輸送船及護衛艦艇の狀況を仔細に觀察して報告せり(下略)

陸軍軍曹 野口 義憲
右の者は資性純眞責任を重んじ眞摯積極欣んで難に赴き戦技亦甚だ優秀なり、所屬部隊今次比島に派遣せらるるや、先づ馬尼刺附近の船團掩護の任の爲十月十五日及同十八日の兩日に亘り來襲する敵機戦艦三機を撃墜同一機を撃破し、次でレイテ方面に轉戦し十月二十日以來功を累ねありしが、同二十五日レイテ灣敵艦船攻撃に出動敵大型輸送船に命中彈を與へたる後、更に敢然他の大型輸送船に體當り攻撃を敢行せること概ね確實と認められ其の武功拔群なり(下略)

▲河南作戰の小川小隊及兩勇士【十三日】
鎮目部隊小川小隊
右は昭和十九年四月三十日許昌攻撃に於て小隊長以下全員裸體となり、猛烈なる敵火を冒し水壕を泳渡許昌城壁に突撃、許昌城攻略の動機を作爲せり

陸軍軍曹 宮垣悅次郎
右者昭和十九年四月十四日より十九日の間所屬部隊の霸王城の堅陣突破に當り、前後五回下士官斥候として部隊の攻撃準備に至大の貢獻を爲し六度選ばれて決死隊長となり、戰陣に突入沈着剛斷機敏熱心なる行動は克く敵の退却を看破して之に乗じ部隊主力の追撃發起を容易ならしめたるのみならず兵團の追撃開始の一動機を作爲せり

▲緬甸作戰の兩部隊一兵長【十三日】
原 部 隊
右は原大佐の周到的確なる指揮の下各級指揮官特に高橋少佐の勇敢なる陣頭指揮により、昭和十九年十一月中旬以來我に十數倍し精強を内外に誇れる敵の新一軍主力と優勢なる航空隊との空地よりの猛攻下、印支連絡の要衝たるバモを確保し鎭兵克一箇月の長期に亘り善戰敢闘敵に多大の損害を與へ、毅然として軍敵をバモ周邊に抑留破摧して完全般の作戰を有利ならしめたり、更に十二月上旬轉進を命ぜらるるや敵の重圍を突破し所在の敵を撃破して軍主力と合一せり

山崎 部隊
右は山崎大佐指揮の下十二月上旬ナシカンバモ道に沿ふ地區より敵を攻撃し、十二月五日よりナミニノ邊に於て敵第三十師団の主力を急襲し其の間隙を深く突破携入して退路を遮斷すると共に、頑強なる抵抗を排除して晝夜激闘遂に敵の主力を戦陣に撃滅し、次いで南ワラバム方面に於て優勢なる敵を撃破し、バモ陣地を力攻中なりし敵第三十八師の有力なる一部をも部隊正面に牽制し、以て原部隊の突破轉進を容易ならしめたり

陸軍軍曹 水越 武
右者昭和十九年五月一日杏山附近の戰闘に於て分隊長として三度、寡兵克く機を見て獨斷衆敵の中に突入し山砲二を鹵獲せる外、多大の戦果を収め敵の心膽を寒からしめ大いに我威武を發揚せり

陸軍軍曹 清野伊勢吉
右者原部隊に屬しバモに於て擲彈筒手として負傷にも屈せず、分隊長代理として猛火の下適切な射撃に依り優勢なる敵を陣地に破摧し至大の損害を與へたり、次いで十二月十四日夜部隊が敵の重圍を突破、轉進に方り敵の砲迫機關銃火の集中射撃を冒して猛進し破甲爆雷を以て忽ち敵の掩蓋砲陣地に突入し之を破壊、

前方機關銃陣地に突進敵の手榴彈破片に依り前額部に受傷せるも屈することなく、十五日六時朗々なる聲を以て「天皇陛下萬歲」を奉唱しつゝ破甲爆雷抱きて突入し身を以て敵陣地を粉碎部隊主力の至難なる突破を容易ならしめたり

▲南太平洋及緬甸作戰の荒鷲【十四日】
野本爆撃飛行隊
右は陸軍少佐野本重男統率の下に昭和十九年十一月初旬よりモロタイ及西部ニューギニア方面の敵基地航空戦力の破摧に任じ、常に克く優勢なる敵を制壓し、特に十一月六日未明モロタイを奇襲して偉大なる戦果を収め、以て比島方面の作戰全局に大なる寄與を爲せり

市川偵察飛行隊
右は陸軍少佐市川藏統率の下北部濠洲及西部ニューギニアの搜索に歴戦偉功を樹て、特に敵がモロタイ及レイテ島に上陸するや、敵機の跳梁下克く敵航空兵力及敵艦船の狀況を明かならしめ、全局の作戰指導に大なる寄與を爲せり

田副飛行部隊
右は陸軍中將田副登の俊敏卓抜なる統帥下の各級指揮官常に陣頭指揮に撤し、上下齊しく必勝の信念を堅持し烈々たる氣魄を以て寡兵克く優勢なる敵空軍に對し各種至難なる任務を遂行し、以て緬甸方面の作戰遂行の爲至大なる貢獻を爲せり

メイクテイヤ飛行場勤務部隊
右は中緬の要衝メイクテイヤ飛行場勤務部隊として敵機の跳梁下積極奮撃、克く飛行部隊に協力すると共に來襲敵機を激撃しその六十二機を撃破せり、特に十二月十日來襲のP47三十三機中十五機を屠るの偉功を奏

メイクテイヤ飛行場勤務部隊
右は中緬の要衝メイクテイヤ飛行場勤務部隊として敵機の跳梁下積極奮撃、克く飛行部隊に協力すると共に來襲敵機を激撃しその六十二機を撃破せり、特に十二月十日來襲のP47三十三機中十五機を屠るの偉功を奏

兵の増援を求めず全將兵強弱として敢闘し長期に亘り我に約二十倍する敵を抑留其の半數を撃滅して軍全般の作戰指導を有利ならしめたり

田中 部隊

右は陸軍中將田中新一の指揮の下昭和十八年十月中、下旬有力なる一部を以て軍の怒江作戰に参加し兩方面の兵團に協力怒西地區の敵殲滅に寄與し又常に一部を以てサンフラハム附近を占有してフネート(ヘルツ方面)の敵策動を阻止せり、十一月初頭フレドタガフランカ方面の在印重慶軍の主力北部フロン地方に迫襲するや之をフロンの大密林地帯に邀撃し優勢にして裝備優良且つ空中補給に依る敵を隨所に撃破し悪路と補給難とを克服して敢闘半歳に及び克く敵をカマイン地區に阻止して軍の主要戰遂行上換骨顧慮の要なきを得しめたり

陸軍中尉 中川 英男
陸軍少尉 長谷川 豊
右者マリアナ方面航空基地偵察に任ずるや周到綿密なる準備の下不屈不撓能く器材の性能を最高度に發揚し萬障を克服して單機克く廣大なる洋上を翔破し昭和十九年十一月二日サイパン及テニヤン島に於ける敵情を明にし、次いで十一月十八日バガン島の偵察任務を完遂し以て我マリアナ方面航空作戰の基礎を成せるのみならず爾後の作戰指導に大なる貢獻を致せり、十一月廿四日三度マリアナ方面に出動しサイパン島上空に於いて偵察任務執行中敵機の攻撃を受け遂に壯烈なる戦死を遂げたり

▲海防艦【廿七日】
第〇〇海軍航空隊
右は海上護衛司令部開隊以來海上

護衛線司令部直衛航空隊として海上交通保護並に對潛作戰に従事するや廣大なる海域に亘りて作戰し困難なる状況の下克く任務遂行に邁進し難く戦法を練り奮戰敢闘今日に至り、其の間獨力又は他部隊と協同し撃沈せる敵潜水艦十六隻撃破確實と認めらるもの四隻以上に及びたるは帝國海上護衛作戰に寄與せること甚大にして武勳拔群なりと認む

第〇〇海防艦
右は就役以來廣汎なる海域に亘り炎熱風雲を冒し敵潜水艦の跳梁する海面を突破し海上交通確保の重要作戰に従事し常に勇戰奮闘任務の遂行に邁進し其の間克く敵潜水艦四隻を撃沈せり(下略)

第〇〇海防艦
右は就役以來廣汎なる海域に亘り炎熱風雲を冒し敵潜水艦及飛行機の跳梁海上交通確保の重要任務に従事し常に勇戰奮闘任務を全し其の間單機克く敵潜水艦四隻を撃沈せるは帝國海上護衛作戰に寄與すること甚大にして武勳拔群なりと認む

佐藤挺身斬込隊
同配屬奈良岡挺進破壊隊
石山火焔發射隊
右は陸軍中尉佐藤一指揮の下に斬込隊となりアラカン附近の敵上陸根據地潰滅の任務を受けるや一月十六日夜勇躍同地に急進潛行して之を急襲し先づ敵機甲軍に斬込を實行して敵中戰車八、自走砲四六、側車八を爆碎し次で同地附近にありし甚大なる兵器彈藥集積所を爆破炎上してアラカン附近敵根據地の大半を覆滅せり(下略)

▲朴村上等兵【二十八日】
陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

△朴村上等兵略歴 感狀上開の榮に輝く本島出身の勇士朴村官彬陸軍上等兵は朝鮮平安北道渭原郡鳳山面古堡洞八四の出身、郷里の東揚國國民學校初等科を卒へると直ぐ平壤第一陸軍志願兵訓練所に入り、昭和十七年十二月同訓練所を終了、翌年十二月入營し前線で活躍中であつた

△北セレンベス對空地上部隊【五日】
特設〇〇某隊
右は昭和十九年八月以來北セレンベス要衝の防空に任じ物量を持む傲慢なる敵機來襲に對し常に先制必中彈を浴せこれを抑制長縮せしめ、九月初旬より十一月にわたる間、兩隊各七十數機撃墜の戦果を収めたり(下略)

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

陸軍上等兵 朴村 官彬
右はパーモ作戰に従ふや小銃手として陣地守備の任に當り約一箇月に亘る空地守りする敵の猛攻下進んに至るに任務に服し屢々武功を擡てたり特に十二月十四日夜所屬部隊主力が敵重圍を突破轉進に方り上等兵は板井分隊に屬しイラワジ河左岸の堤防上に在りて部隊主力進路上に猛威を振へや猛火を冒しつ分隊の最先頭に立ち陣地を肉迫中敵陣に依り重傷を受けたるも更に屈することなく破甲爆雷を抱き敢然突入し敵陣を爆碎し敵兵數名を刺殺して主力の突撃を容易ならしめたり、其の傷深くして再び立つ能はざりや、天皇陛下の萬歳を奉唱しつ、壯烈なる戦死を遂げたり、上等兵は入隊以來内地出身の模範たりしのみならず其の戰場に於ける勇猛果敢の行動と至誠盡忠の精神とは眞に軍人の龜鑑と謂ふべく其の武功拔群なり

▲海軍關係第二十五回ノ二【九日】
今回行賞の恩命を拜したものは大東亞戰爭勃發以來各方面の作戰に勇戰戦致せる勇士の一部で、潜水艦乗組として開戦以來ハウランド、ウエーキ方面作戰に或は印度洋、アフリカ西方方面通商破壊戰に従事して大戦果を収め、引續き潜水艦長として南洋群島方面に行動して赫々たる偉功を擡てた館上陸太中佐をはじめ、哨戒、敷設、驅潛、捕獲網の各艇に坐乘して諸作戰に勇戦力闘遂に散華した十六勇士は特に殊勳甲として優賞の恩命に浴した

▲有馬正文海軍中將に特旨功一【十日】
昭和十九年十月十五日比島東方海面に於て敵機動部隊を猛攻し體當りて以て敵艦を轟沈せる海軍少將有馬正文に對し今回左の通特別進級を發令せられ又長も特旨を以て論功行賞の御沙汰を拜した、有馬中將は去る十七年八月〇〇艦長として第二次ソロモン海戰に偉功を擡て同年十月南太平洋海戰の際に〇〇艦長として奮戰大戦果を収め、其後昨年春〇〇航空戰隊司令官に補せられ、ペリリ島および比島方面において敵の來襲に備へてゐたが、十月十五日臺灣沖航空戰に自ら體當り攻撃を敢行壯烈なる戦死を遂げたのである

▲陸軍關係第廿六回【三十一日】
今回恩賞に浴した將兵は大陸及太平洋各地區において皇軍の威武を發揚し護國の人柱となつた勇士で、このうち殊勳甲の御恩賞を拜したものは大宮、テニヤン方面の陸軍部隊指揮官小畑英良中將以下百九名で、昨年五月ビアク島で四機四艦を屠つた高田戰團機隊の七勇士戰團飛行隊の華南郷茂勇少佐らの感狀に輝く勇士も含まれてゐる、また軍屬殊勳者として

▲第一神風特攻隊員卅六勇士【十六日】
昭和十九年十月二十一日より十一月五日に至る間第一神風特別攻撃隊員として比島方面に於て敵機動部隊を攻撃し必死必中の體當り攻撃を以て偉功を奏し悠久の大義に殉じたる海軍少佐久納好學以下三十六名に對し今回特旨を以て夫々論功行賞の御沙汰を拜した

▲石腸飛行隊高石大尉以下十五勇士【二十三日】
昭和十九年十二月五日レイテ灣附近の敵艦隊に體當り攻撃を敢行感狀を授與された特別攻撃隊石腸飛行隊陸軍大尉高石邦雄以下七名、一字飛行隊陸軍少尉天野三郎以下三名、鐵心飛行隊陸軍中尉松井浩以下三名及萬榮飛行隊陸軍曹石渡俊行以下二名に對し論功行賞の御沙汰を拜した

▲護國及勳皇飛行隊十七勇士【廿四日】
特別攻撃隊護國及勳皇飛行隊十七勇士に對し此度、長も特旨を以て夫々論功行賞の御沙汰あらせられた旨二十四日賞勳局及陸軍省から發表された

▲陸軍關係第廿六回【三十一日】
今回恩賞に浴した將兵は大陸及太平洋各地區において皇軍の威武を發揚し護國の人柱となつた勇士で、このうち殊勳甲の御恩賞を拜したものは大宮、テニヤン方面の陸軍部隊指揮官小畑英良中將以下百九名で、昨年五月ビアク島で四機四艦を屠つた高田戰團機隊の七勇士戰團飛行隊の華南郷茂勇少佐らの感狀に輝く勇士も含まれてゐる、また軍屬殊勳者として

▲第一神風特攻隊員卅六勇士【十六日】
昭和十九年十月二十一日より十一月五日に至る間第一神風特別攻撃隊員として比島方面に於て敵機動部隊を攻撃し必死必中の體當り攻撃を以て偉功を奏し悠久の大義に殉じたる海軍少佐久納好學以下三十六名に對し今回特旨を以て夫々論功行賞の御沙汰を拜した

▲石腸飛行隊高石大尉以下十五勇士【二十三日】
昭和十九年十二月五日レイテ灣附近の敵艦隊に體當り攻撃を敢行感狀を授與された特別攻撃隊石腸飛行隊陸軍大尉高石邦雄以下七名、一字飛行隊陸軍少尉天野三郎以下三名、鐵心飛行隊陸軍中尉松井浩以下三名及萬榮飛行隊陸軍曹石渡俊行以下二名に對し論功行賞の御沙汰を拜した

▲護國及勳皇飛行隊十七勇士【廿四日】
特別攻撃隊護國及勳皇飛行隊十七勇士に對し此度、長も特旨を以て夫々論功行賞の御沙汰あらせられた旨二十四日賞勳局及陸軍省から發表された

▲陸軍關係第廿六回【三十一日】
今回恩賞に浴した將兵は大陸及太平洋各地區において皇軍の威武を發揚し護國の人柱となつた勇士で、このうち殊勳甲の御恩賞を拜したものは大宮、テニヤン方面の陸軍部隊指揮官小畑英良中將以下百九名で、昨年五月ビアク島で四機四艦を屠つた高田戰團機隊の七勇士戰團飛行隊の華南郷茂勇少佐らの感狀に輝く勇士も含まれてゐる、また軍屬殊勳者として

▲第一神風特攻隊員卅六勇士【十六日】
昭和十九年十月二十一日より十一月五日に至る間第一神風特別攻撃隊員として比島方面に於て敵機動部隊を攻撃し必死必中の體當り攻撃を以て偉功を奏し悠久の大義に殉じたる海軍少佐久納好學以下三十六名に對し今回特旨を以て夫々論功行賞の御沙汰を拜した

▲石腸飛行隊高石大尉以下十五勇士【二十三日】
昭和十九年十二月五日レイテ灣附近の敵艦隊に體當り攻撃を敢行感狀を授與された特別攻撃隊石腸飛行隊陸軍大尉高石邦雄以下七名、一字飛行隊陸軍少尉天野三郎以下三名、鐵心飛行隊陸軍中尉松井浩以下三名及萬榮飛行隊陸軍曹石渡俊行以下二名に對し論功行賞の御沙汰を拜した

▲護國及勳皇飛行隊十七勇士【廿四日】
特別攻撃隊護國及勳皇飛行隊十七勇士に對し此度、長も特旨を以て夫々論功行賞の御沙汰あらせられた旨二十四日賞勳局及陸軍省から發表された

右は海上護衛司令部開隊以來海上

▲朴村上等兵【二十八日】

右は昭和十九年八月以來北セレンベス要衝の防空に任じ物量を持む傲慢なる敵機來襲に對し常に先制必中彈を浴せこれを抑制長縮せしめ、九月初

功一旭二

義勇隊員山田正夫氏とともに勳勞奉

☆ 賞 詞

特設〇〇某隊
飛行場〇〇隊
任海軍中將 有馬 正文
海軍少將 有馬 正文
海軍中將 有馬 正文
勳三等功四級 有馬 正文

仕中名譽の殉職を遂げた學徒田口保司君がその功績將兵に比すべきものとして初の長き御恩賞に浴した

二階級特進

▲澤本政美軍曹【六日】舊臘三日敵B29の帝都來襲に際し體當りを以て敵機を粉碎散華せる澤本軍曹は左の如く陸軍少尉に特任すると共に恩賞授賜の旨六日陸軍省及び賞勳局から發表された

陸軍軍曹 澤本 政美

任陸軍少尉 特旨授賜

陸軍少尉 澤本 政美

彼功四級授金鷄勳章 敘勳六等授單光旭日章

▲神風隊勇士【十七日】

任海軍大尉(海軍少尉)國原千里(同)植村眞久

任海軍中尉(海軍飛行兵曹長)大西春雄

任海軍少尉(海軍上等飛行兵曹)佐藤馨(同)新井康平(同)淺尾弘

(海軍一等飛行兵曹)大坪一男(同)上野敏一(同)宮原田賢(同)瀧澤光雄(同)中澤清久(同)野並哲(海軍一等飛行兵曹)藤本壽(海軍二等飛行兵曹)五十嵐春雄(同)須内則男

任海軍飛行兵曹長(海軍一等飛行兵曹)移川晋一(同)大山善雄(海軍飛行兵長)吉盛政利(同)荒木外義

任海軍上等飛行兵曹(海軍三等飛行兵曹)日村助一

任海軍一等飛行兵曹(海軍飛行兵長)管川操

▲石腸鐵心、一字、萬榮隊勇士【二十三日】

任陸軍中佐(陸軍大尉)高石邦雄

任陸軍少佐(陸軍中尉)松井浩

任陸軍大尉(陸軍少尉)大井隆夫(同)片岡正光(同)下柳田弘(同)山浦豊(同)市原哲雄(同)増田憲一(同)天野三郎(同)愛敬理(同)大谷秋夫(同)西山敬次

任陸軍少尉(陸軍軍曹)石渡俊行(陸軍伍長)長濱清(同)佐々木友次

▲護國勳章十七勇士【二十四日】

任陸軍少佐(陸軍中尉)山本卓美(同)遠藤藤

任陸軍大尉(陸軍少尉)二瓶秀典(同)東直次郎(同)西村正英(同)宮田淳作(同)牧野勝吉(同)三上正久(同)瀨川正俊

任陸軍少尉(陸軍軍曹)勝又滿(陸軍伍長)白岩二郎(同)片野茂(同)入江直澄(同)増田良次(同)大村秀一(同)黒石川茂(同)林長守

▲入佐中佐以下十九海鷲【一日】

任海軍少將(海軍中佐)入佐俊家

任海軍大佐(海軍少佐)市原辰雄(同)石原薫

任海軍中佐(海軍大尉)宮野善治郎(同)植山利正(同)中間榮博

任海軍少佐(海軍中尉)大庭良夫(同)坂本幹彦

任海軍大尉(海軍少尉)濱田金稔

任海軍中尉(海軍飛行兵曹長)伊東三夫

任海軍少尉(海軍上等飛行兵曹)山元利郎(同)田端節(同)永岡惣一郎(同)小松幸男(同)國次萬吉

任海軍飛行兵曹長(海軍一等飛行兵

曹)西原勉(同)清水五郎(同)松尾哲夫(同)富田隆治

貴衆兩院

議會提案事前審査

【十五日】貴族院調査會の政府提出議案等に對する事前審査は十五日午前十時より院内に開かれた第二部會を皮切りに開始され司法部に引續き文部省所管事項に關する各責任者の説明を聴取し質疑應答を行ひ第一日を終つたが、十六日は大藏、内閣、外務、十七日は内務、厚生、十八日は農商、軍需、十九日は陸海軍、運通、二十日は明年度一般並に各特別會計豫算案の順序に豫備審査を續行する

前議會の公約事項の處置報告

【三十一日】貴族院の各派連絡委員會は政府が前議會の本會議又は各種委員會を通じて公約せる諸事項の善後處置に關し、これを次期議會に際し報告すべきことを慣例とし、且申し合せ、小林書記官長よりこの旨政府に傳達したが、政府は一日の豫算委員會の席上これが報告を行ふ豫定である

衆議院

【十九日】衆議院では來る廿一日再開の第八十六議會に備へて十八日午後一時半より院内に於て調査會大藏部會を開催、大藏省より小笠原政次官以下各關係局長の出席を求め昭和二十年一度一般會計豫算案につき説明を聴取種々質疑を行ひ四時過ぎ散會、十九

日は午前十時より午後に亘つて内閣及び各省部會を開き各當局者より政府提出諸法案につき説明を聴取、質疑檢討を遂げ事前審査を完了した

有志議員特攻隊結成

【二十二日】衆議院の有志議員、江口繁、眞崎勝次、大倉三郎、森谷新一、濱田尙友、木村寅太郎、田中藤作、木下郁、坂本勝、原口純允、正木清、齋藤正身、本領信治郎、白川久雄、竹内俊吉、田中伊三次、宗前清、角猪之助、酒井和雄、山口馬城次の諸氏は緊迫せる時局に鑑み今次議會における議員の使命及び職責は極めて重大なりとし「この際議員は前線の特攻精神を體して強力必勝の革新政治を具現すべし」と、議員特攻隊(皇維新隊)の結成を決定、二十二日趣意書並に綱領を發表、實現に邁進することとなつた

翼贊政治會

新黨結成に邁進

【十七日】翼贊會では皇國非常の時局に即應する強力なる必勝國內體制の確立を急務とし、これに處する進路を明確にするため、十七日午前十時から本部に必勝國內體制確立特別委員會を開催、勝田委員長以下各委員をはじめ金光、山崎、大麻の三相談役、各幹部、高石、伍堂、下村、湯澤氏ら貴族院、各界の會員も出席新たに大東亞戰爭完遂を指標とする強力なる學國的政社を創設すべしとする指標と、その實現の方法、

必勝國內體制確立に關する件

皇國非常の秋強靱なる必勝國內體制を確立し國の總力を擧げて聖戰完遂の一點に凝集し庶政を迅速果敢に推進するの要今日より急なるはなし、仍て速に左の英斷を行ふべし、眞に憂國の至誠により從來の行應りを一掃し機構を新にし普く同志を糾合し大東亞戰爭完遂を指標とする學國的政社を結成し以て緊迫せる時局に即應する強力果敢なる政治を斷行すべし

常任總務會強力新黨創設を承認

【十九日】翼贊會では十九日午後三時より本部に於て常任總務會を開催去る十七日の必勝國內體制確立特別委員會に於て決定の上十八日の政務

調査會役員會に於て承認せる答申案を承認することに意見の一致を見た次で新黨創設を具體化する方途につき活潑なる論議を遂げたが、結局八條隆正子の

今回のことは皇國危急の際、是非實行しなければならぬから各自誠意を以て速かなる實現に邁進することとしたい

との動議並に政調の原案賛成の意見に贊同これを常任總務會の總意とすることに決定して同五時半散會した新黨態度決定【二十日】翼政會では二十日午前十時から本部に於て臨時總務會を開催、松村政調會長より過般の政調特別委員會並に同役員會に於て決定した答申案につき説明、これに對し水野、千石、青木、加藤、松田、肥田の諸氏より意見の開陳あり、結局政調原案を承認、これを強力に推進、實現を期することを申合せ、最後に小林總裁より國內體制問題について所信を闡明、午後零時半散會した、なほ同日午後二時よりの代議士會にも右頗末を報告されたが以上を以て翼政の會内手續を完了した小林總裁首相と會見【廿八日】翼政會では國內必勝體制問題に關し勝田永吉氏を起用し豫算總會の終結以前に政府の具體的所信を問ふこととし兩三日來首腦部と政府と折衝を行つて來たが、廿八日は金光相談役等交渉委員の折衝の他に小林總裁も午後三時小磯首相と會見懇談した

【廿九日】翼政會は強力新黨の結成

を決定、今期議會に臨み、さる廿一日、金光庸夫氏を起たしめ政府の所信を問はしめたが、更に豫算總會の終結に先立ち、勝田永吉氏を起用して本問題に關し具體的且つ明確なる政府の所信とこれが實現に對する決意を鮮明せしめることとし、兩三日來政府側と交渉を續けて來た、而して數次の折衝の結果、翼政會の主張並に態度に對する政府側の態度も分明するに至つたので翼政會では廿九日午後四時から政府の回答態度に對する會の動向を決すべく議會役員會を開催、政府との交渉に當つた金光會長並に三好衆議院部長から政府との折衝の經過並に現在までの結果につき報告した、これによれば翼政會側の申入れに對し政府は左の如き態度を明かにした

△政府の言明態度

一、翼政會が現在企圖してゐる政治力結集のためには強力なる政黨を結成する必要があるといふことに對しては全然反感である
二、政治團體の性質は官製を排し國民から盛り上げるものが必要であることとを認識して政府は新黨結成に協力する
三、政府の責任で措置すべきことは最善の考慮を拂ふ
而して「第三」の「最善の考慮を拂ふ」とは如何なることを意味するかこの再交渉において左の如く政府より重ねて態度が闡明された

一、翼政會は使命及び活動分野を明確にし、行政各部の施策を徹底せし

める補助機關としてこれに必要な措置を講ずる
二、翼政は地方本位の實踐挺身隊としてこれに必要な措置を講ずる
三、名稱などについては考慮するつもりである
右に對し種々意見の開陳あり、金光會長より答辯が行はれた、即ち

元來翼政會が新黨結成を決議した趣旨は翼政、翼贊、翼壯の三者を主眼として一元的のものをつくるのが主眼であつた、政府と交渉の結果ではこれが達成されてゐない、座長はどう思ふか
金光座長 自分も不満足に思ふ、しかし次善策として政府と話し合ひをすめて來たが、諸君の總意により今後の態度を決するつもりである
問 この程度の話し合ひで強力政治體制の達成に、差支へないと思ふか
金光座長 次善策だから萬全のものではない

現在既に翼贊、翼壯も公事結社であるが末端では摩擦を起してゐるたとへこの話し合ひの結果新黨が出来ても摩擦は避け得られないと思ふ
金光座長 さういふ事態が起るかも知れない、しかし政府をして斷然取締りをさせる、翼壯の地方團なども自然に解消するといふ感想を折衝中に抱いた

以上の經過を通じ政府側の申入れを斷然拒否すべしとする強硬意見が開陳され、役員會過半數の賛成意見があり、また最後に政府との折衝の餘地は残されてゐるかとの間に對し、

金光座長より目下のところその餘地はないものと思ふと言明、役員會は最後の態度の決定を留保して五時二十分休憩した
總務會政府案を承認【三十日】翼政會では廿日午前九時十分より院内に總務會を開催、必勝政治體制確立に關する政府と交渉委員との折衝の結果を種々協議したが、問題の重點は翼政、翼贊、翼壯の三者解體こそ新黨樹立の前提要件でなければならぬとする翼政會の主張の意見に對し、政府は翼贊會及び翼壯を純然たる行政補助機關に改編することを以て翼政會の意圖する趣旨に沿はんとするにあり、同日の總務會においてこの點に關し

翼贊、翼壯の存在はたとへ行政補助機關に改組されるとしても、その實體が存する限り實際において新黨樹立の障礙となる惧れがあるのではない
といふ觀點から種々意見が開陳された、これに對し大麻總務より小林總裁と會見して總裁が政府と折衝せる経緯及び内容について確かめた結果について

小林總裁は政府との折衝の過程に鑑み、新黨樹立の障礙となる如き事態は絶対に起らぬことに意志の疏通が出来てゐると確言された、政府に對して更に一度念を押すことを要望したが、小林總裁は小磯首相からこの點再確認を得てゐることであつて、翼政會一部の有する如き懸念は絶対にない」と諒察された

と語り、漸く意志の疏通をみたので總務會は津雲國利氏を除き全會一致交渉委員の折衝の結果を承認することに決定、十時五十分散會した、な

ほこの案は十一時より開催せる議會役員會の議を経て代議士會にかけ、その決定をまつて原案通り確定する首相議會答辯補足、翼政役員に答ふ

【廿二日】二十二日の翼政院内代議士會は午前十時より第四控室に開催席上竹内俊吉氏は今期議會の低調を指摘して役員の善處を要望、二十一日の本會議における金光庸夫氏の必勝國內體制に對する質問について小磯首相は「戦局の推移と視み合せてその實現を期したい」と答辯した點をとり上げ、その眞意は何れにあるかと質した、これに對し三好總務は役員を代表して

これについては役員も直ちに政府に質したところ、政府の言明はさんとするとところは「戦局の危急と重大性に鑑みて必勝國內體制の急速な確立が必要であり、これは戦局のよしあしにより遅れるとか速めるとかといふ意味ではない」旨の言明を得た

なほこの問題について更に突込んで政府の眞意を質したところ、小磯首相より左の如き答辯を得たる旨報告した
現下の時局に鑑み必勝國內體制を確立すべしとする翼政會の御意見の趣旨に對しては政府としても眞に時局の要請に即應する政治團體が適切に實現せらるることが現下の時局に鑑み必要と考へるものであつて、これが實現を大いに期待するとともに、これに對應して政府として措置すべき事項については熱意と決意とをもつて解決に努力するとともに政府はこれに對應

して考ふべきことは相當思ひ切つて考へてみたい

【廿五日】第八十五臨時議會において可決された言論取締法案の政廳に關する建議の提案者一同は廿四日翼政會幹部に對しこれが廢止に代る獨立法案の今議會提出方を要請申入れを行つたが、翼政會では廿五日正午の議會役員會で協議の結果言論取締法案の廢止又は獨立法案の今議會提出に對して賛同せざることを申合せ、これが取扱については、金光、大麻山崎の三相談役、三好衆議院部長、勝田國內體制確立委員長に一任することと決定した、然し本問題は現下の情勢から極めて微妙であるので二十六日の豫算總會において作田高太郎氏から政府に質疑、明確なる所信を問ふこととなつた、よつて右幹部は二十五日午後一時半該建議の提案者側實行委員たる齋藤(肇)、若田、水谷、西尾、平野(力)、安藤(正)、紫安の各氏と會見、役員會で不提出に決定した旨回答した

大政翼贊會

強力國民運動展開

【六日】苛烈なる戦局の様相に鑑み必勝強力政治の基底たるべき國民運動についてはその強力なる展開が刻下の急務とされてゐるが、翼賛傘下の各團體は舊臘來小磯首相を訪問して國民運動團體としての決意を披瀝すると共に強力なる政府擁護を行ふべく協議中のところ、緒方翼贊會副總裁以下傘下各團體首脳部は六日午

後三時官邸に小磯首相兼翼贊會總裁を訪問各首脳者より個別にそれぞれ意見を開陳、時艱突破の斷乎たざる意を披瀝すると共に政府の強力果敢なる施策展開を要望した、これに對し小磯首相はそれぞれ所見を開陳政府は速に強力なる政治の遂行を期する旨を述べ各團體首脳者の國民指導も亦之に沿つて全力を傾注相率めて皇國護持の任務達成に邁進されたい旨を要望し同六時散會した

翼賛壯年團

建川翼賛壯年團長辭意表明

【六日】翼賛壯年團長建川美次中將は過去半ケ年に亘る翼賛運動の經過及び翼賛がおかれた立場に鑑み病氣を理由として小磯翼贊會總裁の許に辭表を提出、胎動しつつある國民再組織問題に一石を投じた、全總務留任聲明【十日】翼賛壯年團では建川團長の辭意表明に伴ひ副團長小林順一郎、中央本部長橋本欣五郎の兩氏を始め首腦部は總退陣と決定したが、各總務の進退を決定すべき翼賛總務會は十日午後二時翼賛本部で開會、橋本本部長より建川團長に代つて辭意表明に至るまでの経緯を説明した後總務としてとるべき態度につき協議した結果皇國危急の際翼賛運動は一時も停止すべきでないからこの際は辭職せず踏みとどまつて翼賛運動に挺身すべきであるといふに意見の一致をみて左の決議をなし、全總務の代表として筑波、立兵、近藤英次郎、下中彌三郎、鹿子木貞信、森田正義、小山亮、橋本欣五郎の七氏は十一日午前十時首相官邸に小磯首相を訪問手交することとなつ

た
決議 大日本翼賛壯年團は皇國護持の中核的國民組織にして決戦必勝は翼賛の絶対使命なり、斷じて他團體との紛淆を許さず茲に總務全員は翼賛が崇高傳統實力を發揮し獨立獨歩眞に國民運動の陣頭に立ちて聖戰完遂に邁進せんことを決意し敢て聲明す
翼賛參與も留任決議【十二日】翼賛本部に開會、建川團長の辭意表明に伴ふ態度決定につき協議したが總務會と同一歩調をとり、各參與は辭職しないことになり、左の決議をした
參與會と總務會の連絡には恒耐瀧雄、永山忠則、糸川欽也の三氏が當ることとなつた
決議 參與會は戦局未曾有の神機に際し聖戰必勝完遂のため總務會の悲壯なる決議を支持し次のごとく決議す
一、現首腦部を中心として皇國護持の中核的組織たる大日本翼賛壯年團の徹底的強化に邁進す
一、大日本翼賛壯年團に對するあらゆる他の政治的妄動を斷乎粉砕す

翼賛團長に緒方氏兼任

【十九日】建川翼賛團長の辭意表明に伴ふ後任については諸般の情勢を勘案し政府に於て慎重考慮中であつたが、翼賛運動の性格に鑑み緒方翼贊會副總裁をして兼務せしめる方針に決し、十九日翼贊會より左の通り發令された

大政翼贊會副總裁 緒方 竹虎
大日本翼賛團長を委嘱す
翼賛團長 建川 美次
翼賛の使命を明確化する【十八日】建川翼賛團長の辭意表明を契機に決戦政治の新たな課題として注目を惹く國民運動組織の再編成は十七日翼政會必勝國內體制確立委員會の決定によつてここに一つの轉機を示さうとしてある、即ち近衛新體制以來我が國政治の運営は常に政府、翼贊、翼政の三位一體關係を基調として進められ、この鼎立的協調の上に國政萬般の施策が實施浸透せしめられる仕組であつたが、この立體的關係は翼贊會の性格を巡つて常に論議の對象となり、殊に翼贊會がその實踐組織として翼賛壯年團を生誕せしめてからはこの關係は更に複雑化し最近翼賛がともすれば翼贊會の羈絆を逸脱せんとする傾向を示すに至つて翼賛と翼政の對立的感情は兎角尖鋭となり、しかもその組織においては翼賛は實踐組織を有して黨部構造を持たず、翼政は中央組織を有して實踐組織を持たないといふ割り切れぬ關係から、三者三すくみの形で決戦下最も緊切な國民運動は却つて停滯を示し政界における一つの暗雲を形成してゐたのである、従つてこの關係に何等かの切開を施すことは長い間の懸案とされてゐたもので、これが所謂國民運動の一元化論として度々表面化したのであるが、今日まで遂に結論に達せず政界に一つの緊迫状態を潜在せしめて推移してきた、しかし苛烈なる決戦期といふ現實の展開はもはやかかる不徹底な状態を許さない段階に達しつつあり、これに確固たる斷案を下すべきことが各方面から強く要望されるに至り、この氣運に應ずる團體側の動きとして先づ翼政會の翼政解體、強力新黨樹立を内包する十七日の決定が表面化したもので、この趨勢は今後逐次具體化して行くものと見られる

政治の新たな課題として注目を惹く國民運動組織の再編成は十七日翼政會必勝國內體制確立委員會の決定によつてここに一つの轉機を示さうとしてある、即ち近衛新體制以來我が國政治の運営は常に政府、翼贊、翼政の三位一體關係を基調として進められ、この鼎立的協調の上に國政萬般の施策が實施浸透せしめられる仕組であつたが、この立體的關係は翼贊會の性格を巡つて常に論議の對象となり、殊に翼贊會がその實踐組織として翼賛壯年團を生誕せしめてからはこの關係は更に複雑化し最近翼賛がともすれば翼贊會の羈絆を逸脱せんとする傾向を示すに至つて翼賛と翼政の對立的感情は兎角尖鋭となり、しかもその組織においては翼賛は實踐組織を有して黨部構造を持たず、翼政は中央組織を有して實踐組織を持たないといふ割り切れぬ關係から、三者三すくみの形で決戦下最も緊切な國民運動は却つて停滯を示し政界における一つの暗雲を形成してゐたのである、従つてこの關係に何等かの切開を施すことは長い間の懸案とされてゐたもので、これが所謂國民運動の一元化論として度々表面化したのであるが、今日まで遂に結論に達せず政界に一つの緊迫状態を潜在せしめて推移してきた、しかし苛烈なる決戦期といふ現實の展開はもはやかかる不徹底な状態を許さない段階に達しつつあり、これに確固たる斷案を下すべきことが各方面から強く要望されるに至り、この氣運に應ずる團體側の動きとして先づ翼政會の翼政解體、強力新黨樹立を内包する十七日の決定が表面化したもので、この趨勢は今後逐次具體化して行くものと見られる

本部長決定
【廿五日】緒方國務相の翼賛團長就任に伴ひ橋本欣五郎本部長は辭表を提出したので新團長の手許において後任人選中のところ内務省警備課長館林三喜男氏を起用することに決定手續きの關係から發令は一兩日遅れる見込なので取敢ず緒方團長が事務取扱となり新任統務部長と共に二十五日左の如く發令された

△翼賛辭令
團長 緒方 竹虎
中央本部長事務取扱を命ず 向 義法
團長秘書兼統務部長を命ず
大政翼賛總務部副部長 牧 賢一
統務部次長を命ず
▲本部長發令【廿七日】翼賛壯年團ではさきに内定せる内務省警備課長館林三喜男氏の本部長就任を廿七日左の如く發令した
△翼賛辭令
館林三喜男
本部長を命ず
本部長事務取扱 緒方 竹虎
△翼賛會辭令
館林三喜男
局長を命ず(無任所)

【廿二日】強力新黨の結成を決議した翼政會の動向に對し翼賛では深甚なる關心を示すとともに、一部に傳へられる翼賛解散は絕對に反對なりとし、去る十九日橋本中央本部長の名をもつて全國各地方府縣團に對し打電してその總意の決定を德應した

業費七百卅一萬圓、警視廳關係費一千六百六十四萬六千八百九十三圓、その主なる財源は國庫補助金一億一千四百卅五萬七千四百十五圓、都債三千二百四十九萬四千圓、其他は雜收入に求めてゐる、事業の概要次の通り

△疎開を實施する箇所

○間引疎開 1 家屋密集地區又は重要施設の周邊においてなるべく空家準空家を左の標準で選定する、①一戸乃至數戸の疎開に依り防火活動を便ならしめる箇所、②貯水池、待避壕等防空施設の築造を必要とする箇所

○地域疎開 1 建物疎開を實施する場所は大體に於て、從來施行したものと同様の主旨でこれを選定されるが今回緊急實施する箇所は概ね左の重要施設中緊急なる箇所について選定される、①主要驛附近、②消防道路建設地、③重要工場關區、④重要排水ポンプ場及水道ポンプ場關區、⑤重要變電所關區、⑥重要車庫關區、⑦重要通信施設關區、⑧國民學校關區、⑨重要病院關區、⑩港灣關係重要施設關區

△疎開事業の施行方法
間引疎開は從來の勸奨による方法を改め、地域疎開の場合と同様防空法上の強制命令による建物は原則として都で買収、疎開建物所在町會又は近接町會に疎開建物を拂下げ町會がその際、都並に跡地の整理を行ふやうにする、なほ間引疎開による發生古材は原則として町會、隣組の防空資材として利用せしめ建具、瓦等は應急用材として町會に備蓄せしめることとし、地域疎開による發生古材

はこれを都の防空資材又は餘力増強上必要なる部面に活用疎開跡地は貯水池、待避壕、消防道路等の防空施設に利用する

東京都疎開追加豫算可決

【十九日】臨時都議會第二日目は十九日午後三時すぎ再開、日程に入り三浦委員長から都疎開事業起債の件他二議案について経過報告があり、第五次建物疎開及び間引疎開並に警視廳關係の追加豫算計一億七千餘萬圓を原案通り可決、同五時すぎ散會した

主要人事

【六日】 東京都交通局長 藤岡 長敏
任兵庫縣知事

【十二日】

地方參事官(新潟)兼軍需省軍需監理官 堀田 建男
任防空總本部業務局長(二) 臺灣總督府警務局長 山内 逸造
任東京都交通局長(一) 沖繩縣知事 泉 守紀

任香川縣知事(一) 大阪府内政部長 島田 毅
任沖繩縣知事(二) 内務省調査官 關 外余男
任地方參事官(新潟)兼軍需省軍需監理官(二) 神奈川縣第一經濟部長 豊島章太郎
任大阪府内政部長(一) 内務書記官 八木 芳信
任神奈川縣第一經濟部長(三) 【十五日】

德島縣經濟部長 長瀬 英一
任茨城縣經濟第一部長(三) 内務事務官兼貴族院書記官(警保局) 松崎 正躬
任山梨縣警察部長(四) 内務書記官(大臣官房) 横大路俊一

任富山縣警察部長(三) 東京都副參事官 正示啓次郎
任德島縣經濟部長(四) 政治 短 信

【二日】 小磯首相一億同胞の明朗敢闘を要望する年頭談話發表
【四日】 新任奉告のため西下せる吉田軍需、小林國務大臣歸京
【五日】 石渡藏相參内政務奏上
【六日】 杉山陸相伊勢神宮に戰捷祈願即日歸京
【六日】 小磯首相翼贊會傘下團體首腦と懇談
【九日】 小磯首相以下閣僚武部滿洲國總務長官より同國事情の説明を聴取△内閣顧問首相官邸に會同首相と懇談
【十日】 重臣、閣僚懇談會△貴族院思想調査委員小磯首相と懇談
【十二日】 小磯首相、重光外相交々參内政務奏上
【十五日】 大達内相米機の官爆お託のため神宮參拜
【十八日】 吉田軍需相參内政務奏上△軍需省關係各統制會長等と懇談會を催す
【十九日】 内閣顧問定例會同
【十九日】 重光外相、石渡藏相相次いで參内政務奏上

第八十六帝國議會

【二十日】 第五回軍需監理部長會同開催
【廿六日】 小磯首相政務奏上△石渡藏相所管事項奏上
【廿七日】 朝鮮總督府鑛工局勤務部決△貴院調査會内に液體燃料、航空機増産委員會設置決定
時特別中改正法律案議會提出の件可決△貴院調査會内に液體燃料、航空機増産委員會設置決定
【廿七日】 朝鮮總督府鑛工局勤務部決△貴院調査會内に液體燃料、航空機増産委員會設置決定

三相演說

小磯首相施政演說

先般開院式に當つては、特に優渥なる勅語を賜はり、洵に恐懼感激に堪へぬ、私は諸君と共に謹みて聖旨を奉體し、一億同胞の總力を結集して益々戦力増強に邁進し、あらゆる困難を排除克服、速かに戰爭目的を完遂し、以て、聖慮を安んじ奉りたいと存ずる
皇國今や興廢 戦局の進展は愈々急の關頭に立つ 調を示し、今や皇國は大東亞戰爭勃發以來最も重大なる局面に際會し、眞に興廢の關頭に立つに至つた、昨秋、敵の進攻企圖に對し帝國陸海軍部隊はこれを臺灣沖及比島沖に邀撃し、赫々たる大捷を博したのであるが、敵はかくの如き大損害を蒙りつつも、豊富なる物量の掩護下にレイテ島に上陸し來り、

續いてミンドロ島を侵し遂に今日ル
 ソン島にも數兵團に上る敵の上陸を
 見るの重大なる形勢に立ち至つたの
 である、敵の比島進攻以來、烈々た
 る國體護持の氣魄に振ひ起つ皇軍將
 兵は、全員盡く特別攻撃隊となり
 或は敢然敵艦船に必死必中の猛撃を
 加へ、或は敵飛行場に強行突入し、
 または敵中に挺身、必殺の斬込を行
 ふなど、皇軍將兵にして始めて克く
 なし得る所の、壯烈無比なる攻撃を
 敢行してゐる、私は特別攻撃隊勇士
 を始め皇軍將兵が、かくも見事に國
 體護持の神髓に徹し、七生報國、純
 忠の氣魄を發揮してゐること、對し
 唯々感激に堪へざる次第である、こ
 の機會に、私は諸君と共に、大東亞
 各地に勇戦奮闘せられてゐる皇軍將
 兵に對し、深甚なる敬意と謝意とを
 表し、壯烈報國の華と散られたる幾
 多忠靈に對し、謹みて敬用の誠を捧
 げ、戦傷病將士に對し、また御遺族
 の方々に對し、衷心より御同情申し
 ぐると共に、軍人援護の事業につい
 ては、現下の戦局にも鑑み、これが
 が強化徹底に關する方策を斷行し、
 戦歿忠靈の遺兒に對する育英を、國
 家において負擔するの外、更に軍事
 扶助の強化、その他軍人援護に關す
 る諸般の措置を講じ、以て、前線將
 兵をして、後顧の憂なからしむるこ
 ととした次第である

昨夏以來、支那大陸に展開せる皇軍
 の作戦は、中南支における最重要據
 點を覆滅して、在支米空軍の餘地な
 からしむると共に、更に進んで南支
 佛印間の陸路連絡を打通し、一方、
 北部緬甸國境方面においても、敵の
 緬甸奪回企圖に對し、皇軍將兵は、
 克く勇戦奮闘を續けつつある、北邊
 鎮護に任ずる皇軍將兵を傲然とし
 て敵米英に侵寇の餘地なからしむる
 の威力を示しつつあつて、我が東亞
 防衛の戰略態勢は極めて強固である
 一億同胞は、今こそ憤激を新にして
 特別攻撃隊勇士の後に續き、生産場
 裡に愈必勝の闘魂を發揮し、政府又
 全力を振つて、速かに必勝施策を實
 行し、官民一體、萬難を排して、一
 意戦力の増強に邁進し、以て、前線
 將兵の勇戦に應ふべき、銃後の責務
 を完うせるの秋である、一億同胞の
 今日此の際に於ける剩す處なき總勢
 の成果は、やがて比島周邊の敵を
 撃掃し去るのみならず、ラバウル、
 ブーゲンビル等の皇軍將兵と相呼應
 して、戦局轉換の基礎を固むべき決
 戦戦力に結晶するものと信ずる

軍官施策を強 此の重大なる戦局を
 力に一體推進 打開するため政府の
 執らんとする決戦施策の根本基調は
 現有國力の急速なる發現による、戦
 力の飛躍的向上にその重點を指向し
 以て、競争完遂に對する必勝體制を
 確立すると共に、各般の施策を強力
 且果斷に實行するに在る、現下の決
 戦に臨む國政運籌の根本的態度は、
 徒らに戦局の一弛一張に喜憂せるこ
 となく、飽く迄も、必勝の大道を邁
 進すべき強力なる政治を具現するの
 一途に存するのである、政府は行政
 運籌の徹底的決戦化を圖るため、先

づ中央地方を誦じ、行政の綜合運籌
 に關し、一層適切なる措置を講ずる
 と共に、地方行政協議會長と地方陸
 海軍當局との連繫を緊密にして、防
 衛ならびに戦力増強に關する軍官施
 策の一體的推進に遺憾なきを期し
 居る、最近敵は帝都を始め本土の要
 部に對し、頻々として空襲を加へて
 參つた、殊に過日長くも、伊勢の神
 域を冒し奉るの暴舉を見るに至つた
 ことは、一億同胞の眞に痛憤措く能
 はざる所である、然しながら空襲の
 被害は極めて輕微であり、國民の士
 氣亦、却つて益々昂揚し、防空に生
 産に、目覺しき敢闘振りを示して居
 ることは、心強き限りである

工場と地下移設 今後引續き執拗に繰
 返されるものと豫想
 せらるる敵の空襲に對しては、工場
 に對する防護施設の急速なる強化完
 整を圖り、以て敵襲下、生産増強の
 遂行に、聊かの障礙遲滞なきを期す
 ため、着々所要の措置を講じて居る
 また同時に、大都市に於ける更に徹
 底せる家屋ならびに人員の疎開と、
 防空防護施設の整備を圖り、かくし
 て今後敵機の來襲如何に熾烈を加ふ
 るとも、軍官一體、斷じてこれに
 屈服せざる防空態勢の完壁を期する
 所存である、我等同胞は我が本土が
 既に國土防衛の戦場と化した今日、
 舉つて皇國護持の闘環を振起し、何
 時如何なる場合に敵の侵襲を見よう
 と、斷じて國土防衛の重責を全う
 するの決意を固め、その戦場即應の
 日常生活を通じて、生産に防空に
 明朗敢闘の精神を發揮せねばならぬ
 ものと確信する、次に、前線に敢
 増強について考察するに、軍需生産の
 望しつゝあるものは、優秀なる航空
 兵器の一大増産である、特別攻撃隊
 の必死必中に依る敵艦船の撃滅も、
 航空兵器の一大増産あつてこそ可能
 である、なほ政府は航空兵器のほか
 鐵鋼、輕金屬、液體燃料等の生産の
 増強を圖り、戦力の基礎を確立する
 とともに、大陸方面の生産増強を支
 援促進し、また各種決戦兵器の創成
 と性能向上を期すべき科學技術力の
 動員強化に關し、あらゆる努力を傾
 注する決意である、また生産と防衛
 との一體強化を圖るため、この際周
 到なる計畫の下に、軍需工場等の分
 散疎開、勞務、資材等を徹底的に戰
 力化するため、更に企業整備を促進
 致したい考へである、これが實施に
 當つては能ふ限り、これら工場の方
 面的綜合的自立を期する考へである
 食糧の確保が國民生活を安定し、戦
 力の増強を圖るための基礎であるこ
 とは、ここに申す迄もないが、今後
 における食糧需要の増大と、輸送力
 の現況に鑑みて、あらゆる困難を克
 服、各地の實情に即し、米麥は固よ
 り、甘藷等の非常増産を實行し、國
 内自給の飛躍的増強に努むる所であ
 る

勤勞の動員、管 以上申し述べた國
 理を一貫調整 家戦力の確保増強
 の根本は、結局國民の勤勞力に在る
 全國民を剩す所なく動員し、勤勞能
 率を最高度に發揮することによつて
 始めて、これらの目的達成を期し得
 らるのである、即ち政府は、勤勞
 の動員および管理に關し、一貫調整
 を強化し、刷新改善を圖らんと
 するものである、就中現下の生産完
 遂上學徒は極めて重要な地位を占
 むるのみならず、皇國の明日を背負
 ふべき重大なる使命を有するに鑑み
 根本的に行學一致の實を擧げ、學徒
 をして、安んじて御奉公し得るの方
 途を講じたいと考へる、各種必要な
 る勞務に關しては、今日の場合、ま
 づ當該地方の總動員により充足を
 圖ることとし、特に勞務の機動的運
 用を活潑に行ひ、かつ官民の組織的
 挺身出勞を強力に指導し、以て國民
 皆勤の實を具現せんことを期してゐ
 る、海上輸送力の増強に關しては、
 政府は萬難を克服して、新船建造の
 促進に努むると共に、少くも現有
 船隻の確保ならびにその效率的運營
 を期して居る、なほ敵襲下幾多の危
 險を顧みず、日夜挺身敢闘せられつ
 つある船員諸君に對し、この際衷心
 より感謝の意を表す、と共に、これ
 ら船員諸君の處遇につき適切な改
 善を加ふる方針である、また海運貨
 物の陸運移轉を更に強化せんがため
 今後益々内鮮の重要幹線鐵道の施設
 を強化し、日滿支間における大陸輸
 送力増強の方途を講ずると共に、特
 に非常事態に備へて、陸運運籌の戰
 場的體制を急速に實施することとし
 た、最後に、前議會において考慮を
 約した、朝鮮及び臺灣在住の同胞に
 對する處遇の改善については、政府
 は既に内地への渡航、移籍、就學お
 よび就職、勞務の取扱等に關し、そ
 れぞれ適切な處遇改善の措置を講
 じ、内外地間の障礙撤廢に數歩を進
 むることと致したが、更に兩地在住
 同胞の多年の念願たる政治的處遇に
 ついても、この際これを速に解決
 し、眞に内外地一體の體制を完成致
 すことは、時局下一億結集を緊要と
 する國家的要請なるを認め、その方

法、時期等に關し、慎重検討を遂ぐるため調査會を設置し、目下具體案を作成中である、幸に諸君の御協力を得、その速かなる實現を期したいと存する、しかし以上申し述べた各般の施策を強力に實行致すためには官民共に、深く現戰局の重大性を正視し、政府同僚も、率先垂範、東道の刷新に努め、同胞を促して安んじてその職域に挺身せしめ得べき施策の具現に萬全を期すべきは勿論であるが一億同胞亦、國體護持の氣魄を日常實踐の上に徹底し、愈々道義を社會に確立し、士氣を昂揚し、益々必勝の闘魂を振つて、責務の完遂に邁進せられんことを切望して已まぬ

戰勝把握への 惟ふに今次戰爭の本必勝態勢確立 實は、いはゆる「生か死か」の、苛烈を極むるものであつて、皇國の國體を無窮に護持し得るか否かは、今日の官民總努力の成果が、克くこの戰爭を勝ち取るか否かの一途に懸つてゐるのである、敵は濫りに戦後の國際機構案等を論議し、帝國に對しては一切の妥協を排し、無條件降伏を呼號して、帝國の抹殺を企圖してゐるのであつて、かくの如き白日夢は固より憫笑の外はないのであるが、皇國の國體を無窮に護持するの途は、官民が斷乎一切の障礙を破砕して、物心の總力を、聖戰の目的完遂に結集することにのみ存す、されば政府は、以上申し述べた方針に基き、作戰に即應しつづ諸般の決戰施策を強力に實行し、以て戰勝把握への必勝態勢を確立し、中央地方を通ずる行政の強力なる機動的運営により、この速かなる滲透實現を期せんとするものである、平和の美名に隠れたる彼等米英民族の

貧婪飽くなき世界制覇の野望が、戰爭の進展と共に、漸次白日の下に露呈せられ、既に彼等の占領せる地域においては、獲物の分配を繞つて、深刻なる相刺對立が暴露せられ、漸次激成せられつゝあるに對し、我が東亞の諸國家は、東亞復興の共同理想の下に、敵の侵攻に對して、愈々結束を固くし、飽くまで東亞を保護せんとし、決意に振ひ立ち、その總力を結集して、敢然戰爭の完遂に邁進してゐるのであつて、大東亞共同宣言に結晶せられたる共存共榮の道義理念は、米英の晦冥を極むる侵略的戰爭目的等と比すべくもない、帝國政府としては、東亞諸國家諸民族のこの敢闘精神に對し、衷心より敬意を表すると共に、飽く迄も、大東亞共同宣言に開示せられたる各國共同の信念と決意とに基き、大東亞の解放と復興のため、共同の戰爭を完遂し、五原則に明示せられたる共同理念の具現に向つて邁進せんことを期して居るものである、一方我盟邦獨伊樞軸諸國は今や自國本土に敵を邀へて士氣愈々旺盛、克く敵の必死の猛攻を支へて、これに大損害を與へてゐる、特に獨逸國民は連日大空襲を受け、日常生活また極めて困難なる事情にも拘らず、いささかも屈することなく愈々團結を固くして、祖國防衛に邁進し、更に國力の徹底的動員と軍需生産の建て直しとを斷行して、昨年十二月中旬以來、西部戦線上廣大なる正面において大攻勢に轉じ、目下十數萬に上る所在の米軍を撃擯中である、私はヒットラー總統の下、獨逸國民が更に彈發力を發揮して、敵に大なる痛撃を加へ、敵をして起つ能はざらしむる日の近

からんことを期待し、切に獨逸國民最後の健闘を祈るものである 最後まで戦ひ かくして、郷土保衛抜き、勝利へのために奮起せる東亞諸國の鐵石の團結と、盟邦獨逸の目覺しき反撃の前に、敵はその戦力を東西の兩戦線に分配せざるを得ざるに至り、補給に深刻なる脅威を蒙るに至つてをるのであつて、物量を誇る敵米國も、その計畫に行詰りを來し、軍需生産の不足を如實に體験しつゝあり、今やその國民に對し戦局必ずしも樂觀を許さず、劃期的なる増産を實現するに非ざれば、戰爭の短期終結は不可能なることを警告するとともに、新に國民徵用法を制定せんとしつゝある實情である、かくて今や戦局は、正に彼我の根比べの決戰段階に到達したのであつて今後いよいよ加重すべき、如何なる危苦難をも敢然耐へ抜き、如何なる危局に遭遇するも、決してたじろぐとなき必勝の闘魂を持續して、最後まで戦ひ抜き者が、克く最後の勝利を制し得べきものと信ず、一億同胞は前戰將兵の奮戦に呼應して飽くまでも國體護持の精神氣魄を堅持し、千辛萬苦に耐へて只管戦力の増強、國土の防衛に敢闘し、速かに聖戰の目的を完遂して、宸襟を安んじ奉らねばならぬ

藏する敵は、愈戰爭の終結を焦つて頻に猪突しつゝある、帝國と同盟諸國との連繫は愈堅く、吾人はあくまでこの戰爭を我が同盟國とともに戦ひ抜きものである、今日ドイツは幾多の難關を突破し驚嘆すべき敢闘を續けて居るのである、米英がテヘラン會議において、決定したる東西南より對獨總攻撃は、あらゆる謀略的策動と共に、遂行せられ、さらに敵はドイツ及びドイツ民族を永久に起つ能はざらしむるため、領土はこれを分割し、民族はこれを移動し、政體はこれを變更し、日獨兩國を大國としての存在を抹殺せんと公言して憚らぬ次第である、ドイツは昨年七月二十日ヒットラー總統暗殺未遂の際を以て最大の危機に直面したのであるが、計畫は失敗に歸し、ドイツの内外に對する形勢は完全に建ち直つたのであつて、ドイツ國民がヒットラー總統の下に一致結束敵をして一歩も國土を穢さしめざる鐵血の意志の下に闘つて居る姿は、眞に偉視である、果然ドイツは、西部戦線において攻勢に轉じ、すでに米軍の重要な部分を粉砕した、他方ソウリニーニ、イタリヤまた諸々國軍を整備し、名譽と光輝とをもつてドイツと共に勇戦しつゝある、自存自衛の戦ひにおいて、國際正義顯現の共同の戦争目的完遂のために人類將來の途を拓くべき深刻なる戦闘と東西の同盟國と共に戦ひ抜きかんとするのは、吾人の最も神聖なる使命であると信ずる、ドイツの健闘は米英の魂膽をいよ／＼白日の下に暴露するに至つた

重光外相演説

世界戦争は逐日白熱し、交戦國はいづれも國家の總力を結集して、戰場に投入しつゝあつて、東西の戦局は眞に決戰段階に在るを思はしむるものがある、國內に幾多の脆弱面を包

1 ランド問題干渉に始まつたのである、今や開戦の口實に使用せられた小國の利益は、これに口實とした大國のために完全に無視せられ、ポランドは今日既に棄子となり、開戦當初マガナカルタとして、その名も大西洋憲章と呼ばれ、米英の生命線と稱せられた政策は、今日は塵芥の如く捨て、顧みられず、道理の假面は脱ぎ去られて力の政策のみが赤裸々にその醜姿を現はしてゐる、彼等は「自由愛好國」と自稱してゐるが、その戰爭目的は小國の保護でもなく、自由の尊重でもなく、米英を中心とする大國獨裁の世界組織を建設するのがその目的である、しかも彼等はその間不用意にも戰爭の眞最中に次の戰爭を豫想し、これに對する準備を爲しつゝあつて、彼等はすでにその戰爭目的において重大なる矛盾を暴露し、彼等自身戰爭に對する信念を缺かせることは敵側輿論の動向に徴するも明瞭な所であつて敵は已にその政策に於て敗れてゐる政策の破綻は戰爭そのものの破綻の端緒である

東亞保衛の 焦點・比島 がかゝる企圖に對して

彼等は東亞人の郷土を奪つて永久に彼等の植民地とし、世界支配の基地としてこれを使用せんとするものである、吾人の死活的戰爭は實に東亞保衛の戰爭である、西細亞の解放東亞の復興なる正義の戰爭目標はこれに至つて益々鮮明を加へて來た、今日西細亞は覺醒し、然して東亞は解放せられたのである、多年にわたる米英勢力の侵略、擄取より解放せ

生産増強及價格調整等に關するものとして、總額三十一億四千餘萬圓を肥料の確保増産、農業勞務及農業技術者の確保充實、魚類及蔬菜類の生産及配給に關する經費等食糧の生産餘萬圓を計上したが、其の他重要なものとしては、海陸空を通ずる輸送力の増強に關する經費三億六千餘萬圓、軍事扶助費の増加等軍人援護に關する經費一億九千餘萬圓、戰時に應ずる學校制度の整備其の他文教に關する經費一億一千餘萬圓、戰爭完遂及大東亞諸民族の總力結集を目的とする外交及外政の強化に關する經費八千餘萬圓を計上致した

既定經費は節約其の他努めて減額を圖り十六億餘萬圓の減少となるが、現下の戦局に鑑み必要な戦力増強食糧確保に關する經費等に付、國債其の充足を圖りまし外、國債を利子支拂總額の増加等義務費の増加もあり、從つて本年度豫算額は前年度に比し、差引十八億四千餘萬圓の増加となつた尙最近に於ける戦局の動向に顧み、政府諸施策の強化徹底を期するため、豫算の追加を要するものもあるが、之等は近き追加豫算案として提出する見込である歳入豫算二百二十四億餘萬圓の内、租稅其の他普通歳入四百四十七億七千餘萬圓公債金收入七十六億二千餘萬圓を計上した 普通歳入の大宗たる租稅收入は經常臨時の各部を合せ其の總額百十七億三千餘萬圓で、之れを前年度豫算額に比較すれば、七億四千餘萬圓の増加となる、而して其の増加額の大半は所謂自然増収に依るもので、時局の推移に伴ひ、遊興飲食稅等の間接稅收入に於て相當の

減少を生ずるにも拘らず、所得稅其の他直接稅に於て多額の自然増収を見積り得ることは一面經濟界の實勢を反映すると共に、他面國民の愛國的熱誠の結果邦家の爲害に意を強うする、戦局の進展に伴ふ軍事費等の増大並に最近に於ける通貨、金融の諸情勢に顧みれば此の際増稅を行ふことは大局上已むを得ざる所と考ふる而して戦局の現段階に於ては租稅制度に改變を加ふることを避け簡素且重點的に増稅を圖ることを適當と認め分額所得稅、法人稅、酒稅等の主要租稅に付稅率の引上を行ふこととし、併せて租稅の賦課徵收の簡素化、時局下必要な租稅の減免等を行ふこととした

千餘萬圓で公債を財源とする戦費の調達、豫算の執行は何等の支障なく遂行せられたつたある、公債が順調に消化されるためには、一に國民貯蓄の増強に俟たねばならぬ、十九年度の國民貯蓄増加目標額は四百十億圓で其の實際は第三四半期迄に銀行預金に於て約百五十四億圓郵便貯金に於て約七十九億圓其の他各種の蓄積を併せ合計大約三百四十五億圓の増加を示して居る、斯くの如く國民貯蓄の激増しつゝある事實は、全く國民の努力の賜で、非常時局に際して國を思ふ我國國民の熱意に對しては此の機會において深甚なる敬意を表する、然し乍ら、來年度は更に相當の公債増發も豫想されるので、國民貯蓄の増強は政府に於ても貯蓄の割當につき一層適正を期すこととし、又他面時局の進展に伴ひ所得の増加する方面に對し、今後特に有效適切な手段を講ずる等、貯蓄制度の全般に亘り廣く官民各界の意嚮にも諮り、之が運営改善に努力すると共に、法律の改正を要するものは別途法律案を提出した、次會計豫算に準じて編成計何れも一般會計豫算は戦力増強、食糧確保等の施策に重點を置き、眞に緊急缺くべからざる經費を計上した

と産業資金たるを問はず、之等戦争遂行上缺くべからざる資金の供給を絶対に確保することは、戰時下當然の必要である、而して財政資金及産業資金放出の増大に伴ひ、勢ひ通貨流通高の増加を來しますことは避け難き所であつて、我國においては支那事變勃發以來、通貨は漸増の趨勢を辿り、日本銀行券の昭和十九年中に於ける平均發行高は百二十億五千餘萬圓となつてゐる、通貨流通の増加は避け難きこと乍ら其の膨脹度を超越るときは、物價の昂騰を促し、經濟の安定を害し、銃後戦力の低下を來す惧もある、之がため財政資金も産業資金も苟も濫費の弊なき様資金の効率化を圖ると共に、一度放出された資金は極力回収に力め維持に萬全を期する所存である、決戦下空襲時非常の際に於ける經濟對策については曩に戰時非常金融對策を確立し又戰時特殊損害保險の制度を創設し、租稅減免其の他各般の措置を講じ、逐次整備強化したが之等の制度は日を逐ふて漸次一般に普及徹底せられ、非常の事態に際して民心の安定確保の上に相當効果を收めつつある、又今後戦局の展開に對應して、經濟界各方面においても迅速に之に對處すべき態勢の整備を圖るの要緊切なるものがあり就中産業、資材、勞務の各部門に於ては急速なる配置轉換の必要等の生ずることが豫想せられるのであつて、之に對しては臨機應變、敏速果敢に對處すると共に之が轉換を極力圓滑且整然と推移せしむる様周到なる配意を行ひ、決戦下に於ける國家經濟の運営に、苟も滯滞を生ぜざらしめんと豫想されるが財政資金たる

貴族院

日 一 廿
 ☆ 本會議
 午前十時八分開會 野頭徳川議長から伊勢の神宮宮城御被害について 天機並に御機嫌奉伺の顛末を報告し、更に皇軍感謝決議に對し陸海軍より謝電ありたる旨を報告、次いで一般施政方針を闡明のため小磯首相登壇 決戦施策につき約卅分に亘り述べ、續いて重光外相登壇、帝國外交の不動方針を約卅分間に亘り力説、日程に入り

んことを期せねばならぬ、次に大東亞共榮圈内に於ける各國家各民族に對し、我國としては財政上幾多の支拂を與へ、其の經濟發展に協力し來つたが、今後においても苛烈なる戦局下萬難を排し全幅の支拂と協力とを惜まず、以て諸國家諸民族の信頼と期待とに應へ、益々提携を緊密にし、相携へて大東亞經濟の建設に一層の努力を傾注せんとするものである、今や、戦局は展開し、皇國興廢の岐ある秋である、此の時艱を克服し、敵米英の野望を擊碎する爲には、軍國要請の方向に應じ必勝の信念に徹する確固不拔の精神力を以て、國家の總力を、動員集中するの必要がある、今こそ一億國民舉つて旺盛なる戰意を振起し前線勇士の敢闘に呼應し銃後戦線に於ても沈着冷靜、納税に貯蓄に奉公の赤誠を節し、納税に貯蓄に奉公の赤誠を捧げ、以て財政戰經濟戰に於ても、敵米英を打倒し去らんことを切切希望して已まぬ

一、恩給法中改正法律案
一、明治卅五年法律第四十九號國勢調査に關する法律の昭和廿年における特例に關する法律案
を上程特別委員に附託、併託して同十一時廿分散會

日 二 廿
午前十時五分開會直ちに日程に入り
一、兵役法中改正法律案 (政府提出)
一、陸軍軍法會議法中改正法律案 (同上)
一、海軍軍法會議法中改正法律案 (同上)

一、會社等臨時措置法中改正法律案 (同上)
一、戰時民事特別法中改正法律案 (同上)
一、司法官試補及辯護士試補たる資格の特例に關する法律案 (同上)
一、現役青年學校職員俸給費國庫補助法案 (同上)
一、農林中央金庫法中改正法律案 (同上)
一、産業設備營團法中改正法律案 (同上)
一、石炭配給統制法中改正法律案 (同上)

一、上炭配給統制法中改正法律案 (同上)
を順次上程、特別委員に付託又は併託して十時四十五分散會
日 六 廿
午前十時十分開會、姉崎正治氏(無所屬)より天祐天譴につき政府の所信並に人心の嚮導に關する質問趣旨の辨明ありこれに對し小磯首相、重光大東亞相より答辯を行ひ、次で二荒芳徳伯(研究)より我國思想の根本政策に關する質問趣旨の辨明をなし小磯首相より答辯あり、日程に入り
一、恩給法中改正法律案(政府提出)

一、明治三十五年法律第四十九號國勢調査に關する法律の昭和二十年に於ける特例に關する法律案(同上)
一、兵役法中改正法律案(同上)
一、陸軍軍法會議法中改正法律案(同上)
一、海軍軍法會議法中改正法律案(同上)

日 八 廿
午前十時十五分開會、直ちに日程に入り
一、臨時軍事費豫算追加案(臨時第一號) (政府提出、衆議院送付)
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(道第二號) (同上)
一、昭和三十二年度一般會計歳出の財源に充つる等の爲の公債發行に關する法律案(政府提出、衆議院送付)
一、金資金特別會計法外五法律中改正法律案(同上)

一、現役青年學校職員俸給費國庫補助法案(同上)
一、戰時民事特別法中改正法律案(同上)
一、會社等臨時措置法中改正法律案(同上)
一、司法官試補及辯護士たる資格の特例に關する法律案(同上)
一、農林中央金庫法中改正法律案(同上)
一、産業設備營團法中改正法律案(同上)
一、石炭配給統制法中改正法律案(同上)
を逐次上程それぞれ委員長報告通リ可決、直に衆議院に送付することとして零時五分散會

正法律案(同上)
一、外資金庫法案(同上)
一、地方鐵道及軌道に於ける納付金等に關する法律案(同上)
一、鐵道抵當法中改正法律案(同上)
一、日本通運株式會社法中改正法律案(同上)

日 一 卅
午前十時七分開會、石渡藏相より施政演説あり、日程に入つて
一、船員保險法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
一、所得稅法外十六法律案中改正法律案(政府提出、衆議院送付)

一、郵便法中改正法律案(同上)
特別委員に付託し同四十六分散會
午後十時七分開會、石渡藏相より施政演説あり、日程に入つて
一、船員保險法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
一、所得稅法外十六法律案中改正法律案(政府提出、衆議院送付)
を上程それぞれ委員に付託又は併託
一、地方稅法及地方分與稅法中改正法律案(政府提出、衆議院送付)、
を上程、大達内相提案理由説明の後
大河内輝科子の質問に對し大達内相
島田農商相より、「配給により都市
の最低生活を確保し得るやう努力す
る」旨の答辯あつて委員付託、次いで
日程を追加して
一、軍需金融等特別措置法案(政府提出、衆議院送付)
一、臨時資金調整法中改正法律案(同上)

一、戰時金融金庫法中改正法律案(同上)
一、生命保險中央會法案(同上)
一、損害保險中央會法案(同上)
一、臺灣銀行法中改正法律案(同上)
の六件を一括上程、外資金庫法特別委員會に併託、同十一時十五分散會
☆ 豫 算 總 會
【二十七日】 午後四時十二分開會、臨時軍事費豫算追加案ほか一件につき

石渡藏相より提案理由の説明あつて同四時二十二分秘密會に入り、六時四十六分秘密會を解き、採決の結果全會一致原案を可決し十時四十八分散會した
【三十一日】 午後一時九分開會、石渡藏相の説明に次いで同一時三十分より秘密會に入り、午後二時三十五分これを解いて質疑に入り、岡喜七郎氏(交友)飛行機増産方策の實行力について質し吉田軍需相これに答へ、次で伍堂卓雄氏(研究)強力政治の運籌、特に行政の迅速滲透、要員制の現状、勞務行政の一元化、規格統一斷行の意志如何を質し、首相、厚相、陸相、海相、軍需相より夫々答辯、伍堂氏更に第二種工業部門の企業整備に關して質したのち午後五時五十二分散會

衆議院

☆ 本 會 議

日 一 廿
午後一時十五分開會、岡田議長より敵機の豐受大神宮宮城侵犯につき五日 天機並に御機嫌を奉伺せる旨報告、更に皇軍感謝決議に對し陸海軍より謝電があつた旨報告あつて後、小磯首相登壇、貴族院における同様施政方針演説を行ひ、次いで重光外相登壇、同僚外交演説を行ひ、次いで石渡藏相別項の如き財政演説を行ひ、終つて一般質問に移り、金光庸夫氏登壇、○戰爭指導の根本方針○強靱なる必勝國內體制確立○決戦行政の徹底○戰時外交の積極化の四項目に亘り質しこれに對し、小磯首相並に重光外相より夫々別項の如き答辯あり、中島彌國次氏軍需生産、勞務問題、輸送増産、財政及び増稅問題に關し質疑したのに對し小磯首相、廣瀬厚相、前田運通相、石渡藏相より夫々別項の如き答辯、次いで木村正義氏起つて國民生活と民心の安定把握、食糧、配給、物價、防衛等の諸問題につき別項の如き質問を行ひ、小磯首相、島田農商相、大達内相より夫々答辯あつて一般質問を終り五時二十七分散會

恩給法改正委員會 廿二日本會議散會後開會審議に入り翌廿三日採決の結果附託二案を原案通り可決
兵役法委員會 廿三日開會、廿四、廿五日午後兵役法中改正法案外二件原案可決
戰時民事特別法改正委員會 廿三日開會、廿四、廿五日討論別項の如き質疑應答あつて廿五日戰時民事外二案原案可決
農林中央金庫改正委員會 廿三日開會、廿四、廿五日討論、別項の如き質疑應答あつて二十五日農林中央金庫法改正法案外二件共原案通り可決
赤字公債委員會 廿九日開會審議に入り三十日赤字公債法外一件共原案通り可決

廿二 午前十時三十九分開會
一、昭和二十年度一般會計
歲出の財源に充つる等の爲
の公債發行に關する法律案
(政府提出)

一、金貨金特別會計法外五法律中改正法律案(同上)
一、外資金庫法案(同上)

一、軍需金融等特別措置法案(同上)
一、臨時資金調整法中改正法律案(同上)

一、戰時金融庫法中改正法律案(同上)
一、生命保險中央會法案(同上)

一、損害保險中央會法案(同上)
一、所得稅法外十六法律中改正法律案(同上)

一、地方稅法及地方分與稅法中改正法律案(同上)
一、船員保險法中改正法律案(同上)

一、地方鐵道及軌道に於ける納付金等に關する法律案(同上)
一、鐵道抵當法中改正法律案(同上)

一、日本通運株式會社法中改正法律案(同上)
一、郵便法中改正法律案(同上)

を順次上程、特別委員に付託又は併託、終つて故川上胤三氏に對し、松定吉氏、故飯塚茂氏に對し、宮崎一故福井甚三氏に對し、越智太兵衛氏よりそれぞれ弔辭を述べ、同十一時五十分散會

警報發令下 午後三時二十五分開會、日程を變更して
一、臨時軍事費豫算追加案
(臨時第一號)

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(追第二號)
を緊急上程、委員長報告あつて總員

起立裡にこれを可決、次いで日程に入り
一、會計法戰時特例中改正法律案(政府提出)
一、臺灣銀行法中改正法律案(同上)
一、恩給法中改正法律案(政府提出貴族院送付)
一、明治三十五年法律第四十九號國勢調査に關する法律の昭和二十年に於ける特例に關する法律案(同上)
一、兵役法中改正法律案(同上)
一、陸軍軍法會議中改正法律案(同上)
一、海軍軍法會議中改正法律案(同上)
一、現役青年學校職員俸給費國庫補助法案(同上)
一、戰時民事特別法中改正法律案(同上)
一、會社等臨時措置法中改正法律案(同上)
一、司法官試補及辯護士試補たる資格、特例に關する法律案(同上)
一、農林中央金庫法中改正法律案(同上)
一、産業設備營團法中改正法律案(同上)
一、石炭配給統制法中改正法律案(同上)
を上程、それぞれ委員に付託並に併託日程を追加して
一、昭和二十年度一般會計歲出の財源に充つる等の爲の公債發行に關する法律案(政府提出)
一、金貨金特別會計法外五法律中改正法律案(同上)
一、外資金庫法案(同上)
一、地方鐵道及軌道に於ける納付金等に關する法律案(同上)
一、鐵道抵當法中改正法律案(同上)

一、日本通運株式會社法中改正法律案(同上)
一、郵便法中改正法律案(同上)
を上程、夫々委員長報告通り可決、貴族院に送付、同四時四十七分散會した

卅

午後三時二十五分開會、日程に入り
一、船員保險法中改正法律案(政府提出)

一、船員諸士に對する感謝決議案を緊急上程、藤生安太郎氏より提案趣旨の辯明あり採決の結果滿場一致可決、これに對し前田運通政務次官謝意を表明、次いで日程を追加し
一、所得稅法外十六法律中改正法律案(政府提出)

一、地方稅法及地方分與稅法中改正法律案(同上)
を緊急上程、委員長報告通り可決、同四時二十三分休憩、豫算總會の審議終了を俟つて午後七時二十分再開、日程を追加し總豫算關係を一括上程、委員長太田正孝氏報告の後討論に入り西方利馬氏より贊成演説あつて採決の結果豫算關係各案を原案通り可決し更に日程を追加し
一、軍需金融等特別措置法案(政府提出)
一、臨時資金調整法中改正法律案(同上)
一、戰時金融庫法中改正法律案(同上)

一、生命保險中央會法案(同上)
一、損害保險中央會法案(同上)
一、臺灣銀行法中改正法律案(同上)
の六案を緊急上程、久山委員長より報告あつて可決同八時十二分散會

△船員諸士に對する感謝決議
大東亞戰爭勃發以來、御稜威の下皇軍善謀勇戰能く曠古の大戰果を収めたる亦以て船員諸士の烈々たる獻身報國の赤誠に負ふもの多し諸士或は皇軍に隨伴し凍絶なる砲煙彈雨に身を曝し百艱を冒して決死奮闘以て南洋輸送の大任を究らし或は敵襲を制壓して廣茅數萬里に亘る兵站の補給物資の輸送に奮身し以前線統後を直結して戦力増強に寄與する所極めて大なり全國民擧げて瞻仰感謝せざるなし、今や戰局危急を告ぐるに當り皇國隆替を決するもの懸りて海上補給の完壁に在りと謂ふべく國民齊しく船員諸士の熱烈なる團魂と敢闘とに期待すること今日より急なるはなし庶幾くは諸士益々憤激激昂國の誠忠を盡されむことを、衆議院に特に院議を以て船員諸士の偉功に對し深甚なる感謝の意を表すと共に今後益々自愛健闘を祈り併せて其の間命を君國に致されたる戰歿殉職の英靈に對し誠懇なる敬弔の忱を捧ぐ
右決議す

☆豫算總會

【二十二日】 第一日は午後一時十二分開會
一、昭和二十年度歲入歳出總豫算並に昭和二十年度特別會計歳入歳出豫算案
一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件
一、特殊財産資金豫算追加案
につき石渡藏相提案理由を説明、太田委員長から「戰爭指導方針」外交物價インフン財政○廣義の軍需生

産○廣義の國民生活問題○國內體制諸問題の六項目について審議する旨述べ、午後一時三十五分質疑に入る
安藤正純(戰爭指導方針) 嶺山政道(外交運籌) 兩氏と小磯首相、重光外相との間に質疑應答あり、次いで太田委員長重光外相より最近の國際情勢につき秘密會において説明した旨申出があつた旨を述べ、三時三十七分開會に入る、午後五時、秘密會を解き次いで杉山陸相より二十二日午後の大本營發表を披露して五時五分散會

【二十三日】 午前九時十七分開會、直ちに質疑に入り中谷武世氏(外交運籌)は小磯首相、重光外相及び緒方國語相と、次いで阿子島俊治氏(啓發宣傳方針)と小磯首相、杉山陸相、緒方國語相及び吉田軍需相、木暮武太夫氏(物價對策)と小磯首相、島田農商相、吉田軍需相及び石渡藏相との間に質疑應答あつて午後零時四十五分休憩、午後は一時四十一分再開、藤本捨助氏(戰時財政、國家資金計畫)と石渡藏相、船田中氏(軍需生産)と小磯首相、吉田軍需相及び前田運通相との間に夫々質疑應答あつて午後五時五十分散會

【廿四日】 午前九時十五分開會、質疑に入り喜多壯一郎氏(軍需生産)は吉田軍需相、三木武夫氏(資材、調辯、地方行政)は軍需相、首相、椎名軍需省總動員局長、小柳牧衛氏(國鐵運籌)と前田運通相と夫々質疑應答を行ひ、午後零時三十六分一旦休憩、午後一時三十二分再開、劈頭晴れの應召をした中谷武世氏に對し太田委員長より壯行の辭を述べ、更に杉山陸相より激勵の挨拶あつて質疑に入り小柳氏引續き質問、次で小山

亮氏(海運)は前田運通相、吉田軍需相、小野海運總局長官、米内海相、杉山陸相及び小磯首相と、河野密氏(勤勞對策)は小磯首相、重光外相、廣瀨厚相、吉田軍需相と、また本領信治郎氏(學徒動員と教育對策)は小磯首相、廣瀨厚相、今井文部政務次官、杉山陸相と夫々質疑應答を行つて六時五十五分散會

【廿五日】午前九時二十五分開會、質疑に入り先づ三善信房氏(農業生産)質問、小磯首相、杉山陸相、島田農商相之に答へ、次いで成島勇氏(農事と地方行政)と首相、大達内相、農商相との間に質疑應答あつて午後零時三十分休憩、午後一時三十分再開、西川貞一(水産計畫)石坂繁(農工調和、森林計畫)兩氏の質問に首相、農商相の答辯あつて後追加豫算案

一、昭和十九年度歳入歳出總豫算追加第一號
一、同特別會計歳入歳出豫算追加第一號
一、昭和二十年年度歳入歳出總豫算追加第一號
一、同特別會計歳入歳出豫算追加第一號
一、昭和二十年年度特別會計歳入歳出の五件を一括上程、石渡藏相より提案理由の説明あつて後質疑を續行、田中好氏(疎開方針)と大達内相、吉田軍需相、岸井壽郎氏と小磯首相、柴山陸軍次官との間に質疑應答あつた後、竹内俊吉氏(科學技術動員)と首相、八木技術院總裁、軍需相との質疑應答を終つて午後六時三十分散會

【廿六日】午前九時廿五分開會、川俣清音氏(勤勞體制と鑛業生産)質問、小磯首相、廣瀨厚相答辯の後、太田委員長より分科會の主査を指名同十時四十分分科會、同十一時二十分再開、作田高太郎氏(道義と價格問題)と小磯首相、大達内相、小笠原大藏政務次官、小山農商政務次官との間に質疑應答あつて十一時五十八分休憩、午後は一時十七分再開、作田氏質疑を續行、島田農商相中井司法參事官、重光大東亞相、緒方國務相、三浦法制局長官、前田運通政務次官これに答へ、次いで濱田尙友氏(物動計畫、新聞宣傳方策)吉田軍需相、緒方國務相と質疑應答あり、最後に政府に力強き斷的政治を求め四時二十分休憩、四時五十分三度開會、宮澤裕氏(對敵宣傳)と重光外相、緒方國務相、次いで、小磯首相(外交運籌)と重光外相、今井新造氏(最後は佐々井一晁氏(陸海軍需一元化等)と杉山陸相、米内海相、小磯首相との間に質疑應答あつて午後八時三十分散會

【廿七日】午前九時三十五分開會
一、臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)
一、昭和二十年年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)
一、昭和二十年年度特別會計歳入歳出の五件を一括上程、審議に入り、石渡藏相より提案理由の説明あり、同九時四十分秘密會に入り、十一時二十九分秘密會を解き休憩、二時七分再開、一、臨時軍事費豫算追加案(臨第一號)
一、豫算外國庫負擔となるべき契約

を爲すを要するの件(追第二號)の討論に入り、翼政會を代表して濱田文平氏賛成演説を行ひ、未嘗の尨大なる臨軍費豫算を喜んで調達するが政府はその費途について特に注意をせられたい、政府は物動計畫を確保すると共に機動力を發揮して軍需増産就中航空機の増産に必死の努力を致すと共にインフレーションに厳に留意されたい國民は生活を切りつめて完勝生活道を導進する決意に燃えてゐると要望、採決の結果空襲警報下八百五十億に上る臨軍豫算を可決して同十二分散會

【廿九日】午後五時三十分開會、豫算各分科主査より分科會の審議經過を報告し、その採決は總會に一任することに決定した旨の報告あり六時三十分散會
【三十日】午後六時三十分開會太田委員長と島田農商相との間に農業團體統制會社等の整備農産物價及び農産資材等について質疑應答あり、次いで太田委員長翼贊會が變質したる場合その經費をどうするか
石渡藏相 政府施策の變更ありたる處はその線にそつてその經費を處理する
太田委員長 委員會に於て約束した事項は急速に實行を要する、例へば物價對策審議會等の設置に關する政府の所信如何
小磯首相 豫算總會の席上約束したことは最も迅速に實行する
これにて質疑を終了政府提出の
一、昭和二十年年度歳入歳出總豫算案
並昭和二十年年度特別會計歳入歳出

外九件の豫算各案を一括討論採決に入り、翼政會を代表して山本榮吉氏一、一般會計及び臨軍費を通ずる純計豫算は一千八億の互額に上つてゐるが政府は國民の熱誠に應へて其の實行に遺憾なきを期せられたい、特に臨機即應の豫備金の運籌については審議會の設置實現を期せられたい、更に物價政策の重要なに鑑み其の對策を敏速果敢に實行せられたい、軍需生産については調辦價格の規準化を計られたい
一、外交は積極的國民外交を展開すべきである
一、軍需生産については企業の國家性を一段と明確ならしめる様適宜の措置を講ずべきである、一時的生産低下を憂慮することなく英斷をもつて處置されたい
一、山積する統制會社、統制會の整理を斷行すべきである
一、勤勞に對しては更に萬全の對策を講じ特に學徒をして眞に行學一致の實を擧げしめよ
一、輸送の重要性に鑑み陸上小運送の整備強化を計り特に船舶と運航の一元化を計られたい
一、科學動員については速かに國家的全力を傾倒してその増強に資せられたい

一、官紀振肅について政府の留意は認められるが更に國民の期待に背かざるやう努力されたい
以上の諸點につき政府に對し強力に要望して原案に贊成、採決の結果全會一致原案通り可決して六時五十五分散會

豫算分科會

衆議院豫算總會の各分科會主査は二十六日太田委員長より左の通り指名され、廿八、廿九兩日審議を行つた
第一分科(外務、司法、大東亞) 箸本 太吉
第二分科(内務、厚生) 卯尾田毅太郎
第三分科(大藏、文部) 杉山元治郎
第四分科(陸軍、海軍、軍需) 磯 物市
第五分科(農商) 森 肇
第六分科(運通) 伊禮 肇

委員

【廿日】衆議院では廿日の議院協議會で先議法案十五件の審議方法に關し協議の結果、左の五特別委員會を設置することに決定した、○赤字委員會、○軍需金融特別措置法委員會、○増稅委員會、○船員保險法委員會、○地方鐵道委員會

【廿二日】五特別委員會の委員長理事を左の如く決定した(○委員長)
一、赤字 ○伊豆富人、崎山嗣朝、原玉重、米田吉盛
二、軍需金融 ○久山知之、安倍寛池本甚四郎、九鬼紋七、佐藤芳男、頼母貞六
三、増稅 ○勝正憲、今成留之助、田中藤作、田部朋之、松田正一、吉植庄亮
四、船員保險法 ○村松久義、富田愛次郎、仲井開宗一、森田重次郎
五、地方鐵道 ○横川重次、宇田耕一、勝又春一、野口喜一
赤字公債委員會 廿三日より廿五日まで連續審議、廿七日午後左の附託三法律案を原案通り可決した、○昭

和廿年度一般會計歳出の財源に充つる等の爲の公債發行に關する法律案
①金資金特別會計法外五法律中改正法律案、②外資金庫法案、なほ三十卅一兩日併託議案を審議した
軍需金融委員會 廿三日より廿八日まで連續審議卅日、③軍需金融等特別措置法案、④臨時資金調整法中改正法律案、⑤戰時金融庫法中改正法律案、⑥生命保險中央會法案、⑦損害保險中央會法案、⑧臺灣銀行法中改正法律案の六件を原案通り可決した

増稅委員會 廿三日より廿五日まで次いで廿七、廿九兩日の審議を経て三十日午後、⑨所得稅法外十六法律中改正法律案、⑩地方稅法及地方分與稅法中改正法律案を原案通り可決した

地方鐵道法委員會 廿三日より廿六日まで連日審議廿七日、⑪地方鐵道及び軌道に於ける納付金等に關する法律案(政府提出) ⑫鐵道抵當法中改正法律案(同上) ⑬日本通運株式會社中改正法律案(同上) ⑭郵便法中改正法律案(同上)の四件を原案通り可決した

船員保險法委員會 廿三日より廿七日まで、次いで廿九、卅一兩日夫々開會審議した
恩給法改正委員會、兵役法改正委員會、戰時民事委員會、農林中央金庫委員會、産業設備團委員會は夫々廿九日より卅一日まで連日開會審議した

請願委員會 卅日開會

議 事 要 録

戰爭指導國內體制

戰爭指導會議の實體、22衆院豫算總會【安藤正純氏質問】

小磯首相 戰爭指導會議の法的性格については種々議論もあることと存するが實はこの機關は御承知の如く思召により出来上つたもので法的性格の問題に關してはこの際觸れたくはないと存する、運用はどうなつてゐるかといふお質ねであるが各統帥府並に國務方面から參畫してゐるが構成員の中には他の凡ての大臣がその時々の必要に應じて出席してゐることを申上げる、なほ統帥と國務の間に如何なる作用をなしてゐるかといふことについて申上ぐれば最高戰爭指導會議に關しては決定せらるべき問題の内で國務の立場上當然輔弼の責任に立たねばならぬ問題もあるが、さやうな場合には戰爭指導會議において決定せられる、直前國務に

御裁可を仰ぐものでも統帥に直接關係あるものもあるが、さやうな場合に

には同様の手續によつて統帥と國務の調整を完全に吻合せしめてゐる、大本營との關係はどうかといふと、大本營に參畫する首腦者は更に戰爭指導會議に參畫してゐるから戰爭指導會議と大本營との間に扞格拮抗を來たすやうなことはない、最高戰爭指導會議の責任者は誰かといふことについては責任者はない、統帥および國務の面において各々責に任じてゐる、戰爭指導會議において統帥と國務の吻合により戰爭指導方針が意見として合致した以上統帥は統帥の面において換言すれば専ら用兵作戰の面において輔弼の責に任ずべきものであり、又國務は國務と云ふ立場において輔弼の責に任ずべきものである、かくして國務統帥兩方面の輔弼により國務の運営は完全に遂行せらるゝと存する

を必要と考へてゐるので戰局の推移とも昵み合せその實現を期したき熱意と決心とを有するものである、③決戰行政の徹底については今日重要な問題であるから政府は更に深刻なる考慮を拂ひ官吏自ら戰局の重大性を正視して決戰即應の態度を持するやう吏道の刷新に努むると同時にそれら戰時行政の基礎となる各種法令の簡素化についても夫々方策を講じ行政の實績をあげんとする所信である、下級官吏の處遇改善については昨年これに關する措置を講じてゐる、官吏の自由任用については現在必要なる行政面に對しその道が開かれてゐるので有爲なる人材登用について今後十分考慮を拂ひたい、地方行政機構の機能擴充については過般政府の闡明せる緊急施策の根本方針に基き目下具體の方策を進めつゝあ

國內體制確立の實現を期す 21衆院本會議【金光庸夫氏質問】

小磯首相 ①戰爭指導の根本は軍官民渾然一體となり、物心兩面の總力を戰争目的の完遂に結集して果敢にこれを實行に移すべきをもつて基調とする、政府はこの見地から最高戰爭指導會議の潤滑なる運用によつて統帥と國務の吻合をはかり今後強力に國策の具現に當らんとするものである、而して議會は國民の代表機關として現下の決戰戰局にみて意義頗る重大であると考へ政府の企圖する

防衛を中心に軍事と行政面を直結 23衆院豫算總會【船田中氏質問】

小磯首相 地方行政協議會長並にその地方に關係ある軍司令官、鎮守府司令長官の間に別に直ちに連絡委員會を設定するわけではないが今後如何なる運営を保つて行くかといふことについては目下研究中である、然し大體の方向としては行政協議會長のもとに常に軍司令官並に鎮守府司令長官が必ず來るといふわけでもなくその時々必要に応じて軍司令官の所在地に他の兩者が集り或は協議會長所在地に他の兩者が集るといふことによつてその時々必要なるものを解決してゆかうとかういふ考へである、然らばどういふことに解決の重點を置くのかと申せば資材、勞務、施設といふやうな全般に亘つてこれを強力に進めて行かうといふのである、かくの如くして民間機構をこれに吻合せしめ軍需生産の増強に資して行きたい、細部運用方法等については目下起草中である
大連内相 一面には所在の軍司令官鎮守府長官といふ軍方面との連絡を緊密にすること更に他の一面に於ては行政協議會長が軍司令官、鎮守府司令長官といふ軍方面との連絡を密にし協議會の運営を強化し現下最も強力に實施するべき問題を解決する上の助けとしたい、軍事と行政の面の密接の連絡、吻合が防衛といふ點から合理的且つ誠に好都合であることと考へる大體は主として防衛といふことになるかと思ふが生産の増強といふ方面に於ても全然關係ないといふことは考へられない、一例を申すと緊急な勞務を要する場合に軍隊を出して貰ふとか云ふ點も一應考へるうちにに入れてゐる、なほこの地方行政協議會長の下に現在委員となつてゐる各官會の長との連絡調整も更に強化してこれを統一推進する、例へば地方軍需監理部の仕事もしよう、他の官會と直接の關係のない仕事については行政協議會長はこれを推進して行くやうな指示権を持つてゐるやうなことも一應考へてゐる、これが防衛並に生産増強の上に於て相當の効果を來してゐるものと考へる
小磯首相 行政協議會長の管轄する區域と軍の管轄する區域と一致しない處が從來あつたが一致するやうに調整を加へつゝある、尤も一つの行政協議會長の管轄區域内に二つの鎮守府が入つてくる場合もあり、また

軍事・國防

一つの軍管區の中に二つの協議會長區域が入つてゆく場合もあらうかと
思ふ

大達内相 行政協議會は地方行政の
面から軍の管區はまた別途に夫々の
見地から管轄區域が定められてゐる
から區域の違ふ關係から簡單に連絡
がうまくゆかないことがある、これ
は出来ることならば林帥關係で地方
行政協議會區域をも差しつかへない
程度で調整出来るものは調整してゆ
きたい、かう云ふ風に私共は感じて
ゐるのであるがしかしとも違ふ
見地のものであるからこれを絶対に
合せてしまふといふことは出来ない
ことである、それから資材努力とい
ふものも夫々の地方々々によつて環
境が違ふ、今回の措置によつて擧げ
られた五大施策殊に軍需生産といふ
ものはこれによつて萬能的に發揮出
來るといふ風には考へてゐない、と
に角今日の切迫した情勢に應じて相
當な期待をかけてゐるが、これだけ
でうまくゆくかと云ふ風には考へて
ゐない、とにかく行政協議會長と云
ふか或は少くとも地方長官といふか
この方面は今月の時局下何と考へて
その力を軍需生産の増強にあらん限
りの力を擧げて寄與したいといふこ
とは非常にこれは根強い旺盛なもの
であつて、たゞ諸般の關係上必ずし
も地方官の考へてゐるやうに總力が
出來て居らぬ點はある、この點も今
回の措置によつて相當に期待をもつ
てゐる

防衛召集は防空沿岸その他の警備
衆院豫算第四分科會【本領信治郎氏
質問】

那須兵務局長 ①防衛召集は軍動員
と總動員との關係を考慮して且つ急
速に空襲その他の防衛に對して應ず
る趣旨から出來てゐる、従つて平時
は自分の職場に働き、必要に應じて
短期間その任務を盡す見地で出來て
ゐる、従つて業務は防空及び沿岸そ
の他の警備である、直接軍召集とし
ての任務達成に必要なことを主とし
てするがこの間民防の見地から必
要に應じて積極的に協力する場合は
ある、②防衛部隊に與へる任務はそ
れを指揮する部長が最も必要と思
ふ、民防空の任務に當つてゐるわけ
である、民防空の任務に當つてゐるも
のをとることも起るし他から協力す
る場合もある、家を焼かれたものは
防衛召集しないでもよいやうに規則
も出來てゐる、その地域のものを隣
組的、警防的に働かすがよいか、軍
として強力なる軍規軍律のもとに働
かすのがよいかといふことは各意見
のあることと思ふから軍としては或
程度の強力なる軍規觀念に達した
ものが必要と思ふ、③防衛召集解除
の時期については私も過去に拙い點
があり、最近のやうに頻々として敵
の少數機が侵入するやうな状況にお
いては必ずしも實情に合ふやうにな
つてゐないこともあるのではないかと
思つてゐる、従つてこれに即應ず

るやうに對策を講じつつある、しか
し常に一機しか來ない前提のもとに
やることは出来ない、また末梢の方
の部隊がもう敵は行つたものと思つ
て勝手に解除することが全般の情勢
判斷上多大なる齟齬を來す、やはり
ある程度の判斷があるものが解除を
決めないと思はざる不覺をとる、實
情に即應するやうに今後指導し少
數機の場合も多數機の來襲の場合も
遺憾のないやうに對策を講ずる
郷軍の組織更に強化 衆院豫算第四
分科會【吉田貞次郎氏質問】

那須兵務局長 ①大東亞戰爭以來軍
としても會の活潑なる働きを強力に
期待してゐるとも會員また在郷
軍人會としての本分を盡してゐる、
その活躍の部門については戦局に應
じて、軍がその點が必要であると思
ふことを行ふのが適當である、軍と
しては今後更に皇國護持の精神を基
とした國民精神の振作、軍需生産、
食糧増産その他の生産の増強に特に
活躍を希望してゐる、なほ先般防衛
隊を編成して在郷軍人會が對敵抗
戰の中核として國民の抗戰の中核で
あることに更に期待してゐる、軍は
今後倍舊の期待と從來以上の支援と
指導を加へ健全、且つ強力なる發達
を強く希望してゐる、なほ組織その
他については目下研究中であるから
凡ゆる方策を講じて國民の中核たる
の實を擧げる點について更に強力具
體的に効果を擧げるやうに研究して
ゐる、②本年度の國庫補助金は昨年
より劃期的に増加し在郷軍人會の強
力なる活動に遺憾なきやう期してゐ
る、しかしそれでも不足する場合は
更に軍當局においても考慮されるも
のと考へてゐる、③在郷軍人會員の

獻身的なしかも長年月に亘る活動に
ついて進級並に恩賞等については軍
として從來も努力してゐるが、本會
の強化を機として改めて更に研究考
慮したい、しかし第一線の苛烈なる
戦闘に従事してゐるものとの均衡も
あり、最近の戰爭開始以來この點に
ついて困難な點があつたが、これ
を兼ね合はせ、また進級等につい
ては既に所謂狹義の兵役圏内から離れ
た人々が所謂、この人に對する進級
は俄かに實施し難い點もあり、それ
らの點も併せて考慮してこれが強化に
ついて至急研究する

遠藤主計課長 ①應召軍人留守宅手
當の増額は種々研究を續けてゐるが
いま大體考へてゐる行き方は軍人援
護の強化促進によつて行きたい、従
來から軍人援護を受けることが恥し
いといふ氣分が存在してゐるやうに
思ふが、さういふ氣分を脱するやう
な方法で軍人援護の運営を強化して
行く

陸軍獻金累計七億七千餘萬圓 豫算
第四分科會【柴山陸軍次官説明】
大東亞戰爭勃發後昨年十二月までの
獻金件数は百三十八萬九千餘件、同
金額は七億七千七百餘萬圓、獻金件
数は三十七萬七千餘件である、支那
專變當初からの合計は國防獻金七十
三萬四千餘件、恤兵金百六十二萬六
千餘件、學術獎勵金八萬餘件である
金額にすれば國防獻金七億七千九
十七萬餘圓、恤兵金一億四千三百七
十二萬圓、學術技術獎勵金千五百四
十八萬餘圓合計九億三千百十八萬餘
圓である、これらはいづれも熱烈な
國民赤誠の結晶であつて、この中
には特別攻撃隊將士をはじめ前線よ
りの獻金が多數含まれてゐる、また

統後の獻金をめぐる美談の數々につ
いては枚擧の違ない次第で、常に統
後國民の陸軍としては數々の獻金美
談を美談集その他前線における新聞
雜誌等に掲載し、その感激を前線に
傳達してゐる、國防獻金の使用につ
いては特に寄贈者の趣旨に従ひ最も
緊要とする兵器その他の國防資材を
整備することとしてゐる、昨年十二
月未だに整備した主なるものは飛
行機五千九百七十二、戰車裝甲車二
百七十九、各種火砲二千八百五、各
種機關銃二千五百一、聽音機二百
五十八、探照燈百五十、發動機七百
五十八、その他各種自動車、航空器
械、通信器械等の類である、また國
防獻品については金屬、日本刀、軍
需毛布、軍鳩、軍犬等の類であつて
これらは國防獻金で整備した軍需資
材とともに前線並に本土の防衛部隊
等において使用し直接作戰に大なる
貢獻をしてゐる、従つてこれらにつ
いては特別の考慮をはらひ獻納者の
誠意を永く尊重する意味において航
空機の如き消耗兵器にあつては消耗
後も別に國費をもつて製造した同じ
型のものにその名稱を踏襲させ、永
く獻納者の好意を感謝する取扱をして
ゐる、また恤兵金は出動部隊に對
する恤兵品の購入費、戦死傷病者等
に對する弔慰金、見舞金、慰安施設
等に使用した、恤兵品は直に各地派
遣部隊に送附して統後國民の温い御
後援を第一線に傳達してゐる

海軍獻金八億三千餘萬圓 29豫算第
四分科會【岸田海軍政務次官説明】
昭和十二年支那專變勃發當時から海
軍で受理した國防獻金は六億八千六
百六十萬三千四百十八圓、恤兵金一

百六十萬三千四百十八圓、恤兵金一

百六十萬三千四百十八圓、恤兵金一

億三百七十六萬四千六百五十八圓、學術技術獎勵金は千九百六萬六千四百一圓その他獻品として約千七百六十四萬四千六百八十三圓、以上の合計八億三千六百三十三萬八千六百六十圓の多きに達してゐる、右は昭和十九年十二月末日までの分で件數にして四十萬五千五百二十餘件となり、うち數百人、數千人の朝鮮を一まとめにしたものもあり、朝鮮、臺灣、滿洲、中華民國、南方並に海外、よりの分も含まれてゐる、従つてその人數は數千萬人の多きに上りわが國民全部の獻金が彙集されてゐるものといへる、國民各位の熱誠は逐年増加の傾向を見せ、昨十八年度即ち昭和十八年四月から十九年三月までの二億三千七百三十二萬八千餘圓に比し、十九年四月から十二月末までは三億三千四百萬四千餘圓で、この間約一億圓の増加を見てゐる、これ等の使途は獻納者の意志を尊重すると同時に海軍が最も有効適切と認められた面に支出するため海軍次官を委員長とする運用委員會をつくりこれを決定、獻金は飛行機その他各種兵器に、恤兵金は傷病兵の慰安、戦死者の弔慰その他に、また學術技術獎勵金は船舶、兵器等に關する學術、技術の獎勵に當ててゐる

【宮澤裕氏質問】 新兵器といふのは八木技術院總裁 新兵器といふのはただ一品を出して太平洋に敵が一兵もあなくなるといつたものは困難だがその種類も何十種類と考へられず程度の低いといふか簡単な新兵器はすでに戰場に於て相當戰果をあげてゐると存する、そのやうなものが何

新兵器既に活躍 26衆院豫算總會

【瀨山政道氏質問】 山内海相 昨年陸海軍次官を委員として民間有識者を網羅した委員會を設け、目下相當活潑に毎週一回か、十日に一回集まり大いに研究を進めてゐる、將來期待に副ふことが出来ると思ふ

十も出来てそのなかには私が先日申上げた必死に非ず必中といつたやうなものを得たい、春風は吹きそめてゐるかと私は承知致してゐる

【小電波兵器對策】 24衆院豫算總會

【山内海相質問】 米内海相 昨年陸海軍次官を委員として民間有識者を網羅した委員會を設け、目下相當活潑に毎週一回か、十日に一回集まり大いに研究を進めてゐる、將來期待に副ふことが出来ると思ふ

【植松練磨氏質問】 31衆院兵役法委員會 最近新聞情報などにおいて一時軍動員計畫を減らしかつてゐた米國が再び増しつゝある狀況も聞き、英國はいよいよ軍動員計畫においても總動員計畫にも困難なつゝある狀況である、これに對するわが國の動員狀況は交戰各國に比較して軍動員兵力は最も餘裕がある、然しながら生産機械、機械技術などの關係上我國の總動員要員は米國などに對して單位當りには餘計に人間が要するやうな關係もあり、その方面の狀況は敵側と大體大差ないのではないかとみてゐる、従つてこの間に處し當面する戰爭完遂のための軍動員兵力については既に關係各廳と充分連絡し、陸海軍所要の軍動員兵力を抽出して總動員要員には支障のないよう準備に着手してゐる、然しながら軍動員兵力を抽出するために行はれるところの總動員の準備もなほ充分とは行かない點があり、この上にも實施方面に總動員の重點配給、機動配置などについて努力を要する、なほ今後の戦局に即應して更に軍動員兵力の要る場合などに關聯

し、更に諸般の情況を見透せばまだ出る餘地がある、然しながらこの點は空襲その他に伴ふ生産減或は不要工場から逐次餘つて来るべき人員、進んでは學校の強度なる縮減により餘し得た人員、或は更に強度なる不要産業の整備などによつてやる必要もある、またそれとの睨み合せにより出る程度は違ふが大體の見通しとしては差當りやまらざる軍動員兵力に支障がないのみならず、更に戦局と睨み合せ創意工夫努力し果敢に實行すれば軍動員兵力については壯年男子についてもまだ資源は出来るものと考へてゐる

【猪野毛利榮氏質問】 31衆院兵役法委員會 那須陸軍省兵務局長 徴兵検査の観点からみて近年逐年低下しつゝあつた國民體位が大東亞戰爭勃發後國民の食物の悪い割合には低下してゐない、寧ろ體位の下降曲線が水平となり最近幾分上り氣味であるが、部分的に弱くなつた部分はあるが、全體的には現在の壯丁は明治時代の壯丁より、身長體重とも増し體力の點から見て寧ろ上つてゐるのではないかと思ふ、大東亞戰爭を勝ち抜くだけの體力と知識は十分もつてゐると思ふ

外交問題

【瀨山政道氏質問】 22衆院豫算總會 外交指導の基調 小磯首相 戦時の外交は軍事と表裏一體となり、締盟國との友好關係を持續しつゝ進めねばならぬ、現在最高指導會議の決定により外交を強力

に實施してゐる

【井新造氏質問】 26衆院豫算總會 今わが戰争目的 皇國日本が肇國以降八紘爲宇の大義名分を掲げて世界に臨んでゐることは今更答辯するまでもないが未だ遺憾ながらこれが心底において外國人に徹底してゐない、今後これを更に一段と徹底して眞に日本の正しさを克く諒解せしむるやうにしたい、また戰爭遂行に對する意思に隨從せしめるといふ處にある、然し日本の戰爭目的は肇國以來炳として定まつてゐる、即ち天業を中外に恢弘するといふ處を以て字とするといふのが戰爭の本當の目的だと思ふ、外務大臣が不脅威不侵略と申ししたのは私が今申しした意味の反面に外ならず

【瀨山政道質問】 28衆院豫算第一分科會 不脅威不侵略の世界建設 重光外相 ダンパトントークス

【瀨山政道質問】 28衆院豫算第一分科會 不脅威不侵略の世界建設 重光外相 ダンパトントークス

【瀨山政道質問】 28衆院豫算第一分科會 不脅威不侵略の世界建設 重光外相 ダンパトントークス

戰地域と看做して、この方面の在留邦人は全部奥地に強制的に移住せられる等米國方面においては十ヶ所の集團生活所に收容された、然しこれは家族と一緒に生活が出来大きな日本人部落のやうな形式になつてゐる、カナダも大體同様である、メキシコ、ブラジル等に於ても一定地域に居た邦人は一部分強制的に移住させられてゐる、併しこれは移住先において今のところ自由の生活が出来てゐる、また中南米のペルー、ボリヴィヤ等の在留民の一部分は米國の方に移送されてゐる者もある、印度方面においては印度そのものに居る邦人と馬來、ビルマ、セイロン方面に居た在留民が一緒に印度の方に集められてゐる、開戦當時印度の抑留狀況は非常に悪かつたが、これについては利益代表國を通じて改善に努めた結果、最近は従来よりよい場所に移され餘程改善の跡がある、濠洲、ニュージランド、ニューカレドニア方面においては濠洲に居る邦人と共にこれは全部抑留されてゐる、英本國においては現在三百人程残つてゐるが抑留されてゐるのは極く少部分である、このやうにして昨年未だの數字を全體的に申すと抑留されてゐる者全部で約一萬人、集團生活を營んでゐる者十一萬七千人、その他敵國に居る者全部を合計して五十五萬四千人といふ數字になつてゐる、尙ほ一言したいのは米國方面においては従来太平洋岸地區から奥地に移送されてゐた邦人を戦局その他の關係から強制移住の命令を解き、原住地に歸してもよろしいといふ措置をとつた、これは舊臘十七日に決定され、今年一月二日から實施するといふこ

財政・金融施策

となつた、その結果原則としてこれら集團生活所に居る邦人が原住地に歸ることが出来るやうになつたが、然し太平洋岸の對日感情等もあり、又これらの邦人の持つてゐた資産に手をつけられたものと相當ある事情もあつて、現在のところこれに應じて實際上歸る者は極めて少いといふ状況である、この點については利益代表國を通じて實情を調査してゐる、待遇の改善についても利益代表國を通じて極力努力してゐる、利益代表國の外交法王廳、國際赤十字委員會等に依頼してこれらの抑留者、集團移住者は屢々訪問して貰つて實情を調査し報告を得、それに應じて最善の努力を續けてゐる、救済並に激勵も多額の豫算を以て困つてゐる者に充分救済の手が行き届くよう各方面とも努力してゐる、民間團體たる日本赤十字社、敵國在留同胞對策委員會等が機會ある毎に救恤金品を送つて慰問激勵に當つてゐる、本年の元旦に際して外務大臣からこれら各地の同胞一般に對して國際赤十字社を通じて年頭の餅を送つたがそれ對して抑留者等の代表から帝國の完勝を祈りつつ日本人の體面を維持して元氣でやつてゐるといふことを確然と返事の中に載せて來てゐる状況で、これが五十六萬在外同胞の一致した氣持であると察せられる。

出先外交機關の權限強化 28衆院豫算第一分科會【牧野良三氏質問】
重光外相 大東亞戰爭が重大段階にある今日において大東亞諸民族に對する政策を誤つたなら直ちにこれは戰爭の運行にも影響を及ぼすものであり、大東亞總力結集のためには慎重考慮の上施策を進めてゐる、現在

南方においても支那においても交通運輸は著しく困難となつて來てゐるので、これに對しては出先機關に大きな權限を與へ情勢に應じて善處させることを以て既にこのための措置を數ヶ月以來とりつゝある、當面の問題はワイリピンであり、この施策については將來緊急に色々なことが必要と思はれるが、その時は遲滞なく善處したい。

回教政策は親和、協力、相互尊重 28衆院豫算第一分科會【四王天延孝氏質問】
重光外相 大東亞在任の回教徒の大部分が被壓迫民族である以上、帝國としてはそれ等回教徒の解放に全力的援助協力を惜まぬことは申す迄もない、最近トルコ政府は帝國との國交斷絶に出たが、右はトルコ外相のわが栗原大使に對する陳辭にも明かなる如く、英米の強要によるものであり、トルコ政府の意によるものではない、従つてかかる措置が何等回教徒の意志を代表するのではないことはいふ迄もない、帝國の回教並に回教徒に對する政策はインドネシア民族の獨立許容に明かなる如く、回教徒をしてその所を得しむるにある、帝國としてはあくまでも大東亞宣言の精神に則り、回教に對しては親和協同相互尊重及び援助の方針を堅持してゆく積りである。

中國の經濟改善に努力 21衆院本會議【金光庸夫氏質問】
重光外相 現下の國際情勢をよく洞察して我が主義主張の實現に努力することこそ外交の積極化であると信ずる、外交の具體策については外交の五原則を基調としてこれが具現に積極的に進む決心である、特に善隣

友邦の關係については最も力をつけたいと考へてゐるので中國に於ては全力をあげて米英の侵略勢力を驅逐し全面和平の實現に努力するとともに窮迫せる經濟狀態の改善に對して經濟新政策とも稱すべき施策をひつぎげて中國側と相拂へその改善に盡力したいと考へてゐる。

中國全面和平の實現強力支援 23衆院豫算總會【中谷武世氏質問】
重光外相 大東亞宣言の精神が東亞人に充分徹底し、支那が東亞の大義に復歸すれば東亞の安定は齎されるのであり、これが支那問題解決の骨子である、而して重慶が東亞に復歸することを妨げてゐるものは支那における米國勢力であり、軍事上にも政策上にも米のアジア謀略の勢力を破砕することが重要である、重要工作は直接の問題としては専ら中國内部の問題として中國人が率先してこれに當るべきものである、帝國が飽くまで大東亞宣言の趣旨に基きその徹底を期し中國をしてその精神に歸着せしめるやうに施策を進めて行くならば、中國人士の間において和平の途を見出すに非常に強い支援に思ふと思ふ、しかし帝國において直接その方面における施策は勿論餘すところなくやらなければならないと思ふ、故汪主席は國父孫文の遺志を繼いでアジア主義をもつて起ち、また南京政府の成立に際して全面和平の主義をもつて起つて來たのである、その遺志を繼いで今日局に當つてゐる陳公博氏等は熱烈にこの大精神を體して支那の局面を救はんとしてゐるやうに見受けられる、これに對しては凡ゆる援助を致し施策を進めて

行きたい。

の程の國民投機心を狙つて行ふ購買力吸收策には限度があり、また國民に國債の如く強制すべき性質のものではないと考へてゐる、福券は三月頃もう一度發行して後は富籤を引ついで行くつもりであるが富籤を以て莫大な資金を吸收しようとする事は以上のやうな経験より見て無理であり、また強いそれをやらうとすれば貯蓄の本體に悪影響を及ぼす弊害が起ることも考へられる、従つて貯蓄の本道を通じては捕捉出來ぬ資金をある程度集めるといふ各國の例になつて大きな計畫とはしなかつた。

價格差補償金と豫算膨脹 23衆院豫算總會【木暮武太夫氏質問】
石渡藏相 價格差補償金は豫算増大の原因と思ふが、戦時下においては補償金交付を持続して行くのを適當と思ふ、金額をやるか一部分をやるかは状況による、物資によつては價格を引上げる方が適當と思ふものもある、然し軍需物資の補給金の撤廢といふことは政府が買上げてゐる關係で結局豫算に出て來るものでありこれまで通り補給金でやつて行きたい、然し種々の検討の要はある、戦時物價審議會においても研究したい。

前渡金運用に注意 23衆院豫算總會【藤本捨助氏質問】
石渡藏相 昨春來種々問題となり前渡金を資ふ陸、海軍需省と協議した結果濫用せぬやう通牒を出した最近に寧ろ窮屈になつてゐる傾向がある小會社に流れる前渡金までも制限すると軍需品の生産そのものにも影響があるので慎重に考へなければならぬ。

富籤發行計畫 25衆院豫算軍需金融委員會【宮崎一氏質問】
石渡藏相 富籤は一億五千萬圓づつ年四回、合計六億圓發行の豫定であり、その半額三億圓は國庫の收入とし、これは追加豫算に計上してゐる。残りの三億圓弱を拂ひ戻しと發行費用に當てる考へである、一等の當り籤は目下研究中だが、たかだか十萬圓程度で、それ以上にはしたくない高額の割増金をつけるより一等割増金は比較的少額でも富籤本数を多くする方法が永續性があると考へる。どの程度を公債で拂ふかは目下研究中で、副賞に物をつけることは通貨の信用維持に努力してゐる際どうかと思ふ。

▲富籤の名稱は「勝札」なほ石渡藏相は同委員會に於て松本治一郎氏の質問に答へ、近く發行する富籤の名稱は「勝札」賣出額面は十圓、抽籤及び賣出は多くの部分を勸業銀行に委託して行ひたい旨述べた。

富籤による資金吸收には限度あり 28衆院豫算第三分科會【川崎克氏質問】
石渡藏相 資金の性質を分類すると投資資金、貯蓄資金ならびに投機資金の三つになると思ふ、しかし前者の投資資金と貯蓄資金は大きな額にのぼるにしても投機資金と言ふものは存外大きくはないのではないかと思ふ、その實例として昨年福券を發行した結果によると第一回五千萬圓は賣切れとなつたが、第二回の一億圓は八千二百萬圓迄は賣れたが一千万圓は賣れ残つた、従つてこ

財產稅設けず 26衆院増稅委員會【駒井重次氏質問】

石渡藏相 分類所得税を實施してゐる今日理論上も實行上も考へられない、財産没収に當る非常時財産税は少くとも戦時中行ふことは不適當と考へられ又財産増價課税の財産税も實行上困難がある、要するに相續税以外に新たな財産税を起す考へは全然ない

銀行國營考慮せず 27衆院赤字委員 會【鈴木正吉氏質問】

石渡藏相 現在の經營内容を見るに資金の大部分を軍需金融に廻し、一面においてまた多額の國債を買はねばならぬ實状にある、銀行が日銀に借りた資金が多過ぎ、銀行が營利主義であるためその間利息を圓ののではないかといふ向もあるがそのやうな餘裕はないと見てゐる、預金で集める資金が足らず國債は買はされるのでその足りぬ分を日銀に行くといふことになつてゐると思ふ、このやうなわけで必ずしも銀行を國營にする必要はなく、また國營にするつもりもない、銀行が自分の損益では賄へぬやうな資金は戦金や興銀が債券發行で調達した資金で賄つてをり、金融機關に關する限り現在の儘でやつて行きたい

金融機關の損失補填別途考慮 26衆院軍需金融委員會【池本甚四郎氏質問】

石渡藏相 金融機關の損失を國家で補償するか否かは問題があつた點であるが補償すれば銀行は骨を折らないことになる懸念があり、補償しないければ銀行は融資に臆病になるといふ懸念がある、それでは建前として軍需金融機關には損失が起らないこととし、若し損失が生じた場合は積立金で補填し又金融機關が融資に應じ

難い場合は戦時金庫、興銀に融資を命ずることとしたのである、なほ情勢の變化により重大な事故の發生した場合に別途對策を考へることにしてゐる

保險の直接國營考慮せず 23衆院豫算會【藤本捨助氏質問】

石渡藏相 政府は今回生命保險、損害保險双方を通じ國營再保險の措置を講じ國民の生命財産の安定に資することを以てしたが、保險事業を全部國營に移すことは全然考へてゐない

貯蓄割當を適正化 28衆院軍需金融委員會【一宮房次郎氏質問】

小笠原大藏政務次官 國民貯蓄運籌委員會は貯蓄割當の適正化を主たる任務としてゐる、隣組内の個々の貯蓄を適正にするため市町村に設置する委員會は町内會長隣組長なども委員に加へることにしてゐるが、隣組員が不適正な貯蓄割當を受けた場合この委員會に申出で是正してもらうことも出来る、なほこの委員會には「見立割り」といふ権限があつて新興所得者に對し適正な貯蓄割當を行ふことが出来るので新興所得階層の貯蓄吸收に大いに利用したい

共榮團爲替換算率變更の意なし 24衆院赤字委員會【二田是儀氏質問】

石渡藏相 金の將來における貨幣的役割を現在見透すと云ふことは困難な問題である、金を國際貨幣として用ひるか否かは一方的に決定され得ず、相手國の事も考へねばならない、しかし尠くとも今日では帝國は勿論世界においても金によつて戦争してゐるものではなく戦争の終結に至る迄金の役割は大して重要でないと言へる、戦後の問題として金を用ふるか否かは豫測することは困難であ

るが、わが國としては大東亞共榮圈内では金を貿易決済には用ひる意思なく、物と物の有機的決済方法を以てこれに代るものとしたたい、また大東亞共榮圈内の爲替換算率は從來の古い考へ方で行けば物價の騰貴が起れば變更されねばならぬ事になるが、現在政府としては全く變更の意思を持たない

惡性インフれ抑壓の決意 27衆院赤字委員會【鈴木正吉氏質問】

石渡藏相 支那事變以來八年に亘る大戦争を繼續してゐるため資金の増加、兌換券の増發物價の騰貴など戦時經濟に附隨する當然の結果が現れてゐるが、現状を以て惡性インフれなりや否やは断定出来ない、支那におけるが如き、またはギリシヤにおけるが如き極端なる通貨膨脹や物價暴騰はまだわが國には見られない、通貨の膨脹、公債の未消化といつた現象は交戦各國どこにも見られる狀況であり、わが國における最近の狀況は完全であるとはいへぬが、よくその弊を抑止してゐると思ふ、大體インフれは通貨の膨脹のみによつて起るものではなく物の面よりの物價騰貴も避けられない、従つて生産増強特に食糧増産が必要で、わが國においては昭和十二年以來農産物の増産に成績をあげてゐるが、これはインフれ防止に大いに役立つてゐると思ふ、また輸送の問題も重要であるその反面通貨の發行を少くして流通を出来る限り適正化し一旦放出された大資金を吸収することは最も根本的な問題で、大藏省としてはこの點に飽くまで努力を傾注したい、今後の見透しはどうかといはれたが大藏省としては以上の線に沿つて出

来る限り通貨の價値維持、物價昂騰の抑止に萬全を期して行く決意で豫算についても陸、海、軍需その他各省一致して強力且つ正確にこれを實行して行かねばならぬ、また、單に政府のみの決意ではインフれを抑へることは不可能で官民一體となり國民の側においても開取引の防止貯蓄増強等各般の分野において政府と協力して進まねばならぬと思ふ、かくてインフれ抑壓に効果があ

り、また禁壓出來ると信ずる、二十年度豫算總額は陸軍費が八百五十億となつた、これを實行するに當つては特に國民の協力が絶対に必要で、政府としても資金の行使には充分留意して實行上より生ずる弊害を出来るだけ少くする必要ありと認めその決意で進んでゐる、今回の國家資金計畫では從來産業資金は六千億と據置かれて來たが實状はその倍も出てをり、そのため公債未消化額も多くなつてゐるので今回は從來の行がかりを一掃して百三十億圓と見て、現實に即した確實なる貯蓄目標額を策定し實質的な購買力吸收達成に進みた

れに與へるかといふことは深く検討を要すべき問題で單に一律に國家管理にするが宜しいといふやうな簡易なる結論が片付けられることはやゝもすれば最も重要である生産の減退を來すやうなことになる、それではなんにも役に立たない、従つてこの點慎重なる考慮を要する

企業と勤勞の國家性を明朗化 26衆院豫算總會【川俣清吾氏質問】

小磯首相 國務の氣魄としては生産面を通じて國務が作戦を推進する、如く昂揚することこそ必要である、決戦下軍需生産を擔當する企業は國家目的達成の責任に沿ひながらその有する一切の責任と能力とを戦力増強の一點に集中して戦争完遂に邁進しなければならぬことは當然である、政府は從來軍需會社法等の運用により企業に對する國家性昂揚に努めて來たが、最近に於て勤勞體制の國家性徹底と云ふことを實施するつもりである、而してこゝに照應して企業の方面も更に一段と國家性を賦與してゆくことが必然肝要である、ひれには企業に對し資金の援助を與へその有する經驗に對し安定性を與へて行くことが必要であるばかりでなく現在の軍需會社法に基く責任生産體制の運用についても十分改善努力して行く必要がある、たゞちに國家管理でゆくといふことはやゝもすると生産を減退せしめ前述の方針に合致しないこともあるから慎重に取

りからつてゆかなければならぬ、國家管理を一律に實行せねばならぬといふことには承服出來ぬ、國家管理を實行するものもある、國家管理をやらぬといふものではない、生産を増強し得るものに對しては國家管

生産對策

一般一業企

政府は企業をどうみる 24衆院豫算總會【河野密氏質問】

小磯首相 企業の運籌を國家目的達成の高き理想に合致せしめて行かねばならぬことは特に戦時時局下重要な問題であると思ふ、然らば國家性を如何なる形においてこ

理をやるものもある、しかしうつか
りやると生産がよく出来てゐるもの
を却つて減退させるかも知れぬ、理
念に捉はれて一概に一律に國家管理
をやつてゆくことは危険性がある
企業共同體制計畫價重を要す 24 衆
院豫算總會【喜多壯一郎氏質問】

吉田軍需相 ○個々の重要軍需企業
に充分な生産責任を持たせ、國家は
これを強力に支援し足らざるを補ふ
について力を致すと、もに各企業が
全體の一團の企業としての統制され、
この統制力に依り全般的な増産を行
はねばならぬ、とより今のまゝの
姿でよいとは當局も考へてゐない、
○各工場の隣組的な協力は相當効果
があり美しい結果を齎らしてゐる、
しかしこれは官廳の親切な指導幹旋
があつて行はれたものが主である、
今回の協議會組織の強化は相當役立
つことと思ふ、しかしこの仕組み、
生産の共同經營、國家のこれに對
する共同補佐といふところまで制度
的に推し進めると云ふ事は慎重に考
慮しなければならぬ、現に生産は
動いてゐるのであり、現實の問題と
して隣組のやうな美しい協同體制で
生産が出来れば問題はないが、種々
の事情によつてそれが出来難いとい
ふこともあり、全面的な制度の變更とい
ふことになつて生産に悪影響を及ぼ
すやうでは由々しいことになる、從
つて今日政府はかうやるんだといふ
決意の下に計畫立案中といふところ
迄參つてゐない、この問題について
は精細に検討し生産を落さないやう
にその結果迄考へて慎重に工夫せね
ばならぬ

企業集團制、實情に即して考究 23

衆院豫算總會【田中貢氏質問】
吉田軍需相 ○高能率企業に實力を
伸ばさせることはどの産業でも同様
だが、今日は高能率に企業集中する
と同時に、低能率のものにも生産を
擔當させる必要もある、○個々の企
業が力を合せて働くといふ意味で效
果が昂まり、生産が擧るならば實行
しても良い、然し統一的に實行する
ために多くの無理が伴つては困るの
で實質的に對處して行きたい、
系列の有機的運營に努力 31 衆院設
備團委員會【上田孝吉氏質問】

美濃部部長 企業系列の亂れたので大
原因が所管官廳側にもあつたので大
前提として先づ工場の所管を定めた
これは殆んど大部一全部といつても
宜しからうがその所管を決定し右
に基き系列を作つた、系列整備は第
一次の下請工場についてはかなり出
来るが、第二次、第三次になると複
雑なるが故に、また資材、生産の狀
況が變化したが故に、豫想した如く
順調に進んでゐるとはいひ難い、從
來、中小機械工業の生産を見るに色
々な仕事が出来るやうに小さいなが
らも一應の設備を持つてゐる、故に
一つの親のみに屬してゐるは設備の
全部が動かねばならぬやう、設備の
轉換まで行はねばならぬことにな
る、戦局の進展に伴ふ生産の重點化
も系列整備の完全化ならざる一因が
ある、更に親と子の系列整備の出來
たものが有機的に動いてゐるかとい
ふと、これについては協力會を作り
資材、勞務の融通その他を行はしめ
てゐるが、これまた完全に有機的に
働いてゐるとはいひ難い、

松村政務次官 親工場は子工場に對
し專屬化を希望してゐるが現状はさ

うは行かぬ、出来るだけ有機的な集
團に進むことに決定してゐるが、親
工場の疎開(殊に地下疎開)する場
合、建物利用の關係から集團疎開は
實際上困難である、從つて先づ系列
の整備といふことに進むわけである
共同計算制、プール制などについて
は實際を見て萬手ぬかりのないよう
方途を進めてゐる

第二種工業部門の整備八割終了 31
衆院豫算總會【伍堂卓雄氏質問】
吉田軍需相 わが國工業の發達過程
及び現状にかんがみ中小工場は親工
場に劣らざる重要性をもつものの中
小工場と親工場との結びつきを強化
については同感である、第二種工業
部門の企業整備は現在八割完了し
四月には完成の見込みであるからこ
れにより企業系列を整備して行きた
い、なほ軍需監理部、地方行政協議
會、軍部出先機關との間に緊密な連
絡をとり計畫が實現に努力中である
工場疎開計畫完遂に資金融通 25 衆
院豫算總會【田中貢氏質問】

吉田軍需相 ○工場疎開の方法は先
づ最も緊急を要するもの、即ち軍需
生産のうちの非常に大切なもので敵
の空襲を受ける公算の非常に大きな
ものはこれを地方に疎開すると共に
そのうちの最も大切なもの、どうし
ても保護せねばならぬ部分ばトンネ
ルその他の地下施設を進める、しか
し全部を地下に急速に入れることは
差當り行はれ難いので、先づ危険分
散の意味で緊急必要なものから逐次
疎開する、いづれを先に疎開すべき
か、又疎開先を如何に選定するかの
問題は軍需、陸海軍その他關係方面
で疎開計畫を検討策定する、○次ぎ
に企業主體別にやるか、企業系列に

よつてやるかといふと重要な産業は
夫々下請の設備を通じてはじめて親
工場の運營が出来るので單純にどの
工場を移して後はその儘といふわけ
にはいかぬ、また一ヶ所に集めるわ
けにも行かぬから、どの工場は何處
の工場に協力するかといふ計畫を中央
で大體定めて手順よくやらねばなら
ぬ、從つて企業主體別にばかりでは
なく、或は企業系統をその儘そつ
り移すといふことは實際の問題とし
て効果がないので實益を重んじて生
産を落さないやうにしたい、○費用
の點については敵の空襲により疎開
し或は地下施設をすることは業者自
體によつてやることもあるが自發的
にやつたものでもその會社が自己の
都合によつてやる仕事ではないので
國家が會社と一體となつてやるとい
ふ建前で緊急を要するものは資金を
融通して業者の無理な負擔にならぬ
様にする

疎開費用全額國庫補償も考慮 26 衆
院軍需金融委員會【池本甚四郎氏質
問】
椎名軍需省總動員局長 工場防空の
關係で軍需工場の疎開は軍需省が總
元締をしてゐる、重要工場で生産減
退にならぬものについて疎開の方針
をとつてゐる、その疎開費用につ
いても防空法關係と趣を異にし手廣く
補償して行き度い、要すれば全額を
も補償するつもりである

航空機生産、量質ともに向
上 23 衆院豫算總會【船田
中氏質問】
吉田軍需相 ○飛行機の製
造見込み、生産見込については物
資、動力、勞務とあらゆる條件を睨み
合せて精細に基礎材料を整へ、飛行

機を使用する陸海軍方面とも緊密に
打合せを遂げて豫定を樹て實施して
をり、既に昭和十八年度に比べ十九
年度は大分上昇してゐる、しかし前
線の一機でも多くといふ要望に對し
今までの計畫のみに躊躇することな
く製作する方面でも一機でも餘計に
造つて前線將兵の善戰奮闘の御下に
立てたいとの趣意に燃え空襲下
において日夜涙ぐましく奮闘を續け
てゐる、しかし輸送、物勞務の面
に互りまだまだ努力せねばならぬ餘地
が遺憾ながら残つてゐる、それらの
實情を検討して一機でも餘計生産の
實を擧げて行くことに全力を注がね
ばならぬと考へてゐる○生産數量に
ついての具體的な數字は差控へる
が、製作の上昇線が敵アメリカの上
昇線よりも歩がよいといふことは事
實であつた、問題は今後如何に上昇
線を保持昂揚せしめるかといふ點に
ある、これに就ては輸送の隘路、原
材料の工場への輸送、勤勞能率の昂
揚など如何なる工夫改善の餘地が
あるかどうか、かういふ具體的な問
題をすべて眞剣に検討してそれぞれ
適切な對策を講ずることにより、凡
ゆる軍需生産の總力を航空戦力増強
の一點に集中することによつてこれ
を實現してゆかねばならぬ、○行政
的、法制的處置において改むべきも
のあるが、その一番大きな點はや
はり輸送問題にある、戦局の進展に
伴ふ制約を如何に突破するかといふ
ことが一番大切な問題であり、これ
に對して國家は全力を擧げて實行す
ることが根本的に大切である

△八木技術院總裁 飛べない飛行機
の問題であるがアメリカの飛行機で
生産されたものがどれ位ひびくか

といふことは私の考へ方では約三〇パーセントといふのが常識だと思ふ、それ位に飛行機は戦へるものが少いのである、戦へないもの七〇パーセントは全然役に立たないかといふときうではない、飛行機は非常に機械に故障が起り易いものであるが、アメリカの技術は飛んで歸つて直ぐ故障を修繕するやうな能力は確かにわが國よりも進んでゐるかに思はれる、前線において一寸した故障が出来るとすぐそれが飛べない飛行機となる、従つて生産される飛行機の三〇パーセント以内しか戦へないといふことがまづ世界の大體の水準と考へなければならぬ、しかしその事情を知らない者が感ずる感じ方ときういふものであるといふ豫備知識を持つてゐる者が感ずる感じ方は自ら違ふ、科學技術の研究推進の爲にはいろいろの方法を以て相當見べき成果を擧げてゐるが、極めて専門的であるためその成果が如何なるものであるかを列擧することは出来ない、それは何れも兵器に繋つてをり、製造生産のため眼に見えない所で役立つてゐる、軍の技術の専門家と生産に従事してゐる技術家とが殆んど個人のやうな關係の繋りで見術の研究に力及んでゐる、相當見べきものがあつてといふことは數年前に出来た飛行機と昨今出来上つた飛行機とで、性能が如何に躍進してゐるかを見れば判る、技術院は主として質の向上の任務を擔當してゐる、質の秀れたものの量を多くすることは生産部面であり、唯今では軍需省の擔當であるが技術院としては生産技術の向上にも協力してゐる

豫算總會【岸井壽郎氏質問】小磯首相 わが國では陸軍用の飛行機と海軍用の飛行機は性質及び進歩の歴史を異にしてゐる、海軍につかふ飛行機は航續距離長きを要する、同じ馬力をもちつて長距離を航行すれば攻撃力は少くなる、陸海軍機は全くその性能を相反してゐる、偵察においては海上偵察よりは陸上偵察が著るしく困難で従つて自らそこに非常なる差違がなければならぬ、私はかやうな立場において陸海軍の航空を一緒にすることは寧ろ充分な進歩を阻碍する原因になるのではないかと思ふ、英國においては空軍を統一したが、現に陸軍用航空隊、海軍用航空隊とその内部において區分されてゐる、尤も最近であるとか最近現はれるであらうと思はれるB32と云ふものになるとこれは陸軍のものとも海軍のものとも解し兼ねる、日本で申すならば大本營直轄の航空隊と云ふやうなものと思ふ、私は理念として日本において陸海軍の航空を統一することはその特性を遺憾なく發揮する上において面白くないと思ふ、尤も共通の機械もあるから共通に進歩發達を遂げ得るやうな行政處置を講ずればよいと考へる

柴山陸軍次官【技術の交流】陸海軍の航空に關する技術の交換連絡は陸軍の間に陸海軍技術運營委員會、その他航空機技術委員會、燃料委員會等があつて他方民間からもそれぞれ技術者を集つて貰ひ隔なき意見の交換をしてゐる、今の所完全に陸海一致してこの點に疎隔を來すやうなことはない

小磯首相【性能近似】航空兵器總局が軍需省に設置され、陸海兩者に對する航空機製造方面の業務を扱ふことになつたことは一大進歩である

陸海軍で使つてゐる飛行機の性能には大變違つた處もあるが共通で差支へないといふやうなもので違つてゐるやうな感みもあつたのを最近修正して漸次双方の性能が近似しつつあることを申上げる

敵米との開きを逐次減少 28衆院豫算第四分科會【船田中氏質問】遠藤長官 現在生産されてゐる數をもつて満足でないことは誰でも意見一致する

然し現在生産が非常に少く戦さが出て心配があるようだが、これについては先づ製作機は全部合格品であることを申上げる、指導も從來の陸海軍の二元的から逐次是正されてゐるからいへば無い、製作された飛行機は必ず陸海軍の監督官の下で検査されて引渡される、性能の極度に精密な場合は數回作つたこともあるが、今は一度で合格するものが出来た、不合格品は絶無といつてよい、それなら戦場で不足してゐないではないかといふ質問があるかと思ふが、飛行機の損耗は非常に早い、從來我々が前大戦の経験から將來の作戦の爲めにどのやうに補給しなければならぬかを研究したことがあるが、その當時は概ね一月に三割はなくなると思つてゐた、現在飛行機の性能は非常に向上し、技術の極限を要求してゐる關係上、一寸故障を起しても直ぐ直らぬことになる、また發動機等も非常な馬力であるから無理が要求されてゐる、従つてその壽命も非常

に短かい、現在技術が相當向上し、馬力の數もずつとその當時より増へその時間は長く非常に具合よくなつてゐるといふもの、やはりよく時間経過するとすつかり大分解して手入れしなければならぬ、従つて行つたものが悉く使へるものではない、損耗は非常に多い、昨年九月二日米航空本部長アーノルドが發表した統計によると

開戦以來アメリカでは四萬二千機壞したが、そのうち直接戦闘によつて壞されたものはその三分の一、一萬四千六百臺その他の三分の二は事故で以て壞れたもので、しかもそのうち國內事故によつて壞されたものが一萬七千五百、海外の事故で壞されたものが九千九百、飛行機の損耗はこのやうに非常に多く、しかもその大部分は發動機の事故で壞されてゐる、その事故も製作不良のためのものである、整備員の能力不十分のため、故障を起すものもあらう、或は操縦者の未熟のため離着陸等において壞れることもあらう、とにかく飛行機の壽命は非常に短いといふことを御承知願ひたい、現在の飛行機の生産を以て決して満足すべきものではない、改善すべき點は幾多あつてゐる、私は現在の生産並に將來の航空機生産に對しては明るく氣持を持ってゐる、現在日本が守らねばならぬ戦面は非常に廣いが、敵は攻める者の強味で、自分の好きなところへ持つて來るから時に優勢な敵の飛行機が戦場に現れてこちらが非常に苦しい戦闘をしなければならぬことになつてゐる、全部の數から見ると、どこもかしこも飛行機がなくて困つてゐるわけではない、この點統帥部が十分に洞察せられて要所に集めるやうにせられてゐるが、何としても各方面に分散せねばならぬ弱味がある、これは航空兵器總局長官としていふべき限りではないが、軍人なるが故にいふのである、八木博士は役に立つのが三分の一と申されたのでなくて使へる飛行機が三分の一と申されたのである、私が拵へた飛行機が悉く飛べる飛行機であるといふことと矛盾してゐない、拵へた飛行機は皆飛べることには斷言するが、使はねばならぬ、途中輸送中で直接戦闘に従事し得ない部分もある、また戦場に行つても時間が來ると分解して手入れしなければならぬ、或はまた種々の原因によつて故障が起るのを使へるものは三分の一と八木博士も申されたのである、私も大體さう思つてゐる、決戦場たる、比島方面についてられる陸軍航空最高指揮官富永中將が「不足はない、與へられたこの戦力をもつて戦ふのが我々の勤めである」と申され不自由を忍んでやつてをられる、また、海軍の方では大西中將が最高指揮官となつて行つてゐるが、こちらの事情もよく知つてをられるので一言半句も不足をいつて來られない、殊に崇高な神風特攻隊を始めとして、陸海軍の若人等が肉弾をもつて突込んで行く様子をみると、長官として實際申譯なく存じてゐる、各方面に亘つて改善すべき事はほとんど改善し、統帥部及び直接戦闘してゐる第一線の方々に迷惑をかけぬやうに努力してゐる、何と申してもアメリカとの比率は向ふを凌駕するまでには極めて

は尠いが、その資材を有効に使ひ能率的に運用してこの開きを逐次減少して、直接戦闘してをらるる方々に御迷惑をかけぬやうにしたいと技術の向上を研究中である、企業體制についても決して現状をもつて満足するものではなく何とか改善しようと思つてゐる、その他の點について各方面の意見をよく承り、よい事は着々實行しようと思つてゐる

二十年度生産目標達成充分可能 20衆院豫算第四分科會【濱田尙友氏質問】

遠藤軍需省航兵總局長官、飛行機の生産量は陸海軍統帥部において作戦計畫に即應する量を出し陸海兩大臣を通じ軍需省にこれだけ作れと傳へるのである、この數量が戦闘を切抜ける上において妥當か、足りぬか、餘るかといふことは判るが自分は批判の限りではない

統帥部から示された數字に對し、これは出來ないなど、はいはない、確信をもつて努力し生産すると返事してゐる、二十年度における統帥部の要求は決してびつくりするやうな數ではない、現在の現産力ならば僅かの増加で目標を達し得る、現在の施設、勞力、資材をもつて充分目標に達し得ると思ふ

燃 日滿支中心液燃自給態勢を確立 28衆院豫算第四分科會【片山一男氏質問】

吉田軍需相(急速増産と自給態勢の確立)凡ゆる方策を講じ戰爭遂行に必要な液體燃料を確保する今日の戦局下、南方運送油に依存する困難は今後ますます加はると思ふ、然し出來る限り原油の運送、輸送を行ひ急速確保に努め、日、滿、

支に重點を置く、從て辛からとるアルコール燃料が重大使命となる、國産原油の増産については見込のあるものが續々と現れてゐる、航空機燃料の原油、人石、アルコール、松根油などに特別に力を入れる、詰論として戰爭遂行上に不足はないと思ふ

軍需相(油田開發)、新しい有望な油田を開發しつゝある

難波燃料局長(人造石油) 現下増産の第一目標は現在の能力を最高に發揮するにあり、第二は比較的資材を要せずして人石を獲得しようとするを擴張する、過般實施した人石事業の統合は大體、所期の成績を擧げつつある

松村政務次官(滿洲のアルコール) 滿洲國と具體的な方法を協議した、アルコール液は滿洲の設備を數倍に擴張して行ふ

打ちながら研究を進めてゐる 醸造設備アルコールに總動員 31衆院農林中金委員會【木村寅太郎氏質問】

難波軍需省燃料局長 甘藷を原料とするアルコール製造能力の向上を圖るためこの際民間における設備工場を總動員する計畫を進めてゐる、すでに焼酎工場は全部動員してゐるしその他ビール工場、清酒醸造場、澱粉工場、播込澱粉工場、簡易な醸造施設もこの際できるだけアルコール製造に動員する豫定で、とにかく可能限りのものを或る程度の度合をもつ第一次のアルコール液、後にこれに無水乃至含水アルコールに變へる計畫でこれを促進してゐる、これに必要な石炭についても現在すでに確保してをり明年度の物動計畫においても所要量を確保する方針である、このやうに小規模工場を動員すると生産費の昂揚その他生産事情が變るのでその收買價格についても適正化を圖りたいと思つてゐる

採算のとれぬ場合は獎勵金で損のなようにする 地下資源増産に邁進 26衆院豫算總會【川俣清音氏質問】

吉田軍需相(石灰、鐵、非鐵金屬輕金屬の増産は二十年度に於て大いに努めねばならぬがその條件は或は十九年度に比して、より窮乏になるであらう、特に設備機械等の面に於て最も留意せねばならぬ、從つて年度の到來をまたず急ぎ出來る限り重要鐵山方面に資材を補填し設備機械補修の道に講じつゝある、明年の資材割當等についても鐵山事業の緊急面により向ける、各産業間に於ても重點主義をとること勿論であるが、同じ石炭生産を擴張する炭坑のなかでも重點主義をとつて資材を投入することゝ企業整備については御所見の通りである、二十年度の生産目標は十九年度の生産割當絕對目標と努力目標を合せたものであるが、然しこれは二十年度の國家要求と鐵山の力を睨み合せて行ふこと勿論である

其 戰備一體化に邁進 24衆院豫算總會【三木武夫氏質問】

小磯首相 發註調辦の一元化は最も解決の急を要する問題であると同時にその裏面に色々の解決困難なる事態が存在してゐる、實は發註調辦の一元化の必要を認めこれを一應軍需省に統合することにしたけれども種々の困難から遺憾ながら完全に成功してゐない、陸海軍の戦備を一體化することについては以前より兩者の間に協議を遂げてゐるが元來陸海軍兩面において使つてゐる兵器には自から特質に應ずる差違があり従つてこれを完全に一體化する

美濃部軍需省機械局長、營團の引受けは工事進行中のもの百八十五件所要資金十三億五千萬圓で工事完了五千萬圓である、その内譯は一般産業設備關係が十七年度は引受件數二十八件、内完成十四件、十八年度引受件數五十一件、内完成一件、十九年度引受件數は十二月現在五十八件である、次に造船機關關係は十七年度完成一件、十八年度四十五件、内完成二十六件である、工事を完成せるもの、少ないのは①最初の引受工事が少なかつたこと②業者が建設中

の工事を營團が中途で引受けたものが多いこと、等の事情によるものであつて、先般の未稼働施設調査の際に今年度内に完了するものが多数ある見透しがつた、その支拂豫定額は十一億圓である

なほ美濃部局長は古市六三男(公正)の「産業設備營團の一般緊要設備建設資金の内譯如何」との質問に對して左の如く答へた

設備營團の業務順調に進捗 31衆院設備營團委員會【瀧澤七郎氏質問】美濃部軍需省總動員局第二部長、設備の建設は色々あり、個々の内容は機密に觸れるのでいへぬが、昨年現在において契約が済み、工事が進行してゐるもの百八十五件、支拂つた金額は十三億七千萬圓である、未働設備の活用整理は同じく昨年未だに約五億圓、鐵にして五十六萬七千圓を所有しその他銅、鉛などがある、造船については全貌はいへぬが大體昨年現在で支拂つた金額は三十一億である、營團の業務は順調に進捗してゐる、設備建設の主なるものは一般設備と緊急設備に分れ、また造船は大體乙木船とみてよい、一般設備の中では合成ゴム、硝酸、小型熔鐵爐が主である、遊休設備の買上げと船舶は買上げて賣渡すから資金は回轉してゐる、遊休設備の買入れは前述した如く約五億圓を支拂ひこのうちで損失金として一億五千萬圓が残つてゐる

食糧對策

十九年度主食需給狀況 31衆院農林中金委員會【恒松於克二氏質問】湯河農商省食糧管理局長官 最近における人口の自然増を以て勞務者對する食糧を増配、學校給食、幼兒加配、軍需の増加などは何れも極力配給の合理比を圖つてゐるにもかゝらず、食糧の需要を増大せしめてゐる、これに對する供給力如何と云へば昨秋收穫された米、諸ならびに本年收穫される麥類、外地米、外地雜穀などが本年度食糧供給の主體となるのであるが、總體的に見ると供給力は必ずしも安定であるとは云へない、先づ年度始めにおける前年度からの持越米は漸次減少傾向になつてをり、昨年産米も當初平年作豫想であつたが、その後の實測は平年作より、下廻る實情にあるこれに對する供出は昨年度に較べ多少遅れ氣味を呈してゐたが、年較つてから幾分持直してゐる、當初行つた事前供出割當は災害のため若干修正したが、今日の需給事情からして極力農家の忠誠心に訴へ供出の促進を望みたい、最近數年來需給の逼迫から端境期における早場米の早喰は從前百五十一萬石内外であつたが漸次増大して來てゐる、昨年收穫の麥類供出狀況は略一〇〇%に達し、昨年度境期の操作に大きな役割を果した、本年の麥類については幅薄播栽培などによる増産効果に期待をもつてゐるが、これに對する供出割當は生産目標三千萬石に近い數字を基礎とし、作植狀況を見て決定した諸類雜穀の主食繰入については前年度計畫通りに行かなかつたが、本年は廿七億圓の大増産計畫を樹てそのうち相當部分を早期して本年八、九

月頃の主食補充に當てる豫定である、昨年の甘藷實收高は大體十二、三億見當で、これに對する供出は從來の二倍半に近いものを割當て綜合配給に相當役立てるところあつた、主食代替の雜穀は主として北海道産のものに重點を置いてゐる、かくて米麥、諸、雜穀を綜合した内地食糧の供給力をもつてしまふなほ相當不足するからこれが補充のため滿洲雜穀、朝鮮、臺灣米を搬入しなければならぬことになるが、朝鮮は昨年度の不作が祟り、臺灣またこの戰局の状況よりしてこれに大きな期待を懸け得ないものがある、たい滿洲農産物は一昨年に續いて昨年も非常に豊作で、供出成績も累年よくなつてゐるから對日供給力も一層高まつてゐる、問題は海上輸送力も點でこれが確保については努力してゐる、以上の需給狀況から見て需要面については尙ほ大口の二重配給の合理化を圖らねばならぬ實情にあり、供給面については、米麥諸の供出に一段と農家の努力を期待して行かねばならぬ實情にある

軍の食糧供給態勢を強化 31衆院兵役法委員會【信太鐵衛門氏質問】那須兵務局長 軍に入つた壯丁の衛生狀態は全般的には良好であるが、最近の一般國民の食糧事情と同様、軍でも必要量の確保は所期のやうには參らぬので壯丁の一部には體力の落ちつゝある者又は落ちてゐるものもある、しかし軍では兵の體力が戦力であるので軍の指揮官が衛生給與關係の確保を督促して兵の體力確保に萬全を期しつゝある、軍としては國民の食糧事情を壓迫しないやう軍自體が自給自足體制を強化するため自ら野菜の栽培、家畜の飼育を行つてゆきたい、軍は國民に迷惑をかけぬやう最大の努力はいたす所存であるが、地方の統制會社あたりでは軍が多量の食糧を貯へてゐるといふ思ひ違ひから軍の註文に對し嚴重な査定を加へ窮乏な思ひをさせてゐることとは心外に堪へぬ、反省を促したい、軍として木の根草の根を噛つてもやつてゆくといふ意氣込みで、現にビルマ方面では後方からの糧秣を補給せず新たな食糧確保の途を開拓してゐる、また軍としては現在要塞地帯となつてゐたところでもその方面の魚類が豊富であればこれを解放して一般國民の食糧事情の不足をも補ふやうにしてゐる

米諸供出要質酒廿萬石 31衆院農林中金委員會【木村寅太郎氏質問】前尾大藏省國稅第二課長、米と諸の供出に對し褒賞として特配する酒類は本年度總額廿萬石の豫定で若し清酒を燒酎に振替へる場合は清酒一升に對し燒酎八合の割合をもつてする米と諸によつてその配給方法は幾分違つてゐるが、米の場合は大體地方長官に任せてゐる、この配給切符は決して空手形に終らせるやうなことはないつもりであり、價格も増税分の値上り以外は現行價格を据置く方針である

食糧供出報獎制度を再檢討 28衆院豫算第五分科會【石坂繁氏質問】湯河食糧管理局長官、現行報獎制度今後の方法については目下檢討を進めてゐるが、まだ結論には到達してゐない、現行の部落報獎では精農が惰農によつて牽制されるといふ缺陷があるのは認められるから報獎の對象を個人とすることに對しては充分研究したい、なほ是正に當つては分別割當だけでなく農家の經濟事情味増醬油の仕込み事情などを勘案した供出割當法をとりたい

有畜農家の飼料は供出から差引く 28衆院豫算第五分科會【山本余吉氏質問】湯河食糧管理局長官 供出割當を行ふ際、有畜農家の飼料は自家保有料に加へて生産量から差引き、殘餘のものを供出割當の對象とする原則をとり、且つ地方廳に對しうまい方針で指導して來てゐるが、實狀を見ると末端ではそれが行はれてゐないやうである、農商省としては特に麥の供出割當に當り農家の家畜飼料については手加減を加へてゐる、今後末端にこれが徹底する方策をとりたい

配給米基準量絕對確保 衆院豫算總會【三善信房氏の質問】島田農商相 現在の二合三勺の配給基準量については絕對に堅持する建前をもつて對處して現在も行つてゐるし、また將來も下げるといふことは絕對にしないやうにしたいと考へてゐる、なほ全體の國民食糧の問題については内外の諸般の事情があるが、これを併せ考へてその方面に出来るだけの努力を致し、銃後における國民食糧に不安なからしめるやうに致したいと眞剣な努力をしてゐる

漁獲目標は前年程度 衆議院豫算第五分科會【岡田啓次郎氏質問】寺田農商省水産局長 昭和二十年度の水産物生産計畫は、今年度の実績、諸生産資材、勞力關係を考慮して目下檢討中であるが、大體十九年度の生産目標九億圓に近い程度のも

のを維持したいと考へてゐる、そのうち八・九割は沿岸漁業からの漁獲物を豫定してゐる、たゞし十九年度の実績は目下調査中であるが、海流その他の關係から目標達成は困難と見なければならぬ、燃油の特殊獲得方法については今後さらに助成を強化して擴充して行きたい、戰時水産要員制の勅令は近く公布の運びとならう、要員の對象となるのは漁業に従事するもの、及び漁業を督むものとする豫定である

甘藷増産に篤農家總動員 衆院豫算第五分科會【山本条吉、森肇兩氏質問】

西村農政局長 昨秋の麥の廣幅播種法普及については八百六十人の技術者、篤農家を動員したが、本年の甘藷増産運動に當つては全國二萬人の篤農家に委嘱して増産技術の指導に當らしめる方針であり、また本月から全國六ヶ所において甘藷増産運動の陣頭に立つ指導幹部二千人の養成訓練を行ふ豫定である、訓練期間は約二週間ぐらゐで内原や八ヶ岳修練場などにおいて行ふ、また全國主要甘藷生産地帯の町村農會に一農會當り平均三人宛の甘藷増産に關する囑託員を置く豫定である

豫算總會【西川貞一氏質問】

島田農商相 鹽 移入鹽の困難なことや内地製鹽における燃料の關係など種々の事情から、國の供給には相當困難が出る、幸ひ現在のところこれまでの供給量を下げないといふ確信をもつてゐる、將來、供給を更に多くするといふ事についても、自家製鹽を認め、これに補助を與へることを政府は考へてゐる、なほ鹽の

販賣價格の是正も圖らなければならぬなど幾多の問題についても折角努力してゐる、味噌、醬油 近時醬油の質の低下はお話に近いものがあるやうに考へる、しかし、それだからといつて直ちに醬油をやめて鹽の形のものにして行くことは俄かに出來かねるが、充分考究する、但し最近醬油、味噌に關し交錯輸送等の無駄を省いて各地で自給できるものならば成るべく地方々々で自給せしめる方針である

物價對策

軍需物資調辦價格の實施狀況 衆院豫算總會【木暮武太夫氏質問】

吉田軍需相 現在政府の調辦する軍需物資は兵器、艦船、彈藥並にその製造に要する資材等であつて陸軍、海軍各關係部、軍需省では主として航空兵器總局などが契約する物資であつて、個別價格と單一價格の區分についてはもとより公定價格のある分は軍需品であらうとも單一價格によつて處理することは云ふまでもない軍需物資のうちで個別價格によつて調辦してゐるものは陸海軍に於ては裝備の關係上特殊の規格を必要とする品物であつて、特定工場の生産にかかると主である、殊に戦局の推移に應じてこれは絕對確保を必要とする資材である、非常時生産の實際をよく把握してゐる調辦官廳に於て生産設備工程等をよく即應し得るやうに存分活用したい、而して改善を要するものは適當な時期を誤たず個別的原價計算して價格の調整をせねばならぬやうな事情になつてくる

わけである、左様な事情に個別價格といふものがある、それら特定の品目を除いては成可く左様な特定價格から生れる缺點弊害の生じないやうに陸海軍とも十分聯繫を保つて出來るだけ單一價格に移行するといふやうな方針の下にやつてゐる、若し假りに全部移行してしまへるとも單一價格を實施したに近い効果を擧げ得るやう價格調整の上十分氣をつけてゆきたい方針である、これらについてはまだまだ改善の餘地がある趣を申上げたのであるが出来るだけ戦力増強に力強く寄與し得るやうに致したい

價格形成職權委讓の運用方針 衆院豫算總會【木暮武太夫氏質問】

島田農商相 物價の決定は中央で行ふのが原則である、然し廣範に流通しない地方的産物又は國家が統制してゐない物資については地方長官をして地方の實情に應じて價格を形成させるのがよいと考へ、職權を地方に委讓することとした、然し、地方物資といつても全體の物資に影響することもあるが、これは戦時物價審議會の運用により委讓せられたものといつても中央で統制し得ることとし、ブロック化の弊を避けたい

農産物價格設定の根本方針 衆院豫算總會【木暮武太夫氏質問】

島田農商相 米價は法廷に基き中庸生産費によつて決めてゐる、その他農産物についても大體このやうにして價格を決めて來た、然し現下の事態では農商省所管の物資の上に競争遂行の重責がかかつてゐる、よつて増産上從來の方法だけによることは適當ではない、然し最悪の生産費を補償するといふ建前には俄かに贊

成しがたい、農家の生産意欲を刺戟するやう價格をもつて行く、即ち生産費のほか廣義の經濟事情といふものを考へ、價格を調節し、去年の米麥から實施したい

米麥諸の價格調整に努力 衆院豫算總會【木暮武太夫氏質問】

島田農商相 現在の米價の定め方は法律命令の規定によつて生産費その他の關係で決定するといふ所謂中庸を得る方針で行はれてゐる、またその他の農産物物資についても、今日まで大體左様な考へ方であつた、戰時關係の諸物資が段々に窮乏になる事情から、農商省所管諸物資の上で重點が漸次かゝつてくるといふ形勢にある、また森林、その他の農産物資なりを戰爭資材として利用し國力を増強してゆくことは當然である、これについては、現在の農産物物資の價格を決めるといふことに從來のやり方のみを墨守してゆくことは適當でないが、最悪の條件にあるものをむしる標準として價格を決めてゆくことが然るべきではないかとの意見に對しては責任當局として遽に贊意を表示し得ない、米、麥や諸類についても價格が大きな問題で、これらについては種々研究してゐる、増産供出が圓滑に行くやうに農家の生産意欲を害さず、寧ろこれを進めつつ増産目的を達するやう價格をめぐもつて行きたいと考へ、例へば米價もつて生産費とか或は一般物價とかのほかに、經濟上の事情についてはこれを廣い意味に解釋し、そこに大きな調節の道を拓き得るやうな考へ方をもつて進みたい、今年の米、麥、諸に對して差向きの考へで對

處したく所案を得るやう努めてゐる

主査價格を再檢討 衆院豫算第五分科會【森肇氏質問】

島田農商相 他の諸物價と對比して農産物價が餘りに低位だといふことは疑問のないところだと思ふ、現内閣としては先般來戰時物價審議會を設けて物價の大方針を決定し、その方針に基いて各省所管物資について各その物價の形成を、全面的に物價の凸凹、厚薄ならしむるやうに方針を決めてゐる、その意味で農産物價に對しても全面的に改訂を加へらるべきであると私は信じてゐる、而して農産物諸物價のうちで根本になる主要食糧就中米、麥類、諸類については眞つ先に考へなければならぬ、現在政府の買上米の値段もこのまゝにしておくことの適當なことを私は深く信じてゐる、これに對しては相當な程度の改訂を加へ、報奨金の制度についても併せ檢討を加へ農民が簡單に分らないやうな値段をつけることは適當でないと考へてゐる、これについては現に研究をしてる、これに對する機會に現方針を一擲してそれぞれ處置したい、諸の價格についても大増産の計畫を實行するに對して當然考慮すべきであるがその他の農産物價と關聯してゐるので、先づ米についての方針を決定し、而して諸、ついで麥に至るのであるが、決定したものは出來るだけ速かに一齊にこれが方針の徹底を圖つて實行したい、たゞ農産物は國民の生活に直接關係がある、農民を含めて消費大衆の生活の基盤たる農産物、殊に食糧品の價格を引上げるといふことは總て勞銀その他に影響を及ぼすことは當然である、そこでこの違方が度を過し或は誤ると一種の

違方が度を過し或は誤ると一種の

惡循環を起す惧れがあるから、それらの點をよく勘案して新制度の確立を圖りたい、その程度、時期については検討中である
公定價格を整備、九・一八停止令を再検討 衆院豫算總會【作田高太郎氏質問】

島田農商相 物價の形成に關し適時改正をして行つても實際の趨勢に追いついて行くことが出来ない憾みは認めてゐる、これは先般物價審議會で全體の物價政策の根本は内閣に於てこれを決定し、その方針に基き各省が各所管物資につき物價を形成して行くといふ大體の方針をもつて直して行かうと考へてゐる、いづれその方針を實現することになる、ただ物價全體については無數に多いものに對しいろいろな公定價がついてをり、それに及すると價格違反になる、このなかには公定價をつけなくともよいものが相當あり私もこれは離れてよいと思ふ、たゞ考へなければならぬことは九・一八停止令が残つてゐるので公定價を解除すると自由取引とならずに九・一八停止令といふ一つの荷に引かかる、政府は施策上差當りストツツ令の處置を考へなければならぬ、この問題についてはいづれ物價審議會に於て考慮すべき問題だと思ふ

運輸・交通

備船料引上考慮、合板船も積極的促進 衆院豫算第六分科會【小山亮氏質問】
小野運通省海運總局長官、瀧山同船船局長、福原同海運局長 ○木造船については昨年秋より第三次型を造

ることとしこれに曲り材の入手狀況に應じ丸型と角型の兩建をとることとした、而して角型も曲り角を充分補強し、第二次型において中央に一本しかなかつた支柱を兩脇に二本つけることとした○運航實務者の整理に伴つて船主の地位を安定ならしめるため備船料引上については充分検討することとし、現在一策を練つてこれを速かに實行すべく準備中である○最近低下してゐる船舶稼行率を昂上せしめるため實際の仕事を知してゐる人を成可く多數運管會に入れて稼行率低下の原因をつきとめしめ對處する○合板船についても海運總局としては目下充分研究して居り、二、三の技術上の難點が解決すれば積極的に促進する方針である、現在全國十五六ヶ所において數十隻の試作船を造つてゐるが、このうち半數の箇所は運通省管理工場である國鐵私鐵の一體運管に努力 貴院地方鐵道委員會【秋田三一氏質問】
堀木鐵道總局長官 買收の必要を感じるものも相當あるが今日の情勢において買收をなすことよりも官私を通ずる運管の一體化をはかるべきと思ふ、軍需會社に指定することにより、また人的援助監督等により地方鐵道には國有か私有か區別し難いものが出来てゐる

對酒對空力強化に自信 衆議院豫算總會【小山亮氏質問】
首相 船腹の維持とは海上輸送力、海上防衛力を向上すること、船舶の修繕に努力することについては、同時にその能率の向上については、例へば船員の優遇とか、港灣荷役力の向上とか、増積、走航日數及び船路の短縮といふことと併せ運管會の強

化と相俟つてその目的を達成する必要がある、新船舶の建造については資材、勞務を重點的に配當してゆくことによつて目的を達成したい、米内海相 凡ゆる困難を克服し、豫定計畫の完成を期してゐる、現在の造船狀況は頗る順調にいつてゐる、ともかく全智全能を傾注しその保有を完全なものとし、敵の損害を受けることを少くすることに折角努力中である、最近の實績に鑑みると對潛對空ともに非常に進歩した、將來相當自信を持ちつつある

文化・其他

前田運通相 政府として船舶運管に關する限り現在の船舶運管會を強化し、即ち或は船主、或は運航實務者のうちから優れた者があれば社員であらうと重役であらうと出て貰ひ、海運總局や運管會に多くの人材を吸収採用し、海運の實體を把握して一元の綜合的運管の完璧を期したい

思想對策の根本方針 26貴院本會議【二荒芳徳伯質問】
小磯首相 ○戦局の推移如何に拘らず自主獨立、八紘爲宇の精神を基調として道義的國家社會を堅確に樹立することと絕對に必要であり、今後出先のわが軍官民に對して自ら八紘爲宇の皇道を體得せしめるとともにその接觸する現地盟邦民族に對する不斷の啓蒙的努力を期待してゐる、同時にしばしば盟邦各國指導者層の本邦來訪を機會に相互交誼をとげに止らず、自らの體得せるところに基き熱烈にこの理念の重要性に關し説き、その理解と共鳴を得るといふ方法によつて目的を達したい、○

國體護持の精神を國民同胞に體得せしめるためには畢竟國民指導者層の熱烈眞摯たる率先垂範によつてのみ希求し得るものと確信する、世の指導者層に對して一段と研鑽精勵を要望せざるを得ない、政府は社會指導者層の重要な一翼を形成してゐる官僚に對してたゞに官紀肅正を期するに止らず國體護持の指導者たる立場において一般國民同胞に對し率先垂範し得るやう反省自得をすゝめたい、特に内閣は官僚の中樞機關たるに鑑み、上 陛下に仕へまつる國民同胞の儀表として祭政一致の御奉公具現に邁進したいと思つてゐる、○最近戦局の熾烈化に伴ひ戰場に必死必中を期する特別攻撃隊員が自若あたたかも歸するが如き態度をもつて青年層の中からこれら日本精神斷じて廢れてをらぬといふ感を深くする、私は皆様と共にこれら青年群に對し衷心から感激の情にひたりながら感謝措く能はざると共に、特に青少年層の者は純眞であつて胸臆深く皇國傳統の盡忠の念鬱勃としてをるので、もし率あるに道をまつたならば、時と所とを問はず一舉一動端的に國體精神の發現をみることに殆んど疑ふ餘地がないものと存する、即ち青少年教學の衝に當るものの人選と陶冶とに意を用ひて日常の起居の間眞に模範となり、青少年の氣魄昂揚に任ぜしむる如く指導せしめたい

輿論指導方針の行き方 26衆院豫算總會【作田高太郎氏質問】
緒方國務相 決戦輿論指導方針は指導の基準を示したものであつて、言論の暢達を國民の忠誠心に信頼して始めて行はれる、いやしくも國體の尊重、國內秩序を紊るものや反戰思想は嚴重取締る、出来るだけ戦局の推移に應じて國民に希望をもたせつゝ困苦缺乏に耐えしめる方針で指導してゐる、陸、海軍と情報局との連絡は極力をはかる
宣傳活動と放送對策 23衆院豫算總會【阿子島俊治氏質問】
緒方國務相 海外放送は各方面とも連絡を緊密にし民間の有識を網羅して萬全を盡してゐる、對内放送も敵國が聴取してゐるので對内放送即對外放送の考へでやつてゐる、ラジオの眞空管は電波兵器の必需品でありまた生産も技術的に十分供給を確保することは出来ぬ現状であるが、極力努力中である、各種藝能、就中、映畫については大いに重視してゐるがフィルムへの配給が行詰つてゐる、出来るだけのことはしてゐる
吉田軍需相 ラジオの眞空管及び映畫のフィルムは啓發宣傳上武器同様に大切である、民需用に若干でも振り向けたいと努力してゐる
軍醫、電波兵器關係は軍施設で修練 23貴院兵役法改正委員會【山田三良氏、谷儀一子質問】
那須陸軍省兵務局長 ○現在高度の研究をやつてゐる者については戰爭遂行上役立つものは大學の特別研究生として入營を延期してゐる、なほ召集關係についても考慮してゐる、人文科學の重要性も考へてゐるが人文科學に當る人は戦線において最も苦烈なる體驗をして始めて役立つものと確信する
【谷儀一子質問】 入營延期を撤廢し學徒を兵役に服し、軍の規律の下に修練させては如何
那須局長 ○現在の理工科の入營延

期制度について軍としては一應軍に入れた上で理工科的訓練を行ふことを考へてゐるが、現在の軍の施設としては充分なる成果を期し難い、これらのものも文部省の管轄から切りはなし、直接軍で世話することも相當困難と思ふ、今後國家の要求と考へ合ふ所要の方向に所要の修練を加へることを文部省と協力してやつてゆく積りである、殊に獸醫、軍醫については軍自らの施設に收容し、強力なる修練を行つてゆく、電波兵器關係についても同様である

滿五歳への學齡低下研究 29衆議院第三分科會【小山亮氏質問】

藤野文部次官 入學年齡低下は教育制度における重要課題として文部省において現在研究中である、この問題は學界においても研究の結果、滿五歳は適齡だと認めてをり、又一面最近の入學適齡期の子供の語彙が以前と異つて非常に豊富になつてをり學齡低下をしても差支へないやうに思はれるので充分研究して行き度いと思つてゐる

動員學徒の配置是正 26衆議院豫算總會【作田高太郎氏質問】

今井文部政務次官 ○學徒は學業種類年齡等を考へて配置してゐるが、これ迄の動員は計畫的でない、まづある數量を限つて配置すると後からまた追加が來るといふ状態で、行學一體の見地から見て非常に困難を感じてゐる、よつて來る三月の卒業期を境として配置の轉換を行ひたい、ただこの場合熟練してゐる工場から俄に轉換すると生産能率を低下する虞れが多分にあるがこれらの點を勘案して成るべく適正配置をしたい、

○從來理科系教育が劣つてゐたのでこの方面に全力を注入するため理科

系學徒を多數收容したが、理科系文系學徒の收容には率を設けてゐない、私學が國家に貢獻するところは大きい、政府は私學育成のため相當多額の補助金を支出してゐる、○上級學校に進學しない者をそのまま卒業させてしまふと工場事業場の生産を低下させる虞れがあるので中等學校は附設課程を設け學徒の身分を喪失せしめず生産増強に挺身せしめてゐる勤勞政策の科學性に留意 24衆議院豫算總會【河野密氏質問】

廣瀬首相 決して科學的研究を怠つてゐるわけではない、學徒及び女子には十分研究してゐる、然し科學的研究を行へばとて工場に一律主義を執ることは考へもたない、個々の實情に應ぜねばならぬ

○就職勤勞者、學徒は軍屬として取扱ふ 24衆議院豫算總會【河野密氏質問】

杉山陸相 陸軍としては陸軍々屬としてこれを取扱ひたい、學徒についても同様である、靖國神社に祀るかどうかは未だ論議してゐない

○矢野海軍省軍務局第二課長 海軍に召集猶豫者、入營延期者を炭坑、工場に動員 23貴院兵役法委員會【立花種忠子研究質問】

那須兵務局長 炭坑關係の熟練礦員は滿洲内地に亘つて相當解除した、然し第一線の者を歸すことは士氣の關係上、又輸送の困難のため、召集猶豫になつたものとか、或は又入營延期の者を是非炭坑或は重要工場に働かせるやう關係官廳において指導してゆきたい

○統制會整備の方向 31衆議院産業設備團委員會【上田孝吉氏質問】

植場綜合計畫局長官 ○統制會の整備については關係各省と相談してゐるが、唯今考へてゐるところは

① 存續整備したいものがあり ② 全然有名無實のものと思ひ切つて廢止する ③ 統合すれば或る程度の活動が期待し得るものもある、大體この三段構へで關係省で具體的な話を進めてゐる、○存續と決つた統制會を如何に扱ふかといふと、從來、率直にいつて思ふような活動の出來なかつた部分は排除し、統制會の幹部自身も相當活動し易いよう仕向けを行く、○統制會と工業會が或る點で紛淆を見てゐるのは事實である、ために工業會が想像以上に逸脱した範圍の仕事をやるとか、やらぬとか、業者の聲も聞く、この兩者をどの點で細分するかは、いへぬが、大體、兩者を戰力増強に最も寄與させるやう統合或は調整して行くことを考へ關係各省で相談してゐる

○松村軍需政務次官 ○統制會と工業會の調整は會長その他、役員兼任などによつて實現したい、○統制會の經濟行為は副資材などにつき既に認めてゐるが必要な時期には經濟行為に對する法的根拠を與へることも考慮する

○農業團體、統制會社整備方針 29衆議院豫算第五分科會【森繁氏質問】

島田農商相 ○農業團體の統合問題については検討を加へてゐる、農業經濟會並に中央農業會とも新農業團體法の趣意に従つて内部を強化して體法的な働きが發揮出来るやうにすべきであり、政府もその方向に向つて出来るだけの援助をする、たゞ幾つかのもの集まつて大きな團體を構成してゐるだけに人事その他内部を整備して陣容を強固にするといふことは簡単に仕難い状態である、その間地方に對して指令が頻に出るといふやうな事情のあることも承知して

ゐる、政府も一元的に指令が行くやうに特に人事の關係、それに絡んで廻るやうな問題については圓滑に一元的に推進して行くといふことに努めてゐる、これを統合して一つのものとするといふことについては更にまた立法的手段も必要だし、これをやつた結果についてもこの問題の處置に對しては慎重の上にも慎重な態度をとつて向はなければならぬと考へる、政府としては現在の機構を通じて出来るだけ内部を整備し、能力を充分發揮出来るやうに各中央機關たる首腦部を百パーセントに活躍出来るやうにし、二元的弊害については兩者の間の連絡を緊密にせしめ、現在の不便を出来るだけ除いて行く方針を進みたい、なほ、その遣り方の上からどうも、兩者を一つに統合することが必要であるといふ事態に達した場合には統合も斷行しなければならぬ、○統制會社のやつてゐる實績の上から遺憾の點があるといふことは諒解してゐるが、これについては一面さらに監督を加へて指導し、その目的に合致するやうにしなければならぬと思ふ、どうしてもさういふことが出来ないといふ場合は政府自ら直接その衝に當るか、或は他をしてやらしむる場合も考へなければならぬ、諸々の統制會社にしても農商省所管の物資に關する諸機關については綿密なる検討を加へ全面的に整理出来るものは整理し解消出来るものは解消を斷行するやうにしたい

○田中好氏質問 25衆議院豫算總會

大連内相 建物疎開は無計畫且つ亂雑でないことを期してゐる、防火壕消防道路、小空地設定を第一として強靱な防衛都市に仕上げたいこの三つの都市計畫と睨み合せて實施して行きたい、人員疎開にしても差當り乳幼児、老人、病人、妊産婦を第一とし戦ふ帝都を支へる人は確保して強靱な都市をつくるのは建物疎開と同趣旨である、今後とも出来るだけ疎開を進める

○司法官試補銓衡委員會の構成 25貴院戰時民事特別法委員會【小山松吉氏質問】

司法省人事課長 委員會の構成は委員は大體司法大臣の監督の下に置き、會長には司法次官を當てる、委員は十二名以内で、法制局の部長、司法省民事、刑事各局長、人事課長大審院判事二名、檢事一名、陸海軍法務局長、朝鮮總督府法務局長、東大關係、私大關係各一人である、銓衡方法は志願者から履歷書、學歷證明書及び人物、素行、勤勞動員、成績、健康狀態など、成るべく學校より報告を求め、第一次銓衡を行ひ、これを通過した者に第二次の銓衡を行ふ積りである、第二次では、専門知識を試験する事は避ける、これは勤勞動員その他で法文系學生の學力に依る働き方をみるからである、要するに下の働き方をみるのである

○下級官吏待遇改善の内容 23衆議院豫算總會【藤本捨助氏質問】

石渡藏相 今回の待遇改善は月俸百五十圓以下のものに限り、その他勤續手当、疎開手当についても考慮した、百五十圓以下のものについては三段階に分ち、大都市では月俸一ヶ月半分、中都市では一ヶ月分、小都市では半ヶ月分を夫々一ヶ月間の賞與に増給するものである又國民學校教員、警察官についても一般官吏と同様待遇改善をはかる豫定で、この財源については國家において相當程度負擔することにならう

經 濟

一 軍需充足會社令 公布

【廿三日】政府は決戦戰力の飛躍的増強を圖るため豫て海灣運送業、倉庫業、地方鐵道及び軌道、小運送業その他軍需の充足上特に重要關係ある諸事業會社に軍需會社法を準用すべく單行勅令軍需充足會社令の制定を急いで、廿七日の官報をもつて告示、即日實施する、同令の主眼とするところは軍需充足會社業務の國家性を明確ならしめ強固なる業務責任体制を確立し、その責務の完遂を阻害する諸般の拘束を極力排除し、政府の簡素強力なる指導監督の下に戦力増強の國家要請に即應し、張力果敢なる運営を圖らしむるにある

第一條 軍需會社法第三條乃至第廿一條並に軍需會社法施行令第二條乃至第廿四條及第廿七條乃至第廿九條の規定は左に掲ぐる軍需の充足上必要な軍需事業以外の事業(以下軍需充足事業と稱す)を營む會社にして主務大臣の指定するもの(以下軍需充足會社と稱す)に之を準用す、但し此等の規定中軍需會社とあるは軍需充足會社とし、軍需事業とあるは軍需充足事業とし、生産責任者とは業務責任者とし、生産擔當者とは業務擔當者とし、同令第五條中特別の法令とあるは特別の法令又は統制會社令とし、選任とあるは選任

(統制會社の會長の爲す任命を含む)とし、同令第廿七條第一項中内部の勅任官とあるは部内の勅任官(第四條の規定に依る、委任を爲しある場合にありては都廳府縣及當該主務大臣の所轄する官衙の高等官を含む)とし、同令第廿八條第一項中政府の任命とあるは政府の任命(統制會社の會長の爲す任命を含む)とす

第二條 主務大臣軍需充足會社の運営に關し特に必要ありと認むるときは命令の定むる所に依り左に掲ぐる法律及び其の施行に係る勅令中統制、取締等に關する規定の適用を排除し又は其の特例を設くることを得

第四條 主務大臣は本令の定むる職權の一部を地方長官(東京都に在りては警視總監を含む)又は當該主務大臣の所轄する官衙の長に委任することを得

第三條 主務大臣軍需充足會社の運営に關し特に必要ありと認むるときは命令の定むる所に依り左に掲ぐる勅令中統制、取締等に關する規定の適用を排除し又は其の特例を設くることを得

第五條 第一條に於いて準用する軍需會社法第十條中勸勞管理に關する事項につき政府とあり第一條に於いて準用する軍需會社法施行令中主務大臣とあるは船員に就ては運輸通信大臣とし、軍需大臣の所管に屬する軍需物資の配給を爲す事業を目的とする軍需充足會社(他の目的の企業を兼營する場合に於ては當該部分に限る以下同じ)に就ては軍需大臣とし其他のものに就ては厚生大臣とす

第六條 第一條に於いて準用する軍需會社法第十條中經理に關する事項につき政府とあり第一條に於いて準用する軍需會社法施行令第十條中主務大臣とあるは當該軍需充足會社の營む軍需充足事業が軍需大臣及び陸軍大臣又は海軍大臣の所管に屬するものに就ては軍需大臣とす

第七條 第一條に於いて準用する軍需會社法の規定中政府とあり同條に於いて準用する軍需會社法施行令の規定及び本令中主務大臣とあるは、同條に於いて準用する同法第十條中勸勞管理及び資金調整に關する事項並に第一條に於いて準用する軍需會社法施行令第九條の場合を除くの外特定の事業の用に供する土木建築工事のみを施行することを目的として設立せられたる軍需充足會社に於ては當該事業の所管大臣とし、その他の土木建築工事事業を營む軍需充足會社に於ては軍需大臣とす、但し當該軍需充足會社が陸軍大臣又は海軍大臣の發注に係る作戦上必要ある土木建築工事を施行する場合に於ては當該軍需充足會社の所管大臣及び陸軍大臣又は海軍大臣とす

第八條 第一條に於いて準用する軍需會社法の規定中政府とあり同條に於いて準用する軍需會社法施行令の規定及び本令中主務大臣とあるは前二條及び第九條の場合及び第一條に於いて準用する同法第十條中資金調整に關する事項を除くの外當該軍需充足會社の營む軍需充足事業の所管大臣(軍需大臣の所管に屬する軍需物資の配給を爲す事業を目的とする軍需充足會社に於ける經理統制に係る増配に關する事項に於ては大藏大臣)とす

第九條 第二條及び第三條中主務大臣とあるは當該軍需充足會社の營む軍需充足事業の所管大臣及び法律又は勅令の規定の適用を排除し又は其の特例を設くべき事項の所管大臣とす

第十條 第二條乃至前條及び第十一條、軍需會社法第三條乃至第十八條、第廿條及び第廿一條並に軍需會社法施行令第二條乃至第十八條、第廿條及び第廿一條乃至第廿九條の規定は軍需充足事業を營む者にして主務大臣の指定する會社以外のものに之を準用す此の場合に於いては第一條但書の規定を準用す、前項の場合に於いて法人に非ざる人において當該事業主に非ざれば業務責任者たることを得ず法人に非ざる事業主にして業務責任者たるものは業務責任者の職を辭すると同時に非ざれば事業主たる地位を退くことを得ず

第十一條 第一條に於いて準用する軍需會社法の規定中政府とあり、同條に於いて準用する軍需會社法施行令の規定及び本令中主務大臣とあるは同條に於いて準用する同法第十條中資金調整に關する事項を除くの外朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督とす、但し當該軍需充足會社が陸軍大臣又は海軍大臣の發注に係る作戦上の必要ある土木建築工事を施行する場合に於いて陸軍大臣又は海軍大臣及び朝鮮總督又は臺灣總督の定むる事項に關しては陸軍大臣又は海軍大臣及び朝鮮總督又は臺灣總督とす

附則 本令は公布の日よりこれを施行す

參考條文 軍需會社法第廿二條 本法中必要な規定は勅令の定むる所により軍需の充足上必要な軍需事業以外の事業を營む會社其他のものに對し之を準用することを得

軍事費豫算(第十三次追加)は八百五十億圓に上り、十九年中に決定した臨時軍事豫算額六百億圓に比し二百廿億圓を増加するが昭和十二年支那事變勃發以來の臨時軍事費豫算は一般會計より移し整理した分も加へると總額二千二百廿億二千餘萬圓となつた、廿年度一般會計追加豫算(第二號)は三億三千九百餘萬圓で臨時軍事費豫算の公債財源の利子及び發行諸費を一般會計から國債整理基金特別會計へ繰入れるものであ

臨時軍事費豫算追加等

計數整理の結果異動を生ずることあるべし

- (一) 臨時軍事費豫算追加 千圓 金、〇〇〇〇〇〇
(二) 廿年度歳入歳出總豫算追加 歳入 三三三、三三三
歳出 三三三、三三三

臨時部 公債金 三三三、三三三
經常部 三三三、三三三
(備考) 右歳出は大藏省所管の分なり

- (三) 廿年度特別會計豫算追加
國債整理基金 三三三、三三三
公債金 三三三、三三三

るが、これにより廿年度一般會計豫算は歳入歳出共に二百六十九億三千二百餘萬圓となり十九年度一般會計豫算に比し歳入五十六億八千七百餘萬圓の増加となる、而して今回の臨時軍事費豫算及び廿年度一般會計豫算の合計は千九百九十九億三千二百餘萬圓であるが、この内には一般會計から臨時軍事費の財源として繰入れる重複分百一億千三百餘圓があるからこれを差引くと臨時軍事費並に一般會計を通ずる廿年度豫算純計は千十

八億千八百餘萬圓と遂に千億圓を突破して決戦豫算の様相を現はすに至つた、なほ十九年度純計は七百七十五億八千二百餘萬圓で廿年度は十九年度に比し二百四十二億三千六百餘萬圓を増加してをり、又支那事變當初の十二年度純計五十五億二千二百餘圓に比較すると約十九倍となつて

臨時軍事費歳出入 臨時軍事費豫算八百五十億圓の歳入内譯は公債金三百五十二億九千八百餘萬圓、借入金三百一億三千六百餘萬圓、一般、特別各會計よりの繰入れ百十六億七千餘萬圓、雑収入七十八億九千四百萬圓である、詳細左の通り(單位千圓)

- 公債金 三三三、三三三
借入金 三〇一、三三三
一般會計繰入 一〇一、三三三
特別會計繰入 一五五、〇〇〇
雑収入 七十八、九四〇
合計 五五五、〇〇〇

またその歳出内譯は本費六百億圓、豫備費二百五十億圓である
公債發行豫定四百六十億圓

【廿六日】廿年度の公債發行豫定額は一億會計に於て九十二億二千二百餘萬圓特別會計に於いて十五億千七百餘萬圓、これに今回の臨時軍事費追加豫算の公債發行分を加へると累計四百六十億二千九百餘萬圓となり前年の累計三百卅七億八千五百餘萬圓に比し百廿二億四千三百餘萬圓の増加となる、詳細左の通り

- 一般會計 (單位千圓)
九、三三三、〇〇〇
内(赤字公債) 九、九四〇、〇〇〇
(道路公債) 八、〇〇〇、〇〇〇
特別會計 一、五七〇、〇〇〇
合計 一〇、七〇〇、〇〇〇

臨時軍事費 三三三、三三三
借入金總計五百八十六億
【廿六日】臨時軍事費歳入豫算中借入金によつて賄つた金額は第八十一議會(十八年)の協賛を得たもの卅三億圓、第八十四議會(十九年)の分七十億圓、第八十五議會(十九年)の分百八十二億圓、これに今回の三百一億三千六百餘圓を加へると總計五百八十六億三千六百餘圓となり臨軍費通計二千二百廿一億二千餘萬圓の戦費のうち二割六分五厘は借入金である

豫算外國庫契約 【廿二日】廿二日の衆議院豫算總會に提出された昭和廿年度以降豫算外國庫の負擔となるべき契約に關する件の中なるもの次の通り

- 軍需省所管 一、軍需關係資材確保措置費 四十四億圓
一、産業設備團損失補償 五億四千二百廿六萬三千圓(廿年度以降三ヶ年內)
一、日本發送電社債元利保證第八十一議會の協賛を経た總額十五億圓を廿億圓と改める

一、帝國續發損失補償八十四議會の協賛を経た總額二億六千四百四萬圓を三億千六百四十四萬圓と改める
大東亞省所管 一、南方開發金庫損失補償金 三億圓(廿年度以降三ヶ年內)

農商省所管 一、肥料供給確保補助第八十四議會協賛を経た總額三億三千八百八十七萬九千圓を五億三千七百九十四萬圓に改め昭和十六年度以降五ヶ年度内に六ヶ年度内とする
大藏省所管 一、價格差損及爲替差損補償金 卅億圓(廿年度以降二ヶ年內)

特別會計 【廿六日】廿六日提出の各特別會計追加豫算は公債金三百五十六億三千七百餘萬圓及び國債整理基金三億三千九百餘萬圓であるが、公債金は臨時軍事費豫算の財源たる公債金三百五十二億九千八百餘萬圓とその利子及び發行諸費として一般會計へ繰入れる三億三千九百餘萬圓の合計であり、國債整理基金は臨時軍事費、公債の利子及び發行諸費を公債金から一旦一般會計に繰入れ、更に國債整理基金に繰入れるものであり、豫算外契約の追加は臨時軍事費關係卅億圓でこれは支出が確定すれば豫算化することとなる

増税案竝に税制改正案要綱 發表
【十八日】政府は支那事變以來八回に亘る増税(増税總額平年度約六十億七千萬圓)を行ひ國民の租稅負擔は相當に増加してあるが臨時軍事費及び一般會計の歳出は廿年度も相當増加する見込でこれに伴ふ公債金の増高及び現下金融の諸情勢を勘案して同年度においても相當の増税を行ひ、國庫の増收を圖ると共に購買力の吸收、インフレーション防止に資するた

め四日の閣議に増税案要綱に稅制改正案要綱を附議決定、(一)分類所得稅率を原則として百分の三引上げ總稅額において二割程度の増徴を行ふ、(二)法人稅及特別法人稅所得に對する法人稅の稅率を百分の三特別法人稅の稅率を百分の二引上げ額において九割程度の増徴を行ふ、(三)酒稅、等級を整理して相當程度の稅率の引上げを行ふと共に價格特配酒はこれを廢止することとし總稅額において七割程度の増徴を行ふ、

(四)入場稅稅率を第一種(芝居、映畫等)、第二種(麻雀、撞球、ゴルフ等)に同程度の引上げをなし總稅額において九割程度の増徴を行ふ、(五)増稅案の實施と共に現行稅制の簡素化を圖り時局下に必要な租稅の減免並に非常緊急の場合における稅務の圓滑なる運用を期するため必要なる稅制の改正を行ふこととし、爾來大藏省を中心と法文化を急いだ結果、十二日の閣議で「所得稅法外十六法律中改正法律案」として決定、貴衆兩院の事前審議を開始したのでその内容を十八日發表した、今回の改正法律案は簡素且重點的に所得稅(分類)等六稅目に就いて稅率の引上げを行ふほか稅制の簡素化、租稅の減免並に稅務の圓滑なる運用を期するための相當廣泛な改正も盛り込まれてある

稅制改正案の要旨左の通り(稅率改正は別表参照)
所得稅 預貯金關係以外の主なるもの左の通り
一、清算取引所得に關する課稅方法の改正 株式の清算取引所得は從來株式の清算取引による一ヶ年間の損益を通算して課稅してゐたが、清算取引所得の性質及び事務簡捷化の趣旨により一取引毎に利益のあつた都度(百圓未満のものは免稅)別表の累進稅率により源泉課稅する

二、看做配當所得に關する課稅方法の改正 從來法人が解散、合併した場合の所謂看做配當に對する分類所得稅は一般の配當金と同様課稅し、總合所得稅に就いては他の所得と區別し五分五乗の方法によつて課稅してゐたが、本所得の性質上かかる課稅を行ふことは負擔關係、手數等の見地より必ずしも適當でないの

で、所得稅としの課稅を廢し法人の

清算所得に對する法人税及び特別の
法人の清算剩餘金に對する特別法人
税に統合して別表の税率により課税
する

三、水産業の所得に對する課税方法
の改正 水産業の所得に就いては従
來前三年間の平均額によつて課税し
てゐたが、近年のやうに水産業所得
が遂次減少の傾向に在る場合に於い
ては負擔を加重する等却て實情に即
しないことが多く且手數も煩雜であ
るので他の一般事業所得と同様前年
度の實績により課税する

四、扶養家族、生命保険料の控除は
定期日まで申請なき場合と雖も實
在するときはこれを控除出来ること
とする

五、所得税の納期を年二回(八、一
月の豫定)に改める

六、所得調査委員會議上げの見合せ
所得調査委員會議上げの調査期限は昨年
の改正で五月卅一日を四月卅日目に繰
上げることにしたが、最近に於ける
稅務署の手不足等の實情より見てこ
の繰上げは困難となつたので當分の
間從來通りとする

長期預金利子輕減は二年に

預貯金の利子等に就いては貯蓄の増
強、官民相互の手數省略等を圖るた
め所得稅、臨時租稅措置法、國民貯
蓄組合法等で大要左の如く改正す
一、元本五千圓以下の銀行預金、銀
行貯蓄預金、市町村農業會貯金等の
利子及び特定の合同運用信託の利益
に就いては他の分類所得稅は原則と
して百分の三引上げのところに増徴を
被り百分の二の引上げに止め百分
の五から百分の七とした、この結
果郵便貯金の利子は据置とした

二、元本五千圓を超える銀行貯蓄預
金、市町村農業會貯金等の利子には

從來一般の銀行預金等の利子より百
分の五低く、即ち百分の十五の税率
で課税してゐたが、銀行貯蓄預金に
就いては普通の銀行貯蓄銀行業務兼
營のため又市町村農業會貯金等に
就いては「三」「四」の措置で補ふこと
としたため從來の優遇を廢し一般の
銀行預金の利子等と同率百分の廿三
とした

三、長期預貯金の利子等に對する分
類所得稅の輕減に就いては現行の三年
繼續の條件を二年に短縮し輕減率百
分の五を百分の六に擴張すると共に
從來一般より税率の低いため認め
る必要のなかつた銀行貯蓄預金、市町
村農業會貯金等を今回「二」の措置で
同率としたのでこれ等に對しても認
める

四、市町村農業會貯金等で契約期間
二年以上の定期等國民貯蓄組合法の
免稅條件に該當する貯金に就いては國
民貯蓄組合の幹旋によらなくとも國
民貯蓄組合貯金と見做し元本一萬圓
を限り所得稅を免除する

五、從來投資信託の收益に就いては
普通の金錢信託の利益等と同率で課
税してゐたが、投資信託は大部分株
式であり而も一般株式とは他の課税
條件も異なる等の事情を斟酌して免
稅の利益等より百分の二、株式配
當より百分の一輕減百分の廿一の稅
率で課税する

六、合同運用信託の信託財產たる登
録公社債の利子に就いては分類所得
稅を免除し昨年金融機關の所有す
る登録公社債に對する改正と同様に
する

七、預貯金の利子等に對する支拂調
書の提出に就いては限度の引上げ等
簡素化を圖る
法人 稅

一、申告納稅制度の創設 現下各般
の情勢の關係から稅務署の決定を俟
つて納稅する從來の制を改め臨時租
稅措置法で公稱資本金五百萬圓以上
の會社等(五百萬圓以上の會社でも
希望するものは認めらる)に就いては決
算確定後六十日以内に法人稅、營業
稅、臨時利得稅を自ら算定し申告と
同時に一應納付せしめ後日調査の上
追徴還付する制度を設ける而して課
稅の基準は大体株主總會の決議を経
たもので故意に不足額を生じた場合
の追徴に就いては過怠金の意味で日歩
二錢乃至四錢程度の金額を加算出來
ることとしてゐる、なほこの結果廿
年度は一年間に多額を納付すること
となるので會社經理に對する影響を
考慮し多少延納等の措置を講ずる等
である

二、法人の重要物產製造業の免稅期
限の改正 重要物產製造業に對する
免稅は開業の年及び翌年より三年間
と曆年によつて計算してゐるが、簡
素化等の見地より法人に就いて開業し
た事業年度及びその翌事業年度開始
の日より三年以内に終了する事業年
度につき免稅する

三、納稅施設法
一、申告納稅をなすべき法人に對す
る納稅積立金及び納稅準備預金に關
する規定の適用の排除 申告納稅を
爲すべき法人に就いては納稅積立金
及び納稅準備預金はその必要がない
のでこれに關する規定を適用しない
一、納稅團體の管理する納稅資金等
の亡失した場合に於ける租稅の減免
等 納稅資金の管理等金錢の取扱を
なす納稅團體に於いてその金錢を亡
失するやうな事故が發生した場合に
於ける納稅者に對する救済措置を整
備し被害者に對しては租稅公課の減

免をなし又その亡失が團體の役員、
使用人等の故意又は過失によるもの
であるときはこれ等の者に對しては
國又は公共團體より賠償を命じ得る
等の規定を設ける

酒稅 價格特配酒の廢止 價格特配
酒は廢止するが從來の價格特配酒に
相當するものは數量特配として配給
する見込み

遊興飲食稅
一、藝妓の花代以外の花代に對する
課稅規定の整備 最近正式の免許を
受けないうで貨幣又は貨座敷に類す
營業を營むものが可成りありこれ等
に對しては現在も課稅してゐるが現
行法の規定は明確を缺くものがある
ので課稅規定を整備する

二、旅館に對する課稅方法の改正 正
旅館に就いては宿泊料と食料とを、
別個に異なる税率で課稅してゐるが、
日本式旅館では宿泊料と食料とを
合算して課稅することが簡明である
ので朝夕二食附一人一泊の標準料金
を基準として宿泊料とを合算別表の
税率で課稅する

三、納稅切符の使用範圍の擴張及び
納稅證紙の使用の省略 遊興飲食稅
の納稅義務者は原則として料金領收
書を發行し、これに納稅證紙を貼用し
てをり、例外として一人一回の料金
五圓未満の飲食のみをさせる料理店
につき納稅切符の使用を認めてゐる
が料金領收書の發行、納稅證紙の貼
用が相當煩瑣な手數を要するので納
稅切符の使用範圍を擴張し一人一回
の料金十圓未満の飲食のみをさせる
料理店に就いては別表の税率でこれ
を認めると共に經營場所の種類によ
つて支障がないと認められる場所に
對しては稅務署長の承認により納稅
證紙の貼用を省略し得る

骨牌稅 納稅證印の押捺 骨牌稅
は印紙貼用によつて納付し承るが
印紙不足等のため稅務署長の承認を
受けた場合には現金を政府に納付し
納稅證印の押捺を受け印紙貼用に
代へ得る特例を設ける

戰時災害國稅減免法
空襲激化の情勢を考慮し左の如き規
定を設ける

一、戰時災害のあつた地方に於いて
納付し及び戰時災害による被害者の
納付すべき所得稅、營業稅等につき
緊急已むを得ない場合は所得調査委
員會の調査を經ないで所得、純益等
の決定をなすことの出来る途を開く

二、戰時災害のあつた地方に於ける
所得調査委員會に就いては已むを得
ない場合は開會日數の變更、法定出
席數の規定の排除等をなすことの出
來る途を開く

三、申告及び申請に關する從來から
の特例を審査の請求、異議の申立に
就いても擴張する

四、戰時災害のあつた地方に於いて
なし又は戰時災害による被害者のな
すべき所得稅、相續稅に關する支拂
調書、計算書等の提出期限の延期を
認める

輕金屬製造事業法
輕金屬製造事業に對しては輕金屬製
造事業法施行後五年以内に一定規模
の設備を新設又は増設したときは法
人稅及び營業稅を免除することとな
つてをり最近五年の期間が満了した
が現下の情勢に顧み更に五年延長す
る

臨時租稅措置法 預貯金關係、法人
の申告納稅制度以外の主なるもの左
の通り

一、政府の指導、幹旋等により合併
等をなした場合の清算所得に對する

二、政府の指導、幹旋等により合併
等をなした場合の清算所得に對する

三、政府の指導、幹旋等により合併
等をなした場合の清算所得に對する

四、政府の指導、幹旋等により合併
等をなした場合の清算所得に對する

法人税等の軽減 現行法では清算所得に對する法人税に就いては拂込資本金額百萬圓以下の法人は百分の十、拂込資本金額百萬圓を超ゆる法人は百分の五を軽減し又看做配當に對する分類所得税に就いては百分の五を軽減してゐるが、今回看做配當に對する課税を清算所得税に對する法人税に統合することとしたので、これに伴ひ左の如く清算所得に對する法人税につき兩者を統合して軽減且軽減の程度を擴張する

一般稅率

積立金又は非課稅所得より成る部分 (全部看做配當に對する分) 百分の廿六 百分の十三 その他の清算所得 (看做配當分及び普通の法人稅分) 百分の四十八 百分の廿七 拂込資本金額百萬圓以下の法人 百分の四十八 百分の廿七 同 百萬圓超の法人 百分の四十八 百分の廿二

なほ特別の法人の清算剩余金に就いても同趣旨により軽減を行ふ 二、企業整備等に關する所得稅、法人稅、營業稅等の軽減又は免除の特例の延長(略) 三、企業整備、應徵等のため營業以外の事業を廢止した個人に對する所得稅の軽減又は免除(略) 四、企業整備等のため應業した者の使用人に對する所得稅の減免の改正及び徵用のため退職した使用人に對する所得稅の減免 企業整備等のため合併又は解散した法人、營業を廢止した個人の使用人でこのため退職した者に對しては所得稅を減免してゐるが、これが減免の方法を改め決定後に退職した場合でも減免を認め又は徵用のため退職した者等に就いても同様の減免を認める

五、建物の強制疎開の場合に於ける讓渡利得の免稅等 企業整備等のため不動産等を讓渡した者に對しては利得金額の二割を控除して臨時利得稅を課税してゐるが、控除を三割に擴張すると共に強制疎開のため建物を讓渡したときは臨時利得稅を全免する 六、山林増伐所得の課税上の特例の擴張(略) 七、所得減少者に對する所得稅、營業稅等の軽減の擴張 個人その年の營業所得等が前三年間の平均額に比し五割以上減少した場合は稅額の二割又は四割の軽減を認めてゐるが今回營業以外の事業に就いてもこれを認めると共に前年に比し五割以上減少した場合は稅額の三割又は六割を軽減する 八、營業の純益減少者、個人の田畑自作所得減少者に對する租稅軽減の廢止 個人の田畑自作所得、法人又は個人の純益が昭和十一年以前三年の平均に對し二割五分以上減少したときは地租又は營業稅の軽減を認めてゐるが、その必要乏しいのでこの規定を削除する 九、政府特殊借入金に對する課稅の特例 企業整備資金措置法に規定する政府特殊借入金金の利子に就いては國債の利子に準じ所得稅等を課税してゐるが、臨時資金調整法によつてなした政府特殊借入金金の利子に就いてもこれを認める 十、法人の罰料金に關する所得等の計算上の特例(略) 十一、地方鐵道及び軌道業の修繕補修費積立金に關する特例 地方鐵道等に於ては資材關係等が必要な修繕が出來ないので將來の修繕費に充つるため主務官廳の認可し一定標準

に基いて積立てた金額は法人の所得等の計算上益金に之を算入しない 十二、法人が積立金を拂込に充當したる場合の特例 法人が積立金を株式拂込等に充當した場合に於ては利益の配當として所得稅を課税してゐるが、その負擔關係等を考慮し行政官廳の指導、斡旋等によつてなした場合はその二分の一を控除して所得稅を課する 十三、會社經理特別措置令第二條及び企業整備資金措置法施行令第六條の規定による損金の繰延整理に對する特例 右の規定によつて損金を繰延整理したときは稅法でもこれを認め一定期間以内に償却することを認める 十四、自作農創設補助給金に對する課稅上の特例(略)

改正稅率一覽表

直接稅

所得稅 (單位稅率%、括弧内現行)

種別 區分 稅率 不動産所得 六百圓以下 二二(一九) 六百圓超 二二(二一)

配當利子所得稅

甲種 (一)稅法第一條該當分(施行地内居住者分) 國債の利子 一六(一三) 國債以外の公債、政府保證社債の利子及利益 若は利息の配當又は剩余金の分配 二二(一九) 元本五千圓超の銀行貯蓄預金、市町村農業會貯金等の利子

法人稅

各事業年度の所得 內國法人 三三(三〇) 外國法人 四八(四五)

清算所得 積立金又は法人稅を課せられざる所得より成る金額 二六(一) 其他の金額 四八(三〇) 特別法人稅 各事業年度の剩餘金 二二(二〇) 清算剩餘金 種立金より成る金額 二六(一) 其他の金額 四二(二〇)

通行稅

普通乘客 程程運賃 一回 一 一 二 三 四 五 六 七 八 九 十 十一 十二 十三 十四 十五 十六 十七 十八 十九 二十 二十一 二十二 二十三 二十四 二十五 二十六 二十七 二十八 二十九 三十 三十一 三十二 三十三 三十四 三十五 三十六 三十七 三十八 三十九 四十 四十一 四十二 四十三 四十四 四十五 四十六 四十七 四十八 四十九 五十 五十一 五十二 五十三 五十四 五十五 五十六 五十七 五十八 五十九 六十 六十一 六十二 六十三 六十四 六十五 六十六 六十七 六十八 六十九 七十 七十一 七十二 七十三 七十四 七十五 七十六 七十七 七十八 七十九 八十 八十一 八十二 八十三 八十四 八十五 八十六 八十七 八十八 八十九 九十 九十一 九十二 九十三 九十四 九十五 九十六 九十七 九十八 九十九 一百

間接稅

酒稅 (單位一石當り圓、括弧内現行) 清酒 一級 二四五 (一級九九五) 二級 六二〇 (二級六二〇) 二級 五八五 (三級三四〇)

酒稅 (單位一石當り圓、括弧内現行) 清酒 一級 二四五 (一級九九五) 二級 六二〇 (二級六二〇) 二級 五八五 (三級三四〇)

間接稅

酒稅 (單位一石當り圓、括弧内現行) 清酒 一級 二四五 (一級九九五) 二級 六二〇 (二級六二〇) 二級 五八五 (三級三四〇)

價格特配酒停止 (價格特配酒一二五圓輕減)

▽合成清酒 五四五 (二級三四五)

價格特配酒廢止 (價格特配酒一二〇圓輕減)

▽濁酒 三五〇 (二〇〇)

▽白酒 一〇五〇 (六〇〇)

▽味淋 七五五 (四二五)

特殊味淋に對する加算稅率廢止特

殊味淋に對しては四三五圓を加算

▽燒酎 五七〇 (三四〇)

價格特配酒廢止 (價格特配酒に對しては一三〇圓を輕減)

▽麥酒 四五〇 (二八〇)

價格特配酒廢止 (價格特配酒に對しては九七圓を輕減)

▽果實酒 一級七五〇 (四一〇)

外に販賣價格の百分の百を加算

二級 四〇〇 (三〇〇)

三級 三三〇 (二五〇)

▽雜酒 一級 二二〇〇 (一〇〇〇)

外に販賣價格の百分の四百 (百分の三百) を加算す

二級 一〇〇〇 (六〇〇)

外に販賣價格の百分の百を加算

三級 一〇〇〇 (六〇〇)

四級 七〇〇 (四〇〇)

アルコール分五〇度以下のもの (除麥酒) にして一定度數を超過するものに付ては超過アルコール分一度毎に (一定金額を加算す) 基本稅額を指定アルコール分を以て除して得たる金額の百分の百廿を加算す

アルコール分五〇度を超過るものに付ては一石に付アルコール分一度毎に五三圓 (三六圓)

遊興飲食稅 (一人一泊)

▽洋式の旅館以外の旅館に於ける宿泊の料金

【改正】 命令を以て定むる一人一泊の料金 (以下普通宿泊料と稱す) が七圓未満の料金の百分の廿▽普通宿泊料十二圓未満の百分の四十▽普通宿泊料十二圓以上料金の百分の七十▽普通宿泊料を超過る金額に付百分の十加算

【現行】 (一) 宿泊料金五圓未満百分の廿▽十圓未満百分の四十▽十圓以上百分の七十 (二) 遊興飲食の料金 二圓五十錢未満料金の百分の卅▽五圓未満百分の五十▽五圓以上百分の八十

▽通常一人一回の料金十圓未満の飲食のみを爲さしむる稅務署長の指定する普通料理店に於ける遊興飲食の料金

五圓未満 据置
六圓未満 四圓
八圓未満 五圓五十錢
十圓未満 七圓五十錢

▽花代遊興飲食の料金 据置

入場稅 (一人一回、括弧内現行)
▽第一種の場合 演劇、映畫、演藝又は觀物 (相撲、野球、拳闘其他の競技にして公衆の觀覽に供することを目的とするものを含む) を催す場所、競馬場、博覽會場、展覽會場、遊園地、鍛鍊馬場 (入場料五十錢未満) 入場料の百分の三十▽入場料一圓未満百分の百 (百分の六十)▽入場料一圓以上百分の二百 (百分の百)▽五圓未満百分の百五十圓以上百分の二百▽回数定期又は貸切にて入場の契約を爲したるもの百分の百五十 (一圓未満百分の百)

▽入場料一圓以上百分の百五十

▽第二種の場合 撞球場、スケート場、卓球場、釣堀場其他 入場料の

百分の百 (百分の四十)▽麻雀場 入場料の百分の百五十 (百分の八十)▽ゴルフ場 入場料の百分の二百 (百分の百五十)

初年度二億圓増加

今回の増稅による増収見込額は六稅目合計初年度十七億百萬元、平年度十八億八千萬元であるがこれに稅制改正による増減を通算すると初年度十九億二千三百萬元、平年度十八億五百萬元となる、稅制改正によつて平年度に七千六百萬元の減收があるのは臨時稅措置法の關係であるが、初年度に二億二千萬元の増收があるのは主として法人稅申告納稅の制度を創設したので從來は翌年度に延びてゐた決定が當該年度中には行はれることとなり、この結果廿年度は十九年度分と廿年度分が纏つて徵收され臨時稅措置法改正による減收を差引いてもなほ増收があるためである (單位百萬元)

Table with columns: 稅目, 廿年度, 平年度, 初年度

Table with columns: 所得稅, 法人稅, 特別法人稅, 通行稅, 酒稅, 入場稅, 合計, 減

納期を改正
徵稅事務簡捷化を期すると共に納稅者の立場をも考慮して各稅相互の調整を圖るため所得稅、個人の營業稅、個人の臨時利得稅、地租の納期を左の如く改正した (括弧内は現行)

Table with columns: 所得稅, 個人營業稅, 臨時利得稅, 地租

【十九日】 煙草の値段は支那事變以來五回、大東亞戰爭勃發以來二回それ、値上げを行つて來たが、政府は今回の増稅と並行して專賣益金の増收を圖るため戰時負擔額として平均三割八分の煙草の値上げを斷行することになつた、これにより生ずる益金廿年度六億九千餘萬元を臨時軍事費特別會計に繰入れることになり、十九日の定例閣議に石渡藏相より報告、同日午後三時大藏省より發表した、値上げの實施期日は增稅實施との脱み合せもあり目下未定であるが配給制を實施してゐる關係上月替りから實施される筈である

今回の値上げにより一番大幅に引上げられたのは金鶏の品質が最近向上してゐるのを他の兩切煙草との値段を調整し配給制による負擔の平等化を圖るためである、また値上げ實施と同時に從來重要産業勞務者や農漁村方面に行つてゐた價格特配を廢止して數量特配のみをすることになつたが、これは酒と同様購買力の吸収を織込んだものである、改正定價

整を圖るため所得稅、個人の營業稅、個人の臨時利得稅、地租の納期を左の如く改正した (括弧内は現行)

Table with columns: 所得稅, 個人營業稅, 臨時利得稅, 地租

【九日】 稅法は九日の定例閣議に内務省關係會議會提案の地方稅法及び地方分與稅法中改正法律案を附議決定した、即ち

地方稅法及び地方分與稅法改正

○、市町村民稅の賦課總額の限度を五割程度引上げること

○、配附稅の繰入率及び分與率を改訂し配附稅の繰入額及び分與額の不足並に一部地方稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

○、配附稅の減收を補填すること

Table with columns: 現行, 改正

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

Table with columns: 朝日, 朝日, 朝日

與税の配分には特段の考慮を拂はなければならぬ事態に立至つてゐる折柄、恰も明廿年度は分與税制度が經過年度を終了し平年度に入るのこの機会に地方税法及び地方分與税法を改正地方團體の優遇を圖るに至つたもので本法の改正により市町村民税の賦課率が現行において一町村一人當り平均四圓が六圓に、一般都市六圓が九圓に、大都市八圓が十二圓と夫々賦課率が引上げられ、また享樂面の全面的停止等によつて遊興飲食税の著しい減收に伴ふ補填方法として配附税の繰入率及び分與税率等の改訂をなすほか經營難の貧弱團體救済を圖らんとするものである、この結果新に地方財政に潤ふ金額は一億圓を超える見込みである

軍需金融等特別措置法

【四日】政府は四日の初閣議に今議會に提出すべき軍需金融等特別措置法案を決定した、同法設定の狙ひでは軍需金融の圓滑適正を圖ると共に資金の效率的使用を促進することをもつて目的としてをり、大體の骨子は昨年一月から閣議決定事項として實施中の軍需會社指定金融機關制度の擴充強化並にこれに伴ふ金融機關の公的性格の強化を行つたものであるが、過去一年の經驗に鑑み種々改良が加へられてゐる、その主なる點、左の通り

①軍需會社に對する指定金融機關は原則として一行主義を採ると共に、當該軍需金融機關以外の金融機關は當該軍需會社に對し金融出來ないことになつた、またこれまでは軍需會社だけに指定金融機關を設定してゐたが、今度は軍需會社以外のものにも指定金融機關を設定すること

が出来ることになり、現在の指定軍需會社六百七十七社のほか資本金五百萬圓以上の會社及び銀行からの借入金金が當時百萬圓以上になる會社、特殊法人等約八百が差當り本法の適用を受ける豫定で他に協力會社等及びぶことになれば總數約二千位に上る見込みで、これにより大體銀行の貸付金額の七、八割を統制し得ることになる

②軍需金融機關の仕事はこれまで如く單に融資のみでなく擔當事業者からの預金をも取扱ふほか、事業者の請求によつては當該事業者の賣買代金、前受金、前渡金等の代理受拂に關する事務をも取扱ふことになつてをり、結局擔當軍需會社の金の出し入れが指定金融機關一本に集中するといふ考へ方である、更に政府は日銀、軍需金融機關、金融統制團體の職員をして官吏の資格で臨時資金調整法、軍需會社法その他の法令による資金または經理に關する検査に従事せしめることも出来る、これ等によつて軍需會社の經理狀況を的確に把握し、もつて資金の効率化の徹底を期さうといふのである

③以上のことを圓滑に行ふため銀行に對する監督を強化し、軍需金融機關の役員と軍需金融擔當者は公務員とし、機密漏洩、經濟罰則等については官吏同等の制裁を受けるほか政府は役員に對し解任權を持つこととなるまた直接軍需金融業務に關しては政府は資金融通限度の指定、融資協力關係の設定、業務の制限、利率、手數料その他條件の指定、特別積立金の設定並にその運用、戰後に於ける特別積立金の納附等について命令若くは指定をなすことになつてゐる

▲軍需融資指定機關は五十七、廿七日大藏省では廿七日衆議院軍需金融委員會に一月廿日現在に於ける軍需融資指定金融機關調を提出したが、同金融機關數は五十七、うち主なるもの左の通り

△戰時金融金庫△橫濱正金銀行△日本勸業銀行△臺灣銀行△北海道拓殖銀行△日本興業銀行△朝鮮銀行△三和銀行△靜岡銀行△住友銀行△帝國銀行△東海銀行△野村銀行△八十二銀行△北國銀行△北陸銀行△三菱銀行△安田銀行△橫濱興信銀行

外資金庫設立

【十二日】政府は現在南方開發金庫その他關係金融機關を通じて行つてゐる大東亞各地域の經濟力の戦力化に必要な在外資金の調達を一元化するため新に外資金庫を設立することになり右に關する法律案を十二日の閣議で決定したので同日午後情報局から外資金庫法律案要綱を發表した、同金庫は資本金五千萬圓で登録政府出資とし、第一回拂込金は五分の一程度とする、主たる事務所は東京に置くが政府の認可を得て銀行等をしてその業務の一部を取扱はせることが出来る

九大貯銀合併へ

【四日】大藏省では時局の要請に鑑み東京、大阪、名古屋の大都市に存在する九大貯蓄銀行（第一相互貯蓄、東京貯蓄、内國貯蓄、不動貯蓄、安田貯蓄、大阪貯蓄、津貯蓄、日本相互貯蓄、日本貯蓄）對しその總力を結集し機能の一層増進を圖るためこの際大同合併して國策的な一大貯蓄銀行を設立するやう意圖を得たので四日午前十一時東京贊同を待たぬで四日午前十一時東京五行は日銀本店、大阪三行は日銀大

阪支店、名古屋一行は日銀名古屋支店に夫々各代表者が集合して「大同合併をなす方針の下に今後大藏省、日銀の斡旋により至急合同に關する具體案を樹立することに決定せり」との趣旨の合併實行に關する聲明書を調印をした、合併實施後貯蓄銀行は全國で十六行となるが殘餘の地方貯蓄銀行についても現在既に地銀への合併交渉中のもあり今後一層地銀との合併を促進して將來貯蓄銀行は全國に新設貯蓄銀行一行のみが存在することになる、なほ合併九貯蓄銀行の資本金及び預金は次の如くであるが、これが合併する場合は預金は八十七億圓（十九年九月末現在）以上を有する一大國策貯蓄機關となるのであつて新興所得者層その他資金の吸収面における活躍は期待される（單位千圓）

銀行名	公稱	拂込	預金積金
第一相互	資本金	資本金	一七、八三三
東京	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、五七〇
内國	一、〇〇〇	一、〇〇〇	四、六五〇
不動	八、〇〇〇	八、〇〇〇	二、五三八七
安田	五、〇〇〇	五、〇〇〇	二、〇三〇
大阪	七、〇〇〇	七、〇〇〇	一、八五、四四〇
津	三、〇〇〇	三、〇〇〇	一、四〇、〇〇〇
日本相互	二、五〇〇	二、五〇〇	三〇、〇八三
日本	三、〇〇〇	三、〇〇〇	五三、三三二

併と決定したが資本金、資産の評価方法その他は十九日打合會を續開し決定した

國內資金調査簡素化

【六日】大藏省では臨時資金調整法に基づき國內資金調査規則を制定六日公布即日實施する、同規則は從來當該年度毎に制定してゐたが、今回の規則は恒久的なものとし時局の要請に鑑み恒久的なものとし、今同豫想を報告せしめることなく増資、株金拂込及び國債發行の計畫を有する會社から四半期毎に事前報告を徴すると共に、各半期間の資金使用及び調達の實績につき報告を求めるととしたほか、調査事項についても資金政策運用上最小限度必要なるものみに限定して徹底的に簡素化された

工 鑛 業

科學審議會管轄

▲切削工具の急速整備等【十七日】科學技術審議會航空部會では陸海軍大臣提案諮問第一號に對する第十次答申として、工作機械の全面的能力發揮に必須なる切削工具の急速整備方を確立し航空機増産に資せしむる件、航空計測器に關する研究成果の件、航空機械體の生産増強に資すべき電氣點接技術方式に關する件の三件につき審議を決定、去月二十日小磯總裁の決裁を経て夫々科學技術審議會答申第五五號、五六號、五七號として十七日技術院から發表されたが、各件ともそれらの部面から隘路を克服、航空戦力の増強に資せんとするものである

【廿二日】銅、釜、湯沸等家庭金物金物類の修理強化

類について農商省では各家庭で簡単な修理が出来るやう廿二日家庭金物の修理強化に關する通牒を地方長官へ通知した、地方廳では家庭金物の修理を主業とする鑄掛業者をして都道府縣を單位として家庭金物修理施設組合を組織し、適當な場所共同作業所を設置して修理させる、實施方は中央物資活用協會都道府縣支部から隣組を通じ、修理券を各家庭に配給する、なほ農商省では修理の資金を取締り適正な資金にし差當り一帯一個當りの修理資材を配給する

農 業

諸類増産對策要綱決定

目標五十四萬町歩卅六億貫

【卅日】食糧國內自給體制の確立と液體燃料確保の両面から諸類増産が刻下の急務なるに鑑み政府は本年度に於いてこれが飛躍的大増産を圖ることになりかねて農商省を中心に具體案を検討中であつたが今回成案を得たので卅日の閣議に「諸類増産對策要綱」を付議決定、情報局より發表した、即ち本年の生産目標は廿四億約廿七億貫、馬鈴薯約八億五千萬貫合せて卅五億五千萬貫に増大したがこれは從來の單なる努力目標でなく飽達も實現を期すべき完遂目標としてゐる、このためには作付面積を五十四萬町歩に増大するほか多收品種への切替健苗育成、栽培技術の滲透、關する萬全の對策を講じこれが豫算の措置として十九、廿兩年度に亘り一億一千五百萬圓の互額を計上し

た、特に今回は軍當局に於いても用地の提供、努力の支援等積極的協力の下に軍、官民一體の一大國民運動を展開して徹底的にこれが完遂を圖ることになつた、實施要領は左の如くである

△作付面積の増大 卅日諸は前年度卅四萬町歩に對し普通畑四十三萬町歩、荒蕪地伐木跡地四萬八千町歩、早畝水田の轉換七千町歩その他空地、軍用開墾地等を合せて五十四萬町歩に擴大する特に開墾には八割の國庫補助を行ふ

△多收品種及び健苗育成 農林一號乃至四號、護國、沖繩百號等の多收品種に全面的切替へを行ひ普通畑に於いては反當五百廿貫程度に引上げる、このため特設育苗圃を設定健苗確保を圖る

△技術の滲透 全國主要生産地(約六八〇〇町村)に一町村三名宛宛農家を指導員に囑託し苗木、育苗、植付、肥培管理の徹底を圖る

△處理加工 切干加工の數量を六、七億貫に増加するため切干機械を新たに廿萬臺増設するほか簡易穀粉工場増設、アルニール工場も主産地を中心に擴充増設する

△價格の是正 農家の勞苦に酬ひるため價格の適正化を圖り特に端境特別對策として早掘甘藷については特別の考慮を拂ふ

△努力對策 農家の奮發を促すと共に甲種(九萬人)乙種(百萬人)兩増産と軍關係の努力を一體機動的に活用、特に國民學校兒童は學校を中心にして栽培、加工に活用する

本計畫完遂のため農商省の戰時食糧増産本部を中心に各省關係團體協力して近く全國的に強力なる國民運動を展開するが大體二月から四月迄を

開墾育苗、五、六月を適期植付、九月より十一月を掘取り處理加工期間として計畫的に推進する、尙馬鈴薯は特に關東地方に於いては水田裏作の勵行と秋馬鈴薯の獎勵による水田注ぎ目標數量の突破を目指してゐる

諸類増産對策要綱

一、方針 主要食糧及び液體燃料確保に關する甘藷馬鈴薯の緊要性に鑑み昭和廿年に於いて之が飛躍的増産を圖る爲左の施策を強力に推進するものとす

二、要領 ①昭和廿年度に於いて廿七億約廿七億貫、馬鈴薯約八億五千萬貫の生産目標を樹立しその完遂に邁進するものとす ②作付面積に就いては既耕地に付之を優先確保すると共に未耕地及軍用地等の開墾利用に依り之を確保するものとす之が爲要すれば臨時農地等管理令第八條及第九條の規定の適用を圖るものとす ③種苗の確保及び種苗の育成につき格段の措置を講ずることとし甘藷特設育苗圃、馬鈴薯採種保護地並に貯藏設備の擴充を圖るものとす ④甘藷の腐敗防止並に處理加工の増強を圖るため切干機械乾燥設備等擴充及び燃料用摺込穀粉工場の増設を行ふと共に地方の事情に即し甘藷の早掘及び貯藏を計畫的に實施するものとす ⑤諸類の増産並に處理加工等に要する資材及び努力に就ては優先的確保を圖るものとす ⑥昭和廿年産諸類の價格につき適正なる改訂を加ふると共に諸類の供出確保に關し買入方法等につき有効適切な措置を講ずるものとす ⑦生藷及び種苗の輸送に關しては其特殊性に鑑み適期優先輸送の實施を圖るものとす ⑧本計畫の完遂を期する爲戰時食糧増産推進中央本部に諸類緊急増産部を設置し中央及び

地方に於ける關係官廳及び團體協力の下に全國的増産運動を強力に増進すると共に急速に指導組織を強化し諸施策の末端への徹底を期するものとす

(備考) 本計畫遂行のため資材、努力、輸送等に就ては陸海軍省、軍需省、運通省、厚生省、文部省等各省の協力を期するものとす

簡單に出来る自家製鹽

【十日】空襲その他の事情のため鹽の確保が必ずしも萬全とはいひ得ない事情にあるので、政府ではさきに海水利用による自家製鹽を國民一般に呼びかけると共に厚生省厚生科學動員會議の自家造鹽並に海水利用部會では極力自家製鹽に關する研究を續けつゝあつたが、十日厚相官邸に開かれた同會議生活第一回答申報は最も簡易にして効果の多い自家製鹽法を發表した、その製鹽法を解説すると

一、砂屑貫流式採掘法 Ⅱコンクリートまたは粘土で公園等にあるやうなすべり臺やうのものを作り表面に細かい砂を薄く撒く、上方に海水を入れた槽を置き徐々に海水を貫流させる、早朝これを開始、夕刻これを停止しそのまま放置しておくと翌朝開始までに十五度程度のお濃い鹹水が下部の受槽に得ることが出来る、操作は極めて簡單だから海邊地方の隣組や國民學校などでの實施が望ましい

一、螺旋式濃縮法 Ⅱ藻繩を螺旋狀に巻きつけた竹管の上部から繩により徐々に海水を注ぎかけると風力または太陽熱で濃縮された水が下に落ちる、この鹹水を料理、漬物の下漬などに應用する

一、家庭用豆鹽田 Ⅱ一坪内外の土地

に粘土を張り表面に砂を撒布して海水を撒き砂に鹽分を附着させこれを浸出して濃液を採取、鍋で煮詰めて鹽を得る、殆ど資材、努力を要しないから農漁村の家庭に推奨する

なほ古屋博士は料理に對する海水の利用について實驗の結果を發表したが、稀薄した海水で漬物、茹物、揚物、醃物を處理すれば冷却後僅かに苦味は残るが海水含有の無機質が榮養上有利であることを述べて料理に海水の利用を要望した

味噌、醬油を都道府縣が自給

【廿二日】輸送力がすべての物の隘路となつてゐる實情に鑑み、農商省では味噌醬油は極力その縣内で自給自足させることとし、生産力の偏在を分散適應せしむると共に原料の受配實績を適當に移讓せしめることとなり廿二日その實施要領を各地方長官あてに通知した、これは四月一日より實施される、その要領は

○各道府縣はその生産能力を限度として責任生産を行ひ、不足分は隣接府縣より供給せしむる ①生産と消費の過不足は工場移駐や原料受配實績の移讓等によつて極力調整する ②また生産者間においても實績の移讓を行ふと共に零細企業の強化を行ふ ③以上の實績に必要な事項を審議するため中央と各都道府縣に需給調整委員會を設ける

等であるが實際の効果は實施してから味噌は五ヶ月、醬油は十ヶ月の後初めて現はれる、その結果味噌は縣外輸送を十一萬六千三百十八噸減少(從來全生産量の二二%が一〇・六

％となる)し番油は十萬八千四百四十
七鹵減少(三〇％が二三％になる)し
輸送力の緩和に役立つこととなる

勞務

國民勤勞動員他三要綱 決定

【廿日】別報廿日の總動員審議會で
決定を見た「國民勤勞動員に關する
勅令要綱」の内容次の通り、本要綱

の目的は戦局とともに増大する軍動
員及び勤勞動員の急速なる進展と敵
空襲下國民勤勞の全能力を發揚せん
とするもので、その概要は(一)緊要
業務における要員制を確立、就業を
確保して動員の前提を固めると共に
(二)零細な勞務まで開拓把握をなし
て動員準備措置を確立し(三)就職勸
奨の制度を強化して動員方式を整備
し(四)勤勞動員配置に法的根據を明
定して同制度の確立を圖り(五)しか
して手續を簡素化して動員行政の改
善を圖らんとするものである、從つ
て現存の國民徵用令、勞務調整令、
學校卒業者使用制限令、國民勤勞報
國協力令及び女子挺身勤勞令は廢止
されることとなつた、國民勤勞動員
令要綱の新聞點檢要次の如し

第一章 總則(略)

第二章 要員及就業の確保

第四 軍動員による勤勞者の減耗
に加ふるに今や身勝手な職場離脱に
よる減耗もまた輕視を許さない、こ
こにおいて緊要業務に従事するもの
を指定し、從來の事業場本位の離職
制限に加ふるに個人指定の足止めた
確保せんとするものである、この法

令の赴くところ全國民の足止めもま
た可能であり、全國産業人口構成と
脱み合せ、足らざるころへは減耗
補充をなし、武器をつくるもの、農
林業を營むもの夫々その職域に安定
せしめんとするものである

第五 敵襲下の就業確保のため必
要な場合は他の法令の規定に拘はら
ず従業者の従事すべき業務その他従
業者の使用若くは従業に關する事項
につき必要な命令をなし得る

第三章 勤勞動員

第一節 勤勞動員準備

第六 退職従業者より居住の場所
その他動員準備上必要な事項を届
けさせ異動給與を把握する

第七 從來就業制限は男子のみに
限られてゐたが、これを女子にも擴
大し禁止職種従業者より(第八)同様
の報告をさせて配置轉換を圖る

第八 國民登録者中から適宜抜打
的に就職の希望條件等を申告させ
て故人徵用、應召者徵用等の間
違ひを避ける

第九 (第八)によつて準備をなし
たる上勤勞動員せられるものに對し
て出頭命令を發し意見の開陳をさせ
る、從來の徵用における出頭命令は
本人の利益を考慮の上の意見開陳で
あつたが、今後は國家の計畫的動員
完遂の上での適性配置のために出頭
命令を發するもので、ここにおいて
適所適業に按配する

第十 (第九)によつて動員せられ
るものに對し服務の適否を判定し、
適格者には轉居報告をなさしめて給
源からの離脱を防ぐ

第十一 適格者選定に國民勤勞動
員官をおく

第十二 必要に應じ動員準備とし
て隊組織をなす

第十三 勤勞動員されるものの適
性検査をなし勤勞訓練を實施して
(第十二)とともに出勤前に萬全の措
置をなす

第十四 以上の動員より學徒は除
外する

第十五 從來は事業主が一般勤勞
要員を確保せんとする場合は行政措
置としての割當申請をなし、次いで
各法令毎に認可申請をなす要があつ
たが、今後は割當一本で勤勞者の確
保が出来る

第十六 生産關係の安定せる重要
工場には減耗補充に定員制度をつ
くり、特別申請によつて迅速簡単に補
充する

第十七 (第十五、第十六)は協力
關係事業場も包括してなし得る

第十八 雇入及び就職
第十九 就職勸奨

第二十 (第十九)の勸奨に應じない
ものに就職を命令、その範圍を擴大
する(第二十)は企業整備にのみ就職命
令を發したが、今後は工場疎開によ
る退職者等にもなす(例へば石炭勞
務者の他職種への轉職者にも命令し
て先業に復歸させる(今後は勤報へ
も勸奨に次いで命令を發する)

第三節 徵用

第二十一 志願徵用制度を認めた(第二十三)
女子徵用等の場合を考へ隊組織出動
の途を開いた(第二十六)に、プール
團體、事業場への徵用をなし得る、
例へば統制會へ修理工一千名を徵用
して所屬會社へ常時派遣するなど運
營次第で波及するところ甚大である

第四節 勤勞協力

第二十二 從來の勤勞報國は女子挺身隊も勤
勞報國隊も常に隊組織であつたが今
後は個人協力の途を開いた(空襲時
地方長官が自ら隊員の選定を命じ得

るやうになつた(勤勞協力者に對す
る扶助制度を確立した)

一時歸郷も措置

第四章 機動配置

現行の行政措置によるものを明文化
したまでで實際運営上には變りはな
い(事業場内における配置轉換も命
じ得る(第五十三)食糧生産のため
の一時歸郷に關する措置も命じ得る
(第五十五)

第五章 雜則

第二十三 勞務供給業者による勞務者の使
用又は従業を制限し得る(第五十七)
(防護施設(例へば防空壕)その他の
從業條件に必要な命令を事業主にな
し得る(第六十)動員に關する職權
は原則として地方長官に附與する
(第六十五)勤勞動員對策本部(假
稱)を中央、地方にそれ、設置し
關係官廳間の連携を緊密にして行政
の緊密迅速かつ確な運轉を期する
▲學徒動員簡素化(二十日)國民勤
勞動員に關する勅令案要綱の決定に
平行して必然的に學徒勤勞令の改正
も廿日總動員審議會で決定を見た、
勤勞即教育を建前とする學徒動員は
教育の配應と共に學徒勤勞の本質は
その集團的組織の運用にあり一般勤
勞者個人を對象とした國民勤勞動員
の方法と當然趣を異にすべきで、一
般國民勤勞動員に關する勅令と切離
されることになつた、改正の要點は
學徒動員の手續の簡素化と學校報國
隊の機動配置についてである

一、從來學徒動員の手續はその出
動を求めんとする事業主から厚生省
に割當申請すれば厚生省は勤勞動
員對策本部を通じて文部省との間に
割當會議を開いて出動人員を決定、

その結果を文部省が事業主に通告す
れば事業主は文部省に出動申請手續
をなしてゐたものを今回の改正では
繁煩を避けて事業主から文部省に提
出すべき申請書を省略、文部大臣又
は地方長官は事業主の申請を俟たず
積極的に出動命令を出すこととした
こと、これによつて事業主からの動
員の申請は厚生省を通ずる一本建と
なり民間、官廳の事務手續が著しく
簡素化された

二、生産計畫の變移、緊急業務の完
遂等のため行はれる機動配置につ
いては從來都道府縣の勤勞機動配置非
常對策本部で機動配置人員を決定
し、事業主に通告すれば事業主は出
動してゐる學校報國隊の中から獨斷
で選定移動せしめる權限を與へら
れてをり學校側は受動的な立場に置
かれてゐたが、今回の改正では文部
大臣または地方長官から直接機動せ
しむべき學校を選定、當該學校に通
告、機動配置につかしめることにな
つた、これによつて機動配置の公正
適切を計るとともに教育的立場より
一般雇傭的關係を拂拭され、學徒勤
勞の矜持を保持した

▲林業水産にも要員確保 (二十日)
政府は重要林産物及び重要水産物の
増産確保に努力して來たが、これが
達成には今後まず(窮屈化)すべき
林漁業勞務を最も小理有程度に確保す
るを先決と認め、廿日の國家總動員
審議會に「重要林産物の生産確保に
關する勅令案要綱」及び「重要水産
物の生産確保に關する勅令案要綱」
を諮問決定を見たので同日要綱を發
表した、その要旨は次の通りである
が林漁業要員指定にあはせて林業で
は市町區域内の生産計畫樹立、漁業
では戦時基幹漁船指定が注目される

その結果を文部省が事業主に通告す
れば事業主は文部省に出動申請手續
をなしてゐたものを今回の改正では
繁煩を避けて事業主から文部省に提
出すべき申請書を省略、文部大臣又
は地方長官は事業主の申請を俟たず
積極的に出動命令を出すこととした
こと、これによつて事業主からの動
員の申請は厚生省を通ずる一本建と
なり民間、官廳の事務手續が著しく
簡素化された

二、生産計畫の變移、緊急業務の完
遂等のため行はれる機動配置につ
いては從來都道府縣の勤勞機動配置非
常對策本部で機動配置人員を決定
し、事業主に通告すれば事業主は出
動してゐる學校報國隊の中から獨斷
で選定移動せしめる權限を與へら
れてをり學校側は受動的な立場に置
かれてゐたが、今回の改正では文部
大臣または地方長官から直接機動せ
しむべき學校を選定、當該學校に通
告、機動配置につかしめることにな
つた、これによつて機動配置の公正
適切を計るとともに教育的立場より
一般雇傭的關係を拂拭され、學徒勤
勞の矜持を保持した

七〇(六〇)二等二・五〇(一・五〇)
 ▽宮島口—宮島三等二〇(一・五〇)
 下關—釜山三等八・五〇(七・〇〇)
 二等二六・五〇(一五・五〇)一等六
 八・〇〇(三〇・〇〇)▽博多港—釜
 山三等八・〇〇(六・五〇)二等二
 四・五〇(一四・〇〇)一等六四・〇
 〇(二七・〇〇)

△定期運賃
 基本運賃に一定の戦時特別運賃を加
 算することになってゐるが、この戦
 時特別運賃の貨率は次の通り改正さ

五 料

單位	改正	現行
一ヶ月 每一料	二〇〇	二二〇
三ヶ月 同	五〇六	六八
六ヶ月 同	一〇〇八	五〇四

なほ普通定期、學生定期、工員定期
 の種類に拘らず右の戦時特別貨率に
 乗じた額を加算する、假りに五キロ
 十四キロ、卅キロの三つの場合をと
 れば別表のやうになり、大体二割五
 分見當の値上げとなる

るため國鐵旅客運賃引上と併行して
 四月一日から通常郵便物、小包郵便
 物及び特殊取扱料の料金改正を行ふ
 こととなつたが、通常郵便物につい
 ては郵便法の改正を要するので、改
 正法律案を今議會に提出する、今回
 改正の要領は全體を通じて料金の種
 類階級を單純にし、取扱の簡易化を
 圖るとともに切手の種類を少くす
 ることによつて切手調達の能率を上
 させ、切手不足を緩和することを狙
 つてゐる、改正料金の一覽は左の通

普通通常郵便料金

種類	單位	現行	改正
第一種 有封書狀 印刷書狀	可綴	一〇〇	一〇〇
	不可綴	一〇〇	一〇〇
	普通	一〇〇	一〇〇
第二種 通常葉書 往復葉書 封緘葉書	可綴	七六	七六
	不可綴	七六	七六
	普通	七六	七六
第三種 發行人差出 日刊新聞 其他	可綴	一〇〇	一〇〇
	不可綴	一〇〇	一〇〇
	普通	一〇〇	一〇〇
第四種 印刷物 點字	可綴	一〇〇	一〇〇
	不可綴	一〇〇	一〇〇
	普通	一〇〇	一〇〇
第五種 農産物種子 特殊取扱料金	可綴	一〇〇	一〇〇
	不可綴	一〇〇	一〇〇
	普通	一〇〇	一〇〇

文

化

宮廷

【一日】元且宮中
 の諸御儀
 【三日】元始祭御
 親祭 △故末次大
 將に幣帛下賜
 【四日】政治始の
 御儀 △故末次大將に銀杯下賜 △ヒ
 ットラー獨總統、フランコ・スベイ
 ン國執政、滿洲國皇帝陛下、ラウレ

ル、フィリッピン大統領とそれと
 御祝電御交換
 【五日】宮中新年宴會御取止め△成
 子内親王殿下御着帯の御儀
 【八日】陸軍始觀兵式
 【十五日】若槻禮次郎男等四氏に宮
 中杖天盃下賜
 【十六日】滿洲國皇帝陛下よりの敵
 機の豐受大神宮城來襲に對する御見

歌

福知山市 躰見孝子上
 鈴の緒をとる手も凍る曉の神のみ
 園に梅の花さく
 大阪市 山脇充夫上
 みそきするあかしたるにしむ神苑の
 雪けの風に梅かきたるなり
 群馬縣 伏見たき上

△急行料金
 左の通り改正される(通行税を含む)
 改正 現行
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

▲地方鐵道も引上げ 【二十三日】堀
 木鐵道局長官談 今回の改正はいは
 ば國民に陸運の戦費を負擔して頂く
 ことになるものであつて、この點を
 十分に理解して決戦輸送の完遂に協
 力を切望する、これに伴ひ地方鐵道
 軌道等についても旅客運賃の引上を
 行ふことになる筈であるが、その増
 收部分の處置については輸送力増強
 と購買力吸收の趣旨に副ふやう十分
 なる監督を加へるつもりである

郵便料金引上

【十七日】政府は戦時通信事業運賃の
 必要に應じ併せて國家財政に寄與す

△省營航路寢臺料金

左の通り改正(通行税を含む)
 現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金
 現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

▲地方鐵道も引上げ 【二十三日】堀
 木鐵道局長官談 今回の改正はいは
 ば國民に陸運の戦費を負擔して頂く
 ことになるものであつて、この點を
 十分に理解して決戦輸送の完遂に協
 力を切望する、これに伴ひ地方鐵道
 軌道等についても旅客運賃の引上を
 行ふことになる筈であるが、その増
 収部分の處置については輸送力増強
 と購買力吸收の趣旨に副ふやう十分
 なる監督を加へるつもりである

郵便料金引上

【十七日】政府は戦時通信事業運賃の
 必要に應じ併せて國家財政に寄與す

△省營航路寢臺料金

左の通り改正(通行税を含む)
 現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

△省營航路寢臺料金

現行 改正
 一等(大人) 一・三〇 二・五〇
 二等(大人) 一・一〇 二・三〇
 三等(大人) 一・〇〇 二・二〇
 一等(小人) 一・〇〇 二・一〇
 二等(小人) 〇・九〇 二・〇〇
 三等(小人) 〇・八〇 一・九〇

ひるまへにさく梅みれは御手洗の
水わする手もさむからぬかな

松阪市 小津 民上
うめおほきやしるなれとも冬のう
ちにさくは忌垣の一本にして

愛知縣 樹田新三上
朝霜をも、愛ふみてかち軍いの
み苑に梅か香そする

長き邊りでは左記諸氏逝去の趣開召
され生前の功績を嘉せられ左の如く
特旨の叙位、叙勳の御沙汰あらせれ

末次大將 【三十一日】
叙從二位(特旨を以て位一級追陞せ
らる)

柳川中將 【二十五日】
叙從二位(特旨を以て位一級追陞せ
らる)

叙勳二等授旭日重光章
女子學習院長に下村壽一氏
【廿五日】 宮内省辭令
東京女子高等師範學校

任女子學習院長(一)
女子學習院長 芝田 徹心
依願免本官
任宮内顧問官

一 散

有栖川宮記念厚生資金
【十五日】 長くも有栖川宮の御祭祀
をつがせ給ふ高松宮殿下には毎年二
同有栖川宮記念厚生資金並に同學術
奨励金を下賜あらせられるが、十五
日本年度一回期の光榮の拜受者が次

の通り宮家から發表された
◇表彰(現箱一個下賜) 小林銀三郎
(愛知縣)他廿三名◇奨励(金一封下
賜、個人)柿崎尚〓研究發明(長野
縣)佐藤茂雄〓製炭改良(宮城縣)◇
奨励(金一封下賜、團體)大日本婦人
會櫻井町支部宮ヶ崎班〓農村厚生事
業(愛媛縣)◇助成(金一封下賜)河
南殖産更生組合授産所〓託兒所建設
(大阪府)◇學術奨励金 元宮内省圖
書寮編修官宮良富壯(金一千五百圓
下賜) 日本諸方言の音聲學的調査研
究

一億特攻隊の歌決る
【廿五日】 翼贊會では日本放送協會
と共催で募集中の「一億特攻隊の歌」
は應募總數一萬餘篇の中から長野縣
埴科郡松代町山上武夫氏の歌詞が廿
五日入選と決り發表された
①日本一億特攻隊
このたましひは 皇國の 歴史つ
かぬくたましひは 散つて甲斐
かをる萬葉の 櫻花

教化報國會を設立
【廿五日】 文部省では決戦下國民教
化活動を強力に推進するためこんど
全國一千餘に上る教化團體を統合し
て大日本教化報國會を設立する事と
なり廿五日午前十一時から文相官邸
で結成式を履行した
東京新聞社役員決る
【廿五日】 東京新聞社は遠藤前社長
の後任その他役員につき舊職理事會
に於て社長福田英助、理事會長田中
齊、常任理事福田恭助、大島一衛の
諸氏を兼任、監督官廳に認可申請中
であったが、廿五日認可の指令があ
つた

科學技術者動員協議會設置
【十九日】 政府は科學技術の全機能
を最高度に發揮せしめるため昨年七
月「科學技術者動員計畫設定要綱」を
決定したが本計畫の策定及び實施に
關する各省連絡機關として今回科學
技術者動員協議會を設置することに
なり十九日の閣議において吉田軍需
相より説明、諒解を求めた本協議會
は軍需省總動員局長を會長、總動員
局第一部長を副會長とし、同時に各
關係省の高等官を委員とする參與會
を設けて重要事項の調査審議に當
る、また左の五部會が設けられる筈
第一部會(理科系學校卒業者の配
當動員)
第二部會(中堅技術者の養成)
第三部會(技術者動員再配置)
第四部會(高級技術者の活用)
第五部會(技術者に關する調査登
録)

學 術

學術研究會擴充強化
【十五日】 政府は學術を戦力に直結
するため昨年八月陸海軍に陸海軍技
術運用委員會を設けたが今回更にこ
れと密接な連繫を持つ學術研究會議
の根本的改組を斷行、研究成果の徹
底的戰力化を圖ることとなり十六日
文部省より「學術研究會調整要綱」
を發表、十七日改正官制並に施行規
則を公布、即日實施する、今回の改組
の要點は學術研究會議を科學技術研
究動員上の主要組織とするため従來
の會員四百名を七百名とし權威ある
軍官關係各研究者及び研究機關代
表者を網羅し、顧問八名を置いて學
界長老との連繫を密にし、學術諸團
體の研究促進のため連絡調整に當ら
せ更に全國を七地方に分ち各帝國大
學に支部を設置してその地方に於け

る連絡の中心とする點にある、また
△研究動員委員會は本會議の中樞機
構として自然科學、人文科學關係の
研究者動員の企畫及び實施に當る▽
科學技術の専門に應じ従來の七部門
を十六部門(自然科學十三、人文科學
三)に増加し各學術部は研究班を夫
夫設け研究の連絡に當る▽軍部外科
學技術研究の総合的成果を急速に軍
に注入すると共に軍の要求する課題
の研究を促進する仕組を講ずる、こ
のため陸海軍技術運用委員會の軍部
外委員及び委員補佐たる研究者を研
究動員委員會及び幹事に任命する

教 育

學童集團疎開、一ヶ年延長
【十二日】 敵機の頻襲する現状に鑑
みて政府では疎開期間をさらに一年
延長することとし十二日の閣議でそ
の要領を決定した
(情報局發表) 現に實施中の學童集
團疎開の運営に關しては昨年九月廿
九日の閣議に於て報告諒解を経たる
ところ其の後の情況に鑑み昭和廿年
度に於ては左の要領に依り之を繼續
實施するものとす
一、學童集團疎開實施期間は之を一
年(昭和廿年四月より昭和廿一年
三月迄)延長すること
二、昭和廿年四月國民學校初等科第
三學年に進學する學童に付ても集
團疎開を實施すること
三、國民學校初等科第三學年乃至第
六學年の殘留學童及縁故疎開學童
にして集團疎開を希望するものあ
る場合は受入可能の範圍に於て既
定計畫の員數を増加し集團疎開を
認むること
四、其の他に付ては概ね既定方針に

依ること
備考) 疎開區域にして新に學童集
團疎開の必要を生じたる場合之が
實施の區域は別に考慮すること
理科系動員學生を三ヶ月歸校
【十六日】 文部省では理科系の大
學、高專生の動員については従來と
も特に慎重の動員して來たがこんど厚
生、軍需兩省と協議のうへ、理科系
の最高學生に限り一應學校に引揚
げて卒業前の最後の仕上げ教育を
行ふ事とし、十六日關係各方面に通
達した、歸校の時期は來る七月から
卒業直前の九月末迄の三ヶ月間で、
此期間に最も重點的な萬全の教育を
實施する豫定であり、歸校する迄は
進させる方針である、尙理科系以外
の學生に就ても學力低下を防止す
るため何れ何らかの手が打たれる筈
また昨年十月に第二學年に進級した
大學の理科系學生と理科系專門學校
の現在の第一學年學生も今月中に速か
に生産戦列に加はれることとなりその
一部はずでに出勤してゐるが、専門
校一學年學生のうち今回出勤するもの
は四月初め二學年に進級と同時に學
校に歸校六月まで第二學年の學業を
受け、七月から再び集團的に出勤す
るが、こんど出勤しないものは前者
と入れ替へて來る四月から職場に出
勤、爾後引續き働勞を繼續し學業と
勤勞期間の均衡を圖る
なほ來る三月に中等學校を卒業し農
業關係の專門學校に進學するものだ
けは四、五月の氣候が農業教育に好
適な事情に鑑みて特に四月から學校
の教育を實施させることとなつた
本年度高校入試の狀況
【十八日】 昭和廿年度官立高校入學
(四二頁へ續く)

依ること
備考) 疎開區域にして新に學童集
團疎開の必要を生じたる場合之が
實施の區域は別に考慮すること
理科系動員學生を三ヶ月歸校
【十六日】 文部省では理科系の大
學、高專生の動員については従來と
も特に慎重の動員して來たがこんど厚
生、軍需兩省と協議のうへ、理科系
の最高學生に限り一應學校に引揚
げて卒業前の最後の仕上げ教育を
行ふ事とし、十六日關係各方面に通
達した、歸校の時期は來る七月から
卒業直前の九月末迄の三ヶ月間で、
此期間に最も重點的な萬全の教育を
實施する豫定であり、歸校する迄は
進させる方針である、尙理科系以外
の學生に就ても學力低下を防止す
るため何れ何らかの手が打たれる筈
また昨年十月に第二學年に進級した
大學の理科系學生と理科系專門學校
の現在の第一學年學生も今月中に速か
に生産戦列に加はれることとなりその
一部はずでに出勤してゐるが、専門
校一學年學生のうち今回出勤するもの
は四月初め二學年に進級と同時に學
校に歸校六月まで第二學年の學業を
受け、七月から再び集團的に出勤す
るが、こんど出勤しないものは前者
と入れ替へて來る四月から職場に出
勤、爾後引續き働勞を繼續し學業と
勤勞期間の均衡を圖る
なほ來る三月に中等學校を卒業し農
業關係の專門學校に進學するものだ
けは四、五月の氣候が農業教育に好
適な事情に鑑みて特に四月から學校
の教育を實施させることとなつた
本年度高校入試の狀況
【十八日】 昭和廿年度官立高校入學
(四二頁へ續く)

大東亞

國民政府

政治・軍事

陳主席代理世界に呼びかけ

【南京九日】 國民政府主席代理陳公博氏は參戰二周年記念日の九日夕南京放送局から全世界に對し、大要左の如き談話を發表、米英帝國主義並びに重慶同志の猛省を促した

今次大戰は勃發以來すでに數年を開きし世界人類は耐へ難き痛苦と空前の慘禍に喘いでゐるがそれは凡て彼の貪婪あぐなき米英帝國主義の罪である、英國は平素自由平等を一枚看板にしてゐるが、そのくせこれと根本的に相容れない植民地擄取を平氣で行つてゐる、彼等のいはゆる植民地政策こそ獨占的金融支配と異民族侵略の具現である、しかしながらかかる舊秩序は今次大戰によつて將に崩壊の危機に瀕してゐる、英國民よ、速かにアングロサクソンの優越感と異種族蔑視の一念を一掃し、獨占的經濟政策をして國際間における互惠平等の崇高なる原則を認識せよ、最後の勝利は自存自衛と共存共榮を求むるものの上におきまされるのだ

陳主席代理に勳章傳達

【南京十六日】 長き邊りにおかされては、曩に中國參戰二周年記念日

に當り、國民政府主席代理陳公博氏に對して旭日桐花大綬章を御贈進あらせられる旨御沙汰あらせられたが、これが傳達式は十六日午前十時から國民政府大禮堂で厳肅に舉行された

對華新政策具體化を期待

【上海二十三日】 大東亞戰爭の大後方基地として中支は國府領導下日華關係機關一致して戰爭完遂を最高目標に、政治、經濟全面にわたり強力な決戰體制の確立に邁進してゐるが、この決戰體制の確立に當り、中支が早急に解決を要する問題は國防資源の開發増産及び流通部面の調整並びに戰時自給の可能となるべき經濟體制を一段と強力化するに際して一切の障害を打開することにある、しかしこれに關しては過般上海大使館事務所阿崎參事官が現地日華關係機關と慎重審議を遂げた緊急施策十項目を携行東上、次いで南京大使館内公使も東上、兩氏は目下東京において關係各省と現地における通貨、物價對策を中心とする決戰經濟施策全般について打合せ中であるが、一方大東亞省では舊臘來關係各省との間に現段階に對する大陸經濟施策の具體化を進めてゐたとこ携行の現地案を完全に意見の一致をみ一日の衆議院本會議において「支那

に於る重大問題たる經濟狀態の改善に關しては經濟新政策といふべきものをもちてこれが達成に邁進する」と政府の決意を表明するに至つた、右言明は現地に對し多大の反響を與へ、日華各方面では早急これが實施を強く要望してゐる、重光外相兼大東亞相の對華新政策の具體的内容はまだ審らぬが、現地の經濟諸情勢から押して①資源戰力化の合理的運營②現地調辦の確立③インフレーションの確保が重点とみられ、これらに關する施策が強力に展開されるものと期待されてゐる

保險管理局を移管

【上海七日】 國府では從來實業部保險管理局をして上海における九十七社の多數に上る保險會社の業務を指導監督せしめてきたが、保險業が金融業と密接不可缺の關係にあるので、本年一月一日を期し、右實業部保險管理局を財政部に移管した、よつて財政部では保險業検査事務處を上海に開設、事務處主任に周佛海財政部長、副主任に儲備銀行副總裁錢大槐氏が就任、四日正式業務を開始した

中支公館長會議開催

【上海十五日】 南京を初め中支九地區の公館長會議は十五日より上海大使館事務所で開催、劈頭土田公使より舊臘東京における大陸の大使館事務所長會議の際、重光大東亞相及び各大使よりそれぞれ指示された事項について説明が行はれた後、豊田上下總領事以下各地總領事より順次管下における①物資收買狀況②各地の産業開發③民心の動向④邦人の經濟狀態などに關する報告が行はれた、次で、阪田參事官の物價を中心とし

た中支の經濟問題に關する説明が第一日を終了
△第二日【上海十六日】 會議第二日は陸海軍關係官による大東亞戰局全般についての事情報告を聴取の後、松平大使館報道部長より輿論指導に關する指示説明が行はれ、午後は直ちに懇談に入り眞摯な意見の交換を終了した
國府人事異動
任海軍部次長 李 懋 濟
任上海特別市長 周 佛 海
任上海特別市警察局長 羅 君 強
任上海特別市秘書長 許 江
任上海特別市財政局長 徐 李 敦
任同經濟局々々 劉 星 辰
任同公用局々々 徐 李 敦
任同物品配給處々々 項 致 莊
任浙江省財政廳々々 曾 廣 炎
任同教育廳々々 林 大 中
任同建設廳々々 黃 菩 生
任宣傳部指導司々々 吳 宗 保
任宣傳部特別宣傳司々々 吳 宗 保
任宣傳部諮詢委員 章 克
依願免本職
前上海市政府秘書長 吳 頌 泉
特任司法行政部部長 陳 恩 普
特任政務參贊

社會副部長 丁 默 邨
特派中央政治委員會秘書長 郭 秀 峯
王 敏 中
特派中央政治委員會副秘書長
選任國民政府委員 陳 繼 傑
喻 熙 傑
喻 熙 傑
【上海二十七日】 國府では昨年十一月一日「上海特別市金融機關業務強化要綱」及び「同實施辦法」を公布したが、現在群小行爲は依然不正出資金を断たず、投機奸商に對する有力なる資金供給源となつてゐる、市政廳ではかかる實情に鑑み最近錢莊の實態を究明すべく經營者の人物調査並びに市中錢莊の實態調査を行つたが、これによると錢莊數は總計二百八軒で、資本金千二百萬元の錢莊は一軒、同一千萬元のものは五軒、同八百萬元のものは四軒その他は資本金六百萬元のものが大部分を占めてゐる、これは一昨年資本金六百萬元を限度として金融機關の整理を行つたためであるが、これらの群小錢莊は新金融機關業務強化要綱により三月未だに資本金八百萬元に増資しない限り再整理されるわけである

錢莊實態調査の結果

【上海二十七日】

【上海四日】 昂騰の一途を辿る物價に煽られ、上海に

上海のインフレ對策

▲現地邦商の救濟策

おける邦人商社は最近頃経営難に陥つてゐるので、これが打開策を講ずるため上海日本經濟會議所では舊臘二十一日の商業部會において「邦商經營合理化委員會」を設け鋭意根本方策を確立することとなつたが、右委員會においては當面の緊急課題として邦人従業員の最低生活確保の見地から生活必需品の品目擴大、現配給機構の再檢討を行ふ必要に迫られてゐるのに鑑み現地邦人の生活確保対策として五十崎委員(上海購買社長)に對案作成方を一任した、一方總領事館の暴利取締令が現在邦人商社の經營に多大の支障を與へてゐるのでこれが緩和或ひは實情に即した適用を當局に要請することに決した對策案の作成を宮澤副部長に一任した。

▲通貨膨脹の抑制策 【上海十日】上海日本經濟會議所第三十四回インフレーション委員會は十日會議所において開催、インフレーション委員會においては通貨面よりの對策を考究することに問題を限定した後、通貨膨脹抑制に對して①通貨新規發行の規正②現行徴收制度の改善を前提とする増税の實施③資金の回収④儲備券信用の増大策を圖ること等が採り舉げられ、右のうち特に資金の回収に對しては日本の工藝美術品の賣却⑤富籤の發行⑥公共事業料金の適正價格までの引上げ⑦國府所有の株式或ひは財産の市中放出⑧工業製品の國府專賣等が可能なものとされ、右事項に關し活潑な議論が行はれた、しかし右委員會においては最後れた成案には至らず、十一日更に審議検討を加へることとなつた。

▲物價委員會開催 【上海二十四日】上海日本經濟會議所第一回物價委員

會は二十四日會議所において開催、物價問題を中心とする現地經濟綜合對策樹立に關して各委員より眞剣な意見が發表されたが、これらより意見を綜合して現在の中支經濟運営上最も早急に確立を要することは「生産物資の收買及びこれが販賣措置」についての綜合的對策であることに意見の一致をみたので同委員會は儲備銀行顧問木村增太郎博士、武内會議所理事はか三名より成る小委員會を起すことに決定した、よつて右委員は二十五日第一回會合を行ひ慎重原案を練り成案の上物價委員會に正式提出審議することになる。

上海在留邦人の重點配置

【上海二十四日】上海在留十萬邦人領事館の再編成は上海日本總領事館の適切なる施設運営によつて昨年十月以來急速に實現しつつあるが、決戦の苛烈化に伴つてさらに不要不急部門の人的資源を緊急重要部門に動員することを要請しつつある。この總領事館においては、昨年二月二十二日一齊實施をみた「中支那邦人實態調査」以後今日までの一年間には在留邦人の産業部門への轉出、企業整備その他によつて相當の異動があり、今後の人的再配置には右資料では不便を感ずるに至つたので近く再調査を行ひ、これに基いて決戦完遂を最高目標に一段と鞏固な編成を行ふ意向の下に著々準備を急いでゐる。

生産資金二十億圓を融資

【上海四日】生産増強が戦時中下國經濟の緊急要請たる今日、これが資金動員については儲蓄當局と華僑有力銀行間にお、鋭意研究を進め折衝中であつたが、舊臘儲備銀行と市

中有力銀行十二行との間に二十億元を限度とする融資契約が成立した、右十二行は中國、交通、大陸、金城、中壘、鹽業、浙江興業、浙江實業、上海商業、國華、新華、四行儲蓄會の市中代表金融機關で、その割當額限度は中國、交通各五億元その他各一億元となつてゐる、資金の用途は生産振興資金となつてをり、右資金が確實に生産振興に振り向けられるやう儲蓄當局は各行につき嚴重審査の上始めてその必要額が融資され、同業貸出その他も悪性商業資金化する恐れある向きに對しては一切融資を拒絶する方針である。

聯合準備委員會票據交換の非交換銀行中二十六行の形

【上海八日】聯合準備委員會票據交換委託代理事務は同委員會より儲備銀行に移管すること、昨年未決定を見たが、いまよ一月四日日本年度手形交換の開始とともに右委託代理の取扱を儲備銀行において開始した、これにより儲備銀行による手形交換尻清算事務の取扱銀行に、昨年六月一日以降聯準備會の儲蓄に移管された三十四行の交換銀行のほかに、今回の代理委託銀行二十六行を加へ、今回の代理委託銀行の統制權は委員會に對する儲備銀行の統制權は一段と強化された。

南方爲替逐月増加

【上海九日】昨年一月十日儲備銀行の對南方爲替集中制が實施されてより滿一年、對南方爲替の集中は華中、華南を通じて逐月増加の一途を辿り、昨年十二月末現在三千萬圓に垂んとしてゐる、このうち南方甲地區いはゆる南發券地區が一千四百五十九萬八千九百四十圓で過半数を占

めてをりこれについて佛印國勸定が四百五萬七千七百二十五圓泰國口勸定十萬五千六百七十二圓となつてをり、この外に東京正金普通勸定が九百五十萬六千九百二十九圓で總計二千八百二十六萬九千二百六十七圓である、右特別資金は家族生計費、學費等を中心とする華僑送金がその大部分を占め、交易決済金は海外貿易輸送の減少より見て極めて僅少である。

農工増産方針

【上海十四日】國民政府實業部では戰局の現段階に呼應して農產物一般生必需品の増産に懸命の努力を拂ひつつあるが實業部長蔣佐銓氏は十一日昨年度の増産狀況並びに本年度の實施計畫に關し次のごとく語つた、昨年度の農業増産では試験的工作に偏重したが米、麥、雜糧などの成績は極めて良好であつた、林耕、育苗などを注したが、以上の工作は積年の努力をしてこそその努力が現れるのであることを忘れてはならない、本年度の農業増産の遂行方法は過去において農業改進區、林業示範場、育苗場、棉種繁殖場など種々の機構が濫設されて、人力經費ともに分散して効果が薄かつた實情に鑑み、これを調整合併し且つ地域的關係を重んじて治安不良の場所が實施を見合せることにした、本年度の農業増産經費についても既に決定を見たが昨年度の約三倍である、工業増産に關しては既に日用品指定生産實施要綱が制定されてゐるので、指定の日用品生産工場をして豫定目標によつて生産せしめたい、各工場の必要とする原料並びに動力については極力合理的配給を行ふ方針である、礦業方面に關しても勿論重視してゐる」ところ

で、目下華中一帶には小型礦山積が極的に開發中で萬壽山炭礦のごときが、最近新たに萬壽山を發見したのが、これが發掘可能ならば日に百トンは増産できよう。

大運河修築工事進捗

【上海十三日】山東省臺兒莊及び揚子江北岸瓜州間三百八十キロの水路を結ぶ第一期大運河修築工事は、國府行政院治理運河工程局の直轄下に昨秋來實施されてゐるが、右工事過程において最大工事たる淮陰船閘及び疎浚引河工事は、江南公司の手によつて昨年八月十六日より施行、同十一月末竣工すべく工事を急いでゐたところ、治安、資材關係から進捗を阻まれ、加へて舊臘來寒波の襲來を受け大運河は凍結し工事は更に難澁に陥ると共に、上海より資材を満載した民船も途中において凍結されは至り、右工事は意外の遅延をみつつある、しかしながら大運河の修築は中支の石炭事情の逼迫から早急完成が要請されてゐるのに鑑み、徐邦榮治理運河工程局長は痛く責任を感じ現地に滞在して右工事の遂行を督勵しつつある、會社側でも大童となり嚴冬にも拘らず一日千名の工夫を動員、結氷を割り突貫工事を行つてゐる結果、現在では淮陰地區の灣曲部を直結する千五百メートルの運河開鑿を終り目下船閘工事を進めつつあり、早ければ二月末、遅くも三月中旬の解氷期までには竣工をみる豫定である。

精米商を統制

【上海九日】米糧統制委員會では江南瀋陽地區を中心として目下挺身的收買を敢行、目標量確保に邁進、着々成果を收めつつあるが、一方加工部内においても統制收買地區内にお

る精米商並びに米糧倉庫の嚴重な監視を斷行すべく、精米商並びに米糧倉庫統制管理實施要綱を九日より實施することとなつた、これにより電力、火力、水力、畜力等による精米力を行ふ一切の設備を有する精米商、指定米商に對しては今後米統會の精米計畫に基いて運營されると共に指定精米商、指定米糧倉庫に對しては電力燃料その他の資材を優先的に斡旋することとなつた

米糧收買順調に進捗

【上海二十六日】米糧の收買は米統會を中心し日華軍官一體となつて果敢に行はれ、その成果は着々舉つてゐるが現在の收買状況から推して二月十三日の舊正月までは目標量(年間を通じての目標量ではなく舊正月までに收買すべき量)の八割は收買契約可能が確實視されるに至つた、本米穀年度における米糧の收買は收穫期の天候不良で時期が遅れてゐたところへ十二月初の寒氣來襲により、各河川、クリクが氷結、輸送が停止したのと收買資金の放出が圓滑を缺いたため十分の工作を展開し得なかつたにも拘らずかかる成果を擧げつつあることは非常な成功と見られる、もつともかかる成果の蔭には米糧收買挺身隊の奮闘並びに鹽、礬子、蠟燭、砂糖、綿布等の見返物資の放出、合作社の收買が非常に成績を擧げてゐること、及び田賦の實物徴收がこれまた順調に行はれてゐること等が擧げられる、なほ收買に際しての一つの支障は檢收人の不足にあつたが、この點についても本年に入り米統會から増派したので檢收は一段と能率化されるに至つた

廣東の物價對策

▲傳給生活者の給與基準制定【廣東

六日】最近の物價高は當地在留邦人特に傳給生活者の生計に甚大なる影響を與へつあるに鑑み、この程總領事館當局では物價事情に適した給與支給方法並に給與額の基準を制定し、傳給生活者の生活の確保と勤勞者の移動防止を圖り、職域奉公に邁進せしめることとなつた、右基準は大體において内地の會社經理統制令に準據するとともに地理的に密接な關係をもつ上海地區の標準案を採用し、更に當地の特殊事情をも加味せるので、今後業者において右基準と著しく懸離れた給與をなす際には嚴重取締りを行ひ、場合によつては會計簿の檢査をも實施する筈である、なほ今回決定せる給與基準に基いて示せば左の通りである

本俸(單位軍票圓) 合計支給額
一、八八〇
一、〇〇〇
一、五〇〇
二、〇〇〇
五、〇〇〇

▲廉賣米の數量増加【廣東八日】舊臘廣東省政府は市内米商五軒と提携し、廉價米を販賣して來たが、省政府當局では更に販賣店を一躍七十軒に増加せしめると共に、販賣量を從來の一斤當り一斤を三斤に改め、賣出時間も午前八時半より午後三時まで延長し市民の利便を圖つてゐる、賣出米は從來の金凡雪赤赤米の他に金山粘米、次粘米の二種を加へ賣出價格も市中より相當低位となつてをり、これが今後一般市民に及ぼす影響は極めて大なるものがある

新地區との物資交流促進

【廣東十一日】商統會廣東分會調統料調査による十二月中の廣東省和平

地區内物資搬出實績をみれば金額は一億五千六百九十七萬三千餘元で前日より一千二百一十一萬八千餘元の増加を告げてゐる、右は去る十二月十六日省政府が新地區との物資交流促進のため搬出許可證の發行を中止し自由搬出制に改めた結果とみられるが、今後はさらに一段の活潑化が期待される、なほ類別、縣別に搬出總額を示せば次の通りである(單位千元)

- 一、類別
綿糸及び 二〇、四五五
絹製品 九、八五五
金屬製品 六、四九九
染料 五、四四四
一、縣別
東莞縣 四、二五五
南海縣 三、四四六
順德縣 二、八四四
新會縣 三、〇四九
增城縣 一、八五五

國民政府關係保信
【五日】廣東邦人三銀行利上げ
【六日】岡崎參事官現地對策案拂行東上

- 【九日】國府參戰二周年式典
【十日】紛麥統制會特殊收買開始
【十一日】谷大使歸任、豊田總領事着任
【十二日】南日本漁業廣東出張所支店に昇格
【十三日】華中鐵道運賃大申引上
【十九日】廣東の日華合辦新中華煙草會社操業開始
【廿二日】上海燐寸工場の原料自給計畫
【廿四日】華中木材統制會の構成強化
【廿五日】中支那振興の豫算編成
【廿九日】陳璧君女子支那派遣軍總司令部に五百萬圓を國防獻金

香港 (發信地は香港)

敵性通貨の所持禁止令公布
【九日】香港占領地總督部では從來香港ドル、舊法幣などの敵性通貨の使用を禁止し來つたが、最近この種敵性通貨の關交換相場が出現し、現地物價狀勢に相當影響するところあるに鑑み、今回全面的に敵性通貨の所持を禁止しこれが惡弊を一掃することとなり、八日付をもつて右に關する管区内通貨規則の改正を公布即日これを實施した、なほ總督部ではこれを考慮、一月八日より一ヶ月間各銀行においてこれら敵性通貨の特別交換を實施する、交換比率は香港弗の割合で、その他の通貨は十八年五月中の相場により、相場なきものは總督部の指定したものであることとなつてゐる

通貨搬出入交換制限を簡素化
【十九日】總督部では香港、廣東間の金融流通促進のため兩地間の軍票、儲備券の搬出入及び同交換制限を簡素化すべく十八日附告示で、右に關する改正規則を公布、即日實施する事となつた、改正要點次の如し
①、軍票と儲備券との交換は從來五百圓まで不要許可であつたものを今同一千圓まで不要許可としたこと(貿易上の送金は許可を必要とし、これは從來と同様である)②、軍票儲備券の携帶搬入は從來五百圓まで不要許可であつたものを一千圓まで不要許可としたこと(儲備券の搬出については別に許可を要しないことは從來通りである)③、本邦向渡航者の軍票と本邦銀行券との交換は從來すべて許可を要したのを今回は五百圓を超えない場合は許可を要しないこととした④、百圓券の香港軍票を搬出する場合はすべて許可を要することとした
物品税を創設
【四日發】總督部では財政の擴充強化を圖るとともに消費規正の見地より新たに物品税を創設、右に關する總督令を公布、本年一月一日より實施した、本税は特定のものを除く物品に對し小賣販賣價格の割を課税するが徵收を免ぜられてゐるものは洋酒及び果實酒を除く食糧品、燃料、燈油、藥品、煙草、書籍、金銀及び白金の地金、肥料、農具、家畜飼料、葬具などである、しかし醫療用機械、教育用、特需用その他に供するものは免稅の特典が與へられてゐる、なほ本稅徵收の補助團體として總督部指定の物品販賣業者をもつて近く物品稅組合が組織され、交付金を與へられて本令の圓滑なる施行に協力することになる

敵性銀行の保護函開放
【二十四日】總督部財務當局では敵性銀行の清算と共に銀行保護函の開放を急ぎつつあつたが、今回香港銀行以下七行の未開放保護函を開放することとなり、二十三日付告示をもつてこの如く銀行名開放期日を發表した
永安銀行 二月二十六日より同二十七日まで
國民商業儲蓄銀行 二月二十八日及び三月一日
鹽業銀行 三月二日より同三日ま

大通銀行 三月八日より同九日まで
廣東銀行 三月十二日より同十三日まで
日東銀行 三月十四日より同十六日まで

香港南華日報停刊

【十八日】香港の和平紙として輝かしき歴史を持つた南華日報は一月十六日付朝刊を最終號として停刊した、同紙は民國十九年二月一日中國々民黨中央黨部宣傳機關紙として發刊され、故汪精衛氏が重慶を脱出してからは和平救國を標榜、重慶側及び英政廳の壓迫に抗し、反英和平の旗を高く掲げ皇軍香港占領後は東亞新秩序のため敢闘してゐた

華北

圓元等價は絶對堅持

【北京四日】中國聯合準備銀行總裁汪時驥氏は最近巷間に流布される聯銀券價值に關する風説に關し三日談話を發表し、聯銀券の日本圓と等價比率及び對儲備銀行券換算比率は累次の聲明通り絶對不變のものなることを強調し、この不變の方針を歪曲せる流言蜚語の如きは單に華人の投機惡行爲としてではなく華北經濟を擾亂する利敵行爲として嚴罰をもつて臨む旨を聲明した

保險料の一時拂停止

【北京八日】在華北日本側生保、徵保各社では圓建の生保、徵保契約を利用して爲替管理法による華北から内地向送金制限を免かれやうとする合法的不正行爲を防止するためと、更に各社の現地における過當な資金

の累積を避けるため當局の指示に基き各社一齊に保險料の一時拂及び前拂の取扱を停止することとなり、一月一日から實施した、因みにこの措置は華中では昨年十二月一日から實施されてゐる

輸入開發物資に價格調整措置

【北京十九日】華北日本間の物價差増大の傾向に鑑み兩地間交易物資の價格調整を圖るため、日本からの華北向け輸入物資のうち開發物資以外の一般物資については、昨年八月一日以降現地市價主義による現地價格調整を行つてきたが、今回開發物資についても現地においてある程度の價格調整措置を講ずることとなり、十七日北京において日本大使館をはじめ日本交易團、華北交統總會、北支那開發、聯銀その他各關係機關代表が參集、右實施策につき協議檢討を行つた結果次の如く決定、一月一日以降における日本からの積出物資につき適用することとなつた、即ち直接開發物資として特殊會社を實需者とするものについては本邦適正FOB價格の五〇%と、その他開發物資については現地大使館において決定した差益率を調整料として、華北交易統總會がこれを徵收する、なほ直接開發物資とは次のごとき品目である、鋼材、非鐵金屬、機械及び同部分品、車輛及び同部分品、自動車及び同部分品、電線、農器具、石炭、コークス、工業用皮革製品、生ゴム、タイヤ及びチニープ、木材、耐火煉瓦、ガラス、ベルト、ホース、パツキング、特免綿製品、叭、麻袋、火薬及び火工品

棉收買量前年の六倍

【北京十日】十九年度華北棉收買實績は關係者一同懸命の努力により〇〇萬ピクルと前年同期の約六倍に達した、しかしこれを同年度目標數量に比すればなほ相當の開きがあるの、新年を期して一段とこれが促進を圖るべく從來の收買方策に一部修正を加へ、見返り品として綿布、機子、鹽、煙草等を大量放出することにより一部地區に對しては相當思ひ切つた機動的價格制を採用せしめることとなり、この結果舊正にかけての華北棉花の收買は急速に進捗するものと期待されてゐる

市民へ衣料綿布

【北京二十五日】北京市政府では舊正を迎へるに當り、日華關係機關の好意的援助を受けて今般衣料用綿布の配給及び廉賣を開始する運びとなつた、まづ一般民需配給としては舊正前に四郊を含む全市民の各家庭に一月當り中國服一着分(五乃至六ヤール)の綿布を洩れなく配給し、それと併行して同一品を居住證によつて市民に廉賣してゆこうといふのである

米穀收買九割大完了

【北京十二日】昭和十九年度の米穀統制收買は去る十二月初旬既に割當量の七〇%を供出し、頗る好成绩裡に推移して來たが、舊臘より本年初旬にかけての供出は米穀統制會支部職員の現地督勵によつて更に拍車づければ、一月十二日現在を以て米穀統制會支部に到着したものを合算すると〇萬〇千石で、計畫豫定數量の九五・八%に達してをり、一部には治安その他の關係で供出不良の部分も散見されるが、大體一月末頃までは豫定數量の供出が完了する筈である

北支開發の動勢

▲開發事業場周邊に宣傳工作 【北

京十六日】同社では關係會社諸事業推進上各事業場周邊所在の敵匪及び一般民衆を對象とする宣傳工作の重要性に鑑み今回同社啓務本部内に宣傳班を設置し、各事業體の善隣工作と密接して活潑な宣傳工作を展開することとなつた

豫算單價の標準

【北京二十四日】同社の二十年度事業豫算編成に當つての豫算單價の基準を指示すべく今回計畫班において關係方面と協議の上、左の如き豫算の單價査定標準を決定物價の變動に對應せしめることとなつた

物動發註機器移設資材等既に購入價格の決定してゐるものまたは購入價格の豫想し得るものその價格は

○、右以外の豫想困難なものについては別途審議の上、適宜一應の豫算單價を定めておく、右豫算單價と實施價格との變動については二十年度中適當な時期において事業進捗狀況とも視み合せ適宜是正を圖る

豫算編成方針

【北京十九日】本年度豫算編成方針としては關係會社の事業推進による戦力増強を第一義とし、併せて各事業相互間の關聯性を勘案してその均衡を圖りつつ極力資材資金の節約に力め、重點效率主義に徹せしめることとした

新會社の設立

▲北京電氣株式會社 【北京十六日】廿五日創立總會、事業は電氣機器類の製造販賣、資本金一千万圓
▲共和造船株式會社 【天津十八日】船舶修理、本社は塘沽、元儀興船渠工廠

曹達工業株式會社

【北京十八日】上海紡績と岩井産業の共同出資、曹達工業
▲華北有價證券交易所 【天津十九

日】十八日總立總會、理事長に王錫文氏就任
▲徐州銀錢業公會 【徐州廿四日】徐州地區金融界の健全化を圖るため機關をもつて設立
▲天津地區造船協力會 【天津廿六日】廿六日發足、各工場の綜合合理的運營並に相互連絡

輕工業振興目標

【北京六日】華北輕工業振興委員會ではこのほど左記九品目を新年度の目標として重點的に採り上げ、資材の面では鮮綿、華中及び内地よりの交流を交易統制總會の手で斡旋し、資金の面に於ては工銀が融資する等の方法を講じ、急速に輕工業の發展を期することとなつた、新年度の重點品目左の通り、鉛筆、陶磁器、各種容器類(硝子製品を含む)、齒磨、靴盤、インキ、墨表、下駄、ブラッシ、なほ鉛筆、陶磁並びにブラッシについては既に一部の工場が天津地區において操業を開始してをり、その他の生必物資も四月頃までには適當な工場が選定され操業を開始するものと期待されてゐる

華側遊休工場を調査

【北京十九日】華北輕業振興委員會では資材並びに勞力等の關係から、その独自の機能を十分發揮し得ざる華側遊休輕工業工場に資金と活動力を與へるためこれが調査を行ふこととなり、來る二十二月より約一ヶ月に亘り各業種別に調査員を派遣して生産工場の実體調査を實施する、今回の調査班には滿鐵より四名、聯銀より二名、北京經濟會議所より四名の調査員が參加し、主として石鹼、鐵工、窯業、印刷、醸造、紡績並びに染工、磨坊、仕立、皮業、磁業、サイダー、マツチの各工業の実態を調査、その

結果を倣つて買上げ價格の適正化、資金の融資、賃銀の是正有力工場への生産集中のための整理統合等の方法を考慮して、速かに輕工業の振興を圖らんとするものである

【北京十六日】 滿蒙及び華中など隣接地域から華北に對する勞務需要は急激に増加しつつあるが、供出側たる華北においては當地自體の産業開發或いは農業増産の進展等により、勞務供給は相當逼迫を對してゐるの

【濟南十三日】 山東省合作社聯合會では舊曆昭和二十年度事業計畫を策定檢討中であつたが、その成案を得たので、いよいよきたる三十日開催の同會理事會に附議決定の上、即日實施することとなつた、計畫案の重點つぎの通り①、舊合作社財政基礎の確立②、合作業務運営の合理化③、生必物資の製造、礦物開鑿及び民家の福祉増進を圖るため資金〇〇〇〇萬圓をもつて生必品、油、石鹼、紙、藥等を製造、これを一元の統制價格をもつて配給する場所未定④、農村副業の奨励と増産獎勵金の交付⑤、各地交易所の復活及設備⑥、信用資金の重點的配當⑦、縣縣職務の改善、從前の指導、事業、金融、庶務その他の係を廢し、新たに指導、總務、事業の土着に簡素化し、また職員採用は上着人をもつて業務の積極推進を圖る

【北京十六日】 昭和十八年十二月以來一ヶ年間に華北各地日華官民から北支軍へ寄託された獻金總額は、實に四千九百九十一萬六千八百餘圓の巨額にのぼり、また在北京海軍武官府に寄せられた今年中の獻金總額は二千九百六十七萬餘圓に達してをり、さらに増産増送の共同戦場挺身隊の華人合同の獻金四百八十八萬九百餘圓を合計すれば現地陸海軍當局に寄せられた華北一ヶ年間の獻金總額は實に六千六百餘萬圓の巨額にのぼり、征戰完勝に偉大な役割を果してゐる

【青島二十七日】 青島水産統制組合では最近の燃料、資材等の窮乏化による生産低下を阻止するとともに、更に一層増産の實を擧げるべく、今同帆船による打瀬網漁業を復活することとなつた、打瀬網漁法は昭和八年頃まで當地沿岸一帯において實施されてつたが、發動漁船の登場に

より姿を沒したものである、同組合において試験の結果發動機船に比較すれば、漁獲高において遜色あるも經費諸雜費を差引けば、寧ろ有利であることが判明するに至つた、よつて本年度は更に漁船を増加し沿岸一帯に亘つて試験漁撈を行ふと共に漁場の調査を本格化した

【八日】 纖維統制團體の機械改革措頭

【九日】 有獎定期預金當選率を増加

【十六日】 電極の本格的現地生産始

【二十日】 青島商工會議所改組決定

【廿三日】 北支開發で食糧物價班

【廿五日】 警務隊指導員養成所開設

【廿七日】 華北交通運賃は三億圓の増收

【廿八日】 成紀七百四十年度(昭和二十年)の蒙古政府一般會計並

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政

的に削減し、防衛態勢強化、治安肅正、生産増強、民生安定等に重點をおくと共に本年度に比し相當多額の準備を計上、參戰蒙古の戰爭完遂決意を示し、歳入は租税と專賣利益金との増收をもつて賄ひ、政府築建以來の健全財政方針を堅持してゐる、なほ特別會計は歳入十億四千六百四十七萬四千餘圓、歳出八億三千八百三十三餘圓となつてゐる

【四日】 政府は最近における政府投資の増大並びに戰時下の經濟狀態の推移などを視合せ、新年度から從來の如き借入金による方針を一擲し、新たに公債債券特別會計を設定、これによる吸收資金をもつて特殊會社に對する投資資金に充當することとなり、右に伴ひ政府債特別會計は一時中止されることとなつた、なほ公債債券は新年度一億八千萬圓發行の豫定である

【六日】 政府は酒稅率の適正化と財政收入の増加を圖るため、四日の持廻政務院會議で酒稅法の一部改正を可決、一日付で公布施行した、改正の要點は從來從價百分の二十五であつた酒稅の稅率を一躍百分の百と大市に引上げた點にあるが、これは現行稅率が極めて低率で、同一嗜好品とみられる煙稅の稅率百分の百二十二に較べると、著しく負擔の均衝を失してゐるので、この點を是正せんとするものである、なほ本稅率改正による政府財政の増收は平年度約二千五百五十萬圓で、本年度酒稅收入は總額約三千四百萬圓となる豫定である

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

【二十四日】 政府は二十二日付をもつて「會社(生必社を含む)經理統制及び資金管理に關する件」の經濟部訓令を發し、今後會社の經理及び資金の管理運用に關しては、諸種の統制を加へ、濫費を抑制し、一路戰爭遂行のための戰力基地としての使命達成に邁進することとなつた、今回の經理統制及び資金管理は蒙疆特殊法人のみに適用され、給與の統制とかその他全面的經理及び管理の前提をなす暫行的措置であるが、更にこれら統制の一層強化するため、近く右を法制化して強力な推進を期することとなる模様である

【七日】 政府はかねて「道路運送整備基本要綱」の策定を急いでゐたが、四日の持廻政務院會議で決定した、その狙ひは輸送力の効率化を圖る見地から牛馬車、自動車を含めた戦力物資全般の優先運送をなすことにも、各資源に亘る輸送力増強施策を強力に推進せしめんとするにある、これが具體案としては、輸送動員態勢の確立、運搬具の整備増強、道路の改良、仲繼施設並びに宿營設備の整備、資材の斡旋、食糧及び馬糧の配給、運送用役者の斡旋、輸送の統

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

蒙疆

(發信地は全部張家口發)

【廿八日】 成紀七百四十年度(昭和二十年)の蒙古政府一般會計並

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

【六日】 金屬資源の重要性に鑑み政府では補助貨幣たる鑄貨の製造を一

制、運賃の統制補助金または助成金の交付等につき諸方策を實施するほか、中央並びに地方輸送委員會を設置し統制輸送の運賃に萬全を期する

農産物蒐荷対策を檢討

【十七日】産業部では農産物蒐荷態勢整備のため各省、盟、特別市の報告を基礎に今後の対策につき檢討を加へることとなり、十五、六の両日張家口蒙銀公館に各省盟特別市の糧穀科長を招集し(一)蒐荷七百四十年一月十日現在における蒐荷實績並びに今後の資金供給(二)見返り物資の放出状況並びに今後の配給計畫(三)收買後の處置、などにつき種々隔意なき意見の交換を遂げた結果今後の蒐荷対策について大體の結論を得るに至つた、即ち一月九日現在における蒐荷目標に對する實績は既に目標量の八十%を確保するといふ好成绩を収めてをり、今次會議において得たる結論に基き、今後收買資金の圓滑なる放出、見返り物資の順調な配給が行はれば舊正までには概ね目標量獲得は確實視されてゐるまた收買糧穀の輸送についても交通路を始め各地方の輸送機關の適切な措置と努力によつて順調な進展をみせてを

滿洲國

(發信地なき日附は
新京發同報電報也)

政 治

省長會議開催

【二十六日】康徳十二年度第一回省長會議は二十六日午前九時國務院に開催、國民儀禮の後張國務總理の訓示あり、終つて各部大臣の施政方針の説明に移り、質疑應答あつて午後五時第一日の日程を終了した張國務總理訓示要旨は次の通り、本年度の國政の根本目標は總て決戦に即應する強力がつ周到なる國家總力態勢を整備し國力總てを盡し國土防衛の完備を期すと共に戦力を物心兩面に亘り劃期的に充實しもつて聖戰完遂上のわが國の使命達成に遺憾なからしむることである、これが

ためにはまづ第一に國民精神總動員態勢の確立が緊要で、第二には國民總生産動員の徹底である、また國內治安の維持のためには今後益々激化するべき空襲並びに敵性謀略の活動などに備へ以上即應対策に萬遺憾なきを期す方針である、増産については農畜産物の増産、蒐荷の強化、鐵礦、石炭、輕金屬、液體燃料等の増産確保に最重點を指向することは勿論である、貯蓄の増強、通貨膨脹の抑制は健全なる産業經濟發展の基礎であり、生産力増強の基本的要件たるのみならず眞に民心安定上絕對必要な問題であつて本年は更に昨年比し貯蓄目標を倍加せざるを得ない實情にある

興農部決戦措置要綱決定

【十六日】康徳十二年度の興農部決戦措置要綱を討議する興農部擔當參事官會議は十五、六の両日興農部で開催、第一日は決戦措置要綱、品目別出荷割當、油糧作物増産対策、蒐荷子獻納運動促進對策などにつき、第二日は農産、林野、畜産、水産關係につき種々懇談を行つた、興農部決戦措置要綱大要左の通り

- △農産—本年度農産物増産については重要糧穀、油糧作物、纖維作物その他の特殊作物、酒石酸、包裝資材等に主眼をおき農業勞力の帶給調整、役畜の動員、農具の確保、技術の總動員を四大施策として、更に農地造成の促進、國有地、遊休地の完全活用等による作付面積の増加を圖る
- △畜産—役畜、小家畜、家禽毛、皮革類、獸毛、カゼイン、骨粉等に重點を指向し増殖第一主義の下に畜産物資蒐荷配給の圓滑化を圖る
- △林産—用材、薪炭の増産に重點をおき生産力の劃期的増強、林産物帶給の圓滑化を期す
- △水産—海洋漁業は機船、底曳網を獎勵すると共に滿開一體の開発策を強化し、河川漁業は生産組織及び現地取引機構の改善整備を圖る
- △開拓—開拓防衛の確立、開拓増産の完遂、開拓強化の徹底の三大目標を樹立し、緊要植、開拓民の全般的輔導、既入植地區への補充、入植、緊急農地造成地區への入植の確保に努める
- △技術推進態勢の確立—農事試驗、勸業機關その他國際農業技術者を網羅して技術推進委員會を設け試驗、研究項目の整理、不急部門の一時中止、農業技術指導班を編成派遣して技術の徹底的滲透を圖る

興農技術體制を整備

【二十二日】興農部では統一的意識の下、興農技術の動員體制を確立することとなり、豫てより具體案を考究中であつたが、このほど興農増産技術推進要綱を策定、本要綱に基き興農部は興農技術推進委員會、農工部所管試驗研究機關並びに勸業機關に各種の緊急措置を講じ、以て科學技術を基礎とする緊急増産の的確かつ劃期的推進を圖ることとなつた、興農技術推進委員會興農技術指導班の概略は次の如くである

△興農技術推進委員會—興農諸旋策に科學技術を強力に反映せしめ、これが遂行を推進するための興農技術の企画、審議の本部機關として興農部に設置する興農部大臣の監督に屬し興農部次長をもつて委員長とし、興農部大臣の任命または依囑する委員をもつて構成するもので二月一日には發足の見込である、なほ本委員會に特定事業を立案審議せしめるため専門委員會を設けることが出来る△興農技術指導班の編成—興農技術推進委員會において決定を見た技術施策の實行推進に當る機關として興農部に常置する、本指導班は興農部(外局を含む)職員中應任官以上の技術官及び興農部所管試驗研究機關の幹部職員をもつて編成するが、特定技術に付ては必要に應じ官民各種機關の協力を得ることとなつてゐる、本指導班は年度當初に決定される巡回指導計畫に基き原則として第一線技術者に對し講習會等の方法により指導協力するほか、必要に應じ技術的查察に當るものであるが、本班を地區別と事項別の兩班に區分する、地區別指導班は農畜林産部門の技術者を綜合動員し、吉林班(新京特別市、吉林省)濱龍班(濱江省、龍江省)北黑班(北安省、黑河省)三江班(三江省)東滿班(東滿總省)四通班(四平市、通化省)奉安班(奉天省、安東省)錦熱班(錦州省、熱河省)興安第一班(興東、興中、興南、興西地區)興安第二班(興北地區)の十ヶ班に分け、第一次的には省の第二次的には市縣旗の指導者を對象として指導査察に當る

阿片生産組合中央會を設立

【七日】政府は生産阿片の完全管理並びに國家所要原料阿片の確保を期すべく、一月一日附を以て財團法人阿片生産組合中央會を設立、曩に設立決定をみた阿片斷禁協會の活動と相俟ち、阿片政策完遂の一翼として新發足せしめることになつた、その主なる業務は(一)罌粟栽培の指導育成並びに關係機關との連絡調整(二)生阿片の蒐荷並びに納入(三)罌粟栽培者に対する金融斡旋等で、その機構は基本財産二百五十萬圓の財團法人として本部を新京特別市に置き、必要に應じ省に省支部を、市縣旗に市縣旗支部を設け、各支部長は地方行政機關の長が就任することになつてゐる、

華北勞務者に送金補助

【二十二日】政府は華北からの入滿勞務者のため、舊臘華北當局と折衝の結果、一月から華北勞務者の賃銀送金並びに募集者に對し補助金を交付することとなつた、即ち賃銀割當補助金は第一事業體並びに特に政府の指定する事業體に對して、その在籍華北勞務者が郷里送金を行ふ際に限り交付し、その金額は(一)在籍滿三ヶ月以上のものについては本人の毎月送金額の二倍(二)在籍滿六

ヶ月以上のものは三倍とし、右補助金は労働者の技能程度をも勘案する、次に募集費補助は華北において労働者の團體募集を行ふ事業體に對し、物價差に基く募集費の膨脹を緩和するため、政府から募集労働者一人につき六百圓までの補助金を交付することとなつた

學徒勤勞動員配置要領決定

【十日】政府は藝に「學生勤勞奉公制度強北要綱」を策定したが、さらにこのほど「學徒勤勞動員配置要領」を決定、同要領に基き滿洲國中等學校最高學年生は一月中旬重要生産職場へと出陣することとなつた、これが配置は現下戦力増強に最も重要な部門にして受入體制を完備したものを對象とするともに集團配置を原則とし、教育並びに保健上萬全を期さうとするので、日・滿學徒ともこの方針は共通に適用される

四工場を國家表彰

【二十九日】昨年十月より三ヶ月間にわたり實施された「化學工業製品増産強調期間」は舊臘十二月末を以て多大の成果を収めて終了した、これを經濟部に寄せられた報告によつて見ると三ヶ月間を通ずる綜合成績においては生産目標が大きかつただけ實績は必ずしも満足すべきものでなかつたが、冬季の減産傾向を見事打破して從來にない好結果を擧げた特に注目すべきはこの期間中勞工の出勤率が著しく向上したこと、これは今回の増産期間實施によつて齎された大きな收穫とされてゐる、經濟部ではこれらについて生産實績、出勤率、原單位の三點を考慮の上嚴格に審査した結果電化、滿洲曹達〇〇工場、滿洲火藥、製鐵鞍山工

場を選定、二十九日午後二時經濟部大臣室において國家表彰を行つた

鐵鋼増産期間優秀鐵山工場表彰

【廿七日】經濟部では昨年七月より三ヶ月間にわたつて實施した決戦鐵鋼増産完途期間において優秀な成績を収めた工場、鐵山の表彰式を舊臘二十六日經濟部會議室で舉行、入賞の三鐵山工場に優勝旗(目録)並びに大臣表彰狀賞金等を授與、優秀な八鐵山工場に對しては大臣表彰狀並びに賞金を授與した、今回表彰をうけたものは生産計畫目標量を突破したもので、受賞左の通り

△入賞 順臨溝採鐵所(製鐵本溪湖支社)、宮の原製鐵所(前同)、大華鐵業會社

△優秀 八盤嶺採鐵所(製鐵本溪湖支社)、通遠堡採鐵所(前同)、本溪湖鐵鋼課(前同)、宮の原製鐵所(前同)、七道溝製鐵所(製鐵東邊道支社)、撫順炭礦製鐵所、本溪湖特殊鐵會社、神鋼金屬會社

全國篤農家表彰式

【七日】一割増産に敢闘した全國篤農家に対する興農部大臣表彰式は舊臘二十六日興農部會議室で舉行、黃大臣より晴れの篤農家四平生程義庭さんほか二十名に對し表彰狀および副賞並びに篤農家徽章、畜力の除草機一臺、マニヤホーク、レイキ各一機を授與、また興農合作社中央會理事長より包米脫穀機各一臺、結城農產公社理事長より篤農家に等身大寫眞各一葉を夫々授與した

政府辭令

三日
通國編輯局長 天野 良和
命滿洲國通信社理事

▲原田氏大藏省入、【九日】原田氏は今回大藏省入りをする事となつた

經濟部貿易司長 原田 富一
依願免本官

大陸科學院長に大村總裁 【二十日】滿洲國政府は直木倫太郎博士の逝去以來空席となつてゐた大陸科學院長の後任として、前滿鐵總裁大村卓一氏を起用した

特任大陸科學院長 大村 卓一

經濟

年末發券高意外に小額

【十一日】昨年末六十億圓臺突破を豫想されてゐた中銀貨幣發行高は豫想に反して八億七千六百圓に止つた、現在の主な原因としては大宗たる農產物收買資金が放出と同時に順調に吸ひ上げられてゐることは農產物の收買の順調な進捗を示すものとして注目される、即ち本年度農產物收買資金は二十億圓以上の放出を豫想され、去る十月中旬頃から放出が開始されてゐるが、これに對する農村備蓄目標は四億五千萬圓で、本年度からは強力な行政力を基調にこれが吸収に萬全を期してをり、或は天引、或は出荷獎勵綿布引換など各地方それぞれ計畫備蓄が漸次本格的軌道に乗り效を奏しつつある體左である、しかし年間を通ずる増加實勢からみてその膨脹傾向は依然輕視を許さな

有獎定期預金目標突破

【九日】十二月一ばい實施された恒例の滿洲國有獎定期預金の成績は、

八百集計が出来上つたが、目標二億五千萬圓に對し百四十六%の三億六千五百六十三萬圓、獲得といふ上乘の戰果を擧げた、都市別では奉天八千二百二十八萬圓、新京七千七百七十五萬圓、ハルビン四千四百五十八萬圓の順序であるが目標額に對しては三大都市では新京の百四十七%が第一、奉天百三十六%、ハルビン百三十一%の順となつてゐる

勞務與國會の本年度運籌方針

【四日】滿洲勞務與國會では決戦勞務動員の實施に對應し、會業務運籌を一段と強化すべく、かねて康徳十二年度會業務運籌につき研究中であつたが、舊臘その方針を決定したその運籌の概要は左の通りである

- △目標一目標を(一)非常事態下勤勞對策の確立(二)勞務行政に對する協力(三)勞務管理(作業管理を含む)の刷新(四)勞務擔當者の養成並びに錬成(五)作業係員及び技術上の並びに錬成(六)勤勞保健の推進(七)勞務需物資の斡旋(八)期間運動の實施(九)顯彰と定める
- △方法一右目標は政府の指導、支援のもとに協和會その他統制團體等と緊密に連繫し、(一)調査、研究の重視による企畫性の高度化(二)中央の規模または施設をもつて實施の要ある業務の直接遂行(三)各省興國會業務の指導、援助及び監察(四)各省興國會の独自の業務の遂行などによりこれが達成を期する

△内容一(一)非常事態に對處すべき勤勞態勢の確立、空襲時における勤勞者の確保及び空襲後における完全な就業を實施目標として實施する(二)事業體各級幹部陣頭指揮の具現、作業勞務管理一元化の確立及び

保健管理の向上に重點をおいてこれが刷新を期する(三)中央及び地方に錬成施設を設立し勞務關係者の養成に錬成を實施、勞務擔當職員の養成に關しては事業體の新任勞務擔當職員その他希望者に對し精神訓育と實務講習とをかね行ひ勞務擔當職員としての基礎教育を行ひ、事業體各級幹部の錬成に關しては從來の觀念的精神主義より一歩進め目標を勤勞管理の具體問題研究におき指導力の涵養並びに人格の錬磨を追求するほか、非常事態下事業場において勞務者宣化の尖兵となるべき滿宣化要員を訓練する(四)作業動勞管理の具體的研鑽を中心に物心兩面の統一的錬成を目標として事業體作業系統日系現場幹部の錬成のほか鐵工業技能者養成合適用範圍外の事業體につき單能工の養成を組織化し、また技術工、熟練工のうち素質劣悪なものにつき技術上及び指導力の再訓練をなし熟練勞務者の養成をはかる

なほ會務運籌の完備を期するため會の指導性強化、各省興國會の特殊性の強調、會務職員の錬成及び企畫委員會運籌の強化などを行ふ

農

農產出荷完遂近し

【二十五日】農產物出荷は既に最終段階に入り、二十日現在九十九%を示し、全目標に對する農產公社の收買率は二十日現在九十八%を記録するに至つた、農產公社の實際蒐荷は公社公表の收買率に比し四乃至五%上廻るのが常識であり、既にほぼ目標蒐荷を確保したものとみられる、出荷の大勢を支配する六大農産省についてみても、滿江省が特別報恩出荷を含む全目標率を突破した旨二十四日省當局から發表されたので、結局奉天、吉

林、四平、濱江、北安の五省が目標を突破、僅かに一部旱害を受けた龍江省を残すのみとなった。

▲各省出荷率【十三日】國內農産物出荷は十一糧穀年度初め(昨年十月)の低調を脱却して以來引續き順調に推移し即ち昨十糧穀年度の全出荷量を上廻る出荷を確保、目下掉尾の出荷を展開してあるが十日現在の各省出荷率は次の如く(單位%)

四平 一三・三 北安 一〇・〇
奉天 一〇・〇 龍江 一〇・〇
安東 一〇・〇 三江 一〇・〇
通化 一〇・〇 東安 一〇・〇
吉林 九・七 開島 一〇・〇
濱江 九・〇 熱河(約) 五・〇

となり、割當完了省においても引續き旺盛な出荷が行はれてゐる事實を物語つてゐる。主要農産省について見て四平、北安、奉天が完了してゐるほか、吉林、濱江も近く完了確實で、残るは旱害の龍江のみで同省でも一部を除き一月中には完了の見込である。ほほ品目別には糧穀三品、大豆が良好で油料、子實及び雜穀が不振である。

營農に義勇勤奉隊動員

【二十八日】日滿食糧自給態勢確立に強力は一環をなす緊急農地造成は突貫作業の敢行により豫定通りの進捗を認め、實施初年度たる昨年度の工事実績は各地とも一〇〇%近く達成率を上げ、本年中に二十四萬七千ヘクタールの完成を期する一方、愈々今春より完成地區の營農に着手することとなつた、即ち水田につては主として耕作隊制度を設け、大陸の水田營農に經驗深い滿鮮農の利用を圖るほか、第二松花江甘南第一地區においては新しい試み

として在滿鮮系青年〇〇名を動員、農村義勇勤奉隊を編成することになり、先遣隊は三月下旬までに現地入りして準備に當り四月下旬までに全隊員が勢揃ひ、十一月まで八月間食糧増産に挺身する

乾燥馬鈴薯完成

【九日】低温を利用して馬鈴薯を乾燥し貯蔵、輸送の便を圖らうと、開拓研究所ではこのほど乾燥馬鈴薯の製造を完成、ウイタミンB、澱粉の含有量も生馬鈴薯と同等變りなく風味も上乘なものができ上つた、また、酒精製造原料の點から見ると生馬鈴薯の含有水分は八〇%にも達するが、乾燥馬鈴薯は一七%程度に過ぎないので遙かに好適だといふ、この製造法は凍乾法と名付けられ、農家が冬季の農閑期を利用して小規模製造することができるので農産部でも同法を普及、乾燥馬鈴薯の生産を圖る

超高压送電線完成

【四日】滿電では昨年十月以來國內超高压電力網建設計畫の一端として中滿と南滿を連絡する超高压送電線の建設を急いでゐるが、この程完成、舊臘二十五日南滿の變電所において韓滿電會長、平島、本間正副理事長以下關係官民多數出席の下に意義深い受電式が舉行された、

硼酸の新製法製鐵研究所で完成

【鞍山十七日】滿洲製鐵が昨年末安東州寛甸縣下で發見した新鐵山の磁鐵に約七%の硼酸が含有されてゐることが判明、爾來同研究所においてこの處理に關する研究が進められてゐたところ、この硫酸處理法による硼酸の製出に成功、近く本格的

精製に乗り出すこの殘鐵にはなほ五%前後の鐵分があり、製鐵原料としても活用出来るといふ利點がある

黒鉛無給油軸承製作に成功

【二十二日】原料資材生産ともに最近滿洲輕金屬會社では軸承の故障によつて再三操業に支障を來す状態なので、同社の田川伴雄氏等數人が苦心考究の結果遂に黒鉛(鱗化)ピッチタールを原料資材としてこれらを加熱混和し、鑄鐵圓筒に入れて成型の後〇〇度で焼結し、旋盤によつて仕上加工する「黒鉛無給油軸承」の製作に成功したものである。この軸承はその製造の特徴として先づ原料資材の入手が容易であり、且つ製造工程が簡單であるため多量生産に適し、生産原價が低廉なことなどが擧げられる

滿洲建設機材會社を設立

【四日】土建業者の保有する建設用に遊休機材を轉活用しその效率的運営を圖るため、今回滿洲建設機材株式會社が設立される、同社は資本金二千萬圓(政府四分の二、土建公會四分の一民間四分の一、第一回半額拂込)で現興亞資材會社の肩替りにより今月中に設立を完了する

開拓研究所の事業計畫

【四日】大陸開拓科學の綜合的調査研究を旨とする開拓研究所本年度の事業計畫は大體昨年度調査事項に關し引續き所要の研究を繼續するとともに、特に本年度は緊急農地造成地區における耕作と馬鈴薯の増收地に重點を指す主要調査事項は次の通り

緊急農地造成地區關係、緊急農地造成地區における經營並びに耕作

法、特に水稻栽培法の研究
△一般開拓増産關係①、三江省における未利用濕地帯の開拓利用に關する研究②、アルカリ地帯における適作物の栽培法並びに風害防止に關する研究③、寒地帯における水稻安全栽培法の研究④、馬鈴薯の増收法並びにその加工利用に關する研究⑤、寒地帯における秋播ライ麥の栽培法に關する研究⑥、開拓地における糖料自給作物の栽培に關する研究⑦、開拓地における努力不足対策並びに共同托兒及び共同炊事に關する研究⑧、開拓民の養護關係⑨、母性及び乳幼児養護に關する研究⑩、佝僂病豫防に關する研究⑪、結核多發開拓團における豫防並びに治療對策の研究並びに指導

開拓増産が政策の重點

△本年度入植並びに増産実績 來年三月末までの本年度入植実績を推算すると日本内地人開拓民は計畫數一萬五千戸に對し凡そ一萬戸の實績を見込まれる、半島人開拓民は國內開拓民は前者二千戸、後者一萬戸を確保し青年義勇隊は計畫數一萬三千人に對して凡そ一萬二千人の實績、義勇隊の開拓民は計畫通り一萬一千人を確保、また勤勞奉仕隊は一萬五千五百人に對し凡そ六千人の實績を見込んでゐる

一方増産部面では日本開拓民が

作付計畫三十二萬陌に對し、十七萬九千陌の實績、半島人開拓民十六萬六千陌の實績はつてゐる、また耕作並びに自給農場が十四萬三千陌にたいし十四萬二千陌の實績、政府滿拓の管理地が計畫通り

九十萬陌の作付を終つたので結局本年度作付整備計畫の凡そ百六十萬陌にたいし約百五十萬陌の實績をあげたわけである、なほ供出見込みについては日本内地人開拓民が目標十四萬トンをたいし十五萬五千トんと目標額よりも一割強の増加、半島開拓民が四萬八千トんにたいし四萬三千トントン、内地開拓民が八萬七千トんにたいし七萬六千トンを見込まれてゐる

△明年度開拓政策の重點 來年度開拓政策の重點としては開拓防衛の完備、開拓増産完遂、開拓協和の完成の三點に指向し、特に開拓増産に最重點を置くことになつてゐる、これがため技術の滲透に力を注ぐが、その具體策としては技術要員の錬成、開拓團、隣組制度の強化など各種の施策を考慮中である

△明年度入植計畫と増産目標

明年度の入植計畫は凡そ内地人が一萬戸、青年義勇隊が一萬二千戸、勤勞奉仕隊が一萬人程度、半島人一萬戸、内地人一萬戸程度となつてゐる、増産目標としては作付面積において日本内地人が三十五萬陌、義勇隊訓練所が一萬七千陌、奉仕隊一萬陌半島人開拓民六萬五千陌、内地開拓民十九萬六千陌で開拓民關係を合計すると六十四萬陌となり開拓民以外では耕餘金自給農場が合計三十六萬六千陌、政府、滿拓管理地が九十萬となつて、開拓民の供出目標は日本内地人か二十萬トン、半島人が七萬五千トン、内地開拓民七萬五千トン合計三十五萬トンの計畫を樹てゐる(五十子開拓總局長談)

各省に開拓増産本部結成

【十三日】開拓増産中央實踐本部では技術指導の組織的展開を圖るため昨年十一月本部機構を改組し滿拓、滿鐵、農地開墾、開拓研究所等開拓農業技術の權威者を参加せしめ、擔當地區別による責任制による技術指導を行ふこととしたが、これに即應ずる地方實踐本部の改組も順調に進捗、黒河、北安、吉林三省は既に舊職新實踐本部の結成を終へたが、興安總省、龍江省が八日、牡丹江地區十日、東安地區十六日、開島地區は十二日に夫々結成式を舉げ、爾餘の各省も今月中に何れも結成式舉行の運びとなつてゐる

滿洲國開拓基本方針確立

【十八日】政府では熾烈な決戦段階に對處する今年度開拓政策の基本方針を確立した、要點は次の如くである

△開拓増産の完遂

○開拓五割増産の完遂を期する ③現有農具の補修再製及び現有役畜の飼育管理の徹底を圖る ④緊急農地造成の完成 ⑤十二年度造成成分の完成を期すと共に十一年度造成地區の管農完遂に萬全の努力を拂ひ、特に水田には一部開拓民によるほか鮮系耕作隊の活用を圖りまた在滿鮮系青年の動員についても考慮する ⑥開拓地の完全活用 ⑦耕作隊及び勸報隊を更に強化し昨年度作付面積の三倍強、約三十六萬ヘクタールの作付を行ふ ⑧一般農民の増産 ⑨最近改良農法の普及により田畑共に反當り收量の増加をみつゝある開拓團をして漸次他の開拓團並びに周邊原住民に對し指導的役割を果さしめ全體増産の促進に資する

△開拓防衛の完備

開拓團の整備充實に重點をおき、新規入植は國防及び増産上の最重點地區を選定し一方開拓團と周邊原住民との共同防衛態勢を確立する如く誘導する

△開拓協和の完成

日本内地人開拓民を中核とする民族協和の徹底を期すると共に大東亞諸民族に對し開拓協和の實相を宣傳周知せしめ

開拓適地調査決定

【二十六日】開拓民入植用地の確保を圖る本年度適地調査は春、夏、秋の三回にわたる全滿百九十二地區につき實施することになりこの程調査地區が大體左のごとく決定した、本年度調査は來る康徳十三年および十四滿年度における開拓入植に備へる

重慶政權

政治・軍事

蔣憲法制定を宣言

【リスボン一日發】重慶來電蔣介石は一日重慶民衆に對し戰爭の終結を待たず、軍事狀態の許す限り即時憲法を制定して、政權を國民黨より重慶民衆の手に移譲する用意ある旨宣言した、要旨次の通り、重慶は本年中に憲法を制定するため國民議會を召集する準備を進めなければならない、余が今や國民議會を召集するのには戰爭の終結まで待つ必要はないと感ずるに至つたからだ、よつて余は戰爭行為終結後一年以内といふ從來

もので調査地區の選定に當つては開拓地完全利用の建前から既設開拓團の補充入植地區および緊急農地造成計畫地區等に重點を置いた點が特に注目されるが、同調査隊は大東亞省開拓總局、滿拓および各地方關係機關職員より編成の五十數班より成り春季調査は來る四月中旬より月上旬まで、夏は七月上旬より八月上旬まで、冬季は十月上旬より十二月上旬までの豫定で行はれることになつてゐる

滿洲國關係日誌

【十二日】聯銀顧問阪谷希一氏東上
【十七日】新京卸賣物價並に生計費指數發表
【十九日】武部總務長官歸京
【二十日】土建公會、職制を改正

足元はまだしつかりしてゐる、われ覺悟しなればならぬ、
憲政實施の前途
【廣東二十日發】蔣介石の憲政實施言明に對し、最近の韶關中山日報は左の如くその矛盾を指摘してゐる、民國二十四年に終了すべき訓政期が既に十年を経過した現在においてもいまだ憲政期に入ることが出来ぬ環境にある、政府はきたる五月五日を期して愈々國民黨第六次全國代表大會を召集して國民大會開催に關する討議をなすことになつたが、われわれは先づ現在の重慶各地の民情に今一度檢討を加へねばならぬと思ふ、即ち憲政の實施には民衆に憲政に對する豫備知識を持たせねばならぬ、いまだ地方の基礎政治も確立せず黨機關を始め各省の參議會の機構すら單一化されてゐない現状を見る時憲政の前途は極めて暗澹たるものがある

準備委員會設置を要求

【リスボン四日發】蔣介石は年頭昨秋の國民參政會十二中全會の決議を再確認し、戰爭終了以前において大規模反攻を開始し得るまでに戦局が安定し次第、直ちに憲法を制定實施する方針を公約したが、これに關聯して大公報は三日の社説で政府に對し次の要求を提起してゐる、われわれは政府が國民會議のため準備委員會を即時設置することを要望する、而して第一に右準備委員會は一切の政黨派の代表を以て構成すべきこと、第二は憲法草案は大量の部數を印刷し一般大衆に配布すべきこと、第三は一九三六年に制定された議員選舉法を變更し、一九三六年の選舉で既に選出された議員のほかに缺員

のみを新たに選出するのでなく、全部を御破算として全く新規の選舉を施行すべきである
渝延兩政權和解交涉
和解に努力【リスボン十八日】重慶來電、蔣介石は十八日記者團會見で次の通り言明した、重慶政府と延安との紛争は圓滿に解決されるだらう、余が元首である限り支那には内亂を起さぬつもりである、戰爭犧牲者への公正と將來の侵略からの安全保障とは十分の考慮檢討が加へられねばならない、余は日本に對する報復政策などは提唱しないつもりである、支那の主要な戰術問題の一つは民主主義を廣めることであらふもう一つは生活水準を引上げるに必要である工業化と健全な國民經濟の確立である、政治的手段を用ひて延安問題を圓滿に解決するといふ重慶政府の政策は終始一貫變りない、この政策は國民の良好な感情に基いてゐるので結局は成功するものと思ふ
周恩來再び重慶に乘込む【リスボン二十四日】渝延兩政權和解交渉のため昨年十月重慶に乘込んでは蔣介石と會談した延安代表周恩來は交渉成立を見ず十二月始め延安に引揚行したと傳へられが、UP通信二十四日重慶電報は周恩來が延安から重慶に再び到着したと報道してゐる、右につきニューヨークの上海イヴニングポスト紙重慶特派員も二十三日の二十三日重慶に到着する豫定でおそらく最近重慶側を示した提案にたいする回答を携行してゐるものとみられる、もつと右提案の内容は未だ明かにされてゐない

延安説得に特使を出さず 【リスボン十九日】ワシントン來電一 大統領特使として重慶訪問の使命を果して歸國した民主黨下院議員マイク・マンズフィールドが去る十六日下院で報告演説を行った際、多くの議員から質問が提起されその内容が議會議事録として十九日發表された、△カール・カーチス(共和黨)「モスクワ共産黨と關係がないといふのは一致した意見なのか、△マンズフィールド一現在のところ一致したものである、ソ聯は支那向けに備かの補給品を送つてゐるが、これらは延安の手に渡さず重慶の中央政府に渡つてゐる、ついでカーチスマンズフィールドがソ聯と延安の間には理念的な繋がりがあると述べたことについて念を押したのに對し、マンズフィールドはこれを肯定した、△カーチス「ワシントンは多數の代表をしれば重慶に派遣して蒋介石に對し延安と和解することを説得せしめたが、この種の特使が誰か延安にも派遣されたか、マンズフィールド「和解説得のためワシントンから誰も派遣されなかつた、カーチスは更に突込み「ワシントンは誰か特使を延安に派遣して延安が蒋介石と妥協するよう督促したのではないか、△マンズフィールド「余は承知してゐない、余は米國が支那の國內問題に餘り干渉すべきでなく結局米國の一切の交渉は重慶と蒋介石を通じて行ふべきだと信じてゐる

英政府重慶問題につき釋明 【ストックホルム二十八日】米國が渝延相親の解決に積極的に干渉してゐるのによつて、英國が傍觀者の立場を維持してゐることはとなく噂の的となつてゐるが、ロンドン來電によれば英自治領相クラクボーンは二十六日上院の戦局討論時間において政府を代表してつぎの通り釋明した、支那の統一回復問題に關して英國政府がとかく氣乗薄だといふ見解が一部にみられる、かかる事實は絕對にない、支那が強力統一され、且つ繁榮することは英國政府の衷心からの希望である

戦時運輸管理局成立 【廣東五日】重慶放送によれば、重慶の戦時運輸管理局は一日正式に成立し、初代正副局長には愈飛鷗及び韓學遂がそれぞれ正式に任命された、同管理局は重慶軍事委員會に直屬し重慶の空陸水一切の運輸機構を直接指揮することになつてゐる

廣東省政府を移轉 【廣東十三日】刻々壓縮される大陸のわが包圍鐵環に敵第七戰區の牙城韶關はいよいよ最後の足掻きを續けてゐる模様であるが、當地に達した報道によれば、重慶廣東省政府主席李漢魂は最近省政府各機關を韶關より東江上流の龍川に移轉したといはれる、なほ韶關には第七戰區司令長官余漢謀が踏み止まつてゐる

貴州省主席吳鼎昌罷免 【廣東二十一日】二十一日の重慶放送によれば貴州省主席吳鼎昌は罷免され、その後任として楊森が任命された、吳の罷免は難民救済に失敗した責任を問はれたものとみられる

蔣の支配力低調 【リスボン七日】ニューヨーク來電一 シカゴ・サン紙特派員マーク・ゲインは五日發行の週刊誌「コリアーズ」に「重慶悲劇の原因」と題し次の通り報道してゐる、第一に蒋介石とその政權の支配力は過去十年間を通じて現在最も低調である、第二は重慶の國民士氣も相當低下してゐる、第三には重慶の不統一と重慶の同盟國が十分の援助補給を與へ得なかつた原因はすべて重慶の悲劇的な敗戦の連續に責任がある、この不統一を効果的に矯正し得る唯一の途は行政院に一、二名の延安代表を入れさせるより寧ろ民主主義的改革によるほかはない、蒋介石は最近行政院及び黨首腦の更迭と改革を行つたが長い間、民主主義的改革を行つたが猛烈に反對した要人連がまだに統治と黨を支配してゐる、軍の統帥は統合されず、軍制改革の敵は依然として權力を揮つてゐる、かくて唯一の希望は蒋介石が危局の重大性と徹底的行動の死物狂ひの必要性を認識することであり、今こそ決断を下す關頭にある

對日戦より自己保全に汲み 【リスボン十七日】ワシントン來電一 大統領特使として重慶の政治經濟狀態を視察して昨年未歸國した民主黨議員マイク・マンズフィールドは十六日下院の秘密會で次の通り報告した、余が使命を開始した當初は重慶の戦争遂行上の主要問題は補給にあると考へたが、調査検討の結果最も重大な要素は、中國自身の體における協力にあるといふ結論に達した、國民黨も延安政權も對日戦を遂行することより各自黨の保全に一層關心を持つてゐるやうだ、國民黨に對して一般は日に日に嫌惡を増して

ゐる、それは軍隊への畏怖と集稅吏の態度が原因である、國民黨は口先では民主主義的だが實際は獨裁的に行動してゐるが、國民黨は國民の意志を恐れてゐるが、蒋介石を指導者と受けてゐるのである、一方延安政權は國外のことについては幼稚な知識しか持たず、獨裁的ではあるが自ら十字軍だと稱してゐる、重慶の諸問題につき蒋介石はその解決に努力してゐるが、若し紛争が内亂にまで擴大するのを抑止出来なければある大國の干渉を意味することは必定である

信任状捧呈 【リスボン七日】重慶來電米大統領特使少將パトリック・ハーレーは最近國務省より重慶駐劄大使の信任状が到着したので八日蒋介石に捧呈する

佛、白兩大使 【リスボン九日】重慶來電佛ド・ゴール政權の初代重慶大使ツィン・グレイ・ベチヨフ及びベルギー新大使デルヴォ・ド・ファンフエは九日蒋介石に信任状を呈した

財政・經濟

歳入の七割は軍事費 【リスボン十一日】重慶來電一 重慶政府宣傳部長王世杰は同政府の新年度豫算につき十一日次の通り言明した、主要な國家の財源としては土地から物産に依存しなくてはならない、大地主は作物による納稅と強制買上げに加へて、現在では更に米または小麦の作物による半強制的納稅を要求されてゐる、一九四五年度におけるこの三品目の徵集は總額九千萬擔(一擔は七十五キログラム)に達する豫定である、この數量の價格が政府

の歳入租稅の大部分を占め、巨額に上ることは明瞭である、次に重要なものは第一に鹽稅、第二は各種の所得稅、第三は物品稅で、その他砂糖、茶、煙草を含む專賣による相當多額の歳入がある、本年度豫算の歳出の約四割五分は租稅收入で賄はれたが、新年度はさらに多くを租稅で賄ふつもりである、赤字の補填については政府は三つの重要な措置を提言する、その第一は大量の金を賣出すこと、第二は外國の借款その他の取極めにとつて取得した商品を購入すること、第三は國債の發行によつて賄はれる豫定である、新年度の歳出に對しては軍事費が總額の七割を占める筈である、財政部は新年度豫算の平衡を計るのにデフレッションによらず、國庫收入増額に必要な措置の遂行による決心である、若しわればわればもう一年豊作に恵まれ且つ日本軍の封鎖が早く解かれならば政府が直面するかも知れぬ財政的困難は大いに軽減されるであらう

豫算額三千億元に膨脹 【リスボン十日】ニューヨークの上海イグニング・ポスト紙重慶特派員は次の通り報道してゐる一重慶政府當局は新年度豫算の財源は主として大地主からの融資を充當する豫定だと十日言明し、蒋介石はすでにこれらの大地主に對し國家の財政負擔を引受けるやうに要求した、新年度の豫算額は公表されないが二千五百億元乃至三千億元で七割以上の増額と明らか

明年度經濟建設計畫決定 【廣東十六日】重慶政權は昨年十二月二十九日國防最高委員會常務委員會を開催、政府提出の明年度第一期經濟建設計畫を附議決定した、計畫

は、それは軍隊への畏怖と集稅吏の態度が原因である、國民黨は口先では民主主義的だが實際は獨裁的に行動してゐるが、國民黨は國民の意志を恐れてゐるが、蒋介石を指導者と受けてゐるのである、一方延安政權は國外のことについては幼稚な知識しか持たず、獨裁的ではあるが自ら十字軍だと稱してゐる、重慶の諸問題につき蒋介石はその解決に努力してゐるが、若し紛争が内亂にまで擴大するのを抑止出来なければある大國の干渉を意味することは必定である

要旨左の通り
一、資本節制の原則に反しない範囲において、出来得る限り民營企業を奨励する
二、外國資本の利用については國際合作を根本原則とし、自主性及び計畫性を妨害しない程度において、各種の形式により活用する
三、政府直營事業は郵政、電信、兵工廠、造幣廠主要鐵路及び大規模水力發電工事とす
四、政府の兼營若しくは民間資本、外國資本との合作による事業は大規模の石油、製鋼及び航運事業とす

米の對支企業參加を奨励
【リスボン七日】重慶は破局に瀕する經濟の再建及び戦後の工業化と復興に傾りと米國の援助を求め、最近米國の對支貿易と投資に對し從來の諸法規を修正緩和して米國に有利な條件提供を保障したが、ニューヨークの上海イボングポスト紙の報道によれば、蔣介石の駐米代表孔祥熙は委員會を組織して、支那における外國諸銀行の將來に關する事項を調査すると共に、保險に關する調査も進めその結果を重慶に報告したといはれる、右報道はこれらの動きが重慶の新經濟政策を示すもので、特に支那における企業への外國の參加奨励及び中國人の個人企業助成を目標としてゐると指摘してゐる

對蔣武器貸與總額四億萬圓
【リスボン十一日】ワシントン來電
米國の對蔣武器貸與は物資が昆明に到着して以後、支那の國內における分配を含む補給の問題が極度に困難であるが、一九四一年五月より一九四四年六月三十日まで武器貸與物資の對支積出額は總計三億八千五百萬四千弗である

重慶の工業國化
【リスボン十三日】ワシントン來電
によれば米國戰時情報局は十二日國務陸海軍三省及び外國經濟院から提供された資料に基いて作成した報告書に報告した米國の國內情勢および米國の對蔣援助につき左のごとく報告してゐる
一重慶の官營通信によれば蔣介石が行つた最近の自由主義的讓歩は第一に人身保護令の適用を許可し、第二は蔣の最近の聲明で、戦局が安定すれば政權を人民に移譲するため直ちに新憲法を採用すると述べてゐることに、第三は國家統一を主張して中共代表の交渉を行つてゐること等を含むものである、印支空陸による對支補給は昨年十一月までに月額三萬トロンに達したが一月月に一萬トロンが終點の昆明に空輸されたのみで、そのうち分配されたのは僅か三千トロンにすぎなかつた、米國は六千トロントラックを對支補給を二倍にすることを企ててゐるが重慶に對する米國の最大の貢獻は太平洋における陸海軍の作戦でこれが終局には重慶に正面支關を啓開するであらう

掛聲はかりの軍需増産
【リスボン十五日】米國と重慶は大統領特使ネルソンの發案により重慶の破局に瀕する戰時經濟を建直す目的で設置した重慶軍需生産局の活動により、六ヶ月以内の意氣込みで宣傳額を二倍にするとの意氣込みで宣傳額につとめてゐるが、十五日のUP通信の重慶電報はこのやうな掛聲にも拘らず、増産計畫が意の如くならぬい實情を暴露したの通り報道してゐる一信すべき情報によるとネルソンの提言で創設された重慶の軍需生産局は現在生産施設を運轉するに必要な

石炭の獲得について極度の困難に直面してゐるといはれる、生産關係者がUP通信に洩らしたところでは、石炭の深刻な不足が電力の不足を招き、これが各種工場を困難に増大するやうな一つの原因となつてゐる、石炭不足の眞因は重慶政府が抑制してゐる石炭の統制價格にあり、炭坑業者はこのため統制價格で政府や工場に石炭を賣ることを嫌ふ結果となつてゐる、關係當局では暖い時節がきて暖房のための石炭消費が停止して初めてこの石炭不足は解消するものと期待してゐるが、現在重慶の電力會社は一ヶ月に法幣二千萬元の赤字を出してをり、重慶が燈火のない夜の續くのもこのためである

米ネルソン報告を發表
【リスボン二十六日】ワシントン來電によれば白聖館は二十六日までに二回にわたり重慶を訪問した大統領特使ネルソンからルーズヴェルトに提出された報告の全文を發表した、その大部分は自己の重慶行き功績を謳つた、自畫自讃に盡きてゐるが、重慶の戰時經濟に本國の經濟的技術的援助を與へることによつて戦後の重慶經濟を完全に米國の支配下に置かんとする野心が相當明瞭に露呈されてゐる、報告の要旨次の通り
昨年秋重慶において、數々の新措置が斷行されたが、この結果、重慶における軍事的事態のみならず經濟戦線においても今後多大の改善が期待されるに至つた、新たに設立された重慶戰時生産局が重要軍需品目につき一九四五年の生産目標として豫定してゐる額は從來の計畫の二倍にも達し、この生産増加は今後數週間中にも支那戦局に具體的な形となつて現はれて來るだらう、余の推定によれば一九四五年春の軍需總生産額は昨年十一月に比し少くとも倍増すると見られる、かくて生産の増加並びに調整及び輸送の改善は必ずや重慶の全經濟に對して大きな力を與へ、抗戰力を強めるであらう、また國民黨の穩健分子が漸次勢力を増加し、蔣介石政權と延安政權との提携實現の機會をも與へよう、しかも重慶における軍需生産の成功は政府及び經濟機關を通じて米、重慶間の戦後經濟協力を可能ならしめよう、重慶は米國援助の下に重慶を工業化し得る能力あり、且つこれを欲してゐる、これが現實的に計畫された措置が健全な基礎に立つて進められるならば、重慶の工業化は必ず實現されるだらう、この場合には實に巨大な市場が米國輸出貿易の前に開かれる、重慶の戰爭經濟が調整されたのは實に今回が最初のことであり、重慶の戰時生産局と米國軍兵器部との間には緊密な取極めが成立した、一方米國の技術代表は既に重慶地區内において活動を開始してゐる、即ち鐵鋼専門家五名酒精專門家一名は今後三ヶ月以上わたり重慶當局と協力して生産の増加、その質的向上並びに生産費の低減に努力するであらう、重慶の政府四銀行は戰時生産所資資金として百億元を戰時生産局に融資することに決定したが、その利率は普通融資利率の半分以下といふ低率なものである、一方重慶政權並びに軍需補給機構内における重要な人事の更迭も行はれ、更に米、重慶兩軍司令部内の緊密な連絡も確保されるに至つた

米の經濟的獨占支配企圖
△米の經濟支配工作【リスボン三日】
米國が支那における經濟的獨占支配を企圖してゐることは周知の事實であるが、二日のUP通信ニューヨーク電は米國が更にその目的を促進する組織的準備に工作を進めてゐることを明かにして、次の通り報道してゐる
一米支商工會議所によつて代表された米國の工業及び實業界有力者は、過去一年米國と支那との互惠的貿易の基礎確立を工作して來たが、これは戦後の支那が工業的發展の偉大なる新時代を體驗するであらうことを豫告するものだ、同會議所會頭ケアリーは會員が現在では五十以上系統に屬する各商社を含み、特に戦後の對支貿易に關係する主要工業の悉くを網羅してゐることを指摘してあり、更にケアリーの言明によれば外國の貿易と投資にたいする重慶の諸法規は自由主義的方針によつて修正される筈であり、かつ近代的な通商行爲と自由企業とは獨立した司法機關によつて保護される筈であることを重慶政府の代官人から保障されてゐるといはれる

△纖維工業で米英聯合【ストックホルム八日】ロイター通信八日のマンチェスター電報は、米國の援助で活動を開始した重慶の戰時生産局が、將來英國が支那に賣込みを狙ふ纖維製品の増産に着手してゐる點に關心を示したの通り報道してゐる
一米特使ネルソンの二回にわたる重慶訪問は重慶の纖維工業の振興を助成するであらう、重慶が設置した戰時生産局は一切の生産改善と増産を目標としてゐる、日本軍が支那の廣大な地域を占領する以前は纖維工業の殆んど大部分が沿岸地域にあつたが、その後相當の工業が内陸に發達した、重慶治下の個人所有工場は二割は織物工場であり、最近目立つてきた重

を企圖してゐることは周知の事實であるが、二日のUP通信ニューヨーク電は米國が更にその目的を促進する組織的準備に工作を進めてゐることを明かにして、次の通り報道してゐる
一米支商工會議所によつて代表された米國の工業及び實業界有力者は、過去一年米國と支那との互惠的貿易の基礎確立を工作して來たが、これは戦後の支那が工業的發展の偉大なる新時代を體驗するであらうことを豫告するものだ、同會議所會頭ケアリーは會員が現在では五十以上系統に屬する各商社を含み、特に戦後の對支貿易に關係する主要工業の悉くを網羅してゐることを指摘してあり、更にケアリーの言明によれば外國の貿易と投資にたいする重慶の諸法規は自由主義的方針によつて修正される筈であり、かつ近代的な通商行爲と自由企業とは獨立した司法機關によつて保護される筈であることを重慶政府の代官人から保障されてゐるといはれる

慶合作社の三分の一は織維工業活動に従事してゐるといはれるが、それにも拘らず衣料品は極度に不足してゐる、重慶政府は反樞軸救済復興委員會對する報告で重慶の戦争罹災者を八千四百萬と計算しこれに要する綿布約八十四萬トンは、國內生産がその大部分に應じ得るのでなければ到底賄ふことは困難だとしてゐる、重慶は現在相當程度の織維機械を生産してはゐるが外國の機械設備を非常必要としてゐるのであらう

米、工業、貿易、輸送を支配

【リスボン二十四日】 ニューヨーク來電によれば軍需生産局の設置と増産を援助した大統領特使ネルソンは二十三日米支商工會議所の午餐會席上「重慶の軍需生産には健全な改善の兆候がある」と報告し、また米蔣間の戰後の貿易及び經濟關係の發展の可能性は昨年十月同會議所で詳論した當時より現在は大いに改善され、一方同會議所強送委員會の議長で造船業者のヘンリー・カイザーは支那の輸送組織の建設援助に米國が演ずべき戰後の役割について重慶代表團と第一回の會議をとりつけたが、右代表は技術及び貿易専門家約四十名より成る重慶代表團の一部だといはれ、支那における工業、貿易、輸送方面への米國の進出工作が着々進められてゐることを示唆してゐる

對空気を反映してゐる、今後この問題は重慶治下の戰時運輸全般に擴大するものとみられる、

【リスボン二十四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬はさきに印支陸上ルートが萬一啓開された場合でもその運用は嚴格に軍用のみに限定し、民需輸送には當分使用出来ぬ旨發表し、このため同ルートが開けば多量の物品が今にも潤澤に流れ込むかのやうに期待してゐたが、重慶來電によれば行政院長代理宋子文は二十四日右の聲明を一部訂正し「印緬公路が再開された場合には、軍需補給物資及び必要とする如き民需物資を輸送するためと必要とする如き民需物資を輸送するの旨聲明、但し一般取引の輸送の物資を輸送する餘地はなく、すべて政府の取引に限る點を附言し、依然として民需輸送が極度に制限されることに變りない旨を明かにしたといはれる、

岷夏公路完成

【廣東十一日】 當地に達した情報によれば、民國三十年來重慶政權が關州地區開發のため二千萬元を投じて建設に着手した岷夏公路は去る十一月十五日完成、自動車運行を開始したといはれる、同公路は蘭州西南方の岷縣より臨潭を経て夏河に至るまで全長約二百五十キロのものである、

米國、重慶間に商業用無線電話

【リスボン十二日】 ワシントン來電一聯邦通信委員會は米國議會に對する年次報告で米國と重慶の間に商業用無線電話が近く開通する豫定である、その施設は目下支那の某地に据えつけてをり、通話取扱ひは本年初頭に開始するかも知れない旨述べてゐる、なほこれと同じ無線電話取扱ひが一九四四會計年度中に米國とソ聯、和蘭及び英領西印度諸島との間にそれぞれ開設された、

小賣物價暴騰

【リスボン十一日】 重慶政權發言人の言明によれば、昨年十二月末現在の重慶小賣物價指數は戰前の四百八十五倍に達してゐる

米、國務省重慶教授團招聘

【リスボン十日】 ワシントン來電によれば、國務省は十日次の通り發表した「重慶治下の第一流の各大學から六名の教授が、國務省の賓客として今春米國に到着し、一年間滯留する筈である」なほ右教授團には燕京大學總長で哲學者の陶孟和が加はつてゐる

食官汚吏續出に特殊法廷開設

【廣東十一日】 當地に達した情報によれば、重慶は物價の昂騰と併行して續出する食官汚吏の肅清に頭痛鉢巻の態であるが、從來これら犯罪は全て重慶地方法院警察署において處理したものであるが、近來この種犯罪の激増のため同署のみでは處理しきれず、今般新に同法院内に特殊刑事法廷を設け、食官汚吏及び國家總動員法違反、あるは軍機漏洩などの各種事件は、この新設特殊法廷で審理することとなつた

知識層動員不振

【廣東九日】 當地に達した情報によれば重慶が宣傳する知識青年層從軍運動はその後も遅々として進まず、當局としては當初の十萬の目標を四倍四十萬人まで擴大せんと試みたが、現在僅かに四萬人が應募したに過ぎない、これに業を煮した當局は戰火に追はれた桂林の學生を徵集せんとしてゐる模様であるが、これも意のごとくならず、知識層總動員はいよいよ重大な蹉跌に直面せんとしてゐる

桂林を迫られた文化人

【廣東十日】 桂林を迫られた文化人の重慶當局との對立は、救済問題と強制徵募問題がある模様である、最近の詔關中山日報によれば、これら文化人は重慶當局の態度にあきたらず、自ら救済策を講じ作家熊佛西を中心とする劇團關係者約四十名

岷夏公路の打通を目あてに大口の商品買付けをし結果同市の商品價格は動搖してゐると報じてゐる、

印支路の輸送

【リスボン二十四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬はさきに印支陸上ルートが萬一啓開された場合でもその運用は嚴格に軍用のみに限定し、民需輸送には當分使用出来ぬ旨發表し、このため同ルートが開けば多量の物品が今にも潤澤に流れ込むかのやうに期待してゐたが、重慶來電によれば行政院長代理宋子文は二十四日右の聲明を一部訂正し「印緬公路が再開された場合には、軍需補給物資及び必要とする如き民需物資を輸送するためと必要とする如き民需物資を輸送するの旨聲明、但し一般取引の輸送の物資を輸送する餘地はなく、すべて政府の取引に限る點を附言し、依然として民需輸送が極度に制限されることに變りない旨を明かにしたといはれる、

△スチルウエル公路

【リスボン二十日】 重慶來電一蔣介石、支那戰時米軍司令官ウエーメイヤー、重慶駐米大使ハインレーは二十八日のラヂオ放送ではゆるレド公路を「スチルウエル公路」と正式に改名した旨發表した、

△レド公路で密輸

【リスボン十六日】 重慶來電によれば十六日の大公报は戰時運輸局がたひの公路が打通された場合でも商業用の輸送を禁止する旨發表したにもかかはらず、ミートキーナの重慶軍憲兵隊は重慶政府のトラックをたたくみに利用して價格一萬ルピーの木綿絲を運ばうと企てた密輸者を逮捕したといはれる、なほ大公报はカルカッタにある多數の密輸代理店がガレド・ビルマ

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

社會・文化

【廣東十日】 桂林を迫られた文化人の重慶當局との對立は、救済問題と強制徵募問題がある模様である、最近の詔關中山日報によれば、これら文化人は重慶當局の態度にあきたらず、自ら救済策を講じ作家熊佛西を中心とする劇團關係者約四十名

食官汚吏續出に特殊法廷開設

【廣東十一日】 當地に達した情報によれば、重慶は物價の昂騰と併行して續出する食官汚吏の肅清に頭痛鉢巻の態であるが、從來これら犯罪は全て重慶地方法院警察署において處理したものであるが、近來この種犯罪の激増のため同署のみでは處理しきれず、今般新に同法院内に特殊刑事法廷を設け、食官汚吏及び國家總動員法違反、あるは軍機漏洩などの各種事件は、この新設特殊法廷で審理することとなつた

知識層動員不振

【廣東九日】 當地に達した情報によれば重慶が宣傳する知識青年層從軍運動はその後も遅々として進まず、當局としては當初の十萬の目標を四倍四十萬人まで擴大せんと試みたが、現在僅かに四萬人が應募したに過ぎない、これに業を煮した當局は戰火に追はれた桂林の學生を徵集せんとしてゐる模様であるが、これも意のごとくならず、知識層總動員はいよいよ重大な蹉跌に直面せんとしてゐる

桂林を迫られた文化人

【廣東十日】 桂林を迫られた文化人の重慶當局との對立は、救済問題と強制徵募問題がある模様である、最近の詔關中山日報によれば、これら文化人は重慶當局の態度にあきたらず、自ら救済策を講じ作家熊佛西を中心とする劇團關係者約四十名

岷夏公路の打通を目あてに大口の商品買付けをし結果同市の商品價格は動搖してゐると報じてゐる、

印支路の輸送

【リスボン二十四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬はさきに印支陸上ルートが萬一啓開された場合でもその運用は嚴格に軍用のみに限定し、民需輸送には當分使用出来ぬ旨發表し、このため同ルートが開けば多量の物品が今にも潤澤に流れ込むかのやうに期待してゐたが、重慶來電によれば行政院長代理宋子文は二十四日右の聲明を一部訂正し「印緬公路が再開された場合には、軍需補給物資及び必要とする如き民需物資を輸送するためと必要とする如き民需物資を輸送するの旨聲明、但し一般取引の輸送の物資を輸送する餘地はなく、すべて政府の取引に限る點を附言し、依然として民需輸送が極度に制限されることに變りない旨を明かにしたといはれる、

△スチルウエル公路

【リスボン二十日】 重慶來電一蔣介石、支那戰時米軍司令官ウエーメイヤー、重慶駐米大使ハインレーは二十八日のラヂオ放送ではゆるレド公路を「スチルウエル公路」と正式に改名した旨發表した、

△レド公路で密輸

【リスボン十六日】 重慶來電によれば十六日の大公报は戰時運輸局がたひの公路が打通された場合でも商業用の輸送を禁止する旨發表したにもかかはらず、ミートキーナの重慶軍憲兵隊は重慶政府のトラックをたたくみに利用して價格一萬ルピーの木綿絲を運ばうと企てた密輸者を逮捕したといはれる、なほ大公报はカルカッタにある多數の密輸代理店がガレド・ビルマ

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば新設の戰時運輸局には多數の米人が技術方面を擔當し、萬一印支陸路が開かれた場合には米人が補給輸送に重要な役割を演じ特定の限度まで輸送局の行政部門にも参加することになつてゐるといはれるが、蔣介石の副參謀長少將バート・マクルーアが愈飛鵬のもとに局長に就任してをり結局米國の重慶支配の手は運輸部門にも浸透してきたことが明瞭である、

△印支路共管を主張

【リスボン二十三日】 重慶來電によれば二十二日重慶國民外交協會で開かれた運輸専門家の會合では右ルートは重慶と米國の共同管理のもとに運営すべしといふ點に一致したといはれ米國の獨占支配にたいする重慶の懷疑と反

△戰後市場獨占

【リスボン九日】 ニューヨーク來電一米國經濟評論家ロジンガーは「外交政策協會報告」に「戰後支那の市場」と題する論説を寄稿し米國の支那市場獨占支配を論じつぎの通り述べてゐる「支那の發展に外國資本がどの位投入されるかは誰にもわからぬが、副大統領ウォーレンは最近の小冊子中で「米國または反樞軸國の公共乃至個人機關が戰後における最初の五年間に太平洋地域で夫々毎年二百萬弗を貸付けるに違ひない」と述べてゐる、このうち二十億弗といふ多額の部分が恐らく支那の工業化に流用されるであらう、支那は米國から大部分の資本を迎えなければ迅速な工業化をみることは不可能だ、従つて米國は支那で遙かに大きな役割を果すであらう、

△米、運輸を支配

【リスボン四日】 重慶戰時運輸局長余飛鵬の言明によれば

重慶關係短信
【リスボン七日】 ウェデマイヤー鼻の手術
【九日】 重慶交通部長に俞飛鵬を任命
【十九日】 重慶の米國大使館全燒

南方諸國

軍政諸地域

各地の白金、ダイヤ供出
好成績
米英撃滅の兵器生産に不可
缺のダイヤモンド、白金の
供出運動は去月以來南方各地域に於
ても強力に展開されてゐるがその成
果は豫想以上の好成績で軍政當局を
感激させてゐる

イラ

全マライに男子就業制限
を擴張
【タイピン八日】 マライ軍
政監部では勞務配置の
重點主義を高度化するため男子
就業制限令を昭和十九年十二月三
十日付を以て公布、即日實施し
た、本令は從來一、二の州、市で行
はれてきた男子就業制限を全マライ
一帯となし統一計畫的に實施したも
ので、輕易作業に従事する年齢十五
歳以上四十歳未満の男子はその作業
を女子その他に譲り、積極的に軍需
作業場、産業食糧増産、兵補、義勇
軍等の緊急部門に轉出、大東亞建設
に勇躍協力せしめることを主眼とし

【廿二日】 米軍司令部全燒
【上海廿三日】 重慶の貨物自動車は
六千臺
【リスボン廿五日】 雲南棉花公司設
立

てゐるが左に該當する職種は本年四
月一日以降當該男子の就業を禁ぜら
れることになつた、小使、給仕、
受付掛、掃除夫、洗濯夫、客引案内
人、物品販賣業の店員および賣子、
行商、呼賣、露店賣、電話交換手、
出改札掛、昇降機運轉掛、前記職
種該當者でも水上勤務者、不具者そ
の他にして地方長官の許可したもの
は除外されてゐる
新百弗紙幣發行
【タイピン四日】 南發では新百ドル
紙幣を發行全マライを通じて流通せ
しめることになつた、新紙幣は現在
の十ドル紙幣よりも縦横とも一廻り
大きく紙質、色調共に當局自慢のも
のである

ガカイ族保護規定成る
【イボ二十四日】 近代文化生活の恩
恵を受けず僻遠の山岳地帯に隱棲
し原始的生活を営みつつあるマラ
イ原住民サカイ族に對し、皇軍保護
の下に民として文化の恩恵と光明を
與へ、よき生活をさせようとしてペラ州
政廳では今回サカイ族に對する原住
民保護規定を制定、近く擔當者とし
てタイピン博物館長澁江二郎氏を北
部ペラ州文化經濟調査主任に、人見

忠雄氏を南部ペラの保護官にそれぞ
れ任命、また州内九郡長をして保護
官代理として州内一萬のサカイ族を
積極的に指導育成に乗りだすことと
なつた

ラトマス

原住民の政治參與擴充
【スマトラ〇〇二日】 帝國
政府の東インド獨立認容聲
明以來現地軍はその具現の
ため着々準備を進めてきたが三日
附をもつてスマトラ最高指揮官より
政治參與擴充等に關する聲明を發
表、スマトラ全住民の政治的能力の
向上及び獨立實力培養を圖るとも
に獨立の前提たる大東亞戰爭完勝へ
の決戦即應應勢の確立を期すること
となつた、聲明文左の通り
△政治參與擴充等に關するスマトラ
最高指揮官聲明 大日本帝國 天皇
陛下の大御心を奉戴しなされたる政
府聲明による東インドの獨立に關し
軍はその速やかなる具現を庶幾しこ
れが準備としてスマトラの全住民に
對し政治的能力の向上として必要なる
資質の錬成並びに精神の作興とを
圖らんとし差し當り左の諸施策を逐
次實施す
第一 政治參與制度の擴充を實施す
①中央參議院及び同事務局を開設
す、中央參議院はスマトラ統治の全
般に關して全住民の參加を圖るため
の軍政監の諮問機關にして各州參議
會における推薦者及び軍政監の任命
せる者を議員として構成し同事務局
は中央參議院の庶務のほか將來獨立
に必要な諸般の基礎的調査を行は
しむ、州參議會を強化す、議員數
の増加、同事務局の常設及び一部議
員の銜衡會による銜衡任用制度を採
用す、軍政機關にたいする官吏登

庸範圍の擴充を圖る、これが爲め必
要に應じ各州厚生局長を長官直屬と
しまた州政廳に宗教行政機關として
住民を主體とする宗教局を新設する
と共に軍政機關全般に亘り努めて現
地人職員を登庸す
第二 國民的資質の錬成、特に大東
亞戰爭完遂のためその精神作興の民
衆運動を展開す
第三 將來國家の各分野の指導者た
るべき人物の養成及び小國民教育の
ため、各種制度を強化す
大東亞戰爭はいまや大東亞の興亡を
決すべき一大決戦に直面し、大東亞
民族の總蹙起を要する秋なり、諸子
は宜しく現状勢を直視し、獨立は大
東亞戰爭必勝を前提とする所以を
自覺し米英蘭の非望を擊碎しうるの
實力涵養に努むると共に今後幾多の
苦難を克服し凡百の犠牲を甘受し、
助のつて大東亞戰爭を完遂して天佑神
助の下光榮ある獨立を必成せられん
ことを望む

州區劃一部變更
【スマトラ〇〇十六日】 スマトラ軍
政監部は現下の情勢に對應し今般
州區劃の一部を變更することになり
二月一日よりバンクレーン州のクロ
イ郡をランパンシエ州に編入、西海
岸州バンクレーン郡の軍政施行縣を州境
區劃は従前のままりオ州に移管す
旨十五日發表した、これによりバン
キナ郡の司法業務はリオ州地方法院
がクロイ郡の司法業務はランパンシ
エ地方法院がこれを管轄することに
なつた

農業勞務、蒐荷配給對策に關する食
糧緊急措置要綱を決定直ちに實施す
ることになつた本措置要綱の主眼目
は現下の決戦に即應して主要食糧の
増産確保に關し徹底的な施策を斷行
せんとするもので、増産對策として
は當面の稲作に萬全を期し生産目標
の達成を圖ると共に雜穀、薯類の増
産に重點を指向してゐる
△食糧増産對策①、未耕作田絕滅
を目的として耕作の廢棄防止制度を
確立す、水利施設は簡易なるもの
よりこれを急速に實施す、特需食
糧確保の共同として部落または村を
單位とする一同耕作の方法を斷行し
新たに特需供出田または畑の設置を
命ず、企業農園に對して食糧の生
産及び加工の擔當を追加し計畫的増
産を命ず、その他水田裏作の高度利
用、農器具の計畫的生產及び重點的
配給並びに都市食糧自給量と努力な
どを勸案して都市の糧食栽培を行は
しめ、學校、官營工場、事業場には
強制的に自活農園の徹底の設定を命
ずなどの諸措置を講ずる

△農業勞務對策①、農繁期におい
てはあらゆる勞力を徵用し勞務管理
については徹底した萬全の措置を講
ず、都市遊休者、不要不急商業者
などは移住計畫に基き、強制命令に
より農業勞務に重點的に轉用す
一般勤勞奉仕隊及び學校勤勞奉仕隊
は義務制とし優先的に農業勞務に計
畫的動員を實施すこのほか一定面積
の耕地を持つ農家は原則として農家
以外の仕事に従事することを制限し
勞力不足の緩和策として有畜農法を
更に強化する

食糧緊急措置要綱
【〇〇十九日】 スマトラ軍政監部は
物資の面における臨戰態勢の確立
を期して各種の増産對策を強力に施
行、着々成果を収めてゐるがこのほ
ど昭和二十年度における食糧増産、
蒐荷配給對策①、供出食糧の早
期買付けをなし横流れを防止す、
ゴム、代用衣類、鹽、石鹼、鮮魚、食

油その他生活物資等の供出裏付け物
の現地における計画的増産を命ず
一、準特需、主要都市及び非常用米
の最少限は特需に次ぎこれを確保す
右のほかに輸送上の隘路打開のため牛
馬車及び人力車活用に由る驛傳式制
度を設け、また栄養、保健節米の見
地から玄米食を奨励するために糶摺
機の積極的普及に力を注ぎ、更に集
團的な精米設備を考慮して精米の横
流れを防止するなどの諸措置を講じ
て積極的増産を圖り、特需主食糧の
確保は勿論一般住民の食糧に對する
後顧の憂を除去し食の面における自
戦自活態勢の完全なる確立を期せん
とするものである

ワヤジ

資金調整令一部改正さる

【ジャカルタ七日發】ジャ
ワ軍政監部では今回資金調
整令の一部を改正すること
になり三日新資金調整令並びに同施
行規則を公布、即日實施した、今同
の改正趣旨は戦局の推移に伴ふジャ
ワの産業經濟の進展に即應し更に資
金調整の適正強化を期すにある、
調整の要點は①、企業擔當者交易擔
當者の資金計畫と資金借入の許可申
請とを分離するとともにその借入申
請は所定の限度を越ゆる場合のみと
したこと②、軍政監部は場合によつ
ては金融機關に對し融資金命をなし
得ることとし、これに關聯せる規定
を設けたこと③、金融機關の資金の
吸收及び運用に關する命令内容を明
確にしたこと

などである、しかして舊令では資金
計畫を樹て、その借入限度の許可が
なければ借入不可能であつたが、今
後は借入設備資金及び運轉資金の合
計金額三萬ギルダーを越ゆる場合に

も實績を有するときは前年度におけ
るそれぞれの最高限度までは許可を
要せず、最高限度を越ゆる場合に
いてのみ許可申請を要することとな
つた

郵貯二千萬ギルダー突破

【ジャカルタ四日發】ジャワの郵便
貯金は昨年十二月十五日遂に二千萬
ギルダーを突破した、即ち昨年二月
の五百萬ギルダー、七月の一千萬
ギルダーから見るに全く繰上りの上
昇で、この成績でゆけば十九年度の
目標一千五百萬ギルダー(純増加)は
本年一月中に完了の豫定である

邦人同業組合聯合會設立認可

【ジャカルタ八日發】軍政監部では
昨年十月ジャワの産業配置を一應完
了するとともに邦人商社に對して業
種別同業組合及び同業組合聯合會を
結成せしめ、これを經理上の一企業
體と見做し委託經營事業に準ずる取
扱ひをなすことによつてこれら邦人
商社の經營上の不安を一掃するとと
もに事業獎勵の意味でジャワ邦人同
業組合令を公布した、一方邦人商社
側において爾來組合結成の準備を
進め當局に對し認可申請中のこと
このほど認可されたので近く總會を
開催、愈々本格的業務を開始する、
なほ邦人商社の業種を大別すれば次
の十一種である

勞務者豫備登録

【ジャカルタ十六日發】ジャワ島内
及び島外勞務需要の供出圓滑を期す
るため軍政監部では勞務登録實施ま
での暫定措置として二月一日から二
月末及び八月一日から八月末までの

二回に亘つて供出勞務者の豫備登録
制を實施することとなつた、登録の
對象となる勞務者は十六歳以上四十
五歳未満の原住民男子で無職者、日
傭勞務者、行商人、街頭商人にして
重要ならざるもの、家事使用人、料
理飲食店使用人など比較的遊休勞務
者がその對象となるわけで、これに
よる總登録数は約〇〇萬に上る見込
である

ジャワ奉公會劃期的新發足

【ジャカルタ二十一日發】西村ジャ
ワ奉公會副總裁は二十日舉行の總
裁、副總裁推戴式において奉公會運
動の急速なる展開を圖るべく規約、
職制、綱領の改正を初め機構改革等
の七項目に亘る劃期的實施方策を
指示、新たな構想をもつて活潑な
運動を開始せんとする會運動の今
後の方向を明かにすると共にこれが
急速なる實現を要請した①規約、職
制、綱領について 會の戰爭協力は
戰闘參加の域に到達すべく要望せら
れまた獨立基盤確立の任務が本當に
附與せられてゐる以上今後簡明熱烈
なるものへ更改する必要あり、右目
的のために會に特別起草委員會を設
置する②、實踐主體たる地方奉公會
の強化について會の實踐活動を有效
確實たらしめるためには地方奉公會
を強化する必要あり、爾今人事交流
を頻繁に實施し、或ひは中央職員の
地方援助を行ひもつて中央地方の連
絡を一層緊密にする③、會事業につ
いて 戦力増強及び獨立基盤確立の
新任務に基き、その目標を英米蘭擊
滅に置き防衛強化及び戦力増強並び
にその基調たるべき新生活態勢の確
立に關し強力なる運動を展開する
④、機構の改革について 新運動展
開に緊要なる最少限の機構改革及び

これに伴ふ人事刷新を斷行し、取り
あへず中央本部よりこれを行ふ⑤、
關係團體との連絡について 奉公推
進隊は會推進の尖兵としてこれを強
力たらしめると共に會の中心たる中
央本部においてこれを的確に把握す
るため、また關係團體との連絡強化
のため中央本部に連絡中樞を設定す
る⑥、婦人の戰闘參加について 各
層の婦人はその重要参加に自覺、速
に家庭要塞の建設に努めるとともに
防衛勤勞戰士として戰爭第一線に出
撃活動する男子に代替し銃後増産任
務の完遂に邁進し、特に婦人會の中
樞な青年婦人の蹶起を痛切に待望す
る⑦、會員範圍の擴充について ア
ブラ人の地位確立に伴ひアラブ人の
會參加を認容す

ジャカルタ學徒隊結成

【ジャカルタ發】ジャカルタ特別市
では去る二十日奉公廣場で學徒隊の
結成式を舉行した、この學徒隊は學
徒に對して大東亞戰爭の本義を體得
させ、ジャワの建設に一層邁進せし
めるため軍事教練特に戰闘、防
空、防護、防諜、救護並びに勤勞奉
仕作業等を実施するものである、編成
は中等學校以上の學校を大隊單位と
し、學年別中隊、小隊を編成、特別
市長を總隊長とするが、この下に隊
員中の精銳をもつて重要任務につく
特別挺身隊、特別技能者をもつてす
る特技隊をも設ける方針である

ストラペンソール現地自給

【ストラペンソール日發】この程在ストラ
ペンソールの一邦人研究家の手によつて
ストラペンソールに使用されるファイル
ム並びに印畫紙の現地自給の道が開か
れた、殊勳の人は石塚長治郎(秋田
縣南秋田郡三十五歳)氏で同氏は憲

兵伍長を振り出しに軍屬、航空機
社の社員などといふ經歷を辿り、唯
寫真に興味を持つてゐたといふに過
ぎないが、レントゲン寫真の需要が
日毎に深まるに反し心細い資材状況
の現状を打破すべく使用したファイル
ムの再製並びに印畫紙製造の研究を
委嘱され、ふりかかると幾多の困難を
突破して研究を完成、全ジャワ島の
需要を一手に引受けるといふ大々的
生産を開始した

衣料自給對策進む

【ジャカルタ七日發】軍政地區の重
大施策である原住民衣料對策として
軍政監部では全島に亘つて劃期的生
産を行ふべく向ふ一ヶ年間の生産計
畫を樹てこれを急速に實施すること
になつたが、軍政監部産業部長一行
は衣料問題解決のためバンドン、ス
マラン、ストラバヤの各地で衣料協
議會を開き關係者と種々懇談を遂げ
舊曆二十六日歸任、各地の衣料對策
について次の如き報告を齎した
現在民需用衣料の全部を島内生産の
みに依存することは不可能で是非と
も雜纖維の利用を研究しなればなら
ぬ、代用纖維としてはローゼルマ
ルゴラス、サイサル、カポック等が
擧げられてゐるが、カポックの如き
は世界生産の七割を占めてをり、そ
の他の纖維植物についてもジャワは
極めて有利な地位にある、紡織は紡
績工場の利用のほかカラ紡①〇萬
錠、手紡②〇萬錠を目標とし、配給す
る方針であるが、このほか各地の麻
袋工場も衣料生産に重點をおき、ま
た空麻袋の活用も研究してゐる、織
機については各洲の自給確立と輸送
力の關係のため各洲に配置調整を行
ふことになつてゐるしかしながらこ

てゐる南セレンベスではかねて受命商社の手により試作中であつた一人押手車(通稱猫車)が豫想以上の好成绩であるのに鑑み愈々本格的の大量生産を開始、半年間に六千臺を製作しマカツルを中心とした小運送の大部分をこれによつて補はんとするもので、同車は心棒及び輪にチーク材を用ゐてゐる他は全部廢材を使用し、製作量も一日三十五臺から四十臺で一車の重量三十五キロ、積轉量二百キロ、苦力一名で一日四キロを二往復出来る)と便利なる荷車である

糖等のうち二種類を報奨として特別に蒐荷の優秀な村に對しては特別の報奨が行はれる
タラカン原住民の集團疎開
【タラカン二十一日發】南方資源地帯の重要な一角タラカン島の防衛強化と食糧増産を促進するため當局の幹旋下で本月中旬から着手された一般原住民の集團疎開は順調に進んでをり、既に百家族五百名が對岸のポルネオ本島に移住した、これら疎開者は擧げて食糧増産に挺身するものである三月末までに大體計畫の移住を完了し、四月以降は情勢に應じて決定することになつてゐる、當局ではこの集團疎開を円滑に進めたるため知事を委員長とする疎開對策委員會を結成し、未開地における出先當局とも密接なる連絡をとり種々便宜を與へてゐるが、この集團疎開が完了した曉にはタラカン島内の食糧事情は相當緩和され、また防衛態勢も頗る強化されるわけである

ボネ
【バンジェルマシニ九日發】

原住民政職員に臨時昇給
原住民政職員の給與に關しては昨年四月原住民政職員の整備をみたが、現行給與額の中には從前の規程として若干引上げを要するものが相當あるの當局ではこれら該當者に對し今回下級職員に對しては生活上の安定をも考慮し今一月より十五%乃至二十%の範圍内において臨時昇給を實施することになつた

青果物供出に報奨制

【バリックパン二十四日發】現地當局では二十五日からバリックパン縣下各村に報奨制による青果物の買上制を實施する、この制度にバリックパンが必要とする青果物資を迅速に蒐荷配給するための臨時措置で村長を蒐荷責任者とし各村に蒐荷場を設け毎週一定日に村民から青果物を買上げた現地蒐荷業者から給配所を經て一般に配給されることになつてゐるが、蒐荷の圓滑を期するため村長に賞費、供出者には買上價格二圓毎に燈油、煙草、洗濯石鹼、砂

革新同志會(在郷軍人を主軸に官吏及び一般人を含む)は本國情勢の變化に鑑みこれを解散し、これに代る機關として専ら在郷軍人のみをたつて構成する在郷軍人會を組織するもの結成委員會を設立した、右は國家革新同志會が政治的の反面との接觸多くややもすれば少數幹部の利權に利用されるといふ結果も生じたため徹底刷新を圖つたものである

富鐵發行高引上げ
【サイゴン九日發】佛印政廳では義に財政省證券發行限度を一億一千萬ピアストルより一億四千萬ピアストルに引上げ浮動資金吸收強化の意圖を明かにしたが、この程富鐵發行高をも引上げること決定即日實施した、新發行高は九百六十萬ピアストルでこれを昨年度發行高六百萬ピアストルに比すれば三百六十萬ピアストルの増加であり昭和十年の富鐵創設當時に比すれば十六倍に當つてゐる

木船建造活況

【サイゴン四日發】マライ、ジャワ、セレンベス、ボルネオなど各地における木造船建造は飛躍的な躍進増強をみせてゐるが、佛印においても木造船建造は邦人商社生産活動の最重要部門となり、これに對する投資額は一見當に達してゐる、本年度計畫實施上最も心強いことは從來最大隘路となつてゐたエンデン確保の點につき輸入の増加と現地生産の飛躍的増強が期待し得ることである、この現地木造船建造の衝に當る當地最大の造船會社の○○造船會社第二工場は一隻の晴の進水式をサイゴン河畔○において舉行した。新造船は第一



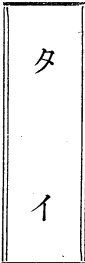
佛印

松本大使西貢歸着
【サイゴン十一日發】舊曆八日以来ハノイにおいてドクレー總督初め佛印政廳首脳部と懇談中の松本大使は事務連絡のため九日午後サイゴンに歸着した、大使はサイゴンにおいて各方面と折衝ののち十三日再びハノイに赴く豫定であるが縣案の解決のためししばらく同地に滞在するものとみられる
佛印に在郷軍人會組織
【サイゴン十一日發】一九四〇年佛本國命により佛印にも誕生した國家

靖國丸と命名された佛印の木材増産策
【サイゴン七日發】木造船建造の進捗、セメント煉瓦など重要建築資材の木材切替へにより最近木材需要は緩のぼりが増大してゐるが、これに對處するため佛印當局では増産獎勵策の實施に力を入れた本年度五百萬立方米の生産目標を樹立した、増産施策中特に注目されるのは山火事防止施設の強化でこれにより年約十萬立方米を灰燼の被害から救はうといふのである、強化施策の第一にとり上げられてゐるのは山火事の火元である苗族の移動状態を明確にし在來の如き放任主義を捨てて保護監視を行はんとしてゐる點である、しかしこのほか監視の徹底のためには

陸軍參謀總長更迭
【バンコック七日發】タイ國陸軍參謀總長無任所中チラ・ウイチャット・ソクラーム中將は七日附を以て國防副大臣に任命された、後任參謀總長にはジョン・ヨテイ・デイロック中將が就任した
アバイウオン泰首相祝電
【廿六日】小磯首相はタイ國の大東亞戰爭參戰三周年記念日に當り二十五日タイ國首相アバイウオン氏との間に祝電の交換を行つたが、アバイウオン首相は二十六日小磯首相宛宛のとき祝電を送つて來た
タイ國の大東亞戰爭參加三周年記念日に際し余は日タイ同盟條約に基きタイ國が盟邦日本と共に本戰爭を最後まで闘ひ抜かんとする鞏固なる決意をここに確言するを欣快とすタイ國民は日本政府並びに日本國民と同じく大東亞戰爭が正義人道の戰ひなることを深く信じ大東亞會議によつて闡明せられたる諸原則の道義を體する不拔の信念をもつて如何なる障礙にも怯るむことなく共同の目的に向ひ邁進するものなり、余は日本皇帝陛下の軍隊の戰勝を衷心より冀念すると共に、この機會に閣下にたいし日本帝國の繁榮と大東亞の物心両面における福祉確立の爲に日本帝

佛印短信
【十六日】 同 間
松本大使、ドクレー總督訪



内閣一部改造
【バンコック十日發】囊にモムルア・デート・サニットウオン前商相の辭職により商務大臣の職は商務副大臣デューン・ブレンナク博士が代行してゐたが、これをクオン・アパイウオン首相が兼任することにな

ル王朝最後の王バハドウルシャーの名に因んでバハドウルシャー隊と名づけられる

自由インド假政府最高顧問ラス・ビハリ・ポース氏逝く

自由インド假政府最高顧問ラス・ビハリ・ポース氏は昨夏來心臓病で静養中のごとく二十一日午前二時五分青山穩田の自宅で逝去した、享年六十

偉功を讃ふ「ラン・グリーン」二十六日發「去る二十一日逝去したラス・ビハリ・ポース氏にたいし自由インド假政府首班チャンドラ・ポース氏は二十五日弔文を發し故人を惜しむと共に同氏を「東亞のインド獨立運動の父」として偉功をたたへた

印度

海軍勢力著増 【リスボン二十日發】 コロンボよりの敵側一報道によれば一九四五年を迎へた印度海軍の勢力は大東亞戰爭勃發當時の二十倍以上となり、一方印度洋において何時でも必要に應じ得る船隻として商船二百萬トンを保有するものと推定されるといはれる

自動車生産を英國支援 【リスボン二十九日發】 ロンドン來電「イギリスの自動車業者として知られたナツフィールド社は今回カルカッタのビルダ兄弟商會との間に技術的援助協定を締結した旨發表ビルダ商會は資本金三百五十萬磅のヒンドスタン自動車會社を設立してをり、これは全額インド人資本によるものであるナツフィールド社より送られる技術者はここ数日中にイギリスを出發、インドに赴くはづである

濠洲

濠洲總督着任

【リスボン二十八日發】 シドニー來電「濠洲總督に任命された英國のグロススタードニーに到着した、就任式は三十日キヤンベラで舉行される、グロススタードニーは途中コロomboに立ち寄り東南アジア反極軌最高司令官マウントバテンと二回に亘り會談した

明年こそ最大困難の年 【リスボン十二月三十日發】 キヤンベラ來電「濠洲陸相フランシス・フォードは三十日次の通り新春の辭を發表した

あらゆる事態からみて一九四五年は開戦以來最も困難を極めた年となるであらう、濠洲軍は比島作戦において主力となつて戦はねばならぬと同時に濠洲北部に散在する島嶼から日本軍を撃退すること、重大任務を負つてゐる、歐洲戰終結の時期にいっつて豫想することは到底出来ないが、現在の戦局に徴すれば日本軍を撃退するには歐洲戰終了後少くとも十八ヶ月を要するものとみられる

英本國から移民引寄せ 【リスボン十二日發】 シドニー來電「濠洲の人的資源不足は愈々深刻化してゐるが「シドニー・サン」紙の報道によれば濠洲政廳は英本國からの移民勧誘に乗り出し、英人移民に對し養老金下附その他社會的福祉に關する特權を賦與する意向ある旨十二日英國政府に通達したといはれる

船腹不足激化せん 【リスボン五日發】 キヤンベラ來電「オーストラリア供給相ビズレーは一九四五年はオーストラリアは左層の船腹不足に直面するだらうとの通り警告したオーストラリアの船腹不足は一九四五年には戦開以來

最も深刻化し、戰爭努力に甚大な影響を及ぼすに至らう、比島への上陸作戦には百五十萬トンの物資並に軍需品供給を必要とし、更に其後一ヶ月間に卅三萬トンの船腹を要してゐる、今後の船腹不足の危機を説明する爲には次の事實をあげよう、即ち我々はオーストラリアの西南部から食糧不足地域に對し小麦その他食糧百萬トンを輸送するに必要な船腹を何とか工面しなければならぬのである

英濠間直通航空路を新設 【ストックホルム十七日發】 キヤンベラ來電「オーストラリア首相代理フランシス・フォードは十六日オーストラリア・イギリス間の直航航空路の開設を發表した、同相は二月一日までは一週一回のサービス維持したいと希望してゐるが、その後は一日一回のサービスを開始する豫定だとのべた、なほ右航空路に使用される航空機としてはインド洋横斷用としてリベリター爆撃機およびタリナス双發飛行艇を使用する管だが、結局ランカスター爆撃機が用ひられることになつてゐる、因に右新英濠航路に必要な地上設備をオーストラリアに作るに當つては一切の費用をオーストラリア政府が受持ち、それ以外の地上設備費はイギリスが受持つことに決定してゐる

旅客輸送開始 【リスボン二十一日發】 メルボルン來電「先に英國濠洲兩國間の直通航空路開設が發表されたが、濠洲空相「サー・ドナルド・シドニー」は二十日「極く近日中にシドニー、ロンドン間に旅客輸送空路が開かれることになつた、兩市間の飛行には六十時間を要する見込である」と言明した

濠洲の米軍補給減少 【リスボン八日發】 キヤンベラ來電「濠洲首相代理フランシス・フォードは八日次のやうに

に言明した「濠洲が米國との相互的武器貸與協定に基き一九四五年に米軍に供給する食糧は約一億二千萬弗に上る豫定で、四四年に比し約千六百萬弗の減少となる見込である、以上の減少は早尅にして穀物の減收のためであるが、しかし生鮮、加工果實及び野菜は多量に供給し得る筈である」

銀行統制強化 【リスボン廿四日發】 シドニー來電「オーストラリア政府はコンモンウェルス銀行をして國內諸銀行の統制に當らしめることとなり、關係法案を議會に提出した、これによれば同銀行は中央銀行として通貨流通および金融操作の統制を行ふ筈である

貿易國家委員會創設 【リスボン六日發】 オーストラリア政府は同國の輸出貿易を促進し、かつ戦後の海外貿易機構準備のためと稱しききに聯邦中央委員會を任命したがシドニー來電によれば同政府は今回さらに聯邦中央委員會と協力せしめるため國家委員會を組織する旨發表した

小麦配給割當實施 【リスボン十六日發】 キヤンベラ來電「オーストラリアでは過般の早尅による小麦收穫への打撃甚大なるに鑑み國內消費を抑へることとなり、近小麥配給割當制を實施する筈である

戦後工業的發展計畫を検討 【ストックホルム十七日發】 ロンドン來電「カンベラ情報によればオーストラリア羊毛産業は戦後の大發展につき計畫を樹立中である、なほロンドンで最近英自治領および植民地の發展に關する會合がロイヤル・サイエティで開催されてゐるが同會の自治領および植民地部會にたいしオーストラリア科學研究連絡官「アイ・B・グレナリア」はつぎのごとく

オーストラリア羊毛産業はすでに科學的調査の大擴張計畫を決定した、またこのほかの諸産業發展のためにも研究が進められてゐるが、注目すべきは天然ゴム生産のためゴム園と工場を擴張する可能性につき調査中である

ニュージーランド

英艦隊に協力 【リスボン二十四日發】 ウェリントン來電「ニュージーランド國防相フレデリック・ジョーソンは二十四日次の通り發表した

「英國太平洋艦隊首脳は先にニュージーランド海軍首脳と種々協議を重ねたが、その結果ニュージーランド海軍はあらゆる便益を英國艦隊に供すること決定した」

鐵道罷業惡化 【リスボン二十八日發】 ニュージーランドよりの情報によれば同國オクランド州における鐵道從業員罷業は政府當局が調停に入るや一段と惡化の兆を示してきたといはれる、從業員達は最近大會を開き政府當局調停案の受諾可否かを討議したが全然これを受けつけず、また労働調停局案たる昨年六月三十日に遡及して賃金を引上げることの案をも拒否してゐる

米、新西蘭農業會議 【リスボン十六日發】 ウェリントン來電「英國、ニュージーランド兩國の農業代表は過般來ウエリントンで會議を開催中であつたが、十六日に會り英帝國並に米國の農業代表者會議の召集を提案する旨の決議を採擇、更に本年十月にはロンドンで國際農業會議を開催するとの計畫を承認した

世界情勢

歐洲

ドイツ

ヒ總統の獅子吼

政治・外交

【ベルリン一日發】 ヒトラ
 總統は一日午前零時を期し總統本營からドイツ國民に呼びかけ戰爭完遂の固き決意とドイツ必勝の信念を被溼次の通り述べた

余がこれまで長期間に亘つて沈黙を守つて来たのは、余が戰爭遂行のため時間と精力の全部を傾注し演説を行ふ時間の餘裕をもたなかつたためである、少數の裏切り分子の謀反の結果招來されたドイツの危機は降伏を知らないドイツ國民の英雄的精神によつて征服されたドイツの崩壊が迫つてゐるといふ敵陣營の愚なる豫言は、過去において實現せず敵は今や一九四五年の八月ごろに勝利を収めるだらうと豫言するに至つた、併し四五年の七月において敵に依つて勝利が一段と接近してゐないならば恐らく一九四五年から四六年にかけての冬に勝利を確信するといふやうなことを聲明するやうにならう、併しかゝる宣傳にも拘らず戰爭の終局の勝利は決して敵陣營の收めらるゝるにはならないだらう、敵は自らこの勝利を収めることを假定してその假定的の上にかげられた詳細な戰爭計畫を世界に發表してゐるが、かゝる愚

なる宣傳にも拘らず戰爭は必ずやドイツ國民の勝利によつてのみ終結することにならう、敵陣營の首脳部さへ自らのかゝる愚なる宣傳を信じてゐるかどうかは疑はしい、若し彼らの中の或るものがかゝる架空の宣傳を實際に信じてゐるものとするならばドイツ國民は彼等が最も愚なる幻想を抱いてゐるのだといふことを事實によつて彼等に示してやるであらう

ドイツ國民は歐洲において過去に果して来たと同じ指導的役割を今後も常に果たすことにならうナチ・ドイツはこれまで忍耐と英雄的精神に満ちた奇蹟を示すことが出来た、強力な團結力を有するドイツ國民がイタリア、ルマニア、ブルガリア、フィンランド、ハンガリアにおける若干の裏切り分子が行つたやうな降伏をいつか行ふかも知れないといふ敵の希望は愚しき限りである、ドイツ國民は敵が決してこの戰爭目的即ちドイツの武装解除、一千五百萬乃至二千萬のドイツ國民の流刑及びドイツ國民の永久的奴隸化などといふ目標を達成する機會を得ることがないのを知るのであらう、戰爭の過程においては後退や危機はあるかも知れないが、ドイツ國民はその努力を増大することによつて一切の危機を征服するであらう

かを知つてゐる、ドイツ國民は二千年の歴史をもつドイツ文化の防衛のため及び民族の存立のために戦つてゐることを知つてゐるドイツ國民が現在蒙りつゝある苦難と犠牲の報酬を受取る日は必ずや到來するであらう、破壊されたドイツの諸都市は再建され現在勝利のため最大の犠牲を拂つてゐる數百萬のドイツ兵士及び勞働者のために、一段と立派な住宅がドイツ國內の凡ゆる地點に建設されるであらう、昨年度において戰爭努力の偉大な強化によつて一切の危機を克服し得たドイツ國民が勝利を完全に確保するまでは決して努力をゆるめないことを余は切に要望するものである

【ツベルリン廿八日發】 總統本營廿八日發表しヒトラ總統は本營に於いてフルウェー首相ウイドクン・キスリング氏を引見、長時間に亘り懇談を遂げた結果獨逸兩國に關する一切の問題について全幅的な意見の一致を見た

【ベルリン二十七日發】 東部戦線の戦局が重大化して以來ドイツ東部地方から多數の避難民が續々ベルリンに到着してゐるが、ドイツ當局は直ちにこれ等避難民の救済に着手、ベルリンの大劇場に本部を設置して活動を開始し、ベルリン市の食糧課は三日分の食糧切符を發行、情報課は列車の時間表を發表する等大奮だ、避難民は特別の事情ある者以外ベルリンに長期滞在を許されず、特に母親と子供は隣保補助機關「母と子の會」の庇護を受け醫師及び赤十字支部は避難民の保健問題に當り娯房と食事の用意も十分だ、一方プランデングブルグその他戰場と化した地方に臨時列車を配して避難民の收容に努めてゐる

諾首相總統と會見

【ツベルリン廿八日發】 總統本營廿八日發表しヒトラ總統は本營に於いてフルウェー首相ウイドクン・キスリング氏を引見、長時間に亘り懇談を遂げた結果獨逸兩國に關する一切の問題について全幅的な意見の一致を見た

ロシア解放委員會に信用供與

【ベルリン二十五日發】 ドイツ政府當局は二十五日次のやうに言明した

「ドイツ政府は二十五日ウラソフ將軍を主班とするロシア解放委員會と協定を締結、同委員會に信用を供與することに決定した、右協定にはドイツ外務次官フォン・モイランド並びにウラソフ將軍が署名した」

避難民に温い配慮

【ベルリン二十七日發】 東部戦線の戦局が重大化して以來ドイツ東部地方から多數の避難民が續々ベルリンに到着してゐるが、ドイツ當局は直ちにこれ等避難民の救済に着手、ベルリンの大劇場に本部を設置して活動を開始し、ベルリン市の食糧課は三日分の食糧切符を發行、情報課は列車の時間表を發表する等大奮だ、避難民は特別の事情ある者以外ベルリンに長期滞在を許されず、特に母親と子供は隣保補助機關「母と子の會」の庇護を受け醫師及び赤十字支部は避難民の保健問題に當り娯房と食事の用意も十分だ、一方プランデングブルグその他戰場と化した地方に臨時列車を配して避難民の收容に努めてゐる

米英人スパイを處刑

【ベルリン二十四日發】 ドイツ軍當局は二十四日次の通り發表した

「米國人グリーン、英國人セーマーの兩名を指導者とする十八名の米英人スパイはスロヴァキア國內において破壊行動を組織的に行ひ、且つ經濟、政治兩分野の情報蒐集中ドイツ軍に逮捕された、右十八名はドイツ軍法會議で死刑の宣告を下され銃殺に處せられた」

再建空軍の果實は熟す

【ベルリン一日發】 ゲーリング元帥は年頭に當り獨逸空軍に對する布告を發し再建された獨逸空軍の威力を強調し次の通り述べた

「新年度を迎へるに當りわれは確信と希望をもつた戦局の前途を期待してゐる、最近に至つてわれは獨逸空軍内における偉大且つ困難な再建工作の最初の果實がすでに熟したことを目撃するに至つた、今や多數の航空部隊、高射砲部隊、婦人補助部隊を含む諸部隊は總統に對する忠誠を誓ひ、敵に對し強力に戦闘を繼續するであらう」

大本營會議開く

【ベルリン四日發】 ドイツ權威筋より確開するところによればヒトラ總統は元且壁頭大本營に軍事及び内政、外交、軍需の最高責任者を招き、西部攻勢の發展に伴ふ軍政兩面の最高方略に關する重要大本營會議を開催した

出席者はゲーリング空相、ヒムラー内相、デーニッツ海軍總司令官、カイテル幕僚長、シュンペーア軍需相、ルントシュテット西部總司令官、グデーリアン參謀總長兼東部總司令官、リッペントロッツ外相及びポールマン黨書記長(但しゲツベルス宣傳相は他の用務のため缺席)で、權威筋の洩らすところによれば同大本營會議では

一、東西兩戦線に對する作戰檢討
 一、軍需生産力に關する報告
 一、今次西部攻撃による新情報とこれに引續き展開するべきドイツ側の最高戰略
 等につき今後の戦局に恐らく大轉機をもたらすべき極めて重要な結論を得たと傳へられる、しかし側近者の語るところによればヒトラ總統は昨年七月廿日の負傷より肉體的にも完全に快復、簡素な野戰宿舎に起居して倍舊の熱意と確信をもつて必勝の軍政兩務に没頭してをり、僅かに守暇をさいて林間散歩することだけが唯一の慰安だといふ

V3號登場
 【チエリッヒ八日發】 西部戦線においてドイツ軍はV兵器を使用し敵側に甚大な脅威を與へてゐるが、ジュネーヴに達した情報によればドイツ軍は先週來はじめてV三號を登場せしめ猛威を逞しめてゐると傳へられる、右によればV二號は

ベルギー・オランダ市東方のブル
ーグエス市地区で他のV一號および
二號と共に併用されたもので、その
破壊威力は一號、二號よりも夫々強
烈で落下地點周囲百五十米の人員を
殺傷せしめるといはれる

【ベルリン二十五日發】大
蔵省當局のもらすところ
よれば、戦時下第五回目的
會計年度にあたる一九四三―四四年
度におけるドイツの豫算実績は千六
百億マルクに上り、うち經常歳入は
七百億マルク餘、國債支辨は大體八
百億マルクに達したといはれる、經
常歳入が歳出總額の五十%を割つた
のはこれが最初のことだが、歳出増
加の傾向に鑑み本會計年度には經常
歳入の割合はさらに四十%にまで下
落する模様である

【ニューリッヒ十日發】スイス通信
社「タート」は十日ドイツにおける工
場分散について次のやうに報じてゐ
る

「ドイツは軍需工業の地方分散に成
功を収め、その上この分散により全
重要工場は二倍にも増加するに至つ
た、一方では最短期間内に工場の方
散を容易に行ふために機械類を運ぶ
八十トンの積載能力ある特別運搬車
を製作した、分散した工場の主要な
機械は鋼製の屋根をもつコンクリ
ト建ての殻のやうな防空室に収めら
れてゐる、この工場分散と共にさら
に成功を収めたのは主として航空機
製作工場を地下に建設したことであ
る、これらはいづれも敵機の攻撃、
偵察を困難ならしめるために偽装さ
れ全部市内におかれずその近郊に設
置されてゐる」

イタリヤ

エマヌエル三世重態
【リスボン十日發】ローマ來電
タリヤ國王エマヌエル三世は過般來
ラヴエロに於いて病氣加療中のとこ
ろ九日突如容體が急變、皇太子ウ
ベルトをはじめサヴォイ王家の王族
全員は急遽同地に赴いた

北伊に於ける食糧安定策
【リスボン九日發】ミラノ來電
タリヤ共和國政府は北部イタリヤの
食糧事情を安定させるための措置と
して次の措置を實施し乃至は實施せ
んとしてゐる

一、各地方毎に食糧自給體制を確立
し、これによつて長距離輸送問題の
解決を計る
一、一切の食糧を政府が管理し開取
引の撲滅を期す
一、農産物の供出を強化し、悪徳農
民に對しては場合によつては死刑を
課すこともある

一方政府は最近官營食堂を開設した
が、現在これを利用してゐる者は既
に二百萬に及びその他百六十萬の勞
働者が工場の食堂で給食されてゐる
が政府は更に一般料理店を悉く徴發
し、これにより別に二百萬の國民に
給食してゐる、かくて北部イタリヤ
の總人口の四分の一に當る約六百萬
の食事が政府によつて賄はれてゐる

フランス

ド・ゴール参加は事實無根
【ストックホルム十六日發】AP
リ特派員はスターリン議長がド・ゴ

ールのモスクワ訪問に際し、三國會
談にド・ゴールを招請するやうに米
英兩國政府に要請し、ド・ゴールが
ソ聯の東歐洲における領土要求を支
持する代償としてド・ゴール政權の
領土要求を支持する旨確約したと報
じたが、モスクワ放送は十五日夜特
に右AP報道を採り上げ、事實無根
だと否定した

ド・ゴール外交方針
【リスボン廿五日發】パリ來電
ランス臨時政權の首班ド・ゴールは
廿五日記者團と會見次の通り一問一
答を行つた

【問】三頭會談に招請されてゐるか
【答】招請されてゐないが米英ソ三
國政府はフランス臨時政權が會談に
参加を希望してゐることについて十
分承知してゐる等だ
【問】英國政府との間に同盟條約案
に就ての交渉が進捗してゐるか
【答】英國から同盟條約案について
まだ何等の申入れも受けてゐない、
しかし何時か必ずさういふ條約が出
來ることゝならう

【問】聯合國全體の會議を開催する
ことが必要ではないか
【答】聯合國會議といふのは大事件
で色々準備が必要であらう
【問】ポノミ政權との關係如何
【答】曾てイタリヤ政府がフランス
に宣戰したことは寔に遺憾だが將來
佛伊兩國が親善關係に入り、特に地
中海領域に關して協力するのを期待
してゐる、色々懸案もあるがポノミ
政權との間に處理出來ると思ふ
【問】スペインとの關係は
【答】スペインとの通商關係を促進
する所は聯合國の戰爭努力に寄與
する所だと信じてゐる
【問】ルブリン政權を承認したのか

【答】ルブリン政權とは使臣を交換
したが同政權を承認した譯ではな
い、依然亡命ポーランド政權承認に
は變りがなくポーランド國民が總意
を表明する機會を與へられて初めて
ド・ゴール政權としての方針も變つ
て來よう

イタリヤ艦既に釋放
【マドリッド十七日發】パドリオ政
權が一九四三年九月米英兩國と休戰
協定を締結した際、スペイン領バレ
リアック諸島に逃げ込んだイタリヤ
巡洋艦「アテロ・レゴ」號他驅逐艦
四隻に關しては、ポノミ政權が米英
兩國の使臣に基き頻りにスペイン政
府に對し釋放を要求してゐるが元々
アチカノ市駐劄スペイン大使ホセ・
デ・ヤンガス・メシアを委員長とし
て審査した結果、委員會は以上五隻
の釋放を妥當と認めその判定を下
した、判定要旨次の通り
ヘーグの海軍法規によれば交戰國の
軍艦が中立國港灣に避難する場合
にも、事情に應じ二十四時間の期限
を延長できることとなつてゐる、五
隻の軍艦は給油並びにドイツ空軍の
ため撃沈された主力艦「ローマ」號の
乗組員救助および傷兵陸揚げのため
バレリアック諸島の港に入ったのだ
が、同港には迅速に給油する適當な
施設がないので二十四時間の期限は
延長するのが至當である、従つてス
페인政府が期限満了と同時に抑留
したのは妥當を缺き、五隻のイタリ
ヤ軍艦は即時釋放されねばならぬ
右判定に對しドイツ代理大使は強硬
な異議を申し立てたが、スペイン政

【ストックホルム十九日發】
モスクワ放送は十九日フイ
ンランド政府の休戰條約不
履行を猛烈に攻撃、次の通
り述べてゐる
「フインランド政府は休戰條約に基
づく機械の引渡しに際し、新しい機
械のかはりに、古機械で胡麻化さう
と圖り、ソ聯から掠奪した多數の物
資を反樞軸管理委員會の目をかすめ
て隠蔽し、それらを自國の財産だと
主張してゐる、また商船の引渡しに
際してはスウェーデン當局の援助を
かりて一部の引渡しを履行してゐな
い、更に法相フォン・ボルンは脱走
兵及び戰爭反對者の釋放を拒否し政
府は多數ファシスト團體の解散を未
だに履行してゐない」

北歐諸國

芬の條約不履行を詰る
【ストックホルム十九日發】
モスクワ放送は十九日フイ
ンランド政府の休戰條約不
履行を猛烈に攻撃、次の通
り述べてゐる
「フインランド政府は休戰條約に基
づく機械の引渡しに際し、新しい機
械のかはりに、古機械で胡麻化さう
と圖り、ソ聯から掠奪した多數の物
資を反樞軸管理委員會の目をかすめ
て隠蔽し、それらを自國の財産だと
主張してゐる、また商船の引渡しに
際してはスウェーデン當局の援助を
かりて一部の引渡しを履行してゐな
い、更に法相フォン・ボルンは脱走
兵及び戰爭反對者の釋放を拒否し政
府は多數ファシスト團體の解散を未
だに履行してゐない」

【リスボン廿七日發】レイ
キヤヴイク來電「アイスラ
ンド共和國政府は先に議會
に對し米國政府との間に米
國の國際航空にアイスランド領内の
飛行場使用を許可する旨の協定締結
案を提出したが議會は廿八日同案を
正式承認した

【リスボン廿七日發】レイ
キヤヴイク來電「アイスラ
ンド共和國政府は先に議會
に對し米國政府との間に米
國の國際航空にアイスランド領内の
飛行場使用を許可する旨の協定締結
案を提出したが議會は廿八日同案を
正式承認した

【リスボン廿七日發】レイ
キヤヴイク來電「アイスラ
ンド共和國政府は先に議會
に對し米國政府との間に米
國の國際航空にアイスランド領内の
飛行場使用を許可する旨の協定締結
案を提出したが議會は廿八日同案を
正式承認した

ソ

ルブリン政權を承認
【モスクワ五日發】ソヴェト外務人

民委員部五日夜発表

ソヴェト最高會議幹部會は民主主義ポーツランドとの間に友好關係を維持し強化する政策に基きポーツランド共和國の臨時國民政府を承認し使臣を交換するに決定、ウイクトル・カルハコウイツチ・レバテフ氏をソヴェト聯邦の特命全權使臣に任命した

ルブリン政權駐ソ大使任命

【ストックホルム二十七日發】モスクワ來電ソヴェト政府がルブリン政權をポーツランド假政府として承認した結果、同政權はジクムンド・モゼンフスキーを一日モスクワ駐劄大使に任命した

波假政府首相モスクワ訪問

【ストックホルム二十三日發】モスクワ放送によればポーツランドのソヴェト議長アルト並びにポーツランド假政府首相兼外相モラフスキーは二十二日モスクワに到着したといはれる

波、チエの救済を承認

【リスボン十九日發】ワシントン來電ソヴェト政府はポーツランド及びチエツコエトヴアキア兩國に對する救濟物資の輸送を承認した、すなはちソヴェト政府から黒海の諸港灣より陸路前記兩國へ食糧、衣服並びに醫療品の輸送を許可する旨の通達を受けた

スエズ運河割込み

【リスボン廿一日發】ニューヨーク・タイムズ紙カイロ來電ソ聯はスエズ運河會社に對しても着々その勢力を扶植しつつあり既に英國と同数の株主權を獲得したといはれる

ス議長英議員團と會見

【ストックホルム二十七日發】モスクワ來電ソスターリン議長は二十五日ソ中の英國議員團一行と會見したが、モロトフ外務人民委員、マイスキー外務人民委員部次長並びにブルジョア米國代理大使も同席した

赤軍當局は

【モスクワ二十七日發】赤軍當局は赤軍の占領下にある東プロイセン、グンペホフ市の軍政官にイワン・チエダコフ少佐を任命した旨二十七日發表した

ソ佛労働組合委員會議置

【モスクワ二十二日發】ソ佛労働組合中央評議會はフランス労働組合運動と緊密な連絡を採るため過般來交渉を進めてゐたが、ソ佛労働組合委員會に範を採つたソ佛労働組合委員會がモスクワに創設された旨二十二日發表された、委員會はソ佛兩國代表五名宛によつて構成される

労働代表着英

【ストックホルム廿九日發】ロンドン來電ソ近くロンドンで開催されることとなつた國際労働會議出席のソヴェト労働代表團一行廿五名は廿九日ロンドンに到着した、ソ聯の主席代表はソヴェト労働組合中央評議會議長ヴァシーリ・クツネツォフ氏である

三、六〇〇日本一〇〇圓一二四、九二

【モスクワ廿日發】ソ聯の公定ルーブル換算率一月分は十七日ソ聯國立銀行外國爲替課から次の通り發表された、因みにトルコ百リラの換算率が騰つたほか總て昨年十二月分と同様である(單位ルーブル)

一月の留換算率

▽米一弗五、三〇〇英一磅二一、三〇〇リラ四〇七、九〇〇(一九四四年十二月十五日四〇五、六〇〇)▽瑞典一〇〇クローネ一、二六、四六〇(スウェーデン)▽フラン一、二

新内閣成立

【リスボン四日發】アテネ來電ソララス將軍を首相とするギリシャ新内閣は三日攝政、ダマスキオス大主教のもとに宣誓式を舉行した

英軍休戰條件を撤回

【リスボン八日發】ギリシャ駐屯の英軍はアテネ市並びにビレウス外港地區のエラス兵團を掃蕩した後さらに進撃を続け、アテネ來電によれば八日午前にはアテネ市の東北十五哩のカプリスに到達したと傳へられる、一方英軍司令スコビー少將はEAM團との休戰交渉が停頓状態に陥つてゐるのを奇貨とし、八日に至り「エラス兵團は陸戰法規を無視し、多數の英國人並びにギリシャ人を人質として招致した、且つEAM團が自發的にアチカ地區から撤收しなかつたので從來の休戰條件は、ここに撤回されるに至つた、今後休戰交渉に應ずる用意があるが、休戰交渉には人質の返還を條件として含めねばならない」と言明した、ロイター電報によれば萬國赤十字社代表は約四千名の人質をエラス兵團が拉致したとみてをり、攝政ダマスキオス師は人質の數を八千と見積つてゐるといはれる

EAM團遂に分裂

【リスボン十日發】英軍はギリシャ國內の掃蕩作戦を繼續、十日はアテネ西北七十哩のレヴアディヤ並びに

バルカン諸國

【リスボン四日發】アテネ來電ソララス將軍を首相とするギリシャ新内閣は三日攝政、ダマスキオス大主教のもとに宣誓式を舉行した

【リスボン八日發】ギリシャ駐屯の英軍はアテネ市並びにビレウス外港地區のエラス兵團を掃蕩した後さらに進撃を続け、アテネ來電によれば八日午前にはアテネ市の東北十五哩のカプリスに到達したと傳へられる、一方英軍司令スコビー少將はEAM團との休戰交渉が停頓状態に陥つてゐるのを奇貨とし、八日に至り「エラス兵團は陸戰法規を無視し、多數の英國人並びにギリシャ人を人質として招致した、且つEAM團が自發的にアチカ地區から撤收しなかつたので從來の休戰條件は、ここに撤回されるに至つた、今後休戰交渉に應ずる用意があるが、休戰交渉には人質の返還を條件として含めねばならない」と言明した、ロイター電報によれば萬國赤十字社代表は約四千名の人質をエラス兵團が拉致したとみてをり、攝政ダマスキオス師は人質の數を八千と見積つてゐるといはれる

【リスボン十二日發】エラス兵團の代表は十日午後以來英軍司令スコビーと休戰協定について交渉を重ねてゐたが、十一日夜双方の代表は英軍司令部において愈々休戰協定に調印した、協定の内容は十二日午前發表されたが要旨次の通り

一、エラス兵團は一月十八日午前一時までにギリシャ東南部より撤收し概ねアテネ市の北方八十哩乃至百廿哩の地點と西北並に西北方を八十哩走る線の西方並に北方に引揚げる

一、エラス兵團は一月十七日午前一時までにサラニカ地區から撤收する

一、エラス兵團の捕虜と英軍の捕虜とは同數をもつて交換する、拉致された英國人市民は釋放する

【リスボン十八日發】アテネ來電ソ先般英軍司令スコビーとエラス兵團との間に締結された休戰條件に基

き、エラス兵團は十八日ギリシャ第二の大都市サラニカから撤收、英軍は同夜半何等の抵抗を受けず平穩裡に同市並びに同市周邊三百二十キロの地點に進駐を完了した、テウリス紙の報道によれば、ギリシャ政權首相ララスは同日「ギリシャ革命を企畫する策動分子をすべて嚴罰に處する方針である」旨言明したといはれる

【リスボン二十日發】アテネ來電ソギリシャ政權首相ララスは再びEAM團代表との同卓會議を計畫策動を開始し、首相の示唆に基き攝政ダマスキオス大主教が十九日EAM團に對しギリシャ政權側と協議のため代表を派遣するやう要請した結果、近日中に同團代表とギリシャ政權外相ソフィアノボロスとの會見が行はれることになつた模様である

【リスボン廿二日發】アテネ來電ソギリシャ外相ソフィアノボロスは廿二日次の通り言明したEAM團の代表はギリシャ領一部島嶼から廿四日夜半をもつてエラス兵團を撤收することに同意したので廿五日午後エラス兵團の撤收完了を待つて出来るだけ早くEAM團との和平交渉を開始するに決定した

【リスボン廿二日發】アテネ來電ソギリシャ政權とEAM團の協定に基き約三百名の人質が廿一日午後ライマ地區からアテネに到着した、大半はギリシャ軍の將校並にアテネの警官である

【リスボン四日發】アテネ來電ソソヴェト政府は代理大使ミカエル・セ

【リスボン四日發】アテネ來電ソソヴェト政府は代理大使ミカエル・セ

【リスボン四日發】アテネ來電ソソヴェト政府は代理大使ミカエル・セ

【リスボン四日發】アテネ來電ソソヴェト政府は代理大使ミカエル・セ

【リスボン四日發】アテネ來電ソソヴェト政府は代理大使ミカエル・セ

【リスボン四日發】アテネ來電ソソヴェト政府は代理大使ミカエル・セ

ルゲエフ氏を今回アテネ駐劄大使に任命したが同氏は近くアテネに着任する豫定である

希元三首相を裁判

【チューリッヒ二十一日發】アテネ來電「ドイツ軍がギリシアに屯屯してゐる間に於けるギリシア首相三名は對獨協力者として裁判に附されることになつた、右三首相は一九四一年四月サロニカにおいてドイツ軍との休戦協定に調印したコラコグル將軍、その後繼内閣首相コロゴセトブラス教授及びドイツ軍治下における最後の内閣首相ヨハニス・ラリス氏でコロゴセトブラス教授はドイツに亡命中のため缺席裁判に附せられる豫定である

アニマール

【ストックホルム二十日發】ブカレスト放送によればルーマニア政府は九日ブルガリア政府との間に通商協定を締結したといはれる、しかし右協定は多分に政治的狙ひを持つもので昨年八月ソ聯と休戦條件締結以來ルーマニアが國際協定を締結したのは今回が最初だが、右措置によつてルーマニアは今後における諸外國との條約締結の資格獲得を企圖したものと解される

ソ羅物資供給協定成立

【ストックホルム十八日發】モスクワ來電「ソ聯、ルーマニア休戦條件に基きソ聯に對する賠償としてルーマニアの物資を供給する件に關する協定が十六日ブカレストで調印された、同協定によればルーマニアはソ聯に對し總額三億米弗の穀物、機械類、ナフタ油等を供給し、ソ聯は一九四四年九月十二日から一九五〇年九月十二日まで年額五千萬米弗

の分割支拂を行ふことになつてをり、支拂は一九三八年現在の平時價で行ふ

舊政府要人に死刑求刑

【ストックホルム十八日發】モスクワ放送によればブルガリア検事總長は二十八日元攝政キリル殿下、ボグダン・フイロフ、ニコラ・ミチヨフ及び元首相バゲリアノフ、元閣僚タニウエフ・ルセネ大將、ベルグエン・ドラガノフ氏等多數の舊政府要人に對し死刑を求刑した

西亞諸國

土、帝國と斷交

【ベルリン三日發】アンカラ來電「トルコ國民議會は三日の會議に於いて一月六日から日本政府との經濟、外交關係を斷絶するに決定した

日本外交官抑留

【リスボン廿八日發】トルコ政府は日本との斷交に伴ひ日本外交官に對し國外退去の猶豫期間を與へたが、廿八日ロンドンからのBBC放送によれば、トルコ政府は期間満了と共にトルコ滯留の日本外交官四十名を抑留したと

ダーダネルスを開放

【リスボン十七日發】アンカラ來電「トルコ政府は十六日ダーダネルス海峡の開放に關し次の通り發表した反輻軸船舶が數日以内に初めてダーダネルス海峡を通過、黒海のソ聯諸港に航行することにならう、トルコ政府今回の措置はエーゲ海がいまや全く開放され反輻軸諸國間の通過が再開されるに至つたことを證明する

ものだ

近くトランスと會談

【リスボン十五日發】バグダッド來電「イラク攝政エミール・アブドゥルカリーム・ミール・アブドゥルカリーム及びトランスエミール・アブドゥラーは近く兩國を境の某地で會見しアラブ各國間の協力及びパレスチナ問題について協議するが兩國の首相も會談に参加する豫定である

アフリカ

總選舉、サートテスト黨優勢

【リスボン十日發】エヂプト國王フアルーク一世が首相ナハス・パシヤを罷免した結果に基つて總選舉は十日エヂプト全國に亘つて舉行されたが、從來の第一黨ワフド黨が前首相の統制下に總選舉をボイコットしたため、現内閣の與黨サードテスト黨が壓倒的多數を制してゐる、アード・マヘル・パシヤを首班とする現内閣の關係は全員當選した、未定の四十二選舉區については十四日選舉が執行される豫定である

埃總選舉の結果確定

【リスボン十六日發】カイロ來電「エヂプト總選舉の結果は次の通り確定した
△ザードテスト黨一二四名△自由黨七四名△マクラシスト黨三〇名△無所属二九名△國家黨七名

新閣僚任命

【リスボン十五日發】カイロ來電「エヂプト首相マヘル・パシヤは十五日午前總選舉の後國王フアルーク一世に聯立内閣の辭表を提出した、

國王は直ちにマヘル・パシヤに對し再組閣を命じたが、組閣は同日午後完了、新閣僚は次の三人である
商工相ヒスマイ・マムツド・ベイ(自由黨)、公共事業相アブデル・メジド・バズル(サードテスト黨)文相アブデルラメガール・エルサンホウリ(サードテスト黨)

國王アラビア訪問

【リスボン二十六日發】ロイター通信によればエヂプト國王フアルーク一世はサウジ・アラビア國王イブン・サウド訪問のため二十四日午前サウジ・アラビアのイエンボー港に到着したといはれる

反輻軸聯合國

三國會談近く開催か

【ストックホルム二十日發】ロンドン發UP電報「英國政府筋から得た情報によれば米英ソ三國會談は廿日、廿一日、廿二日の間に地中海中部乃至東部の某地に開催することになつたと、この首腦會談に先だち三國外相會談が開催されるといはれるがこれはまだ最後の決定をみない

會談地はテヘランか

【ストックホルム十六日發】三國巨頭會談が一月下旬西亞の某地で開催されることはほぼ確實とみられるに至つたが、ロンドンからのUP電報によれば既に場所も期日も最後の決定をみたといはれ、恐らくテヘランが再び會談地に指定された模様だ

ルーズヴェルトは當初ステテチニア

を帶同する豫定であつたが、ステテチニアが米洲外相會議に出席することになつたので、懐刀のハリ・ホプキンスを連れて行くことに變更

し、ホプキンスは先發して二、三日中にロンドンを訪れ、まづチャーチル、イーデンと打合せを遂げる豫定で、チャーチルは會談開催までロンドンに留り、飛行機で會談地へ急行する段取りと傳へられる

準備進む

【リスボン二十九日發】米英兩國政府は三頭會談の準備については一切報道を差止めてゐたが、二十九日に至り英國外務省は、ルーズヴェルトの特使ハリ・ホプキンスが先週ロンドンを訪問、大使ワイナトとともに英國首相チャーチル、外相イーデンと會見し、更に英國王ジョージ六世に拜謁した旨發表した、右會見に際しホプキンスは三頭會談に臨むルーズヴェルトの見解を傳へた様子だが「デーリー・テレグラフ」紙の報道によればルーズヴェルトの提案はおよそ次の各項から成つてゐるといはれる

- 一、歐洲並びに東亞の諸問題を處理するため聯合國の中間的な執行會議を設置すること
- 二、解放された歐洲を共同の責任において處理するため、聯合國の協同機關を設置すること
- 三、ハリ・ホプキンスは二十六日ロンドンからパリに赴き、ド・ゴール並びに外相ビルトと會見した後更にロイマに赴いたと傳へられるが、ド・ゴールとの會見では三頭會談の主要議題を報告した上、少くとも會談の或る部會に参加するやうだ、ゴールを招聘した様子だ、パリにおける會談についてロイター電報は次の通り報道してゐる

三頭會談の豫備交渉はケルトルセーで開催されたが、會見の結果双方における少數の誤解は一掃された、今回の會談で、ド・ゴール政權が將來

主要聯合國の會議に全面的に参加するやうになることが期待されてゐる

米英、歐洲解放政策を協議
【リスボン十五日發】

英、リチャード・ロー外相代理
【リスボン十五日發】

テチニアと會談した後十四日ワシントンを出發歸國の途に着いたが國務省は十五日會談の經過につき「主要な議題は反樞軸軍が解放諸國をドイツ軍に對する作戰遂行上の有効な基地とするために之等各國の經濟状態を維持する施策如何にあるが歐洲の解放地域に對する物資の規則的流入を増加すべき手段に關しても意見が一致したと發表した

【ストツクホルム十一日發】
十一日の英國新聞デイリー・メール紙は次の通り報

反樞軸共同參謀本部
米英兩國政府の最高指揮部はソヴェト軍首腦をも含めた反樞軸共同參謀本部の設置を希望してゐる、この案に於いては赤軍を含んだ反樞軸全軍を指揮する最高司令官が任命されることになつてゐる

而して米英兩國間には既にワシントンに共同參謀本部が設置されてゐるがこれにはソヴェト代表の参加なく歐洲戦局の展開に伴ひ戰線の錯綜した今日反樞軸軍の共同作戰遂行のためには赤軍代表の参加が絶対に必要であり、一方米英側としては純作戦問題のみでなく歐洲に對する政治問題に關し米英ソ三國關係を直建しに必要に迫られかかる案を提唱するに至つたと見られる

米英加合同委員會對獨戰後も
【リスボン十九日發】

ワシントン來
電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

因みに右三委員會は米國の參戰後間もなく設置されたものだが、三國はその他にも戰爭遂行の共同機關として合同參謀本部、彈藥配給委員會、海運調整委員會を持つてゐる

電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

因みに右三委員會は米國の參戰後間もなく設置されたものだが、三國はその他にも戰爭遂行の共同機關として合同參謀本部、彈藥配給委員會、海運調整委員會を持つてゐる

電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

因みに右三委員會は米國の參戰後間もなく設置されたものだが、三國はその他にも戰爭遂行の共同機關として合同參謀本部、彈藥配給委員會、海運調整委員會を持つてゐる

電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

因みに右三委員會は米國の參戰後間もなく設置されたものだが、三國はその他にも戰爭遂行の共同機關として合同參謀本部、彈藥配給委員會、海運調整委員會を持つてゐる

電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

因みに右三委員會は米國の參戰後間もなく設置されたものだが、三國はその他にも戰爭遂行の共同機關として合同參謀本部、彈藥配給委員會、海運調整委員會を持つてゐる

電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

因みに右三委員會は米國の參戰後間もなく設置されたものだが、三國はその他にも戰爭遂行の共同機關として合同參謀本部、彈藥配給委員會、海運調整委員會を持つてゐる

電米國大統領ルーズヴェルト、英國首相チャーチル、カナダ首相キングは十九日左の共同聲明を發表した

「米英加三國はその戰爭活動を調整統合するため三國合同生産資源委員會、食糧委員會、原料物資委員會を設立し三國の共同戰爭に多大の貢獻をなしてきたが、この三委員會は歐洲戰爭終了後も廢止されず、太平洋戰爭終了まで存続することとなつた」

亡命政權

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ聯に抗議
【リスボン六日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

ソ波紛争獨書提出
【ストツクホルム二十四日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

アイヴラズゴース

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

國王統合案を拒否
【リスボン十二日發】

した非立憲的行動と断定してゐるが同時に「ロンドンにおけるすべてのユーゴスラヴィア團體」がスパシツ博士を支持してゐる旨の聲明を御用通信社を通じてバラ撒いてゐる

コツエチ

【チエリツヒ十四日發】

ロンドン來電「ニューズ・クロニクル」紙の報道によれば亡命チエツコ政権大統領エドアルド・ベネシユはこゝ六週乃至八週間以内にロンドンを出發チエツコに歸還する計畫といはれる

チエツコの一部をソ領に編入

【ストックホルム二十日發】

ソ連政府と協定により舊チエツコ領東部のカルベト・ルテナア地方のソ領編入に同意したといはれる、尤も右協定は戦後同地方の住民にたいしてその歸屬を決すべき人民投票の實施を規定してゐるが、英國各紙は右取極めに反対の意向を表明、就中「エコノミスト」誌の如きは「ソ連今回の行動はソ連の舊チエツコ領不割譲の約束と完全に背反する」とソ連の態度を攻撃してゐる

ルブリン政權承認

【ストックホルム廿日發】

亡命チエツコ政權大統領ベネシユは過般來頻りにソ連政府と交渉を重ねてゐたがロンドン來電によれば同政權は今回ポーランド政權と斷交すると同時にルブリン政權を正式に承認し近く外交代表を交換するといはれる

米英ソと休戦協定

【ベルリン廿日發】

ワ放送「反樞軸とハンガリー偽政權との間に廿日休戦協定が成立調印したとのり

休戦協定正文【二十一日】米英ソ三國政府とハンガリー偽政權との間の休戦協定は二十日成立したが、休戦協定正文は二十一日ワシントン、ロンドン及びモスクワにおいて同時に同時に發表された、協定は次の十五箇條から成つてゐる

「ハンガリー臨時國民政權はソヴェト社會主義共和國聯邦、聯合王國、アメリカ合衆國及びその他の反樞軸諸國に對する戦争においてハンガリー軍が敗北したことを認め、ハンガリー政府と交戦状態にある反樞軸諸國の政府が提出した休戦條件を受諾する

第一條 A、ハンガリー軍はソヴェト社會主義共和國聯邦始め、チエツコスロヴァキアをも含む他の反樞軸諸國に對する軍事行動を停止、ドイツ政府に對してはあらゆる關係を斷絶すると同時に、同政府に對し宣戰を布告する

B、ハンガリー政府はハンガリー領土におけるドイツ國の武装兵力を武装解除し、且つ俘虜として引渡すことを公約する

C、ハンガリー政府は反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の全般的指導の下に、反樞軸軍司令部が定める地上、並びに空中兵力を保持し、且つ提供することを公約する、以上に關聯しハンガリー政府は歩兵八箇師團以上を提供する

D、ドイツ國に對する軍事行動が終焉を告げた曉には、ハンガリー軍もまた反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の監督の下に復員し、且つ平和状態に復歸する

ゴスラウイアおよびルーマニア領土から、一九三七年十二月三十一日現在におけるハンガリー國境内に撤退し、且つチエツコスロヴァキア、ユーゴスラウイアおよびルーマニア領土をハンガリー國に併合あるひは結合するに關聯した法律上並びに行政上の現行規定を撤回するための手段を講ずる

第三條 ハンガリー政府並びにハンガリー軍最高司令部は赤軍及びその他の反樞軸各國の武装兵力に對し、いづれの方向たを問はず、ハンガリー領土内において移動する自由を與へる

第四條 ハンガリー政府に直ちに反樞軸軍俘虜並びに抑留市民を悉く釋放する、將來改めて通告あるまでハンガリー政府は自身の經費において、すべての反樞軸軍俘虜、抑留市民、難民された人々、避難民及びチエツコスロヴァキア、ユーゴスラウイア兩國市民に對し十分な食糧、衣服、醫療衛生上保健上の諸要求並びにこれらの人々がそれぞれ自國に歸還するための輸送上の便宜を提供する

第五條 ハンガリー政府は市民權並びに國籍の關係なく反樞軸各國の主に對する諸活動乃至反樞軸各國の主張に對する同情、または人種的起源或ひは宗教上の理由に基づき監禁されてゐる一切の人口を即時釋放し、以上の現理由に基づくすべての差別法的法制並びに諸制限を撤廢する

ハンガリー政府はハンガリー國內における罷免された人々、避難民、ユダヤ人及び無國籍人々に對し、少くともハンガリー國民に對する同程度の保護並びに保障を與へるために必要ならざる手段を講ずる

第六條 ハンガリー政府は戦争中反樞軸諸國の領土内から撤去した國家、公共並びに協同組合各組織、企業、團體乃至個人、市民に所屬する一切の有價物件並びに資材をソヴェト聯邦、チエツコスロヴァキア、ユーゴスラウイア兩國のあるひはその他の反樞軸諸國に返還することを公約する

第七條 ハンガリー政府並びにハンガリー軍最高司令部はハンガリー領土に存在するドイツ國の一切の軍需器材及びハンガリー水域に碇泊するドイツ艦隊の艦船を反樞軸軍(赤軍を含む)司令部に鹵獲品として提供することを公約する

第八條 ハンガリー商船はハンガリー水域におけると外國水域におけるとを問はず、反樞軸各國の全般的利益に使用するため、反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の運管支配をうける

第九條 ハンガリー政府は反樞軸軍(赤軍を含む)司令部がその機能を送行するにあつて必要とするハンガリー通貨を定期的な支拂ひ、必要ある場合反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の發令する指令に基づき、物資(燃料、食物等)、諸施設、及び諸勞務を提供する

第十條 政府はハンガリー軍がソヴェト聯邦およびチエツコスロヴァキア、ユーゴスラウイア兩國の領土占領に當り、軍事行動によつて以上三國に與へた損害を賠償する

しかしながらハンガリー政府が今回軍に反樞軸諸國に對する戦列から撤退したばりてなく、ドイツ政府に對し宣戰を布告した事實に鑑み、關係諸國政府は以上の損害に對するハンガリー政府の賠償を全額とせず、一部分に止める事に同意する即ちハンガリー政府は今後六ヶ月間に總額三億米弗

を物資(機械、裝備、河川用船舶、穀類、および家畜等)で支拂ふ、内ソヴェト聯邦政府に對する支拂額は二億米弗、チエツコスロヴァキア、ユーゴスラウイア兩國政府に對する支拂額は一億米弗である

ハンガリー政府は更に其の他の反樞軸諸國及び反樞軸諸國民が蒙つた喪失並びに損害に對して賠償するが賠償額は追て決定される

第十一條 ハンガリー政府は戦争犯罪人の逮捕及び審問、並びに關係諸國政府に對する引渡しにつき協力する

第十二條 ハンガリー政府は、ハンガリー領土内において反樞軸各國に對する敵對宣傳を遂行してゐる政治的、軍事的、或ひはその他のファシスト的形態の諸組織を、ヒトラー總統を支持するものと否とを問はず、すべて即時解散、且つ將來においてもかかる諸組織の存在を許さないことを公約する

第十三條 國境から五十料乃至百料離れたハンガリー領土全域に對し民政を復活する、ハンガリー民政團は平和並びに保障の再建を計る目的をもつて反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の指令並びに命令を遂行し、且つ同民政團には聯合王國政府並びに米國合衆國政府の代表も参加する

休戦協定が有效になつてからドイツ國に對する軍事行動停止までの期間には、反樞軸管理委員會は反樞軸軍(赤軍を含む)司令部の全般的指圖を受けるものとす

第十四條 一九三八年十一月二日のウイーン裁定における決定並びに一九四〇年八月十三日のウイーン裁定は無効なることを宣言する

第十五條 本條項は署名の瞬間より

效力を發生する
休戦協定附屬文書

【ストックホルム二十五日發】モスクワ來電 米英ソ三國政府とハンガリー偽政權との間の休戦協定は去る二十日成立したが、ソヴェト政府は二十五日右協定に對する附屬文書を發表した、その要旨は次の通り
一、ハンガリー政府並びにハンガリー軍當局は地圖及び軍事書類を悉く赤軍に引渡すこと
一、ハンガリー政府並びにハンガリー軍當局は兵營その他類似の造營物を赤軍の自由使用に供すること
一、ハンガリー政府はドイツ人に對して抑留手段を實施するに當り、ドイツ市民といへどもユダヤ系の者に對しては右手段を適用しないこと
一、ハーガリー政府はユーゴスラヴニア及びスロヴァキア内の占領地域に對し、即時食糧を補給すること

日本との同盟關係を
破棄
【リスボン十九日發】ロイター來電 日本との同盟關係を破棄する旨正式に宣言し、同時に重慶政府を支那唯一の合法的政權として正式に承認したこと及びこれに大使を派遣する旨發表した

アリタイ

【ストックホルム廿一日發】ロイター通信 ロンドン電報 ムッソリーニ正統政權が日本の對支政策に對するイタリヤの支持に關聯して日本との間に締結した一切の條約につきポノミ政權は無効を宣言することになつたと

支那關係條約無効を宣言

【ストックホルム十六日發】ロンドン來電 英國議會は十六日クリスマス休會後再開されたが、労働黨の論客は全國に亘るチャーチル首相の戦争施策、特にギリシヤ政策に對する不満を反映し、質問時間の際に早く

イギリス

交外・治政

チャーチル、ロンドンに歸る
【リスボン七日發】三日パリの司令部でアイゼンハウアーならびにド・ゴールと會談中だったチャーチルは六日パリを出發途中モントゴメリー軍司令部に立寄りモントゴメリーとも會談を遂げた後ロンドンに歸着したといはれる

ギリシヤ政策監視委員會

【ストックホルム十日發】ロンドン來電 英國労働黨は十日執行委員會を開催、首相チャーチルのギリシヤ政策を監視するため分科委員會を任命した、分科委員會は政府に對し、英軍が出来るだけ早くエラス兵團と休戦協定を締結すること、D.A.M.團員その他の大赦、ギリシヤ内政に對する不干渉、さらに執行委員會において下院議員シンウエラベヴァンの端的な字句をもつて分科委員會の任務を闡明することを要求したが、副首相アトリー内相モリソン等が強硬に反對して同案は否決された一方首相チャーチルは十六日クリスマス休會開けとともに下院においてギリシヤ政府その他戦況全般に亘り報告する方針と傳へられる

休會明けの國會

激烈な質問戦

【ストックホルム十六日發】ロンドン來電 英國議會は十六日クリスマス休會後再開されたが、労働黨の論客は全國に亘るチャーチル首相の戦争施策、特にギリシヤ政策に對する不満を反映し、質問時間の際に早く

も鋒鏑を現はし矢繼早の質問戦で首相に迫つた、ロイター電報によれば質疑應答の要旨次の通り
ライイス・デーヴィス(労働黨) 首相は依然として無條件降伏を戦争施策の目標としてゐるが、右政策は徒らにドイツ政府の背後におけるドイツ國民の團結を強化し戦争を長期化させる傾向あり且つ最近における聯合國間の紛糾に鑑み、歐洲の悲惨な狀況を出来るだけ早く終熄させるために、無條件降伏の政策に再検討を加へては如何

チャーチル ノー・サー、無條件降伏方式の修正には下院は歴倒的に反對だと思ふ、且つ質問時間の際に際してかかる問題について十分討議を盡すことは出来ない、恐らく戦況に關する全面的討議に當つて以上の問題についての所見を開陳する機會があると思ふが、英國政府においては、戦争が長期化するかと否を問はず、あくまで日獨兩國の無條件降伏を目標に戦争を遂行する決心である
ライイ(労働黨) 無條件降伏の方式がナチ黨にとつて政治的に極めて貴重な武器となつてゐると思はぬか

チャーチル さうは思はない
ライイス・デーヴィス ルーズヴェルト最近の聲明で大西洋憲章の純眞性について疑義が起つたが首相が何等か聲明する意思はないか
チャーチル ルーズヴェルトは二月二十二日の聲明で大西洋憲章の目標は今日においても一九四一年八月起草當時と同様有效であることを明らかにしたので、決して大西洋憲章の純眞性について疑義は起つてゐない、しかし大統領は同時に、大

さうもないといふことを示唆したに過ぎない
ライイス・デーヴィス 大西洋憲章は歐洲の一半には適應されないのではなにか
チャーチル 余は大西洋憲章を發表した後ロンドンに歸任するとともに英帝國並びに印度に關する大西洋憲章について聲明した、右聲明は閣議で慎重検討を加へた結果出したものが、要するに英帝國内においては逐次自治制度が布かれてゐるために、大西洋憲章の目的と原則はすでに達成されてゐるとの趣旨に基づいてゐる

チャーチル ただ今かかる細目に立入る必要はないと思ふ、大統領は大西洋憲章をもつて、聯合國の目標の基準であり、前進する方向の指標であると述べてゐるが、誠に當をえた表現であると思ふ、大西洋憲章は決して法律ではない
パウルス(労働黨) ギリシヤ内亂における英軍の死傷は如何
チャーチル 十二月三日から数字がわかつてゐる最後の日取りたる一月六日までに、英軍の死傷は二千百一名で、内二百三十七名は戦死である

は、全く當を得ないと思ふが如何
チャーチル これらの問題についてガラカー君が餘り激昂しない方がいいと思ふ、さもなければ左翼トロッキ派に墮して了ふであらう
ダグデール(労働黨) いかなる權威に基づいて英軍司令は各社の特派員に對しエラス兵團代表との會見を禁止したのか
チャーチル 戦闘の最中戦線を横切つてエラス兵團占領地帯に入り込むのが好ましくないことは明らかだ、戦線を突破できるのは萬國赤十字の代表だけに限られてゐる

チャーチル 従軍記者全部に對して全面的に信頼するといふことは出来ない、一方の戦線から他方の戦線へ出入する従軍記者については、余は常に疑ひをかけてゐる
ドライベルグ(無所屬) イーデン外相が民主主義的ギリシヤの成立を希望すると稱して美辭麗句を並べてゐると、ギリシヤ首相プラステラ將軍の亂暴な言葉とは、いかにして調和できるか
シンウエル(労働黨) ギリシヤ政策に關する討議に當つて首相がすべての要點に觸れるかどうか分らないから特にギリシヤ國內における小數派に對しては英軍司令スコビーの聲明について質問したい、スコビー少將は軍人として政治上の問題に容喙する權限を與へられたのか
チャーチル スコビー少將は英軍司令部で群衆の喝采に應へて演説したのだが、即席の演説であつたにも拘らず少將の演説は非常に立派な

チャーチル 十二日三日から数字がわかつてゐる最後の日取りたる一月六日までに、英軍の死傷は二千百一名で、内二百三十七名は戦死である

チャーチル ただ今かかる細目に立入る必要はないと思ふ、大統領は大西洋憲章をもつて、聯合國の目標の基準であり、前進する方向の指標であると述べてゐるが、誠に當をえた表現であると思ふ、大西洋憲章は決して法律ではない
パウルス(労働黨) ギリシヤ内亂における英軍の死傷は如何
チャーチル 十二月三日から数字がわかつてゐる最後の日取りたる一月六日までに、英軍の死傷は二千百一名で、内二百三十七名は戦死である

チャーチル 十二日三日から数字がわかつてゐる最後の日取りたる一月六日までに、英軍の死傷は二千百一名で、内二百三十七名は戦死である

チャーチル 従軍記者全部に對して全面的に信頼するといふことは出来ない、一方の戦線から他方の戦線へ出入する従軍記者については、余は常に疑ひをかけてゐる
ドライベルグ(無所屬) イーデン外相が民主主義的ギリシヤの成立を希望すると稱して美辭麗句を並べてゐると、ギリシヤ首相プラステラ將軍の亂暴な言葉とは、いかにして調和できるか
シンウエル(労働黨) ギリシヤ政策に關する討議に當つて首相がすべての要點に觸れるかどうか分らないから特にギリシヤ國內における小數派に對しては英軍司令スコビーの聲明について質問したい、スコビー少將は軍人として政治上の問題に容喙する權限を與へられたのか
チャーチル スコビー少將は英軍司令部で群衆の喝采に應へて演説したのだが、即席の演説であつたにも拘らず少將の演説は非常に立派な

チャーチル 従軍記者全部に對して全面的に信頼するといふことは出来ない、一方の戦線から他方の戦線へ出入する従軍記者については、余は常に疑ひをかけてゐる
ドライベルグ(無所屬) イーデン外相が民主主義的ギリシヤの成立を希望すると稱して美辭麗句を並べてゐると、ギリシヤ首相プラステラ將軍の亂暴な言葉とは、いかにして調和できるか
シンウエル(労働黨) ギリシヤ政策に關する討議に當つて首相がすべての要點に觸れるかどうか分らないから特にギリシヤ國內における小數派に對しては英軍司令スコビーの聲明について質問したい、スコビー少將は軍人として政治上の問題に容喙する權限を與へられたのか
チャーチル スコビー少將は英軍司令部で群衆の喝采に應へて演説したのだが、即席の演説であつたにも拘らず少將の演説は非常に立派な

チャーチル 従軍記者全部に對して全面的に信頼するといふことは出来ない、一方の戦線から他方の戦線へ出入する従軍記者については、余は常に疑ひをかけてゐる
ドライベルグ(無所屬) イーデン外相が民主主義的ギリシヤの成立を希望すると稱して美辭麗句を並べてゐると、ギリシヤ首相プラステラ將軍の亂暴な言葉とは、いかにして調和できるか
シンウエル(労働黨) ギリシヤ政策に關する討議に當つて首相がすべての要點に觸れるかどうか分らないから特にギリシヤ國內における小數派に對しては英軍司令スコビーの聲明について質問したい、スコビー少將は軍人として政治上の問題に容喙する權限を與へられたのか
チャーチル スコビー少將は英軍司令部で群衆の喝采に應へて演説したのだが、即席の演説であつたにも拘らず少將の演説は非常に立派な

チャーチル 従軍記者全部に對して全面的に信頼するといふことは出来ない、一方の戦線から他方の戦線へ出入する従軍記者については、余は常に疑ひをかけてゐる
ドライベルグ(無所屬) イーデン外相が民主主義的ギリシヤの成立を希望すると稱して美辭麗句を並べてゐると、ギリシヤ首相プラステラ將軍の亂暴な言葉とは、いかにして調和できるか
シンウエル(労働黨) ギリシヤ政策に關する討議に當つて首相がすべての要點に觸れるかどうか分らないから特にギリシヤ國內における小數派に對しては英軍司令スコビーの聲明について質問したい、スコビー少將は軍人として政治上の問題に容喙する權限を與へられたのか
チャーチル スコビー少將は英軍司令部で群衆の喝采に應へて演説したのだが、即席の演説であつたにも拘らず少將の演説は非常に立派な

チャーチル 従軍記者全部に對して全面的に信頼するといふことは出来ない、一方の戦線から他方の戦線へ出入する従軍記者については、余は常に疑ひをかけてゐる
ドライベルグ(無所屬) イーデン外相が民主主義的ギリシヤの成立を希望すると稱して美辭麗句を並べてゐると、ギリシヤ首相プラステラ將軍の亂暴な言葉とは、いかにして調和できるか
シンウエル(労働黨) ギリシヤ政策に關する討議に當つて首相がすべての要點に觸れるかどうか分らないから特にギリシヤ國內における小數派に對しては英軍司令スコビーの聲明について質問したい、スコビー少將は軍人として政治上の問題に容喙する權限を與へられたのか
チャーチル スコビー少將は英軍司令部で群衆の喝采に應へて演説したのだが、即席の演説であつたにも拘らず少將の演説は非常に立派な

のだつと思ふ
下院首相を信認

【ストックホルム十九日發】 ロンドン來電ニ英國下院は十九日もチャーチル首相の戦争施策に討議を加へ、労働黨議員がギリシヤ政策を論難したが最後に外相イーデンが英國政府の政策を辯護し次の通り諸點を強調した

一、現在の國際協力機構については英國政府は全面的に満足してゐない、來るべき三國會談ではこの點が問題とされよう

一、ドイツ軍がギリシヤ領土から撤収するに先立ち、エラス兵團が國內の政權奪取を企圖してゐたと信ずべき理由がある、政府は下院議員團が實情を調査するためアテネに赴くやう輪旋する用意がある

次に下院に内閣の新任を問うたが政府支持三百四十票、反對七票でチャーチル首相は重ねて下院の壓倒的支持を受けた

開戦以來損害百萬を突破
【リスボン十六日發】 ロンドン來電ニ英國首相チャーチルは十六日下院で、開戦以來一九四四年十一月末までの英帝國軍兵員損害が百四萬三千五百五十四名に達した旨發表したが内譯次の通り

△英帝國兵員損害總計一〇〇〇、五五〇名
戦死 三六、六三〇名
戦傷 三六、七四〇名
俘虜 二四、〇八〇名
行方不明 〇、天〇名

△英軍(ニューファウンドランド軍及びサウス・ローデシア軍を含む)損害總計 六五、〇七〇名
戦死 二九、〇七〇名
戦傷 三六、〇七〇名

戦死 三六、〇七〇名
戦傷 三六、〇七〇名

行方不明
△自治領、屬領軍損害

一、カナダ軍 戦死 八、六九〇名
戦傷 六、〇〇〇名
俘虜 七、二〇〇名
行方不明 四、八七〇名

一、濠洲軍 戦死 八、〇五〇名
戦傷 八、〇五〇名
俘虜 三、五五〇名
行方不明 六、九三〇名

一、印度軍 戦死 一、四一〇名
戦傷 一、四一〇名
俘虜 一、四一〇名
行方不明 一、四一〇名

一、ニュージーランド軍 戦死 一、七二五名
戦傷 一、七二五名
俘虜 一、七二五名
行方不明 一、七二五名

一、南阿聯邦軍 戦死 一、九〇〇名
戦傷 一、九〇〇名
俘虜 一、九〇〇名
行方不明 一、九〇〇名

一、その他英植民地軍 戦死 一、九〇〇名
戦傷 一、九〇〇名
俘虜 一、九〇〇名
行方不明 一、九〇〇名

【ストックホルム二十三日發】 ロンドン來電ニ英國蔵相サー・ジョン・アンダーソンは二十三日下院において「過去數週間を通じて英國の戦費は一日平均一千四百二十五萬磅」なる旨を述べた

戦費一日千四百萬磅

商船喪失高
【ストックホルム十日發】

ロンドン來電ニ海軍省海難救助局長大佐ホランドは十日次の通り公表した
英國は一九三九年には總噸數千七百五十萬噸に上る大洋航行船を所有してゐたが一九四三年までに總噸數千五百五十萬噸を失つた、即ち英國は開戦以來四年間の中にその所有商船の三分の二以上を失つたことになる

英海運の没落
【ストックホルム廿一日發】 海運消息筋も「らす」ところによれば米英兩國が現在所有してゐる船腹量は總計四千四百萬噸で、うち米國船三千三百萬噸英國船一千萬噸で、今次大戦勃發以來米英兩國海運勢力の比率が英國に對し米國一だつたのに比較すれば英國海運凋落のあと著しく世界海運界に君臨せんとする米國の目標は

【リスボン八日發】 アルゼンチン政府は昨秋以來米亞兩國關係の調整をはかるため米洲外相會議の開催を提案してゐるが、ワシントン來電によれば米國政府はこれを無視し別個に米洲諸國會議を開催するに決した様子で、國務省は八日次の通り發令したといはれる

【リスボン十一日發】 メキシコ・シテイ來電ニメキシコ外相パテイヤは十一日次の通り發表した

米洲各國外相會議は二月十五日メキシコ・シテイで開催されることになった、今次會議に於いては米洲の經濟、社會問題共同安全保障體制戰後問題が協議されよう

【リスボン十三日發】 ワシントン來電ニ米國務省は二月十五日メキシコ・シテイで開催される米洲外相會議に米洲關係擔當の外務次官補ネルソン・ロツクフエラーと共に國務長官ステテニアスが首席代表として出席する旨十三日發表した

【リスボン廿日發】 メキシコ來電ニメキシコ市で開催されることになつてゐた米洲外相會議は二月廿一日に延期された」と發表

空母二隻を借受
【リスボン五日發】 オッタワ來電ニカナダ海相マクドナルドはカナダ海軍が英國から空母二隻を借受けることになつた旨五日發表した

造船情況
【リスボン十二日發】 オッタワ來電ニカナダ貿易相ジエイムズ・マツキーンは十二日造船計畫の進捗狀況に關し次の通り述べた

「カナダ政廳は一九四一年立案された造船計畫に基き貨物船並びに油槽船の建造を進めてゐたがその建造數は間もなく四百隻、二百七十萬トンに達するであらう、以上の船舶は戰爭用兵器の生産に伴ひ、これを輸送する緊急の必要に迫られて建造された、そのうち四千七百トンの貨物船三隻は相互物資援助協定に基き英國に、二隻は濠洲に讓渡され、他



力 ナ ダ

る、一萬トンの貨物船のうち百十隻はカナダ政廳の保有の下に戦争目的に使用されてをり、他の一部は米國へ賣渡され、一部は海軍補助船舶として使用されてゐる、造船計畫が完了した際右一萬トンの貨物船百隻が相互物資援助協定により英國に譲渡される豫定である」

工業生産力を誇る

【リスボン二十五日發】 ロンドン來電カナダ労働次官ポール・マーチンが國際労働會議にカナダ側代表として列席のため、この程ロンドンに到着したが、二十四日英國情報省主催の會議に臨み工業國としてのカナダの重要性を誇示して次の通り演説した

カナダの工業生産力は最近非常な發展を示してをり、早晩世界屈指の工業國となるのであらう、開戦以來カナダが行つた生産努力は偉大なものであり、國民は常にこの事實を誇りとしてゐる現在カナダは戦前よりも遙かに少い人力で五〇%方の食糧増産を行ひ、労働組合所屬の労働者數は開戦當時三十萬名であつたのが、現在では七十萬名に増加した

脱走兵の搜索開始

【リスボン二十四日發】 オッタワ來電カナダ軍當局はヴァンクーヴァーその他諸港において海外出征を待機中であつた徴募兵の集團脱走行爲を、海外派遣に反對する示威運動と見做し慎重対策を検討中だつたが、二十四日に至り「二十一日以上に亘つて歸隊しない者は脱走兵と見做し軍法會議に付する」旨發表した、同時に警官隊、憲兵隊は脱走兵の搜索を開始した、一方國内に殘存することとなつた徴募兵も脱走兵に呼應して暴動を始め、或る兵營では六百

名の兵が大擧兵舎の塙を乗り越えて兵營を脱け出し、示威行進を行つたが、遂に憲兵隊によつて逮捕された脱走兵六千三百名に達す【リスボン二十七日發】 オッタワ來電「過般來カナダ國內防衛軍のうち海外出征を命ぜられた徴募兵の頗々たる集團脱走が備へられてゐるが、騎馬警官隊長ウツドは二十七日至り、海外派遣軍一萬六千名中脱走兵は六千三百名の多數に上つてゐると發表した

アメリカ

政治・外交

グルー樂觀論に警告

【リスボン一日發】 ワシントン來電「國務次官グルーは一日米國朝野の戦争樂觀論に對し警告を發し、左の通り放送した

米國人は人類が未だ建設したことのないやうな平和樹立のため猷身的努力をせねばならない、米國人が今年解決すべき大根本問題は日獨兩國に對し決定的勝利を獲得すること、將來にわたる戦争の絶滅を保證するやうな平和體制を設定することである

戦時態勢劃期的強化

【リスボン二日發】 ワシントン來電「米戰時動員局長バーンズは一日夜浩翰な報告を發表、これを大統領ルーズヴェルト並に三日から開會される第七十九議會に提出して米國戰時態勢の劃期的強化を要求することとなつたと聲明した、報告の要旨

次の通り

米國の戦時動員を完壁化するために政府が更に一層廣汎な権限を持つことが必要である、議會で昨年來の縣案となつてゐる、國民徵用法案の外に次の四法案の至急實現を要請する

- 一、徵兵適齡期の壯丁のうち體格検査の結果兵役を免除された四百萬の若者を徵用して軍需生産に従事せしめる法案
- 一、鋸業軍需工場由政府による接收等を受け軍需生産の遲滞を防止するため戦時労働局の権限を擴張しこれに労働争議に對する最終決定權を與へる法案
- 一、戦時人的資源委員會に對して軍需産業における労働力統制の最高權限を與へる法案
- 一、軍需労働者の戦後對する不安を除去するため失業保障制度を擴張する法案

米戰時統制更に強化

【リスボン十八日發】 ワシントン來電「國防運輸局長官ジョンソンは十八日米國鐵道業者協會長ベレーに要旨左の如き書翰を送つた

陸海軍は軍需品輸送のため尠大な輸送力を必要としてゐる、戦争遂行に不可欠な資材の輸送のため一般旅客列車運行の部分的停止もまたやむを得ない、全國の鐵道業者は軍事輸送の圓滑を期するため政府に協力された

政府は既に乗客の少い一部旅客列車並に遊行列車の運行を停止する措置をとつてゐるが、ジョンソンの右書翰は政府が更に鐵道運輸に對し一層思ひきつた措置の採用を豫告したものとされてゐる、一方物價管理局は十八日煙草及びグレープフルーツ、

オレンジ汁に對する割當制の實施を發表、紙巻煙草は今後一日一人當り十五本宛の割當となつた、更に戦時食糧局も同日の布告をもつてグレープ・フルーツ、オレンジ汁は今後新生産品の全部が軍需に振向けられ一般には出廻らなくなつたと發表した

クロフオードの歐洲視察報告

【リスボン五日發】 ニューヨーク來電「前生産業者聯合會會長フレデリック・クロフオードは最近歐洲の解放地區を視察して歸米し、五日ニューヨーク米商會會議所において歐洲の實情が米國に傳へられてゐないことを攻撃し次の通り演説した

米國は檢閲を實施してゐるため歐洲の實情は國民に知らされてゐない、フランスやベルギーの國民がドイツの占領下に苦しんでゐるといふ話には誇張であり、フランスはナチのもの「消費者景氣」を享有し、これがフランス國民の對獨協調を大いに助長したのである、余が開いたところによると若しナチのもとにこのやうな状態がもう一年半も續けば、フランスは永久にそれを希望することにならうといはれる

ホイーラーの妥協説を攻撃

【リスボン七日發】 ワシントン來電「上院議員バーントン・ホイーラーは六日夜のラジオ放送で敵國に無條件降伏を要求することは最も拙劣な策だと述べたが、國務長官ステテニアスは七日これを反駁、次の通り聲明した

無條件降伏の原則は米、英、ソ聯、重慶各政府間に意見一致をみたものであり、ホイーラーが今回これを攻撃したことは彼の意圖が那邊にあるにせよ、日、獨兩國はこれをもつて兩國が長期抗戦を續け、多數の米兵

を殺戮するならば米國民の戦意を沮喪せしめ、妥協による平和を獲得し得ると解釋するだらう、ホイーラーの言辭は返す返すも遺憾である

國務省、石油協定撤回要求

【リスボン十日發】 ワシントン來電「國務省は十日次の通り發表した

國務省は大統領ルーズヴェルトに對し目下上院に提出されてゐる米英石油協定を撤回するやう要請した、理由は協定の目的及び規模につき誤解があるためである

國務省の見解によれば米英石油協定を續る誤解は協定の目的に關する意見の不一致から生じたものでなく、むしろ前目の實現のため、具體的諸問題から生じたものである、米英石油協定は昨年主として中東方面における米英兩國間の石油利權争奪戦を回避せんとしてワシントンで

を殺戮するならば米國民の戦意を沮喪せしめ、妥協による平和を獲得し得ると解釋するだらう、ホイーラーの言辭は返す返すも遺憾である

締結されたものだが、協定の成立にも拘らず米英石油利権の尖鋭な対立抗争は一向に緩和されず、一方上院においては右協定をもつて一種の秘密協定なりとしこれが承認を拒否すべしとする意見強く、昨年八月以來棚ざらしの状態に放置されてゐた大統領直に再廻附要請【リスボン十日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは國務省の要求に應じ、十日上院に對して米英石油協定の白聖館への再廻附を要請した、ルーズヴェルトは再廻附要求の理由として「この協定が國際石油問題をめぐる紛争の除去に大いに役立つとの余の意見には依然として變りはないが協定をめぐる若干の誤解を除去するためこれに修正を加へる必要を認めためたのである」と述べた

【リスボン十五日發】ワシントン來電「米陸軍航空本部長アーノルドは十三日、對日戰に關し次の通り言明した

過去數週間に於けるB29の日本爆撃は單に序の口に過ぎず今後困難な苦しい戦ひが待つてゐる日本は太平洋地域に於いて類例を見ない程種々の資源を獲得したまがた高度に發展した殆ど自給自足し得る工業並に農業を持つてをりその規模は獨の三倍と見られる

【日本處理】を協議【リスボン十七日發】ニューヨーク來電「米太平洋問題調査會がヴァージニア州ホットスプリングスで開催中の十二ヶ國代表二百名による討論會は十六日終了した同調査會の報告によると最初の三日間には「日本の戰後處理」なる議題のもとに討論し、各代表の意見は、休戦、領土變

更、賠償、武装解除等の問題では全般的に意見一致したが、日本の經濟的、通商の活動の制限及び民主主義に導く方法の二點では意見が分裂して纏らず、結論として「反樞軸諸國が日本處理の能力を成功裡に發揮するか否かは各國が共通の目標と集約的行動に基いて結束を維持するか否かにかかつてゐる」といふ點に一致決問題であることを強調してゐる

【リスボン二日發】ルーズヴェルトは二日近くチャチル、スターリンと會談する旨を言明したが、ロンドンからのエクスチェンジ・テレグラフ通信によればルーズヴェルトは一月廿日大統領就任式を行つた後直ちに英國へ赴きチャーチルと會見することにならうといはれる

【リスボン二日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは新議會開催を前に二日白聖館において上下兩院議員領袖との會談席上「近くスターリン、チャーチルと會談する豫定である」と言明した

【リスボン五日發】ワシントン來電「ワシントン駐劄英國大使ハリファックスは五日白聖館に大統領ルーズヴェルトを訪問四十五分間にわたる會談した、兩者は米英兩國が當面してゐるポーランド及びギリシヤ問題並びにルーズヴェルト、チャーチル、スターリン三者の會談につき協議したとみられる、一方ルーズヴェルトは同日の新聞記者團會見で三項會談の開催は早くても彼が大統領就任式をあげる一月二十日以後となら

うと言明した

【リスボン十六日發】ワシントン來電「ルーズヴェルトは十六日三互頭會議の期日と場所がはつきり決定し、會談出席のため近くワシントンを出發する旨言明した

【リスボン六日發】ワシントン來電「米大統領ルーズヴェルトは六日議會に對して全文八千語に及ぶ長大な一九四五年の一般年次教書を送付したがその要旨次の通り

△世界戰局 今次大戰は最大かつ最も執拗な精力をもつて戦はれなければならぬ、われわれ自身はもろんわれわれの持つすべてが危殆に瀕してゐるのであり、したがつてわれわれはその總てをこの戰爭に傾注し勝利を確信するがこれがためには大なる犠牲が必要であり、われわれの損害もまた甚大に上るであらう、全體的に見て過去一年間われわれは勝利に向つて相當な前進を示した、ただ年末にはわれわれの作戦に蹉跌を來し獨軍はルクセンブルグおよびベルギー戰線において反樞軸軍の中央部に突破せんとする明かな目的をもつて熾烈な反撃に出でた、この反撃に對してわが前線の將兵はもつとも困難な條件の下に勇敢な抗戦を行つてゐる、余はアイゼンハウアーに對して完全な信頼を寄せてゐる、しかしながら敵が今後反樞軸軍の戰線を突破せんとする作戦を敢てすることは十分豫想されるところであり、われわれは最後の獨人が降伏するまで獨を撃破したといふやうな錯

覺を起してはならない

△反樞軸の團結 われわれがいま一つとも警戒しなければならぬことは樞軸側からの恐るべき宣傳である、敵がその宣傳によつて米國とその盟邦諸國との關係に罅を生じさせようとする努力は戰爭の全體からみれば獨軍が西部戰線において反樞軸軍の戰線に罅を出させんとする作戦よりも遙に恐いものである

△作戦の回顧 今や過去三箇年にわたつて米國を指導した基本的戦略を回顧する適當な時期であると信ずる、今次大戰の初期においては反樞軸側の努力は敵に對して最大の損害を與へ得る戰線の各地點に兵員並に軍需品を集結するにあつた、軍需用語をかきりならばこの努力は兵力の展開であつた、この期間においても多くの重要な戦ひが行はれた多くの勝利が得られたがしかしこれらは結局は攻撃し來る敵を阻止する戦ひであつた、對日戰の場合には大規模な豫備的軍事行動即ち日本の外郭防衛線を通じて確實な補給戰を構立する作戦の完了をまたねたならぬ、この作戦には歴例的な海軍力、空軍力とを必要とし更に敵の前哨基地を攻撃する陸軍力の應援をも必要とした、開戦の最初の日から米國內には英國とソ聯との運命は獨軍にまかせ米國は日本だけにその精力を傾注すべきであるとの短見者流の見解が横行した、これらの人々は米國は日本に對してのみ純粹に防禦戰を戦ひその他の世界は悉く獨伊兩國の支配に委せていふといふ主張を行つた、われわれは軍事的にも精神的にもこれらの謬見を排除しなければならなかつた

△英ソ重慶の抗戰 歐洲戰線におい

て米は二つの有力な盟邦をもつた、米は一九四〇、四一年を通じ孤立無援の中に戰線を維持した英國を忘れることは出来ない、英國は恐るべき空からの攻撃にも拘らず膨大な軍需工場を建設し、遂に一九四二年にいたリエル・アラメイン戰線において攻勢を開始し得た、米はまたモスクワ、レンニングラードおよびスターリングラードの悲壯な防禦戰或は赤軍の大攻勢作戦を忘れることは出来ない、米國は更に重慶民衆のことも忘れないであらう

△大西洋戰 反樞軸軍は昨年ノルマンディと南佛に二つの大きな上陸作戦を行つたがかかる作戦をなし得たのも大西洋の戦ひに勝利を収め得たればこそである

獨潛水艦に對する戦ひにおいて反樞軸軍が勝利を収め得なかつたならば、われわれは上陸軍を創設し英本土に空軍を集結することも出来ず、あるひはまた反樞軸軍がフランスに上陸した後も、これに對して補給を續けることは出来なかつたであらう、すてドイツは潛水艦戰を熾烈化して來た、大西洋戰も今次大戰において來たる、大西洋戰と同様不斷の警戒が必要であり、米國海軍は英加そのほか反樞軸諸國の海軍とともに間斷なき警戒に任じてゐる

△太平洋戰 米軍はすでにマリアナ諸島に基地を建設しこの基地からアメリカのB29は東京目標をも爆撃してゐるが、この對日爆撃は今後もますます熾烈化されるであらう、一方レイテ島に對する上陸作戦は太平洋戰域において米軍がいままでに行つた最大の水陸作戦であつた、しかしながら困難なる戦ひは依然として前途に控へてゐるのであり、この戦ひ

を起してはならない

△反樞軸の團結 われわれがいま一つとも警戒しなければならぬことは樞軸側からの恐るべき宣傳である、敵がその宣傳によつて米國とその盟邦諸國との關係に罅を生じさせようとする努力は戰爭の全體からみれば獨軍が西部戰線において反樞軸軍の戰線に罅を出させんとする作戦よりも遙に恐いものである

△作戦の回顧 今や過去三箇年にわたつて米國を指導した基本的戦略を回顧する適當な時期であると信ずる、今次大戰の初期においては反樞軸側の努力は敵に對して最大の損害を與へ得る戰線の各地點に兵員並に軍需品を集結するにあつた、軍需用語をかきりならばこの努力は兵力の展開であつた、この期間においても多くの重要な戦ひが行はれた多くの勝利が得られたがしかしこれらは結局は攻撃し來る敵を阻止する戦ひであつた、對日戰の場合には大規模な豫備的軍事行動即ち日本の外郭防衛線を通じて確實な補給戰を構立する作戦の完了をまたねたならぬ、この作戦には歴例的な海軍力、空軍力とを必要とし更に敵の前哨基地を攻撃する陸軍力の應援をも必要とした、開戦の最初の日から米國內には英國とソ聯との運命は獨軍にまかせ米國は日本だけにその精力を傾注すべきであるとの短見者流の見解が横行した、これらの人々は米國は日本に對してのみ純粹に防禦戰を戦ひその他の世界は悉く獨伊兩國の支配に委せていふといふ主張を行つた、われわれは軍事的にも精神的にもこれらの謬見を排除しなければならなかつた

△英ソ重慶の抗戰 歐洲戰線におい

は犠牲多きものとなるであらう

△對蔣援助 米の世界全戦局に對する作戦にも拘らず、われわれは重慶政權に對して出来る限りの援助を與へるといふ重大な任務を決して怠りはしなかつた、ほとんど克服出来な

いかと思はれた困難にも拘らずアメリカの對蔣援助は一九四四年中に増加を示した、現在のところアメリカの對蔣援助は空中輸送のみに限られ、その他の援助方法はない、一九四四年の終りに對して、重慶地區内に送り込まれた援助物資のトン数は前年の三倍に達し、さらにビルマ公路の輸送量が最絶頂に達した時よりも多量に達してゐる

△軍需生産の増加 アメリカの軍需生産額は前古未曾有の額に上つたがアメリカにはある種の軍需品については今後さらにその生産を一層増加しなければならぬ、陸軍省に對して最大の軍需品が納入されたのは一九四三年十二月であつたが、生産の削減もその一部理由となつてアメリカの軍需生産額はそれ以後減少に轉じた

かくて四四年七月までには陸軍に對する軍需補給額は十五パーセント方減少した、四四年十月にいたり、陸軍は海外各地派遣軍の要求に伴ひその必要とする軍需生産額の推定を十パーセント方増加しなければならなかつた、しかるにそれから僅か一箇月以後の十一月になると陸軍は一九四五年の必要額としてさらに十パーセントの増加が必要であるとの推定を立てたが、この要求を満たすためにはアメリカはいままでに到達した最絶頂よりもさらに多い生産を實現しなければならぬ

一九四四年十月アメリカの一部では

歐洲の戦ひがすでに終りを告げたと云々してゐる際に陸軍はいま迄見られなかつた程の多くの兵員を歐洲戦線に送つてゐるのである

△國民徴用法を再要求 余は改めて全面的な國民徴用法の採擇を要求する、戦争を遂行するため米國のもつあらゆる人的資源を動員するためにかゝる法律は決して時期遅れではない、辛き經驗が事實をもつて示した如く、戦争が終りに近づけば近づく程、敵に對して最後の打撃を與へるために軍需生産を強化する必要があるはつて來るのである

△外交問題 反樞軸國の團結は戦争のためのみでなく戦争終了後もつゞけなければならない、反樞軸陣營は政府の聯合にあらざして國民の聯合であり、各國民の望む所は永續性ある安定した平和である、然るにかゝる種類の平和を得るのは決して容易な仕事でなく敵軍の無條件降伏は僅かにその第一歩にすぎない

解放された小區域においですで各種の問題が發生したことは遺憾千萬であるが、これら諸問題は結局當該國民自身によつて解決さるべきものである、しかしながらこれらの問題をめぐる反樞軸諸國間の意見の相違によつて、われわれの關係が分裂を來し、一層重要な共同の目的に對して我々の目をくらませるやうなことがあつてはならぬ

國際關係においては「權力外交」の如きは排斥するべきである、權力は常に責任を伴はなければならない、大西洋憲章はわれわれの目標を示した重要な文獻であり、われわれは憲章の諸原則を人間として出来る限り達成するやうに努力すべきである

△世界平和機構 反樞軸諸國間に各種の問題が起きようともこれはあくまでも一時的なものであり、これによつて世界平和機構の樹立が遅れるやうなことがあつてはならない、ダンバートン・オークス會議を支配した友誼的協調連絡はかかる機構の樹立に成功するだらうとの希望をたかめた、更に人類理智の自覺はこの偉大な努力が失敗に終るやうなことを許さぬであらう

豫算教書要點

—新豫算八百卅億弗

【リスボン九日】ワシントン來電

大統領ルーズヴェルトは九日の議會に一九四五—四六會計年度の豫算教書を送付したがその要點次の通り

一、新會計年度の政府歳出豫算部は今會計年度に比し約百七十億弗を減少し總額八百卅億弗である

一、うち軍事費は七百億弗だがこれは暫定的數字に過ぎず、總てが今後の戦局の推移如何にかゝり少ければ六百億弗、多ければ八百億弗にも達しよう

一、軍事費以外の歳出は百卅億弗うち

(イ) 政府通常支出は卅二億六千六百萬弗、これは最少限度の推定でこれ以下に削減することは出来ない

(ロ) その他支出の主なるものは歸還將兵費、公債利子、納税者に對する拂戻の三項目である

一、米國がその日本撃破の大事業の計畫に於いて日本撃破の大事業を輕視するなれば大きな誤りを犯すことゝならぬ、歐洲戦が許す限り出来るだけ早く米國の全力を對日戦に傾注する準備を整へることが必要だ、最後に米國は復員が可能となり次第、現戦時體制を完全履備の平時體制に轉換する計畫を開始しなければならない

一、米國の軍需工場建設計畫は既に略々終了し一方陸海空軍に對する基本的裝備の供給計畫も略々完了した、かくて現在米國に直面してゐる主な仕事は以上によつて完成された戦争機關の機能を續けることにあり、換言すれば戦争機關を新たに建設することよりもむしろ出来る限りの近代的武器を前線將兵に補給することに當る

一、一九四〇年七月以來米國が戦争建設のために費消した金額は二百八十億弗の巨額に達した、而して戦争建設計畫が最高潮に達した一九四三年に於ける支出は百廿七億弗に達したが、現在ではこの費用は年額廿五億弗にまで減少してゐる

一、歐洲戦線に於ける本格的戰闘行為が終了し米國の戦争努力が對日戦のみに集中されるに至れば戦費は大いに削減し得るだらうとの見解は行過ぎた樂觀論として片付け去らねばならない

一、米國は開戦當時の米陸海軍總兵力を合せた勢力の三倍に達する男女兵員を海外に派遣してゐる

一、米國商船隊は戦前の噸數に比し四倍となつた

一、米國は武器貸與によつて反樞軸諸國に對し三百六十億弗の物資を補給し貸與として四十五億弗の物資を受取つた、武器貸與は戦争終了と同時に清算されるであらう

一、米國は歐洲占領地區の行政に關し責任を回避すべきでなく同時にこれら地區の救済復興事業にも當らなければならない

一、予は労働争議解決のため恒久的な労働仲裁機關の設置を報告する

一、一方公共事業費として三億九千八百八十一萬二千弗を要求する、その主な振當先は歸還將兵局、聯邦事業機關、内務省等である

一、現行體制下では國庫歳入は本會計年度の四百五十七億弗から新會計年度には四百十三億弗に減少しよう

一、現在の國庫負債額は二千三百九十億弗だが本會計年度の終りに二千五百廿億弗に増加すべく、更に新會計年度中に二千九百廿億弗にまで増加する計算である

新豫算案内容【リスボン九日發同】ワシントン來電

大統領ルーズヴェルトは九日の議會に提出した一九四五—四六年度豫算案の内容次の通り

(單位百萬弗)

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

△歳出總額 前年度比較

三九、〇〇〇増 五〇、〇〇〇

〔赤字額は歳出額から歳入額を差引いた数字、國債増加額は豫算教書に示された数字〕

戰局樂觀論を戒む

【リスボン十二日發】世界戰局の豫期に反した展開に伴ひ米國當局は再び國內戰時態勢の建直しに大重だが、ワシントン來電によれば大統領ルーズヴェルトは最近陸海軍をばじめ政府各省の官吏に對し書翰を送り、戰局の前途に對する樂觀論を戒め、戒めたいは、右書翰の内容として傳へられるところ次の通り「世界の戰局は今や最も重大な時機に突入してゐる、かかる時期にいやしくも政府官吏たる者は反樞軸軍の作戰の進展を誇大に宣傳したり、或ひは戰爭の早期終了を云々したりして國民に戰局樂觀論を注入すべきでない、國民の戰局樂觀論は軍需生産額にも至大の影響を與へ、延いては戰局の全般に由々しき結果を招來することとならう」

國民徴用の必要強調

【リスボン十六日發】ルーズヴェルトは年次教書において再び國民徴用法の緊急實現を要望したが、ワシントン來電によれば十六日の定例記者團會見の席上次の通り言明したと軍需生産の面からみても米國の軍の兵力要求の面からみても、國民徴用法の實施は極度に必要である、予は議會に對して國民徴用法の實現を要請する教書を送る豫定だが陸軍參謀總長マーシヤル、海軍作戦部長キングも議會に書翰を送り國民徴用法の必要を強調することになつてゐる

四期就任式舉行

【リスボン廿日發】ワシントン來電

ルーズヴェルトは廿日白聖館で大統領就任式を舉行、就任の挨拶を述べて現下の重大時局を強調した

就任挨拶

【リスボン二十一日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは二十日就任式を舉行次の通り就任挨拶を行つた「今日われわれ米國民は反樞軸諸國とともに最も苛烈な試煉の時期を通過しつつある、即ちわれわれの勇氣と決意と智力と本質的民主主義とが試煉の關頭立つてゐるのであり、もしまわれわれがこの試煉に立派に耐へ得るならば、あらゆる時代を通じて男も女も子供も齊しく尊敬する歴史的な重要任務を遂行することとなるのだ

國民諸君の前に

「そして神の御前に——神聖なる就任宣誓を行つた後、この境上に立つた今日たゞ今余はわれわれを敗れさせぬことこそ米國の意志なることを悟つた、われわれは今日われわれが戰爭の完全な勝利のため戦つてゐる如く、來るべき日、來るべき年には名譽と公正と永續性ある平和のために努力するであらう、われわれはかかる平和を獲得出来るのでありまた正にこれを實現しようとしてゐるのだ、またわれわれは完全なることを目標に精進するものであるが、しかしかかる境地には早急に到達することは出來ない、しかもわれわれはなほ努力を續けるだらう、勿論われわれは誤ちを犯すかも知れないが、かかる誤ちは決して意氣の沮喪乃至道義的の原理の忘却から生ずる如き誤ちであつてはならない

想へば昔余が未だ小學生だつた當時、世の中は安全で何の苦勞もない

と思はれたが、先生は次のやうに述べられた「世間のことは、いつも順調に行くとはいへないわれわれは上り坂にある場合に、忽ちすべてが背を見せ物事が下り坂にあるやうに思はれることがある、だが銘記すべき偉大な事實は文明それ自體永久に上昇しつゝあり、世紀の峯と谷と中央を辿る線は常に上昇傾向を失はなぬといふことである」一七八七年の米國憲法は完全ではなかつた、現在も未だ完全ではない、しかしそれはあらゆる種類の人間——即ち民族、皮膚の色、宗派を超えた一切の人間——が民主主義の強固な機構を建設し得る不動の基礎を與へるもの

だ 戦ひの年一九四五年の今日、われわれは恐るべき犠牲において數々の教訓を得たが、將來決してこれを無にするとはあるまい、われわれは自分たちだけで平和な生活を送ることは出來ず、われわれ自身の福祉は遠い彼方の他國民の福祉に依存することを知つた、われわれは人間として生るべきであり、追はれる野鳥や犬のやうであつてはならないこと、人類社會の構成員たることを悟つた、しかしわれわれはエマソンといへる如く「友を得る唯一の道は一つにすることあり」といふ簡單な眞理を體得した、猜疑と不信と危懼の念をもつて近づく限り永續的の平和を得ることは出來ない、確固たる信念から溢れ出る理解と信頼と勇氣とをもちて邁進するとき、その時こそわれわれは初めてかかる平和を獲得しうるのである

英に勸書提出

【リスボン二十五日發】最近戦後間

題その他をめぐつて米英兩國の利害對立は漸く顯著なものあり兩國關係は開戦以來最も冷却したときへいはれてゐるが、ニューヨーク來電によると二十四日の「ニューヨーク・タイムズ」紙ロンドン特派員レイモンド・ダニエルは米英關係の悪化を憂へたルーズヴェルトが最近英國政府に書翰を送附したと傳へてゐる、右書翰においてルーズヴェルトは「米英兩國國民共に今次戰爭が果して民主主義擁護のために戦はれてゐるが否かに疑問持ち始めたやうだ」と嘆じ、「米英兩國政府はかかる疑問を除きさらに兩國民間の相互の猜疑心をも除去することに努力すべきである」と述べてゐるといふ

工場接収問題で敗訴

【リスボン廿七日發】米國大統領ルーズヴェルトは米國最大の通信販賣會社たるモントゴメリー・ウオード會社の罷業に對し舊曆廿八日國內七都市における同社は十六工場を陸軍の手により接収すると共に同社の態度は戰時労働争議解決の途を阻むものとして聯邦地方裁判所に對し右接収の合法を認めることを要求してゐたが、ワシントン來電によれば聯邦地方裁判所係判事フィリップ・サリヴァンは廿七日ルーズヴェルトの措置は明かに非合法なる旨の判決を下し、遂にモントゴメリー社に凱歌が擧つた、サリヴァンの判決理由次の通り

戰時労働法第三項によるも陸海軍總司令官として憲法により大統領に附與された戰時非常大権を考慮するも大統領がモントゴメリー・ウオード社の工場及びその施設を接収する權能はない戰時労働争議法は工場乃至施設が戰爭努力に必要か或は有用な

物資を生産する裝備を有する場合のみ大統領にこれを接収する權限を與へてゐるが、モントゴメリー・ウオード會社は同法の規定する軍需工場の場合には入らない

歐洲撤兵勸議提出

【リスボン五日發】ワシントン來電「共和黨下院議員アルビン・オコンスキは五日の下院に對して米國の歐洲戰線からの撤兵を要求した左の爆彈動議を提出した

一、あらゆる侵略國家の武装兵力の完全なる破壊並にこれ等諸國の軍、政府首腦部の懲罰
一、あらゆる國家の國民が自由に自己の政府を決定し得る權利
一、あらゆる反樞軸諸國の國境は戰前の境界を維持することとし戰爭終了後これを變更する場合も反樞軸四十ヶ國過半数の同意を必要とする
一、將來の戰爭を防止するため有効な警察力を持つたあらゆる國家の參加した國際機構の樹立
海軍年次報告

リスボン七日發

ワシントン來電「米國海軍委員長エモリー・ランドは七日議會に次の年次報告を送つた

米國の商船隊は戰爭終了までに全部で五千萬重量以上に達するとみられるが、當分の間旅客船は不足を告げることとならう、一部には戦後も

政府が船舶を所有し、海運を管理するのではないかと懸念を抱いてゐるやうだが、船舶を民間に返還することは政府當局にとり再轉換における極めて重要な措置である

【リスボン八日發】

ワシントン來電
大統領ルーズヴェルトは六日一九四五年の一般年次教書において議會に對し、全面的な國民徵用法の採擇を要求したが、議會側ではかかる國民徵用法よりも寧ろ部分的な徵用法の實施を希望してゐるやうだ、即ちルーズヴェルトが要求した看護婦の動員乃至は徴兵検査ではねられた壯丁を軍需工業に振り當てる案に對しては議會も大體同意してゐるが、議員の多くは全面的な國民徵用法まで實施する必要はないとの意見のやうだ、すでに民主黨下院議員ウイリアム・コルマーは徴兵登録者の全部を補給部隊に編入して軍需工場及び大統領が必要と認める戦争活動に振り向ける法案を議會に提出してゐる

【リスボン十日發】

ワシントン來電
米國陸軍次官バートンは十日下陸軍委員會で世界戦局の進展に伴ふ動員強化を要望次の通り述べた
米國は本年上半期に兵員九十万萬需生産その他に七十萬、合計百六十萬の新規動員を必要とし、陸軍省は十八歳から四十五歳までのすべての男子を軍務乃至軍需生産方面に振り向ける如き法律の設定を希望してゐるが、現在陸海軍が卅歳以下の男子全部を必要としてゐる結果現在召集免除となつてゐる廿六歳から卅七歳までの軍需勞働者中、卅歳以下の者を悉く召集し卅歳以上の者と交替させることが必要だ

【リスボン十日發】

ワシントン來電
米國陸軍次官バートンは十日下陸軍委員會で世界戦局の進展に伴ふ動員強化を要望次の通り述べた
米國は本年上半期に兵員九十万萬需生産その他に七十萬、合計百六十萬の新規動員を必要とし、陸軍省は十八歳から四十五歳までのすべての男子を軍務乃至軍需生産方面に振り向ける如き法律の設定を希望してゐるが、現在陸海軍が卅歳以下の男子全部を必要としてゐる結果現在召集免除となつてゐる廿六歳から卅七歳までの軍需勞働者中、卅歳以下の者を悉く召集し卅歳以上の者と交替させることが必要だ

【リスボン十日發】

ワシントン來電
米國陸軍次官バートンは十日下陸軍委員會で世界戦局の進展に伴ふ動員強化を要望次の通り述べた
米國は本年上半期に兵員九十万萬需生産その他に七十萬、合計百六十萬の新規動員を必要とし、陸軍省は十八歳から四十五歳までのすべての男子を軍務乃至軍需生産方面に振り向ける如き法律の設定を希望してゐるが、現在陸海軍が卅歳以下の男子全部を必要としてゐる結果現在召集免除となつてゐる廿六歳から卅七歳までの軍需勞働者中、卅歳以下の者を悉く召集し卅歳以上の者と交替させることが必要だ

兩院秘密會で戦況報告

【リスボン二十四日發】
ワシントン來電
上、下兩院は二十四日合同秘密會議を開き陸海軍の首腦から戦局全般に關する秘密報告を聴取した、報告を行つたのは陸軍長官スチムソン參謀總長マールシヤル、海軍長官フォレストタル、海軍作戦部長キングの四名だったが、秘密會散會後議員連のもらしたところによれば彼等は作戦の現段階を説明すると共に作戦の必要に應ずるため國內戰時態勢一層の強化を要求、特に國民徵用法即時實施の必要を強調したといはれる

スペインとの斷交を要求

【リスボン廿三日發】
ワシントン來電
民主黨下院議員コフイイは廿三日下院に「議會は大統領に對しスペインとの外交關係斷絶を要求すべし」との決議案を提出した、コフイイの決議案は更に米國はフランコ政府に反對抗争してゐるスペイン亡命派に武器貸與援助を行ふべきことを提案してゐる

ウオレス任命を否決

【リスボン廿六日發】
ワシントン來電
大統領ルーズヴェルトは商務長官ジュネツシー・ジョーンズの辭職を要求その後任に前副大統領ヘンリー・ウオレスを任命したその承認を求めためこれを上院に廻附、上院商業委員會は二十四日からウオレス及びジョーンズの兩名を招いて公聽會を開催してゐるが、二十六日に至り十四票對五票をもつて遂にウオレスの任命承認を否決し任命案を大統領の手許につき返した、ウオレス、ジョーンズの兩名は昨年夏軍需資材買付融資問題で泥試合を演じて以來大猿の間柄にあり、今度の公聽會でも兩名は相互に罵詈譎を浴びせあつた、委員會の否決後ウオレスは憤懣の面持で記者團に對し委員會のつた行動は實に遺憾である、しかし余は二十五日の公聽會で余のいはんと語るところを全部述べておいたと語つた

アゾレス基地獲得か

【マドリッド二日發】
米國は大西洋上のポルトガル領アゾレス群島に食指を動かしてこれに軍事基地を獲得すべくポルトガル政府に壓迫を加へてゐると傳へられたが、情報によれば米、葡兩國政府間に昨年十一月末アゾレス群島の基地使用に關し協定成立し米國軍は既に同群島を軍事基地として使用してゐるといはれる

外交文書洩洩事件

【リスボン四日發】
ワシントン來電
素破抜き記事で有名なドルー・ピアソンは四日のニューヨーク・デイルリー・ミラー紙に再び米國外交の機密文書を掲載し責任當局たる國務省をして愕然色を失はせればかりでなく米英兩國間の重大外交問題にまで發展せんとするに至つた
今回ピアソンが素破抜いた文書はワシントン駐劄英國大使ハリファツクから國務長官ステチニチアスに手交された反樞軸問題に關するイタリヤに對する救援問題に關する秘密文書でイタリヤ問題に關し米英兩國政府間に重大な意見の對立があることが暴露された

波亡命政權支持

【リスボン五日發】
ワシントン來電
UP電報は五日次の通り報道してゐる
國務省では事前にソヴェト政府から通告を受けてゐるが一月一日國務長官が述べてゐる通り米國政府は依然亡命ポーランド政權との正式外交關係を維持する見られる
大統領の秘密外交を攻撃

米加航空會談を開催

【リスボン八日發】
ワシントン來電
大統領ルーズヴェルトは六日の議會に送つた年次教書に對しては米國政界で贊否兩論がある模様で、反對派の攻撃の中心はルーズヴェルトの秘密外交政策におかれてゐるやうだ殊に共和黨陣營から猛烈な攻撃が加へられ、共和黨上院議員タフトは新聞記者團に對し「ルーズヴェルトの教書は政府當局が從來の秘密外交政策に何等の修正を加へない意思なることを示した」と述べてゐる
對ソ機械輸出停止か
【ストックホルム九日發】
ストックホルム・チヂニゲン紙は九日次の通り報じてゐる
米國は東歐洲におけるソ聯の政策に對する一種の報復として或種機械類の對ソ輸出を停止した、米國がかゝる舉に出た今一つの理由は戦後に於けるソ聯の經濟的競争を恐れたためとみられる
英ソ除外の歐洲聯盟案
【リスボン十六日發】
ワシントン來電
ルーズヴェルト外交反對派の急先鋒として知られる民主黨上院議員ハーツィイラーは十六日戦後の歐洲再建築案として要旨左の提案を發表した
歐洲を現在の如き状態に放任するならば戦後の歐洲がソ聯の勢力範圍となるは必至である、これを防止するためには反樞軸諸國が直ちに「反樞軸評議會」ともいふべき組織を樹立して歐洲をソ聯の制覇から救はなければならぬ、一方戦後の歐洲には英ソ兩國を除外した「歐洲聯盟」が組織

米加航空會談を開催

【リスボン十九日發】
ワシントン來電
國務省は十八日次の通り發表した
「米加兩國民間航空會談は一月二十五日からニューヨークで開催されることに決定、米國側から國務省航空部長ストークレイ・モルガン、英聯邦關係部長J・G・パーソンズ等が出席する、右會談の議題は昨年シカゴで開かれた反樞軸國際航空會議に關する問題だが、一九四〇年調印された兩國間の民間空路配置に關する協定も再吟味される豫定である」
スミス壓迫を更に強化
【リスボン廿五日發】
ワシントン來電
國務省廿五日發表政府は近く大統領附政務輔佐官ラフリン・タリーをスミスに派遣することとなつたがタリーはスミス政府に對しドイツ向軍需資材の補給停止を要求する筈である
△新駐土米大使を任命【リスボン廿五日發】
ワシントン來電
米國政府は前アルジェニヤ駐劄米國大使エドワイトン・O・ウイソンを今回アンカラ駐劄米國大使に任命することに決定した

△四外交官異動

【リスボン二十二日發】
ワシントン來電
大統領ルーズヴェルトは廿二日サミュエル・ロゼンマンを公使に任命し西歐に派遣する旨發表した、ロゼンマンはニューデイル時代からルーズヴェルトの懐刀とされて来た人物だが、彼

さるべきだ、但しこの組織の目的は歐洲各國の經濟的提携と軍備縮小とにおかるべく、英ソ兩國に何等脅威を與ふべき性質のものにはならぬだらう

さるべきだ、但しこの組織の目的は歐洲各國の經濟的提携と軍備縮小とにおかるべく、英ソ兩國に何等脅威を與ふべき性質のものにはならぬだらう

は英佛自蘭諸國を歴訪し、これら諸國の状態につき大統領に報告するは、一方國務省は同日中米諸國に對する左の新大使の任命を發表した

グアテマラ大使、エドワード・ジャクソン、ドミニカ大使、ジョージ・マックツアーク、パナマ大使、ヘンリー・ノーウェツプ

△海軍次官補任命【リスボン廿二日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは廿二日ストループ・ヘンセルを海軍次官補に任命した、右は最近前次官補ラルフ・バードの次官昇格に伴ふ後任補充だがヘンセルは現在まで、海軍省の法律顧問であつた

△商務長官更迭【リスボン廿二日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは商務長官ジョーンスに對し、抜打的に辭職を要求、後任に前副大統領ヘンリー・ウオレスを任命した

△米勞働長官留任【リスボン廿四日發】ワシントン來電 豫て辭職の噂高かつた勞働長官パーキンスは、大統領ルーズヴェルトに對して辭表を提出してゐたが、ルーズヴェルトは一旦此辭表を受理した後、廿四日再びパーキンスを勞働長官に任命した

△大公使任命【リスボン廿九日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは廿九日左の大公使を任命、その承認を求めためこれを上院に回付した

任ポルトガル大使ジャーマン・バル、イラン大使ウオレス・マレン、アフガニスタン公使エリー

海軍新豫算十五億弗
【リスボン廿五日發】ワシントン來電 海軍長官フオレスタルは五日議會に對して總額十五億一千五百六十二萬三千弗の豫算を要求した、その最大項目は九億八千六百萬弗の前線海軍基地建設費である

戰費一日二億七千萬弗
【リスボン廿五日發】ワシントン來電 財務省は五日昨年中の米國の戰費は一日平均二億七千萬弗に達したと發表した

一ヶ月十萬の兵員召集
【リスボン廿一日發】ワシントン來電 陸軍長官スチュムソンは十一日の新聞記者會見で次の通り言明した

「陸軍は前線の必要に應ずるため、一月及び二月分の動員を強化し、この兩月にそれぞれ八萬の新規召集を行ふこととなつたが三月にはさらに十萬が増加する、結局陸軍としては前線の必要に全部應ずる爲には卅歳以下の身體健全な男子全部を陸軍に召集しなければならぬ

部、戰局の現段階は今や米國の人的動員につき最も思ひ切つた措置の採用を要求し、今大統領が要求したとき全面的な國民徵用法を斷乎實施すべき時機が到來した

一方選擇徵兵局のフランシス・キーンは十一日の下院に臨み次の通り述べた

「陸軍の一月十萬の兵員召集は六月まで續く豫定である、一方海軍も本年上半期に三萬二千の新兵員を必要としこれに新たに適齡期に入る壯丁の徵集員數十五萬を加へれば本年上半期に軍務に入る新兵員の總數は九十萬に上らう」

愈々流星彈使用か
【ストックホルム十四日發】米國は獨軍の流星彈使用後直ちに英國から流星彈の不發彈を取寄せて研究を開始しフオード會社でそれを見本に試作せしめて、現在では相當の産額に達してゐる模様でその試験飛行はエリー湖で行はれ一應獨逸の流星彈に匹敵する成績を収めてゐたといはれるが、英國のロイター通信十四日の電報によるとスエーデン防空本部は十四日多數流星彈がスエーデン西北方から飛來し東南方に飛び去つたと發表してをりその方向から考へる時は、この流星彈は獨軍の發射したものと考へられず、或は米軍が本格的に流星彈の使用を開始したのではな

いかとみられる
巨大空母今春進水
【リスボン十八日發】ワシントン來電 米國海軍省は四萬五千噸級空母「コラル・シー」が今春ニューヨーク海軍工廠において進水する旨十八日發表した、米海軍は目下三隻の四萬五千噸級空母を建造中だが「コラル・シー」は最初に進水する空母である

空母、酒艦就役
△空母「アンタイタム」號【リスボン廿日發】ワイラデルファイア來電 第四海軍區司令部は廿七日次の通り發表した

「アンタイタム」號は二十八日ワイラデルファイア就役することとなつた、飛行機積載量は戰闘機、雷撃機を含み約八十機で全長八百五十噸あまりで、大部分の戦艦より長く、最大速力は三十ノットを超える

△大型潛艦「キヤビティン」【リスボン廿七日發】ニュー・ロンドン(コネチカット州)來電 エレクトリック造船會社が建造した大型潛水艦「キヤビティン」號は二十七日ニュー・ロンドンで就役した

海軍ロケット砲重視
【リスボン廿八日發】ワシントン來電 米國海軍兵器局長少將ハッシーは近代戰に於けるロケット砲の役割につき廿七日次の通り言明した

ロケット砲は將來も從來の火砲に代替するとは考へられないがその威力は作戦中のある局面では從來の火砲に優つた優秀性を發揮し得るし、又副次的に使用する可能性も相當にある、米海軍はロケット砲を重視し、作戦に不可欠なものとしてゐるので數ヶ月にその生産の三割増産を要求し一九四五年度第四半期の生産高は一九四四年度第四半期の生産高を六〇%上方廻る豫定である、海軍では一九四五年度のロケット生産計畫には十億ドルを計上してゐる

米海軍の離昇用ロケット
【ストックホルム廿一日發】米國海軍は最近海軍機に噴射推進装置を取り付け好成绩を収めてゐるといはれるが、これに關しUD電報は四日次の通り報じてゐる

海軍損傷 八萬四千九百九十九名
合計 七十一萬六千九百五十七名
陸軍損傷 六十一萬六千九百五十七名

海軍新兵器試驗所建設
【リスボン二十四日發】ロスアンゼルス來電 海軍當局は二十三日次の通り發表した

「海軍は目下三千五百萬弗をもつてカリフォルニア州モヘバウエ沙漠地方のインヨカーンに新兵器の試驗所を建設中だが、これが完成までには今後十八ヶ月を要するだらう、しかし現在すでに民間科學者、技師、技術家等五百名が、飛行機並びに地

置はまだ試みられてゐない
戰傷兵毎月十萬
【リスボン二十四日發】サンフランシスコ來電 軍醫監カークは二十四日サンフランシスコにおいて新聞記者團會見で次の通り述べた

全國戰闘地域における米國戰傷兵の總數は毎月十萬近くに達するが、このうち三萬乃至三萬二千が米國に後送される、残りの戰傷兵は前線の病院で治療を受け、治り次第原隊に復歸、軍務に就いてゐる

上から發射されるロケット砲彈の試験に當つてをり、右研究の結果に基づき米國の軍需工場は時を移さず新兵器の生産に乗り出すこととならう

最近の航空界雜錄

【リスボン七日發】「エアロプレーン」誌十二月二十號は次の記事を掲げてゐる、スーパーマリン「スピットファイア」XIV機の或るものには「タイフーン」型滑動坐席蔽ひが装着してある

スーパーマリン「シーポッター」機の武装はヴィイッカーズ「K」型〇・三〇三時機銃三挺で主翼下面に爆彈または爆雷を搭載する

ドイツの「アラド」AR二二三單葉輸送機は一千馬力の「プラモ・フアフェニル」三二型空冷九氣第一重星型發動機四基、または一千六百馬力のBMW八〇一型空冷十四氣第二重星型發動機二基の何れかを有する

ノースアメリカンB25「ミツチエル」は米海軍でPBJ「一J」の呼稱の下に使用してゐる

B29用に送油航空機

【リスボン十二日發】デイトン（オハイオ州）來電 陸軍航空技術本部は十二日次の通り發表した

在支米軍航空隊はB29に要する燃料の一部をC-10九と呼ばれる四發送油機が印度から空輸してゐる、この送油機はリベーター爆撃機を改装したもので、自身が使用する燃料も輸送する油槽から直接引き出せるまでに完全な改装が施されてゐる、普通の飛行機がドラム罐で輸送する所をC-10九は特殊な設計を施された機首、翼、彈倉及胴體に燃料油を詰込み、最大の送油能力を誇つてゐる

經濟

軍需生産

B29月産百卅五
【リスボン十二日發】ワシントン來電 戰時生産局長官クルーグは十二日の新聞記者國會見で次の通り述べた

戰局の新展開に伴ひ本年の軍需生産計畫はあらゆる部門にわたつて増加の必要に迫られ、特に飛行機生産は約九パーセントの増加が望まれる、即ち一九四四年の軍需生産額は金額にして六百卅七億弗だつたが、本年の計畫では六百四十五億弗にも達する見込である

クルーグは更にB29の生産高を始めて發表し現在の生産高は月約卅五機であると述べた

民需生産の再開禁止

【リスボン十三日發】ワシントン來電 米國戰時生産局は軍需生産労働力不足の顯著な一二五地區に對し民需物資の生産再開を禁止する旨十二日布告した

軍需生産に最緊急部門

【リスボン十六日發】ワシントン來電 戰時動員局長官ジュームス・パインズは十六日次の通り發表した

七月一日に廿六歳から廿九歳までの壯丁約廿萬名を徵集することになるが、徵集の根本指針とするため重要工業部門卅六を更に二分し、一を最緊急部門に指定する、この最緊急部門で働く壯丁は徵集を免れることが出来るが指定されるものは次の各部門である

飛行機並に部分品の生産、船舶、舟艇及び部分品の生産、兵器並に附屬品の生産、彈藥生産、重要軍需品生産のため鑄造鍛鍊、機械生産、重要護膜製品の生産
原料の不足
【リスボン十九日發】ワシントン來電 戰時生産局長官クルーグは十八日の新聞記者國會見で次の通り言明した

軍需生産計畫の擴大により米國は今や開戦以來の基本的原料資材不足に直面してゐる、本年の造船計畫によれば上半期中の造船高は開戦以來最大の量に達すべく、下半期に入つても上半期程度の造船を続けなければならぬ、即ち一九四四年の軍需生産は更に増加する見込である

千六百萬封度の減少である、右のうち最上位は食肉及び肉製品で酪農品、穀物がこれに次ぐ
燃料節約の大奮
【リスボン十三日發】米國政府は最近戰時態勢強化の諸措置を矢繼早に實施してゐるが、ワシントン來電によれば、戰時動員局長官パインズは十三日更に次の諸施策を發表したといわれる

中南米諸國

新政府組織

【リスボン二日發】パナマ來電 巴拿馬大統領デラ・ガルデアはコレス・カルシアを首相とする新政府を組織した

マナバ

【リスボン二十三日發】グアテマラ來電によればグアテマラ政府は二十三日スペインと國交停止を發表した

ラマテアグ

【リスボン二十三日發】グアテマラ來電によればグアテマラ政府はスペインと國交停止を發表したといはれる、その理由としてグアテマラ政府はスペインのフランコ政府を全體主義政權にしてグアテマラの民主主義と一致せずと斷じ、しかもアラランヘ黨の活動は米洲の安全を脅威を與へてゐると勝手な主張を述べてゐるといはれる

ルドルバルサ

【リスボン十八日發】サン・サルヴァドル市からのAP電報によれば十五日から三日間に亘つてサルヴァドル共和國大統領選挙が行はれたが、十七日カステネダ・カストロ將軍が大統領に當選した旨發表されたといはれる

イアグラバ

【リスボン二十七日發】パナマ來電によればパナマ大統領モリテゴは過般來罷業中の中央パラグアイ鐵道会社にたいし二十四日斷乎陸軍を出動せしめてこれを接收、従業員に對しては十二時間以内に復業するやう布告を發したといはれる

アイヴリボ

新政府閣僚
 【リスボン二日發】ブエノスアイレス來電「ボリグワイ政府の危機は二日の改組により一應解消し大統領グワルベルト・ウイヤロエルは再任した、改組後の新政府閣僚次の通り」

△外相 クスタヴォ・チャコン
 (經濟相) △國務相 ホセ・ビント
 大佐(留任) △内相 エドムンド・ノゲイレ少佐(藏相) △藏相 ヲイクトル・パス△労働相 ヘルマン・モンロイ△經濟相 ホルヘ・サルコ△農相 ユーリオ・スノソ△公共土木相 アントニオ・ボンセ少佐(留任) △文相 ホルヘ・ガロ(留任)

ラジラ

米伯紡績機械引渡協定 實施は遅延
 【ストックホルム二十四日發】マンチエヌター來電「ブラジルからの情報によれば昨年アメリカを訪問したブラジル紡績使節團は最近アメリカからの紡績機械輸入に關しつぎのごとき意見を發表してゐる」

アメリカからの紡績機械を契約高だけ輸入するには十年はかかる、とにかく右機械輸入は個々バラバラに行はれ、ブラジルの繊維工業界としてはここ暫らくの間は急速な引渡しが可能になると考へてゐない
 昨年七月ブラジル繊維工業發展に關する委員會が結成されたが、右委員會は紡績機械設備注文を海外にたいして發する場合の記録をとり、かつブラジル繊維工業の安定手段を考究する等である、なほイギリス業者ではブラジルがアメリカからモーターの自動ルーム機を輸入したが、右機械の價格はアメリカ港渡で二萬ク

ンチンゼラ

ルゼイロもし、ブラジルにとつては行過ぎであるとみられてゐる、現在アメリカにたいし諸外國から大量の紡績機注文が出てゐるが、これはアメリカが右機械の輸出を優先制より除外したためである
 一月一日現在穀物在庫

【リスボン二十四日發】ブエノスアイレス來電「アンチンチン政府發表の農作物天候公報によれば最近全國的にかかりの降雨があり、降雨不足による猛烈な炎熱のためとくに作物の悪化した玉蜀黍に好影響を及ぼした、農作物を除く本年一月一日現在の商業用穀物在庫高は小麦五百十萬六千トン、亞麻仁六十萬八千トン、玉蜀黍二十八萬トンとなつてゐる」

汎米聯盟を脱退か
 【リスボン九日發】九日アルゼンチン外務省と密接な關係を持つ筋からの情報として、アルゼンチン政府は近く汎米聯盟から脱退するだらうと報道してゐる、理由はアルゼンチン政府が昨秋米州外相會議の開催を提案したに對し汎米聯盟が現在まで何等の行動をとらず、さらに最近に至り同聯盟幹部が右提案の採擧を無期延期するに決したためといはれる

深刻なゴム不足状況
 【リスボン二十五日發】ブエノスアイレス來電「アルゼンチン農業省は昨年四月一日ゴム需給状況に關してつぎのごとく發表した
 アジアからのゴム輸入が杜絶したため、アルゼンチンのゴムは全く危機に瀕した、一九四二年三月配給制度を設定したが、當時の國內保有量は五千三百トン、四十年度消費量は一萬トんで配給制設定前十二ヶ年の平均

均タイヤ消費量については自動車用大型タイヤ一萬六千九百三十四個、同小型タイヤ三萬四千九百五個、同期間タイヤ製造のため月五百五十トン、その他工業用に二百七十五トンを消費した、現在アルゼンチンはゴムを適宜個人から徴發し、また嚴重な配給制を行つてゐるが、不足は依然として甚だしく、従來通りの調子で行けば四ヶ月で皆無となる勘定である、一方最近に至つてボリグワイからの輸入量は一九四五年から年額百八十トンに決定したが、これを從前通りの割合で消費すれば四日間、現在の配給制度によつても一ヶ月を維持することは不可能である、従つて己むを得ざる制限措置として自動車を全然禁止し、ゴム製品の生産制限を一層強化する以外に方法はな

い、なほゴムが全然涸渇する場合、國家活動に大なる危険が招來すべきことを豫見し、手製ゴム製品をできるだけ大切に保存し萬一の事態に處すべきである
 【リスボン二十九日發】ブエノスアイレス來電「アルゼンチンの亞麻仁作物は早乾のため相當の被害を蒙つてゐる模様であるが、このため今季の收穫高は昨年の百五十七萬三千トンの半分にも達しないものと觀測されてゐる、もつとも前回の政府亞麻仁收穫公報は八十四萬一千トンとなつてゐる亞麻仁は燃料資源として重要な地位を占めてをリアルゼンチン輸出品の大宗である」

チ
 【リスボン二十二日發】サンチャゴ來電「チリ外相フェルナンデスは二十一日左の通り發表した「チリ政府は二月

二十一日メキシコ・シナイに開催される米州外相會議に對するメキシコ政府招請を受諾した」しかつてフェルナンデス自らチリ首席代表として會議に出席する豫定である
 十月中國電氣鋼輸出高
 【リスボン二十四日發】ワシントン來電「アメリカ商務省調査によれば、昨年十月中におけるチリの電氣鋼對外輸出高は二萬四千六百七十四噸であつた」

○この曠古の大試練に打克つたためには頭の切替が必要であることは、誰でもこれを認め、口にもする。しかし、實行の段取りとなると、因習や未練のさばつて切替を妨げ、元の木阿彌に終るのとかく人の世である。人間の弱さといふものであらうが、祖國存亡の關頭に立つてそんなことでは相濟まぬでは濟まされない問題と思ふ。
 ○月報子も早くから疎開を考慮したが、編輯陣の疎開が實現しただけで印刷關係の方がものにならぬうちに印刷所が罹災してしまつた。微力讀者各位に御迷惑をかけたことは何としても申譯ない次第である。が、幸ひといつては洵に變なものであるが、この印刷所罹災を機會に印刷疎開も實現し、新印刷所の好意によつて急速に發行遅延を回復することとなつた

○編輯同人は、あくまで戰闘疎開の決意も固く空襲下の都下で共同生活を確立、自活態勢を整へつゝ、昨秋以來印刷疎開と空襲騒ぎで遅れに遅れてゐた發行日を取戻さうと張切つてゐる

昭和二十年二月十二日 印刷納本
 昭和二十年二月十四日 發行

（定例）呈請送料 四錢
 特別行爲稅相當額 九錢
 合計賣價 一圓五十九錢

編輯發行人 牛 勝 五 郎
 印刷人 田 中 重 彌
 長野市岡田町一七六

印刷所 大日本法令株式會社
 東京都麹町區日比谷公園
 發行所 財團 同盟通信社
 法人 同盟通信社
 (日本出版協會)
 (會員番號三三三)

東京都麹町區幸町二ノ七〇
 電話 二二七〇
 (編輯部電線七三三)

營業所 財團 同盟通信出版部
 電話 二二七〇
 (電話掛號 57 三三一 五番)
 振替東京 三五八〇〇番
 東京都神田區淡路町
 配給元 日本出版配給株式會社